

一関市総合計画後期基本計画策定に係る
アンケート調査結果報告書

令和2年2月
一関市

目 次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の概要	1
(3) 回収結果	2
2. 設問別調査結果	3
(1) 市民アンケート	3
(2) 中学生・高校生アンケート	52
(3) 企業アンケート	70
3. 回答者属性別調査結果	80
(1) 市民アンケート	80
(2) 中学生・高校生アンケート	123

1. 調査概要

(1) 調査目的

①市民アンケート

一関市民の考えを調査し、総合計画後期基本計画（令和3年度～令和7年度）を策定する際の参考とする。

②中学生・高校生アンケート

一関市内の中学生、高校生の考えを調査し、総合計画後期基本計画（令和3年度～令和7年度）を策定する際の参考とする。

③企業アンケート

一関市と産業経済面で関わりの深い岩手県南・宮城県北地域の事業所の企業経営者、あるいは現地責任者の場からの意見について調査し、総合計画後期基本計画（令和3年度～令和7年度）を策定する際の参考とする。

(2) 調査の概要

①市民アンケート

実施時期 令和元年10月4日から10月18日まで

対象者 一関市民4,486人（18歳以上の市民から無作為に抽出）

調査方法 調査票によるアンケート調査（郵送法） ※マークシート式

②中学生・高校生アンケート

実施時期 令和元年10月4日から10月18日まで

対象者 一関市内の中学校3年生と高校2年生

調査方法 調査票によるアンケート調査（学校で配布・回収） ※マークシート式

③企業アンケート

実施時期 令和元年10月4日から10月18日まで

対象者 岩手県南・宮城県北地域の企業

調査方法 調査票によるアンケート調査（郵送法） ※マークシート式

(3) 回収結果

①市民アンケート

配布数：4,486人

回答数：1,628人（回収率36.3%）

②中学生・高校生アンケート

配布数：913人

回答数：913人（回収率100.0%）

③企業アンケート

配布数：146社

回答数：85社（回収率58.2%）

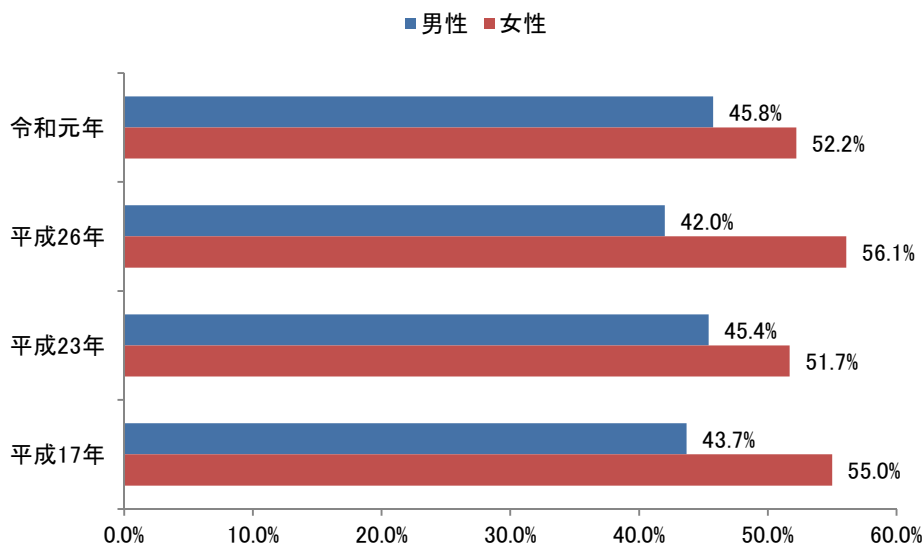
2. 設問別調査結果

(1) 市民アンケート

◆回答者の属性等に関する設問

問1 あなたの性別を教えてください。(1つ選択)

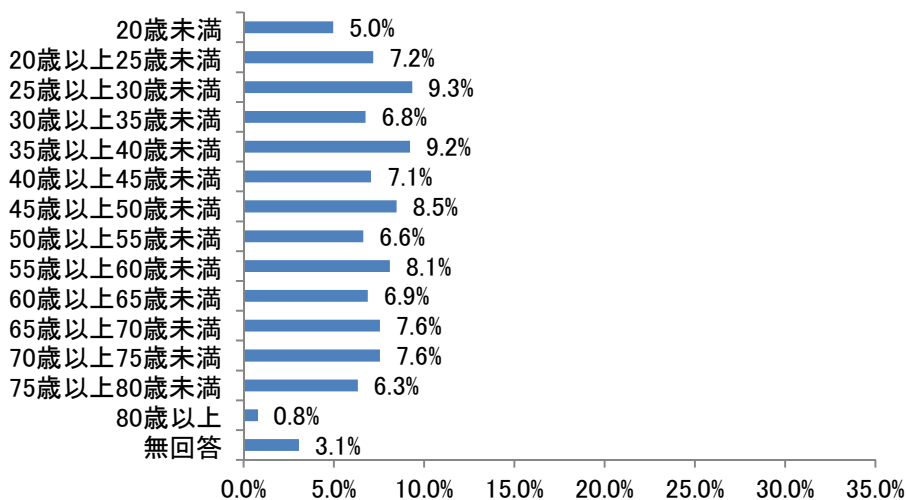
性別構成は、「女性」が52.2%、「男性」が45.8%となっています。



有効回答数=1,628

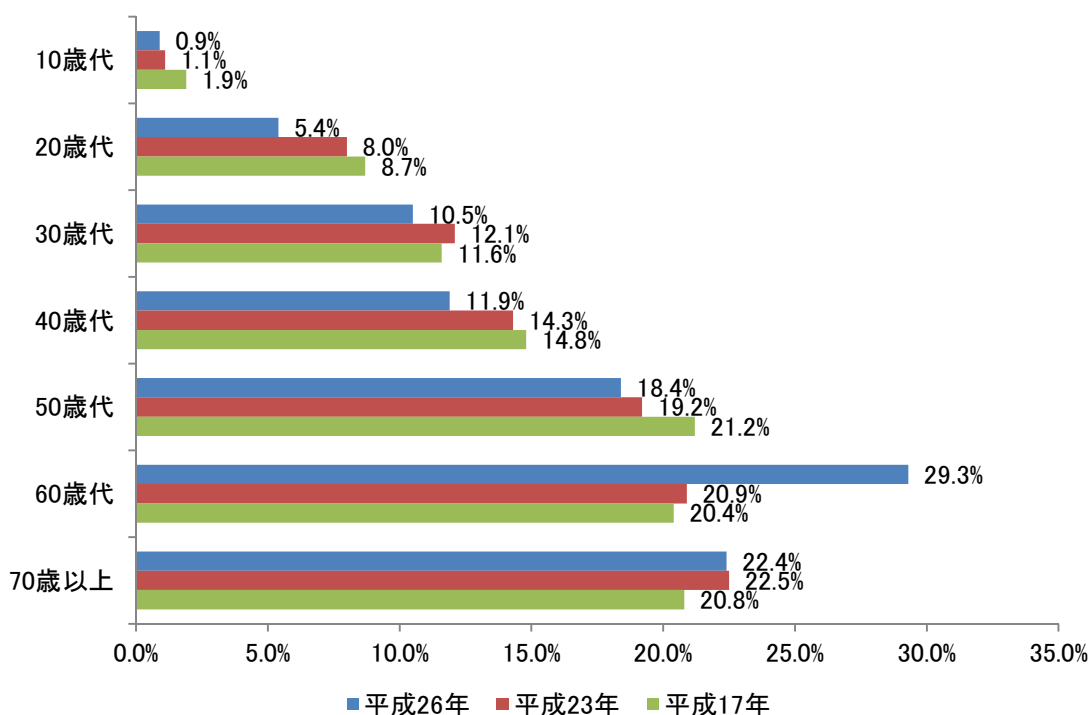
問2 あなたの年齢をお書きください。

年齢構成は、「25歳以上30歳未満」が9.3%と最も多く、「35歳以上40歳未満」が9.2%、「45歳以上50歳未満」が8.5%と続いています。



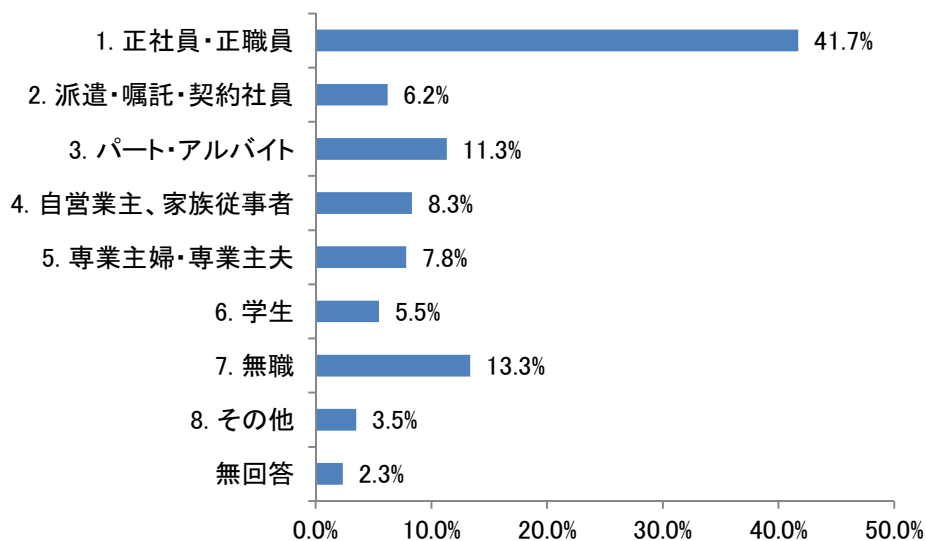
有効回答数=1,627

<前回調査時の結果>



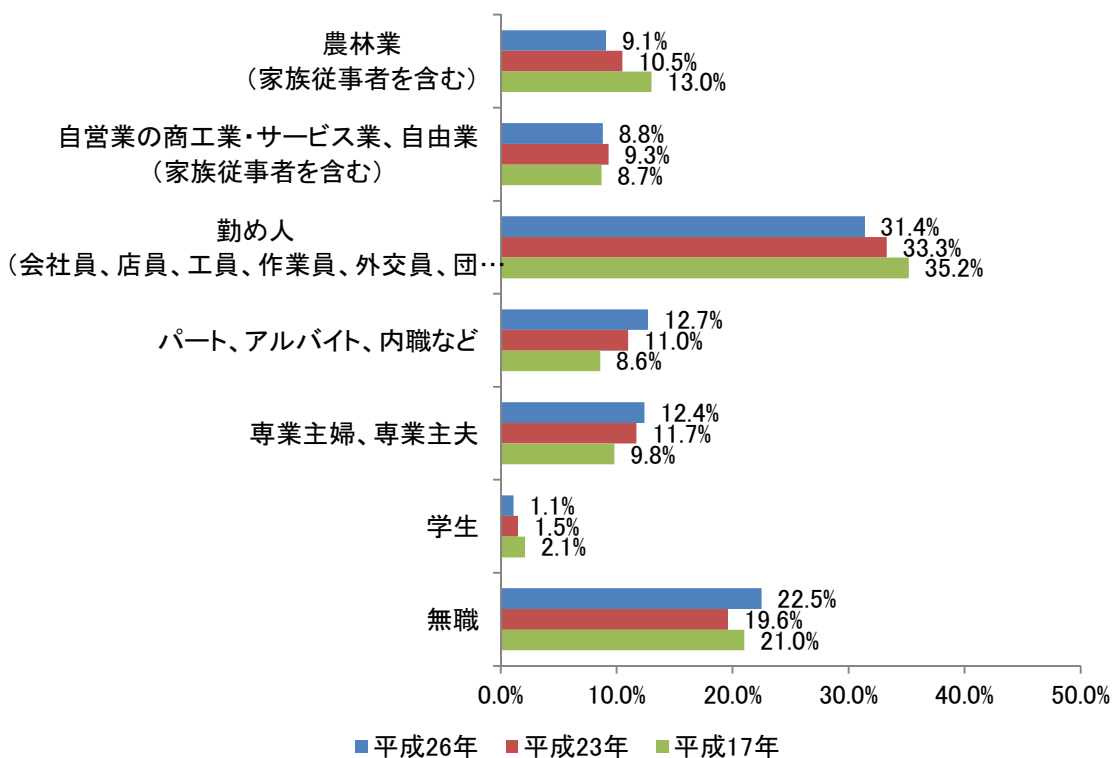
問3 あなたの就労状況を教えてください。(1つ選択)

職業は、「正社員・正職員」が41.7%と最も多く、「無職」が13.3%、「パート・アルバイト」が11.3%と続いています。



有効回答数=1,626

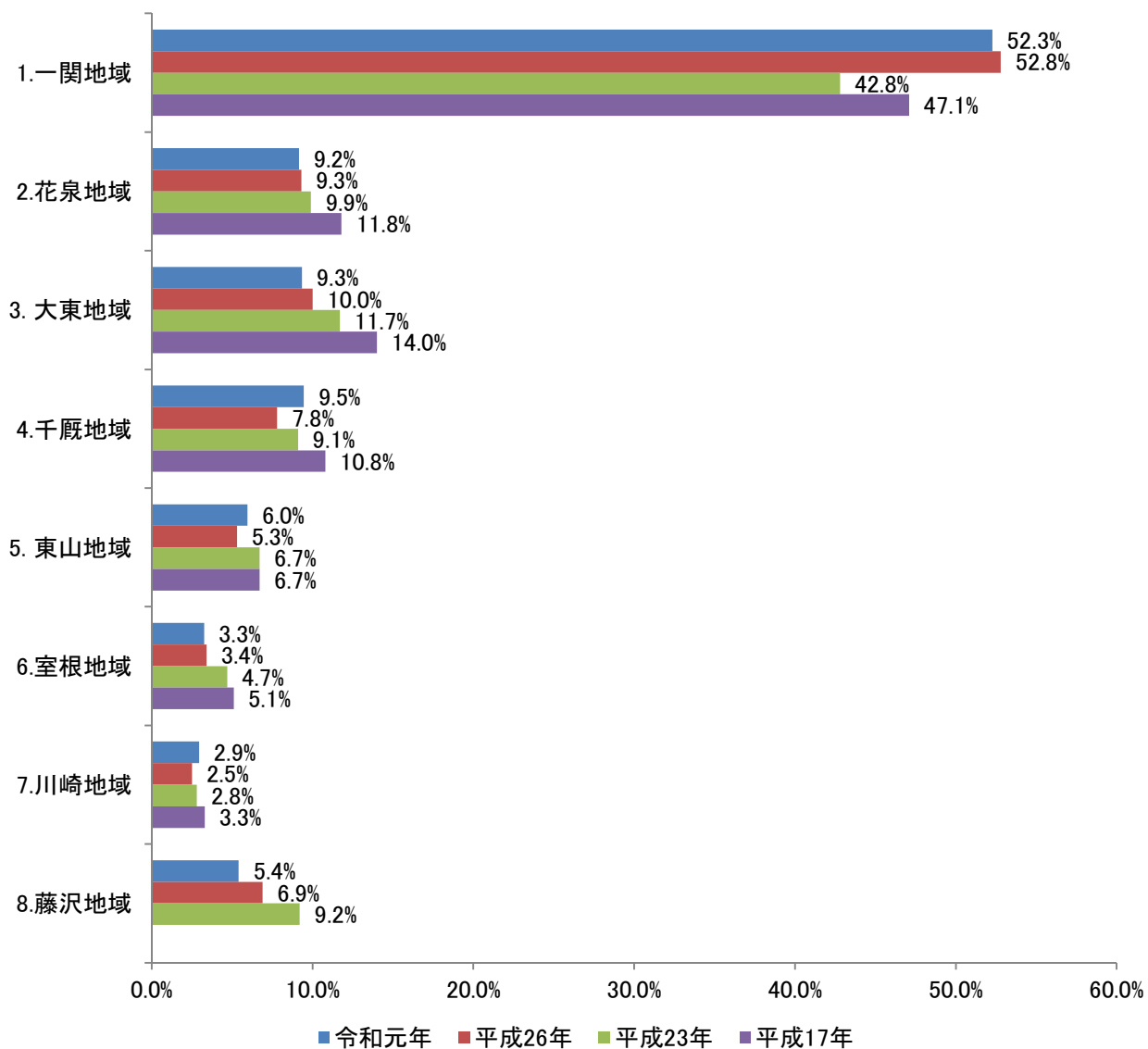
<前回調査時の結果>



問5 現在お住まいになられている地域を教えてください。(1つ選択)

居住地域は「一関地域」が52.3%と最も多く、「千厩地域」が9.5%、「大東地域」が9.3%と続いています。

前回調査時と同様に「一関地域」が最も高い割合を示しています。「千厩地域」の割合が増加している一方、「藤沢地域」の割合は減少しています。他の地域はほぼ横ばいとなっています。

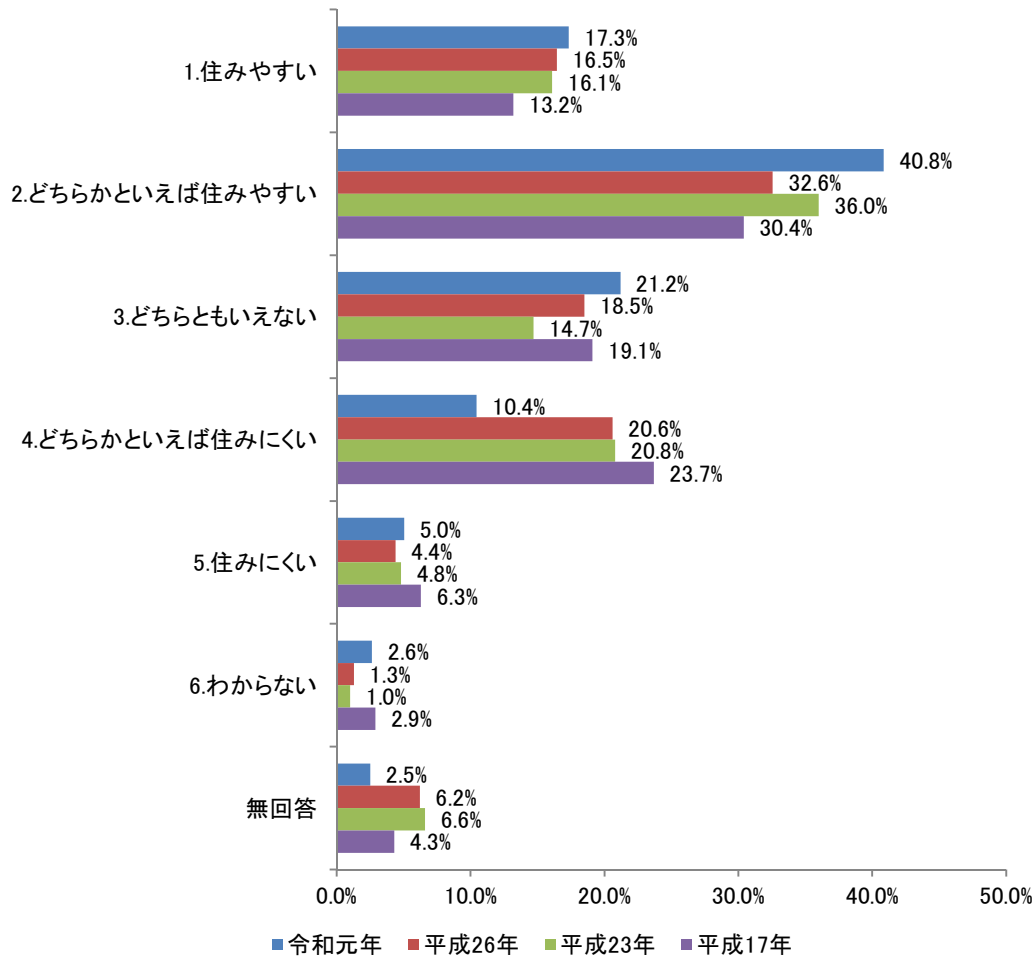


有効回答数=1,628

問6 あなたは、一関市の住みやすさについて、どのように感じていますか。(1つ選択)

「どちらかといえば住みやすい」が40.8%と最も多く、「どちらとも言えない」が21.2%、「住みやすい」が17.3%と続いています。

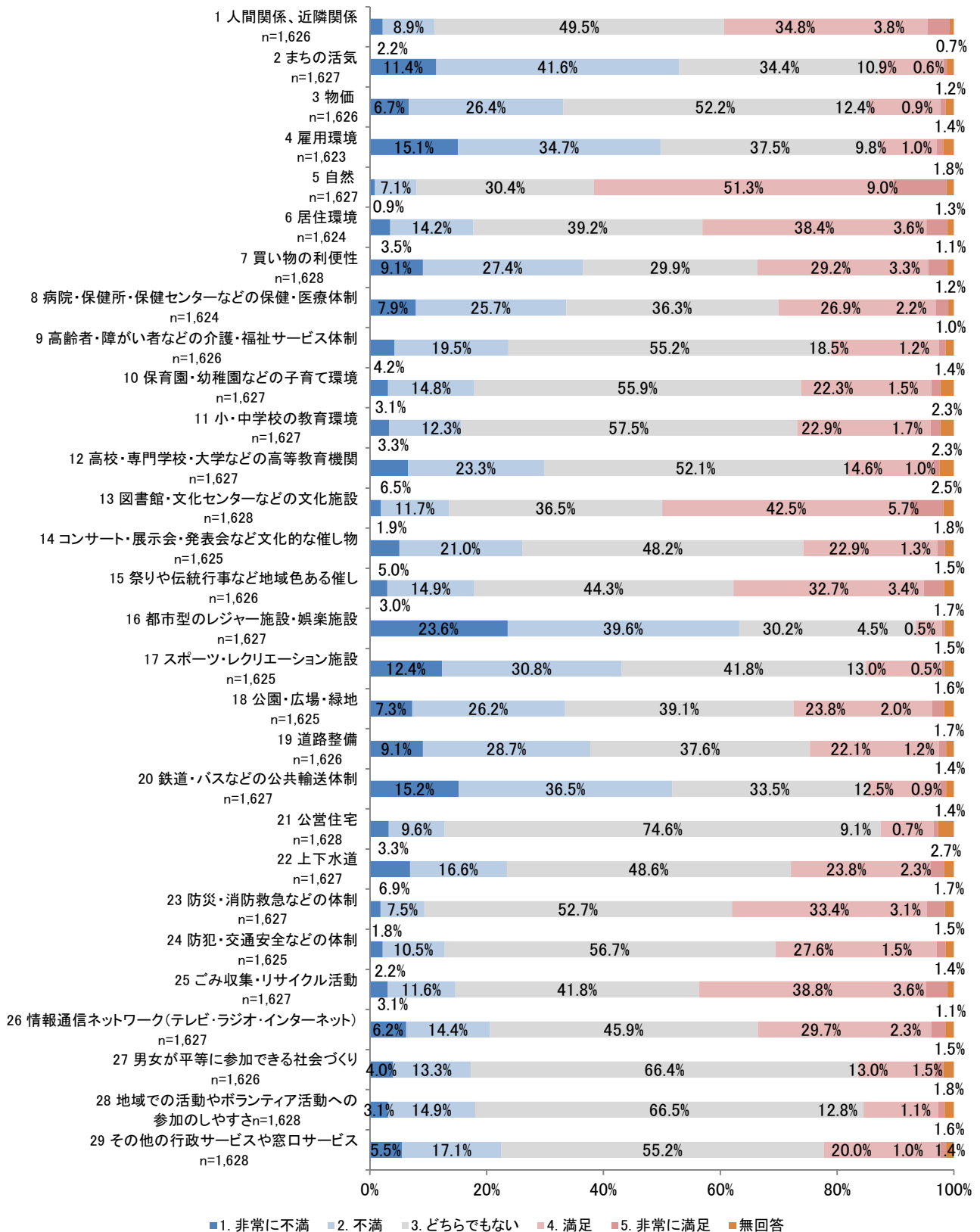
前回調査時と比較すると、「どちらかといえば住みやすい」の割合が増加し、「どちらかといえば住みにくい」の割合が減少しています。



有効回答数=1,628

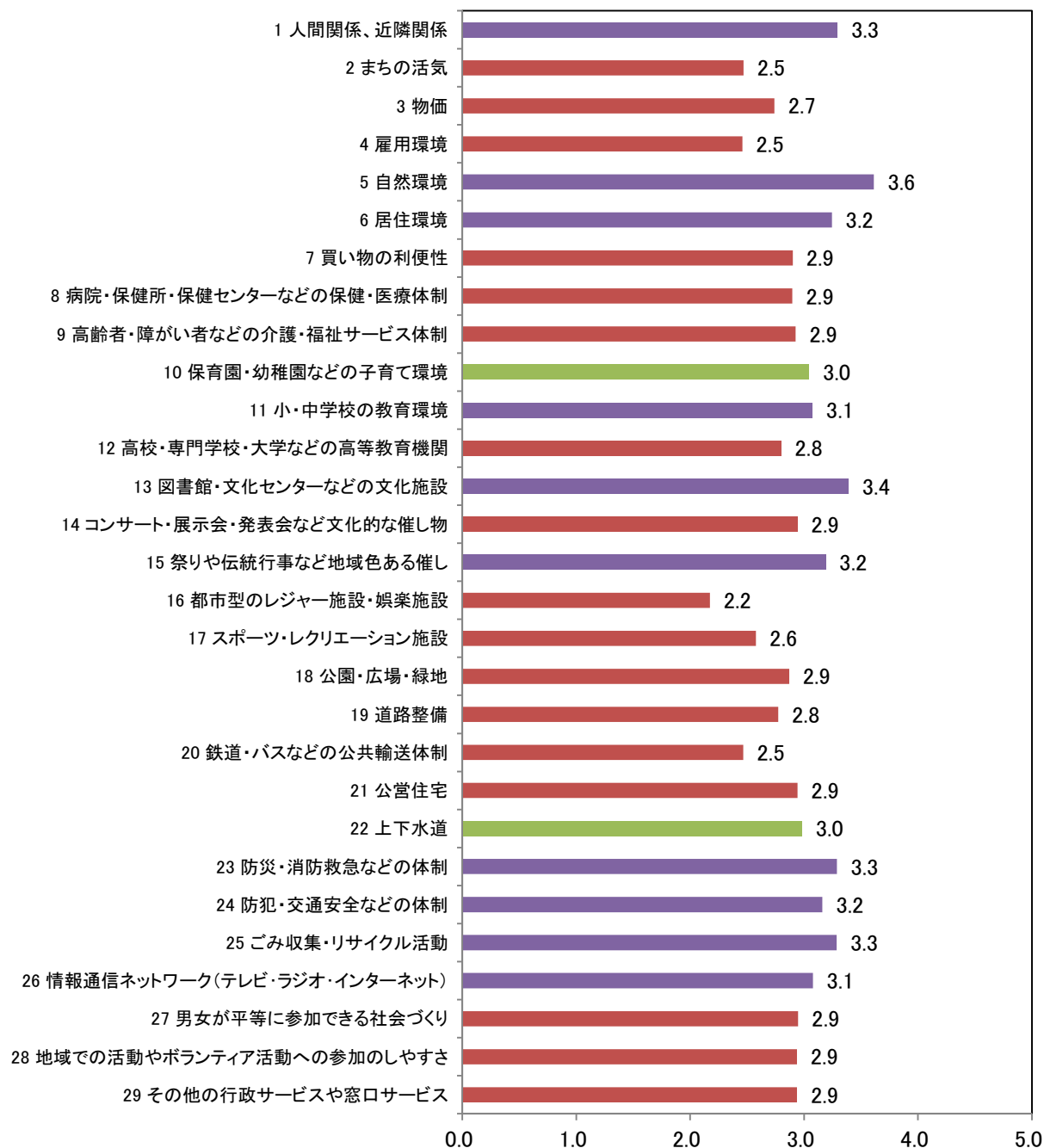
◆一関市の生活環境についての満足度に関する設問

問7 あなたは一関市の生活環境について、どのように感じていますか。項目ごとに1「非常に不満」～5「非常に満足」の5段階評価のうち、あてはまる番号を1つ選択してください。



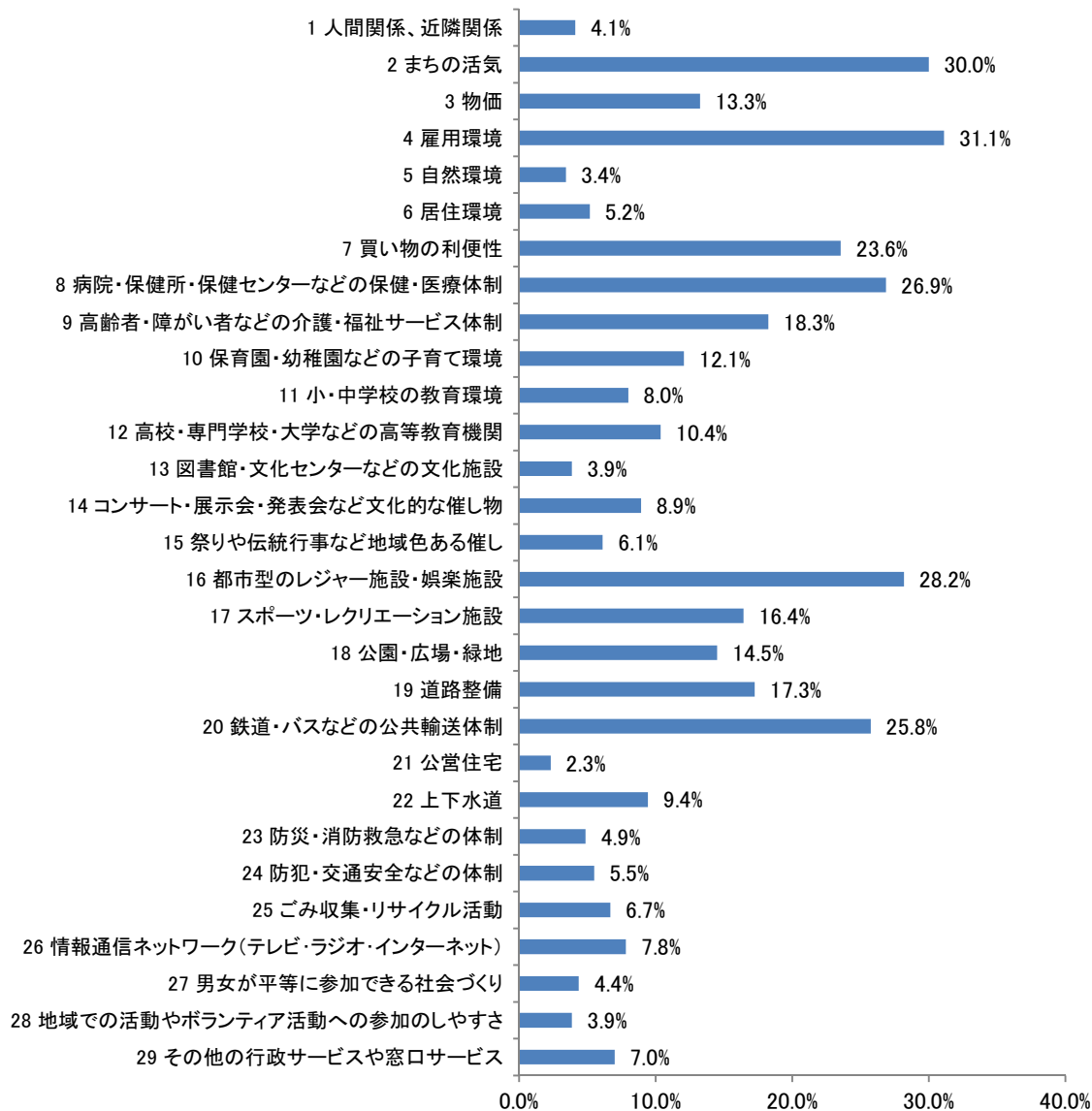
各項目の満足度の5段階評定の平均値（評定平均）による比較

「自然環境」が3.6と最も高く、「図書館・文化センターなどの文化施設」が3.4、「人間関係、近隣関係」が3.3と続いています。また「都市のレジャー施設・娯楽施設」が2.2と最も低く、「まちの活気」と「雇用環境」、「鉄道・バスなどの公共輸送体制」が2.5と続いています。



問8 問7で記載した1から29までの項目のうち、もっと充実してほしいものはどれですか。項目の番号をお選びください。(あてはまるもの5つまで選択)

「雇用環境」が31.1%と最も多く、「まちの活気」が30.0%、「都市型のレジャー施設・娯楽施設」が28.2%と続いています。

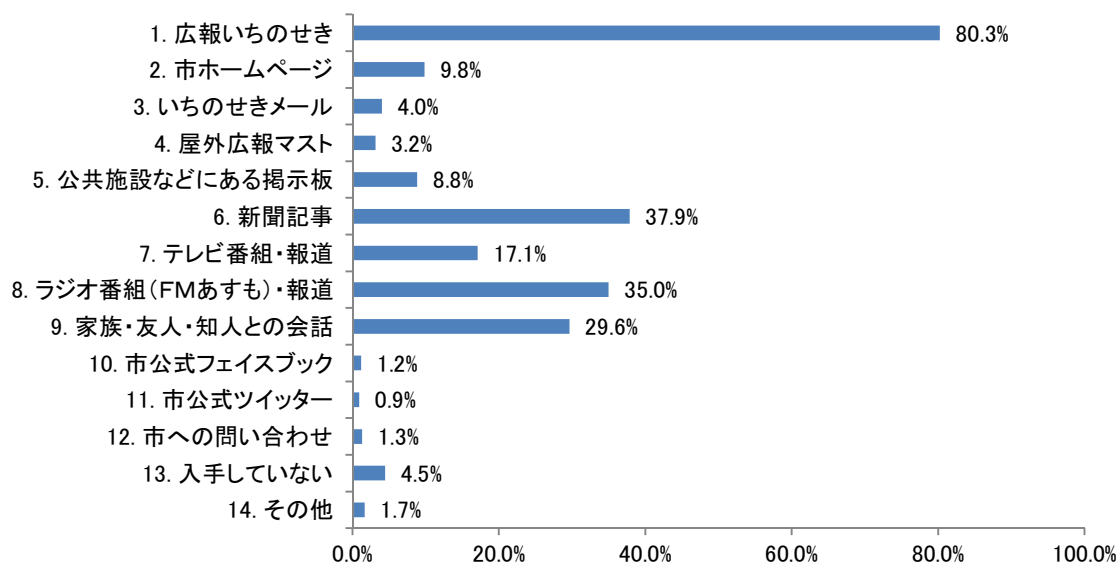


有効回答数=1,600

※複数回答のため、合計は100%にならない

問9 市からの情報は主に何で入手していますか。(あてはまるもの3つまで選択)

「広報いちのせき」が80.3%と最も多く、「新聞記事」が37.9%、「ラジオ番組（FMあすも）・報道」が35.0%と続いています。

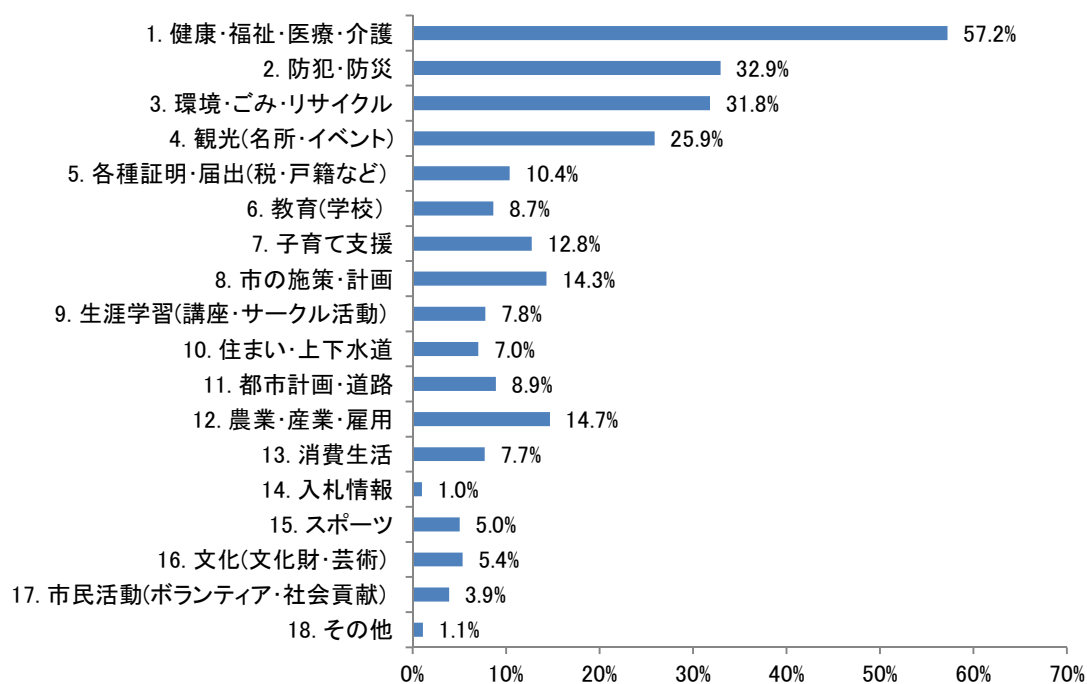


有効回答数=1,606

※複数回答のため、合計は100%にならない

問 11 市からの情報は主にどのようなものを必要としていますか。(あてはまるもの3つまで選択)

「健康・福祉・医療・介護」が57.2%と最も多く、「防犯・防災」が32.9%、「環境・ごみ・リサイクル」が31.8%と続いています。

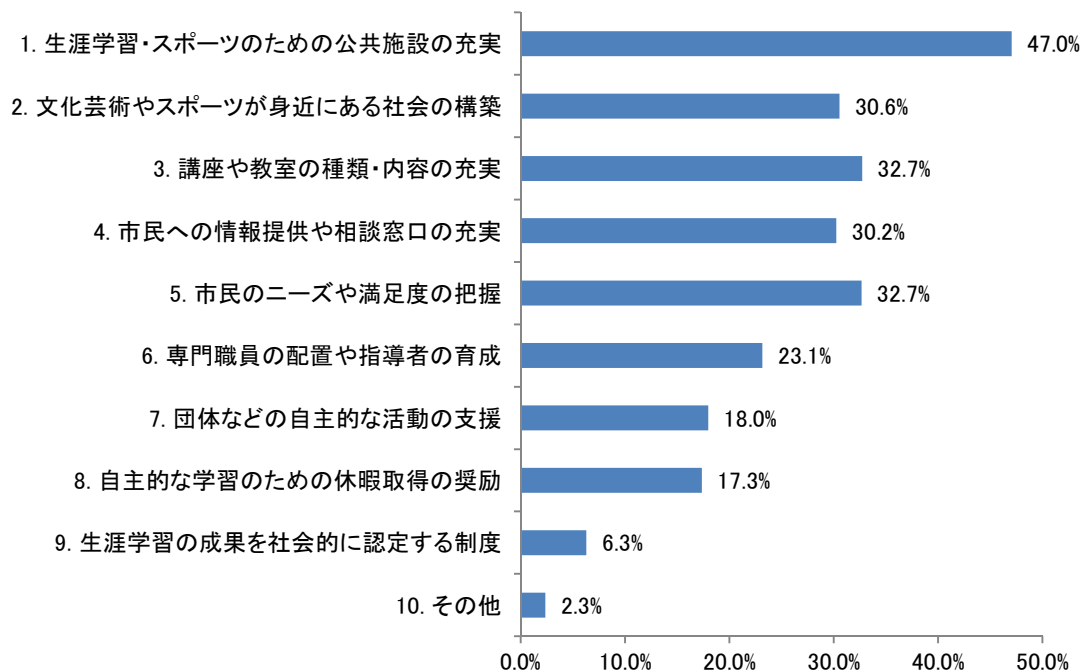


有効回答数=1,606

※複数回答のため、合計は100%にならない

問 13 幅広い年齢層に対して生涯学習・スポーツへの参加を推進するためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるもの3つまで選択)

「生涯学習・スポーツのための公共施設の充実」が47.0%と最も多く、「講座や教室の種類・内容の充実」と「市民のニーズや満足度の把握」が32.7%と続いています。



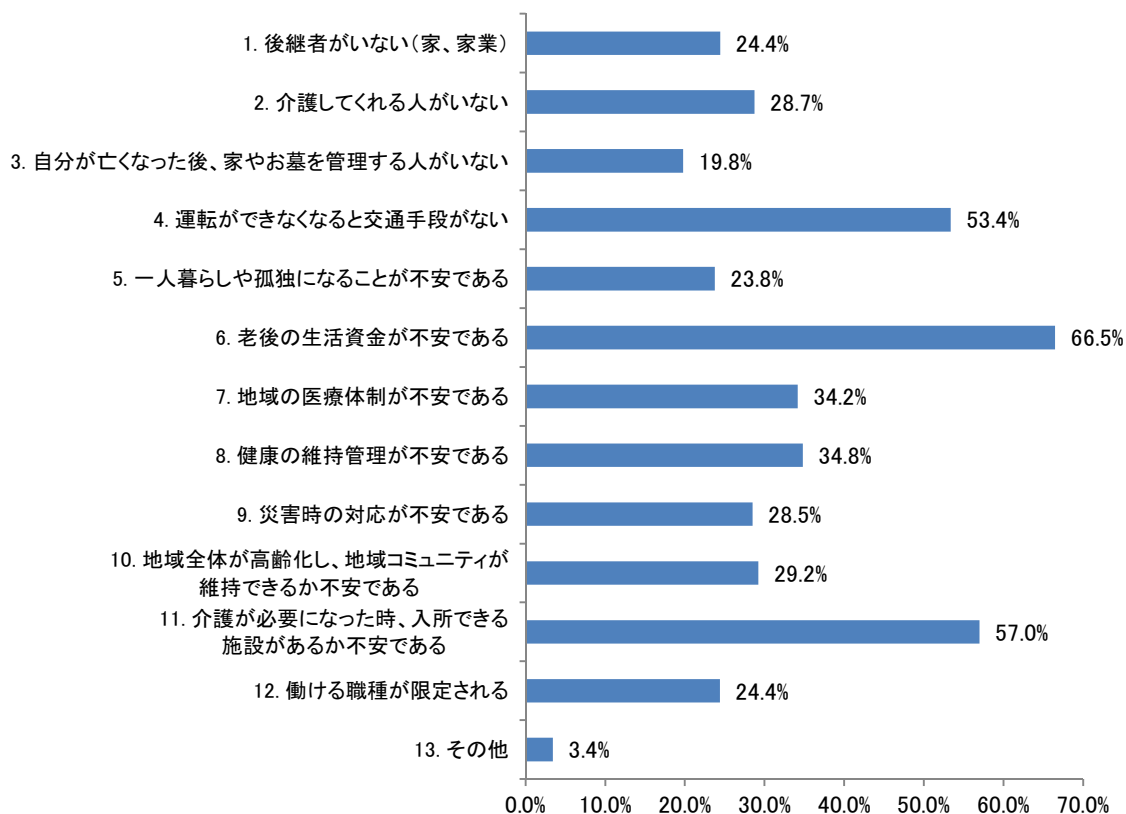
有効回答数=1,620

※複数回答のため、合計は100%にならない

問 15 高齢化社会が進行する中であなたが不安に思っていること、困っていることは何ですか。(あてはまるものすべて選択)

「老後の生活資金が不安である」が66.5%と最も多く、「介護が必要になった時、入所できる施設があるか不安である」が57.0%、「運転ができなくなると交通手段がない」が53.4%と続いています。

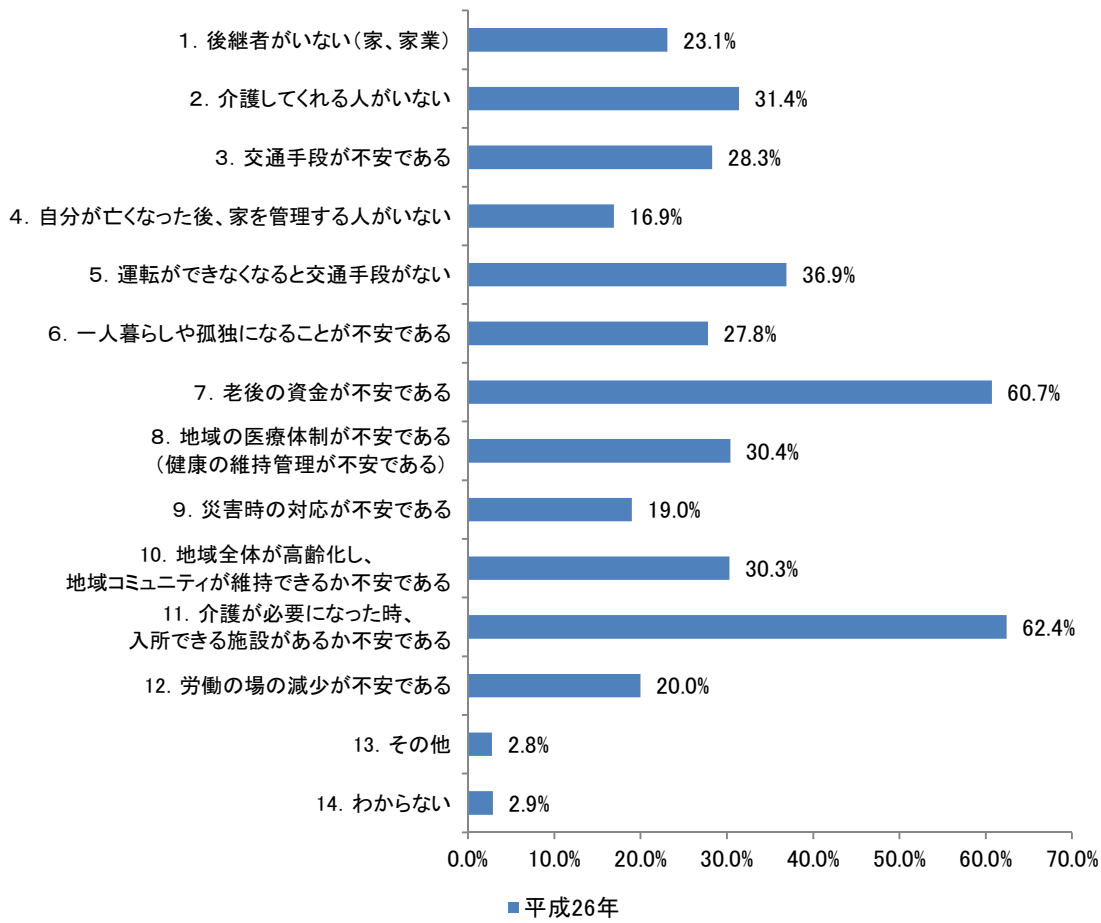
前回調査時と比較すると、「老後の生活資金が不安である」の順位が上がり、「介護が必要になった時、入所できる施設があるか不安である」の順位が下がっています。



有効回答数=1,628

※複数回答のため、合計は100%にならない

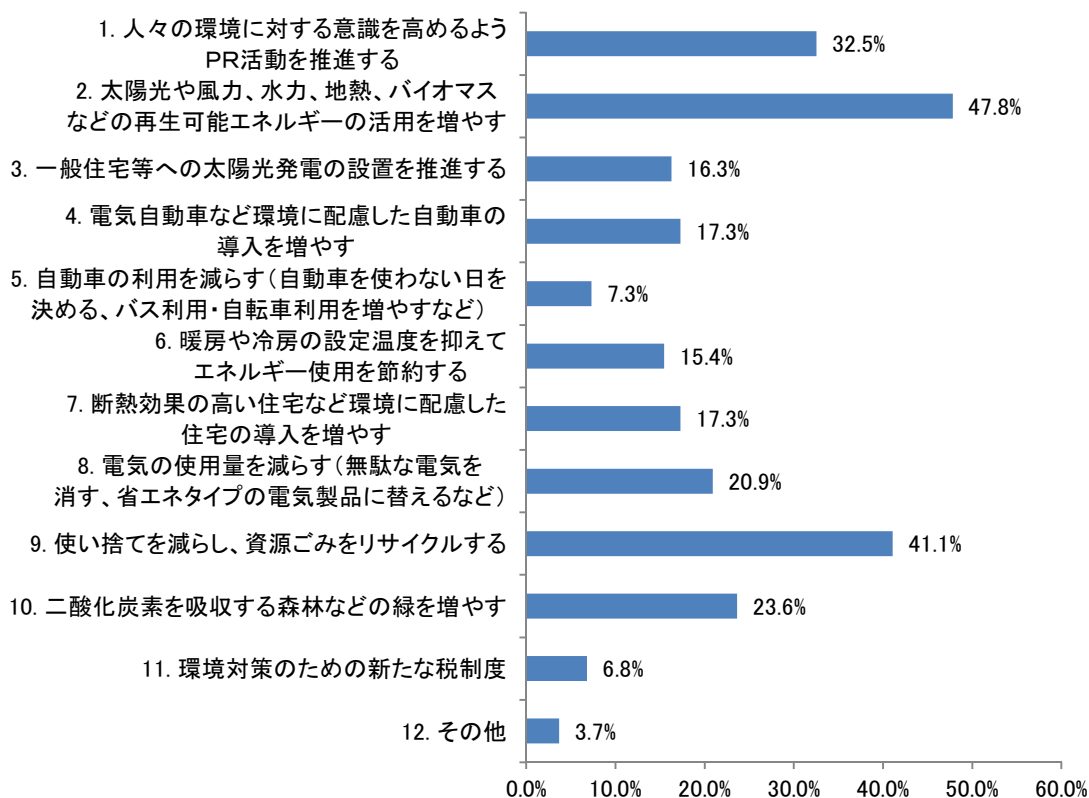
< 前回調査時の結果 >



問 17 地球温暖化が深刻な環境問題となっています。温暖化を防止するために行政や市民、事業所ではどのような取り組みを進めることが必要だと考えますか。特に重要だと思うものをお選びください。(あてはまるもの3つまで選択)

「太陽光や風力、水力、地熱、バイオマスなどの再生可能エネルギーの活用を増やす」が47.8%と最も多く、「使い捨てを減らし、資源ごみをリサイクルする」が41.1%と続いています。

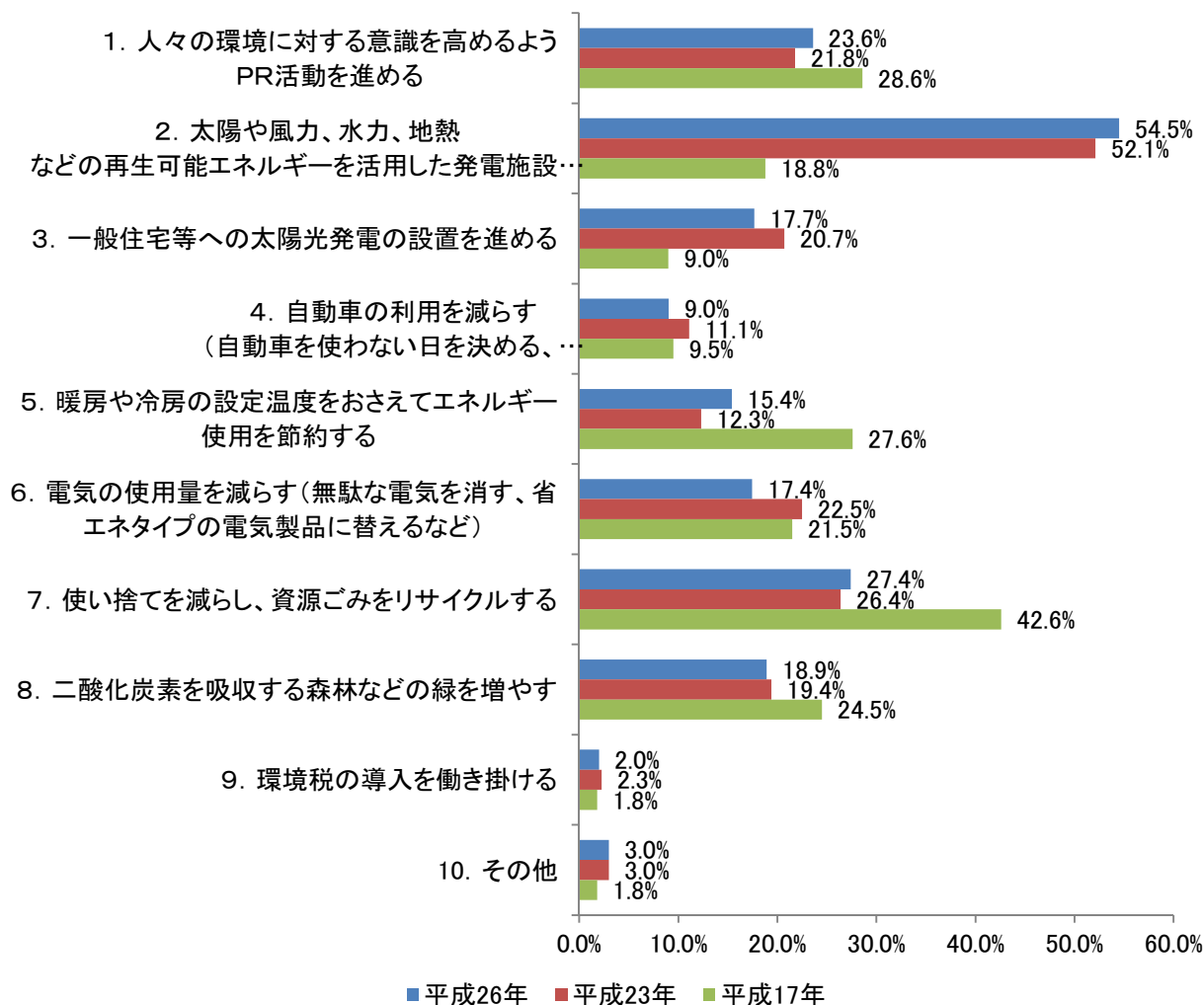
前回調査時と同様に「太陽光や風力、水力、地熱、バイオマスなどの再生可能エネルギーの活用を増やす」が最も高い割合を示しています。



有効回答数=1,573

※複数回答のため、合計は100%にならない

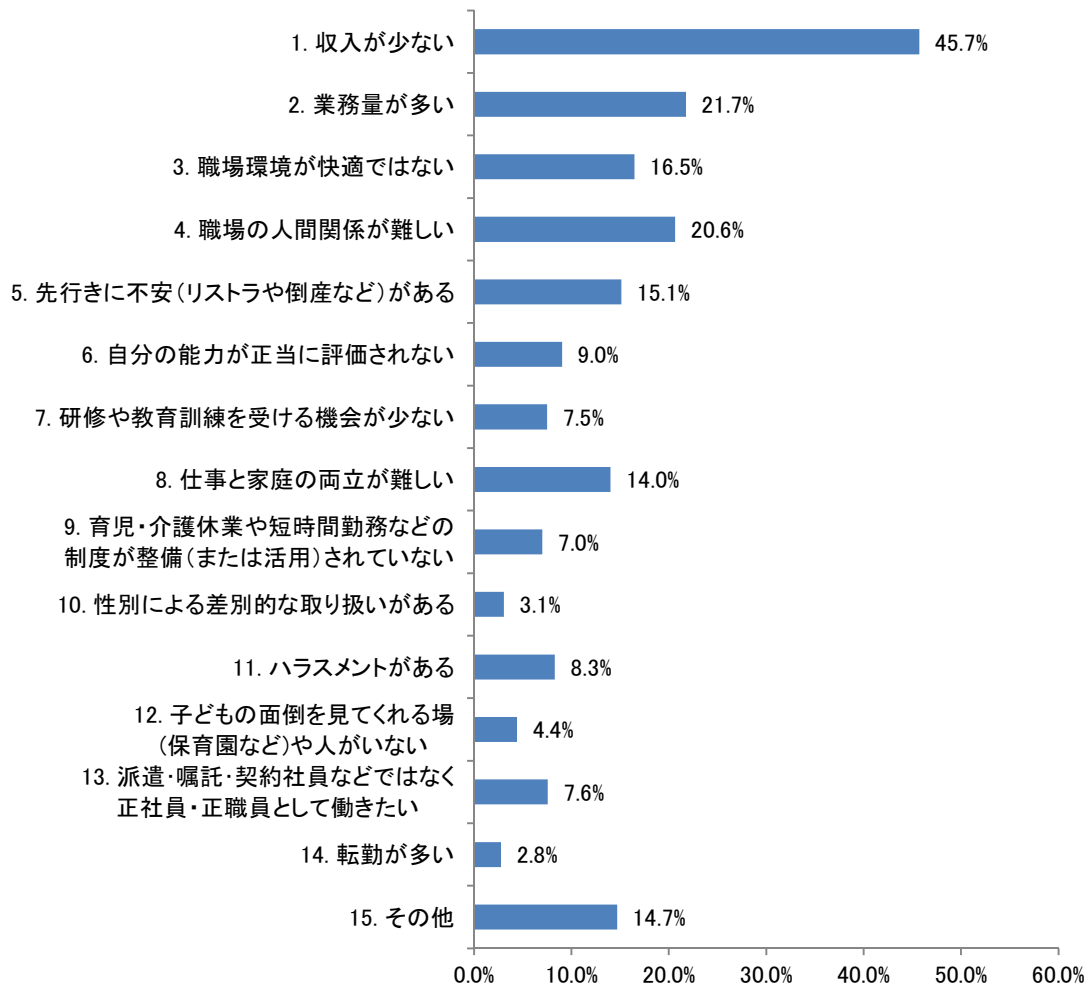
<前回調査時の結果>



問 19 あなたは働いている環境に不満や悩みがありますか。(あてはまるものすべて選択)

「収入が少ない」が 45.7%と最も多く、「業務量が多い」が 21.7%、「職場の人間関係が難しい」が 20.6%と続いています。

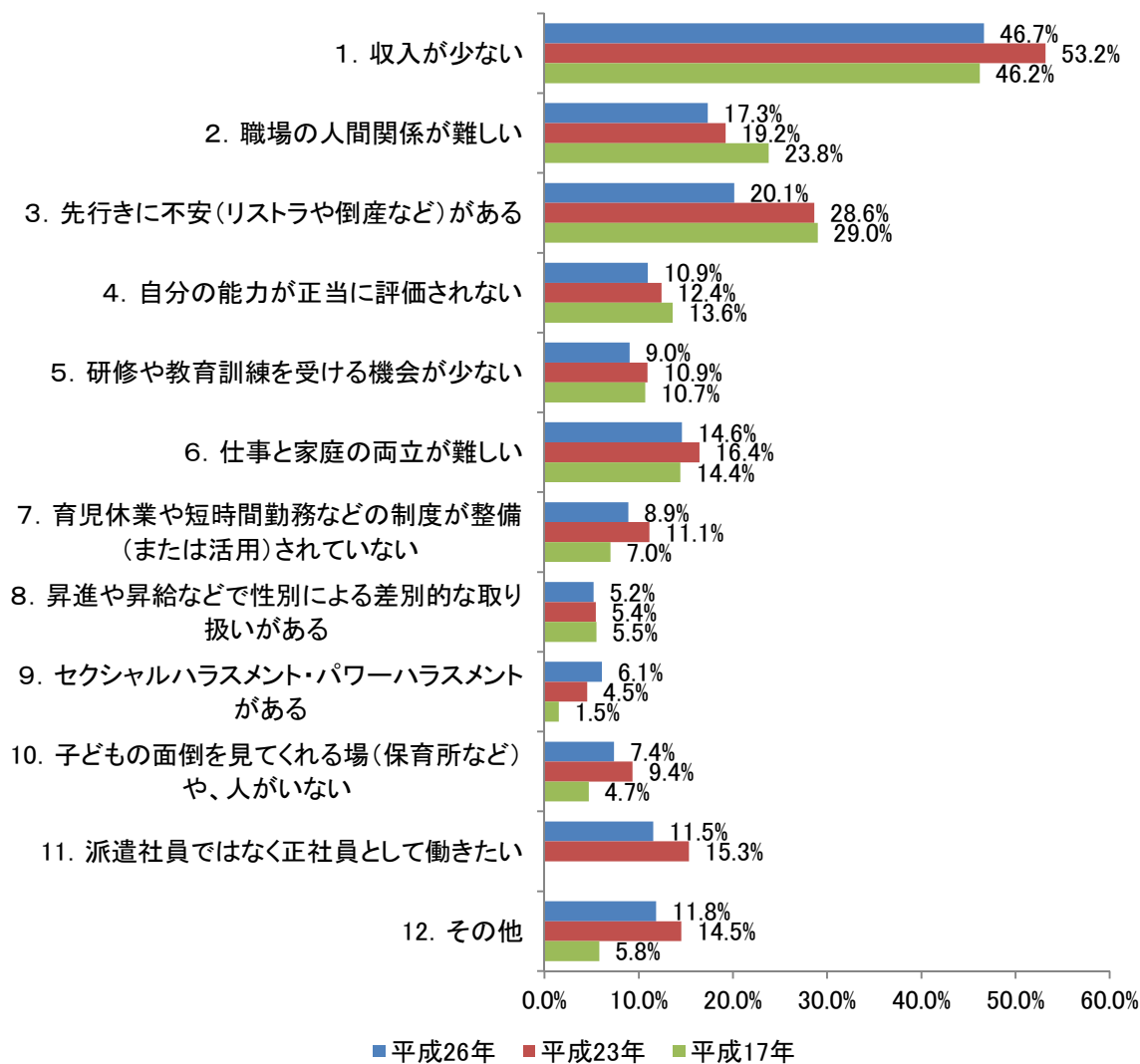
前回調査時と同様に「収入が少ない」が最も高い割合を示しています。



有効回答数=1,628

※複数回答のため、合計は100%にならない

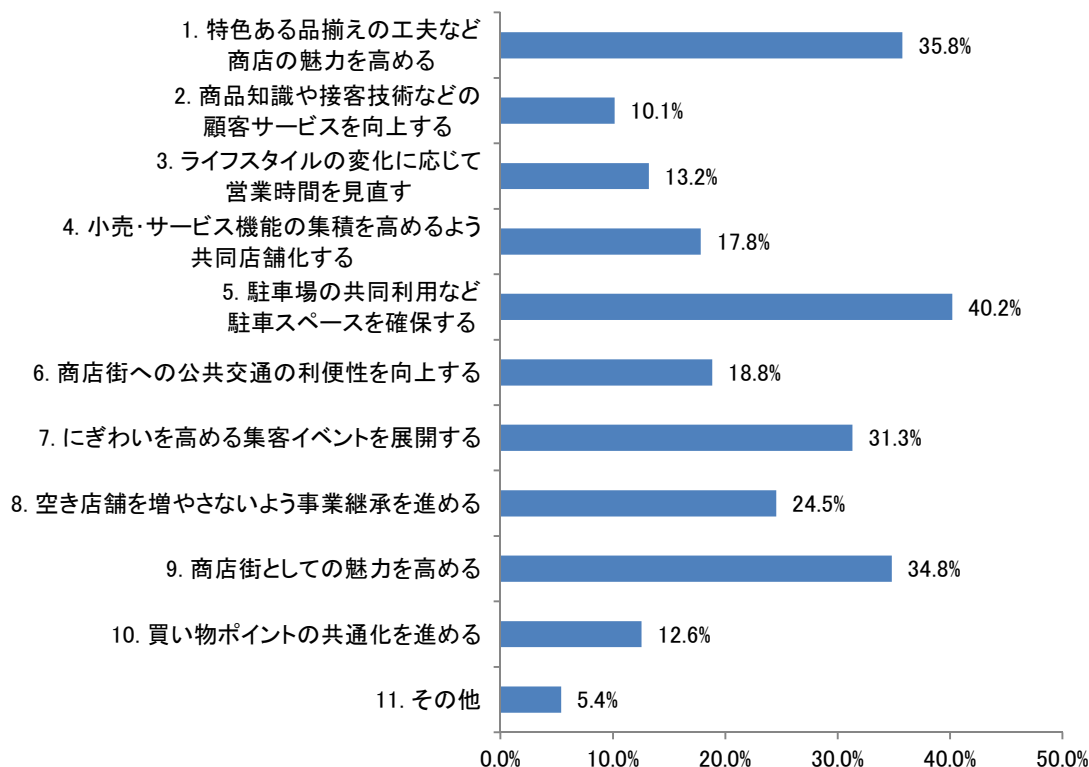
<前回調査時の結果>



問 21 市内の各地域の既存商店街が活性化するためには、どのようなことが必要でしょうか。次の中から特に効果が期待されるものをお選びください。(あてはまるもの3つまで選択)

「駐車場の共同利用など駐車スペースを確保する」が40.2%と最も多く、「特色ある品揃えの工夫など商店の魅力高める」が35.8%、「商店街としての魅力高める」が34.8%と続いています。

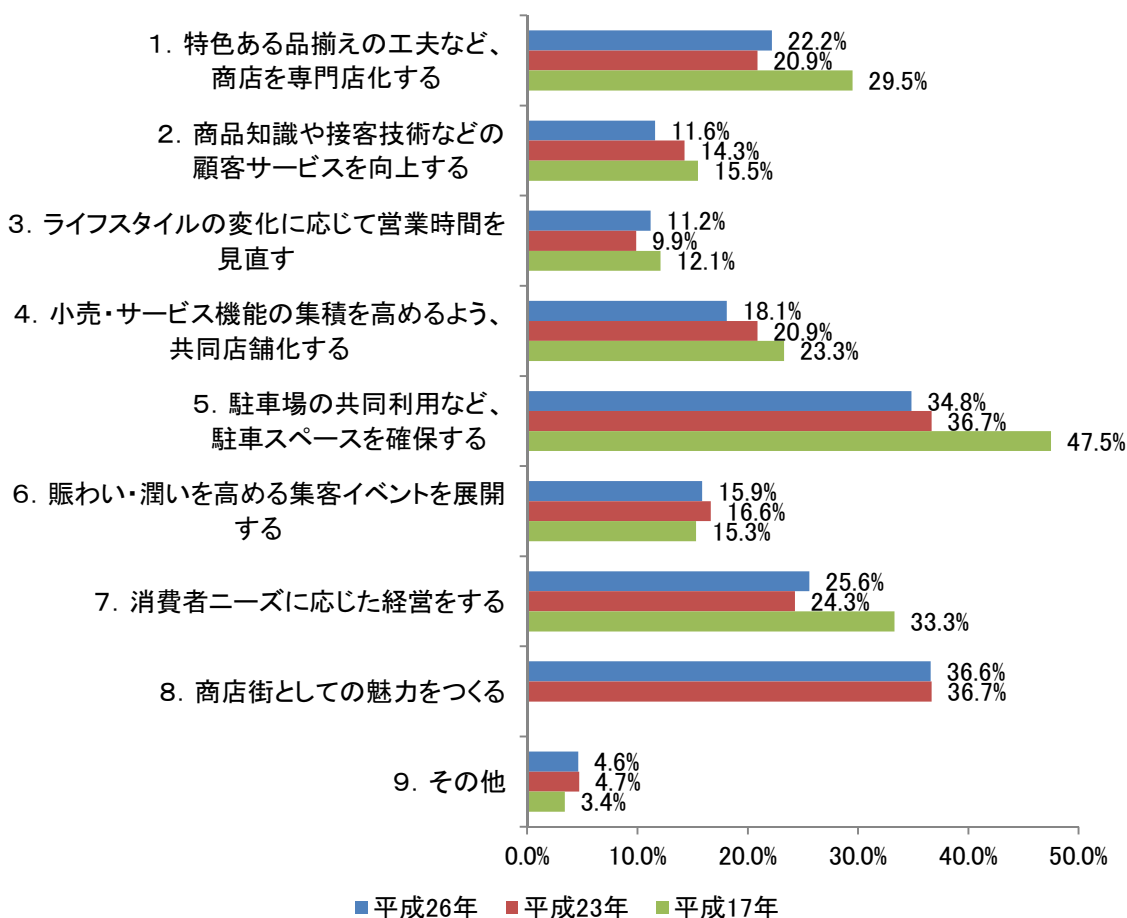
前回調査時と同様に「駐車場の共同利用など駐車スペースを確保する」が最も高い割合を示しています。



有効回答数=1,577

※複数回答のため、合計は100%にならない

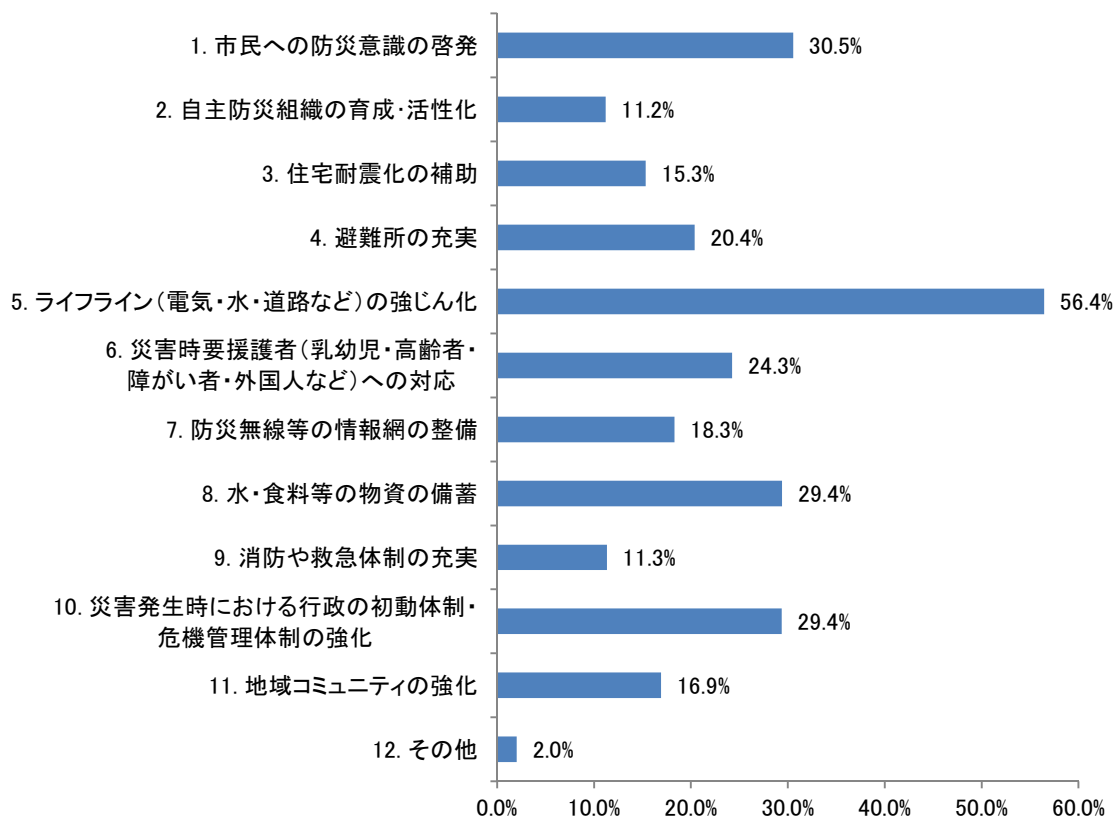
<前回調査時結果>



問 23 災害に強いまちづくりに向け、どのような取り組みを進めることが必要だと考えますか。特に重要だと思うものをお選びください。(あてはまるもの3つまで選択)

「ライフライン(電気・水・道路など)の強じん化」が56.4%と最も多く、「市民への防災意識の啓発」が30.5%、「水・食料等の物資の備蓄」が29.4%と続いています。

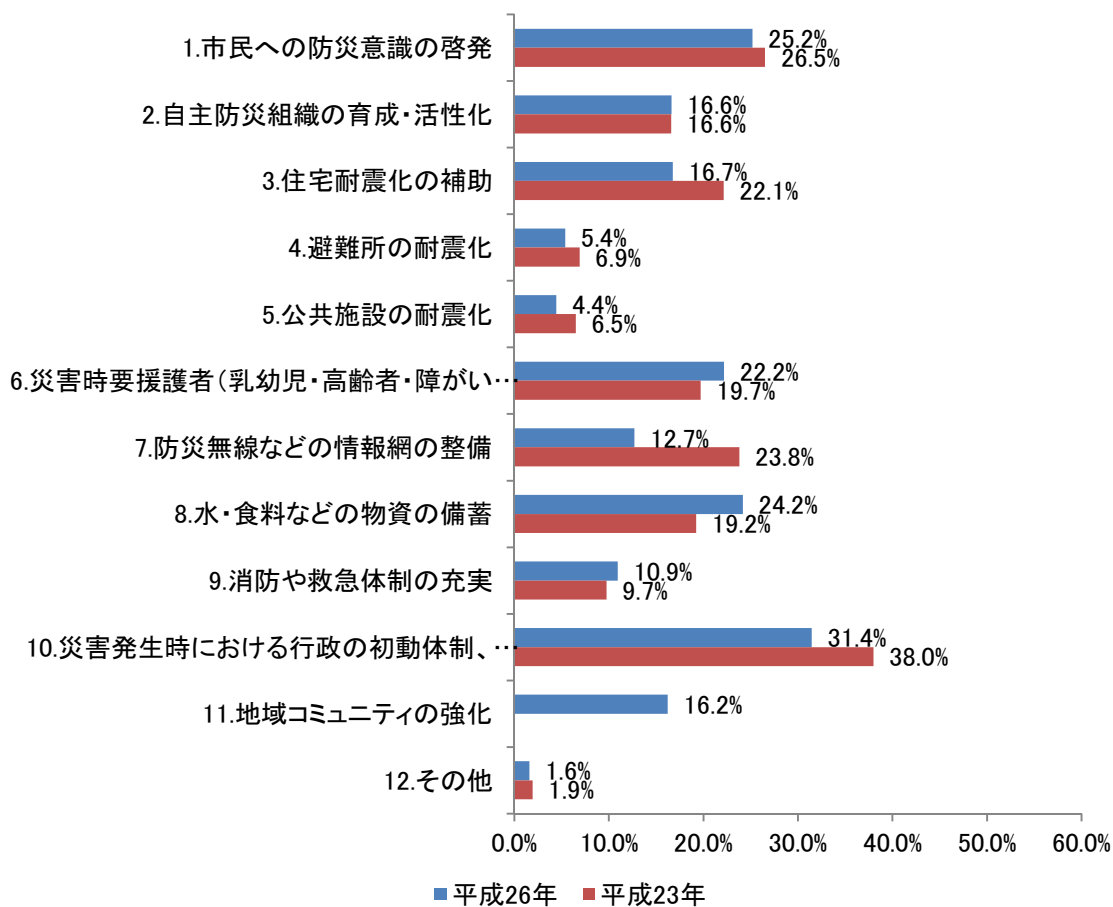
前回調査時と比較すると、「災害発生時における行政の初動体制・危機管理体制の強化」の順位が下がり、新設した項目の「ライフライン(電気・水・道路など)の強じん化」の割合が最も多くなっています。



有効回答数=1,591

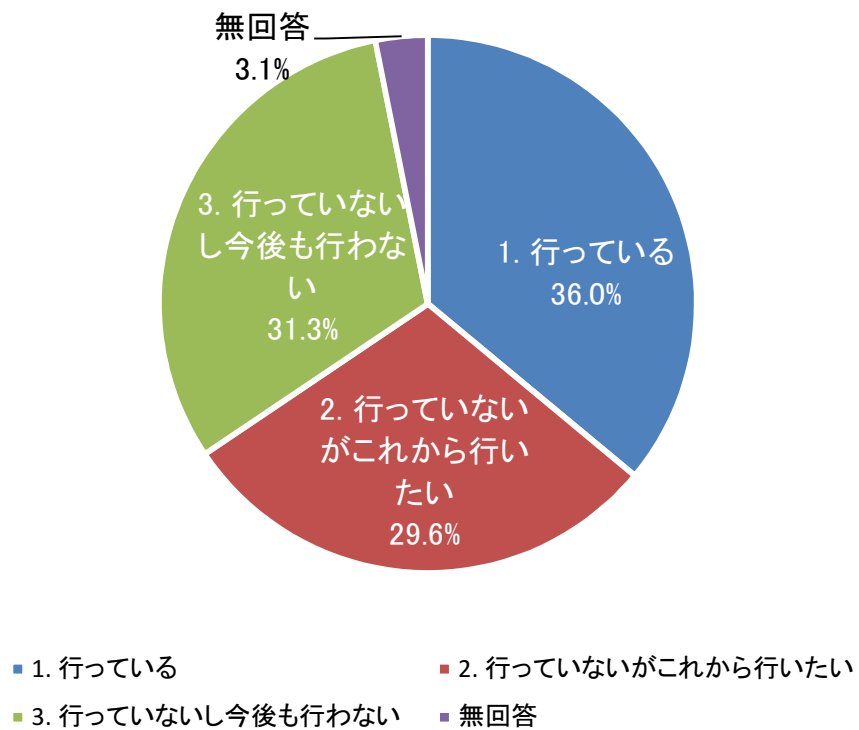
※複数回答のため、合計は100%にならない

<前回調査時の結果>



問 25 あなたは地域での活動やボランティア活動を行っていますか。(1つ選択)

「行っている」が36.0%、「行っていないがこれから行いたい」が29.6%、「行っていないし今後も行わない」が31.3%となっています。



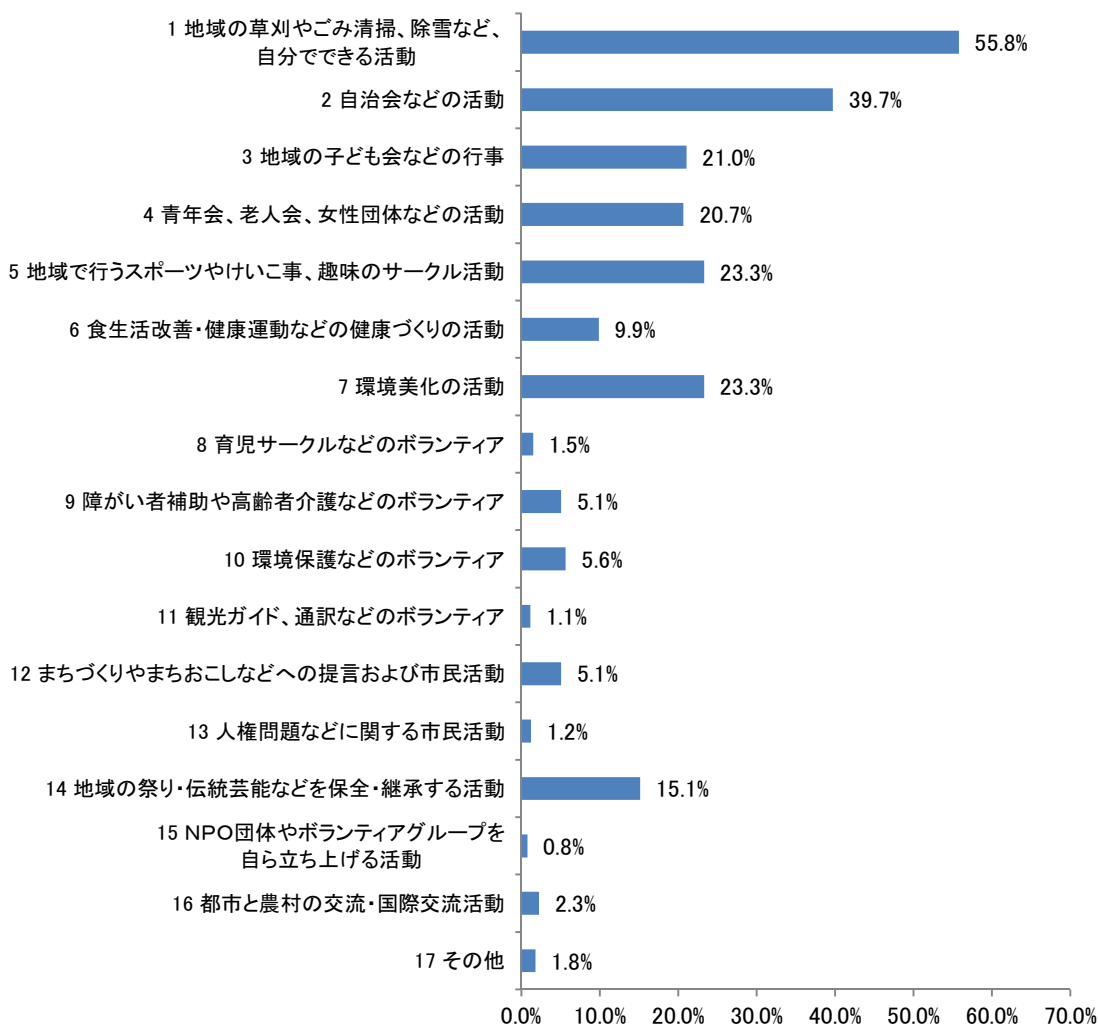
有効回答数=1,624

問 26 問 25 で「1. 行っている」または「2. 行っていないがこれから行いたい」を選んだ方にうかがいます。その地域での活動やボランティア活動はどのような活動ですか。また、これから活動してみたいのはどの活動ですか。それぞれお選びください。(あてはまるものすべて選択)

1. 現在行っている活動

「地域の草刈やごみ清掃、除雪など、自分でできる活動」が 55.8%と最も多く、「自治会などの活動」が 39.7%、「地域で行うスポーツやけいこ事、趣味のサークル活動」、「環境美化の活動」が 23.3%と続いています。

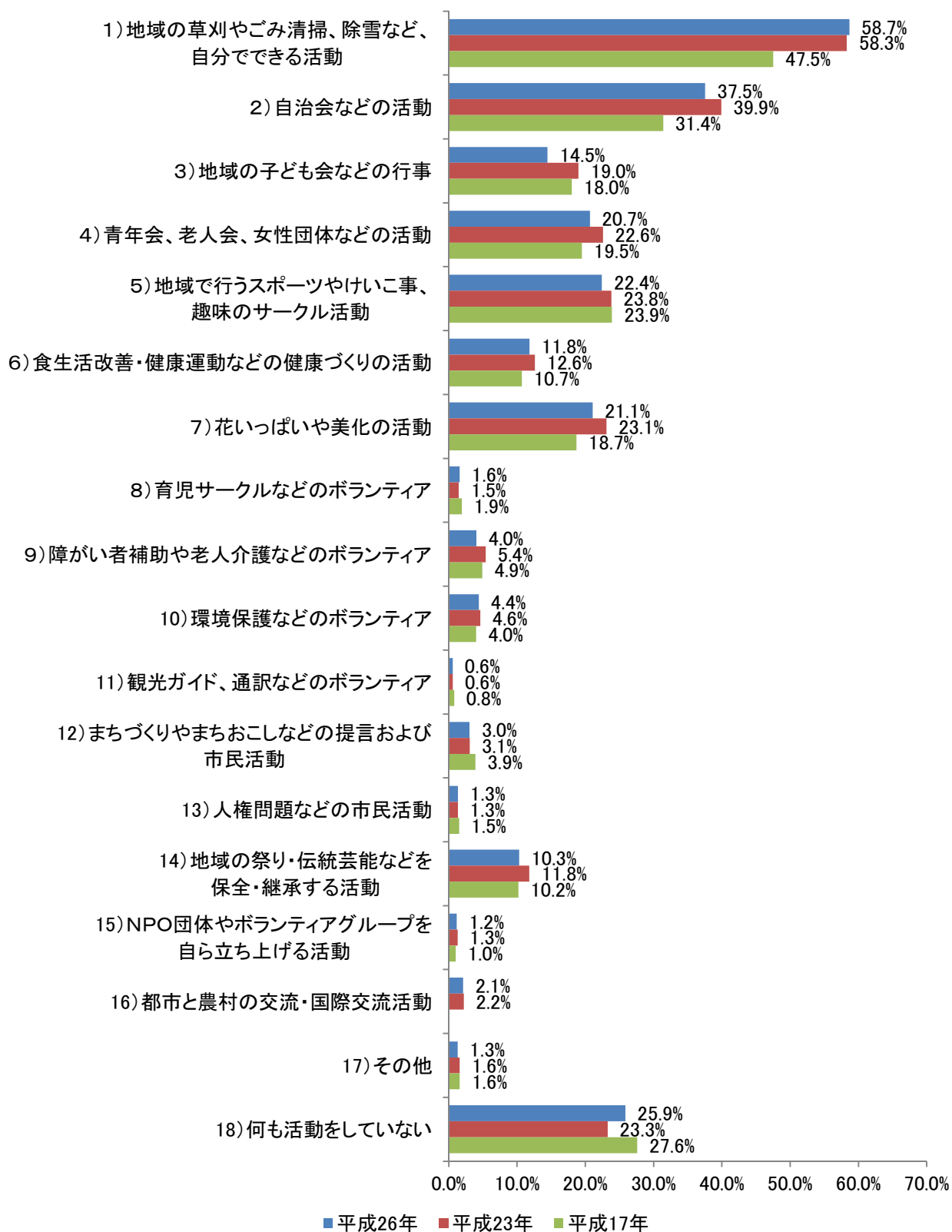
前回調査時と同様に「地域の草刈やごみ清掃、除雪など、自分でできる活動」が最も高い割合を示しています。



有効回答数=1,065

※複数回答のため、合計は100%にならない

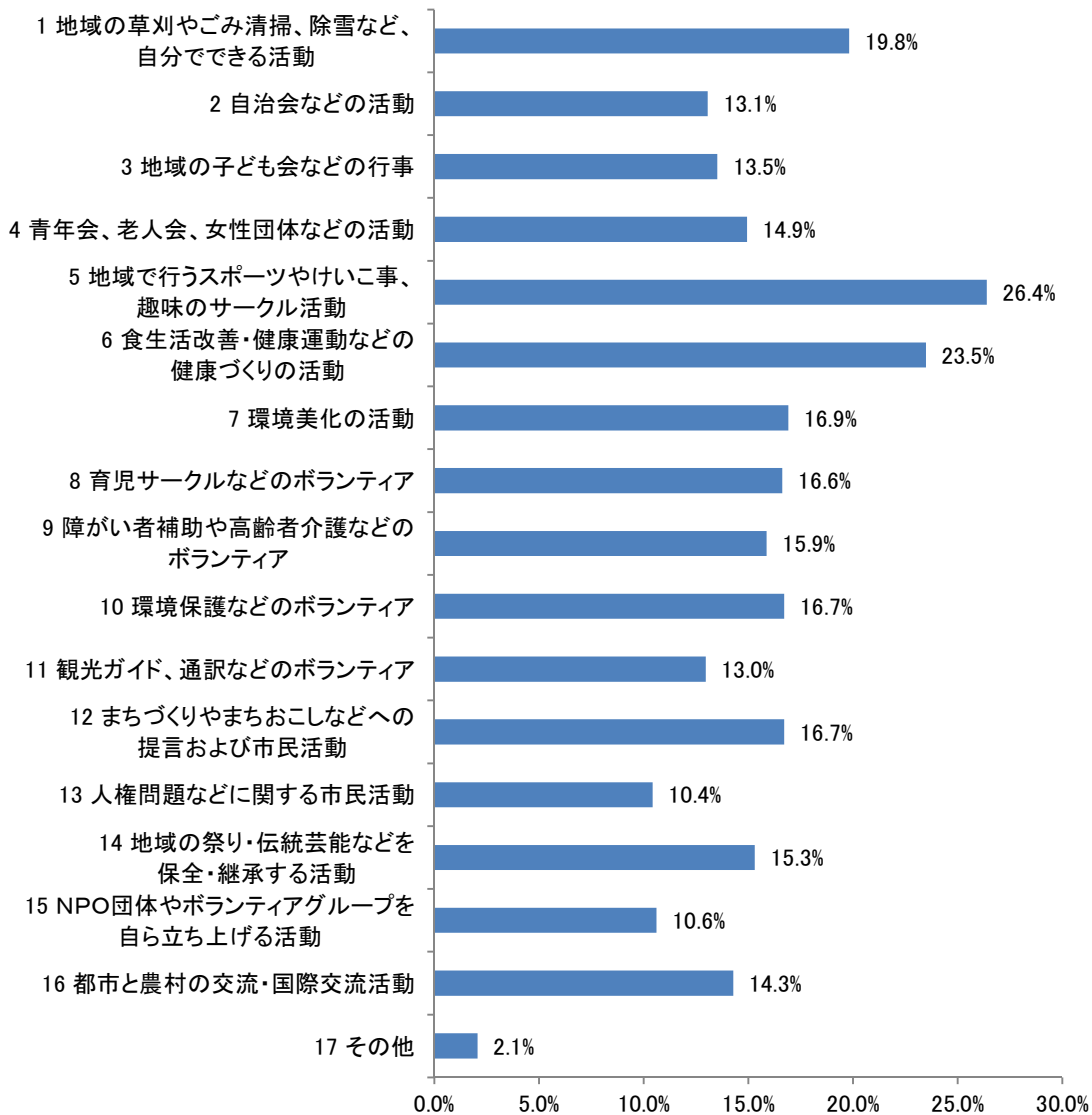
<前回調査結果との比較>



2. これから行いたい活動

「地域で行うスポーツやけいこ事、趣味のサークル活動」が26.4%と最も多く、「食生活改善・健康運動などの健康づくりの活動」が23.5%、「地域の草刈やごみ清掃、除雪など、自分でできる活動」が19.8%と続いています。

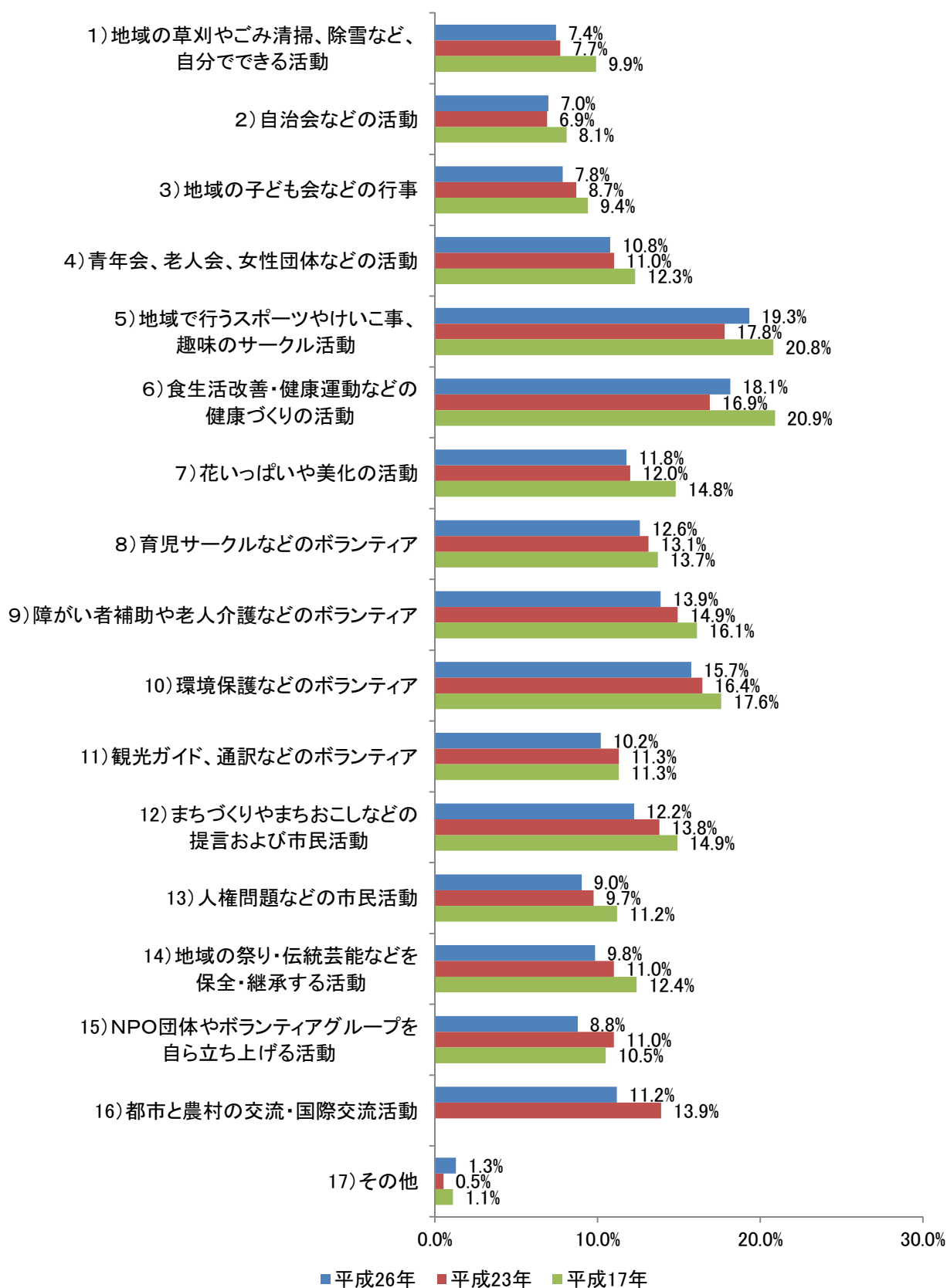
前回調査時と同様に「地域で行うスポーツやけいこ事、趣味のサークル活動」が最も高い割合を示しています。



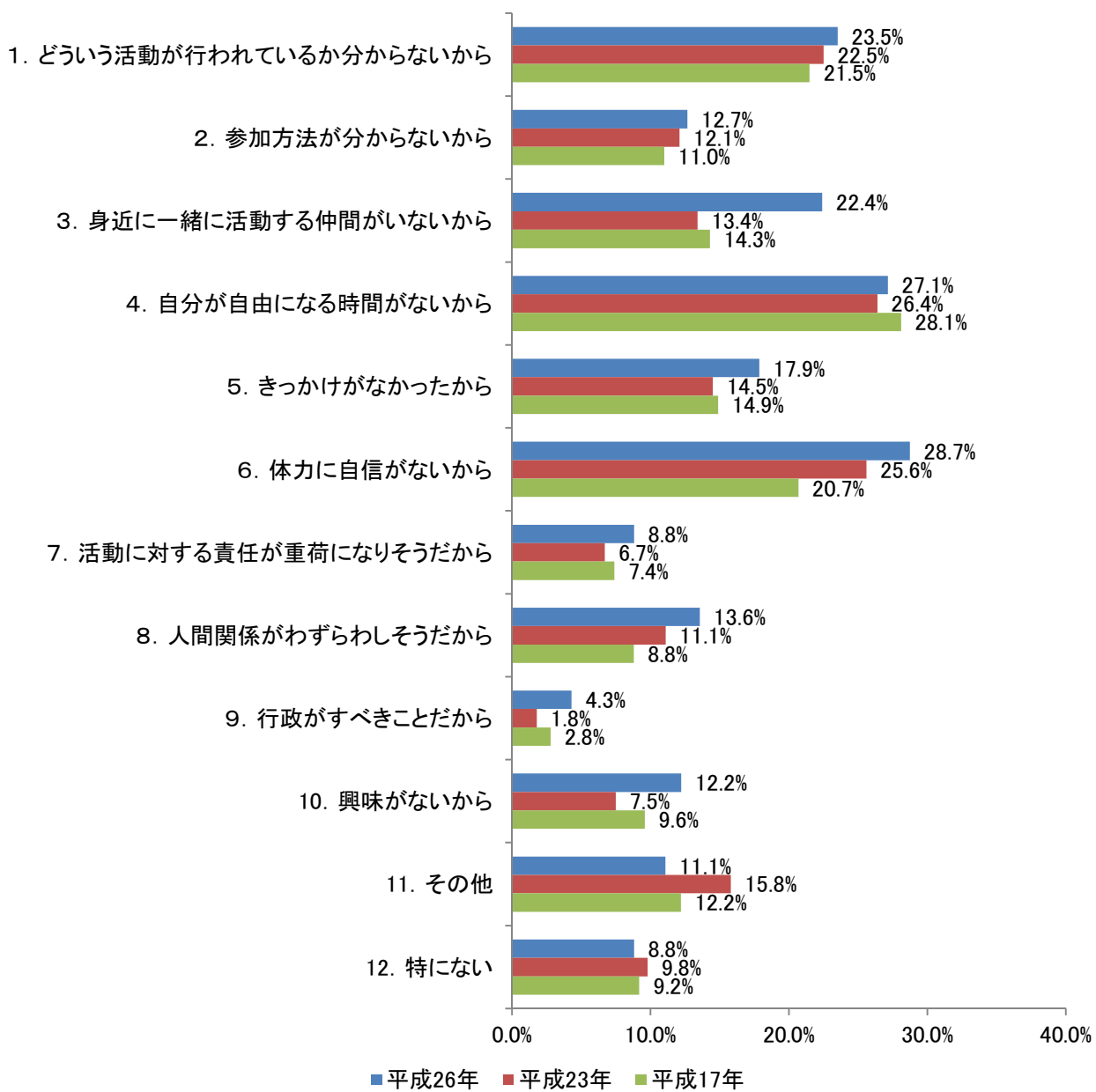
有効回答数=1,065

※複数回答のため、合計は100%にならない

<前回調査時の結果>



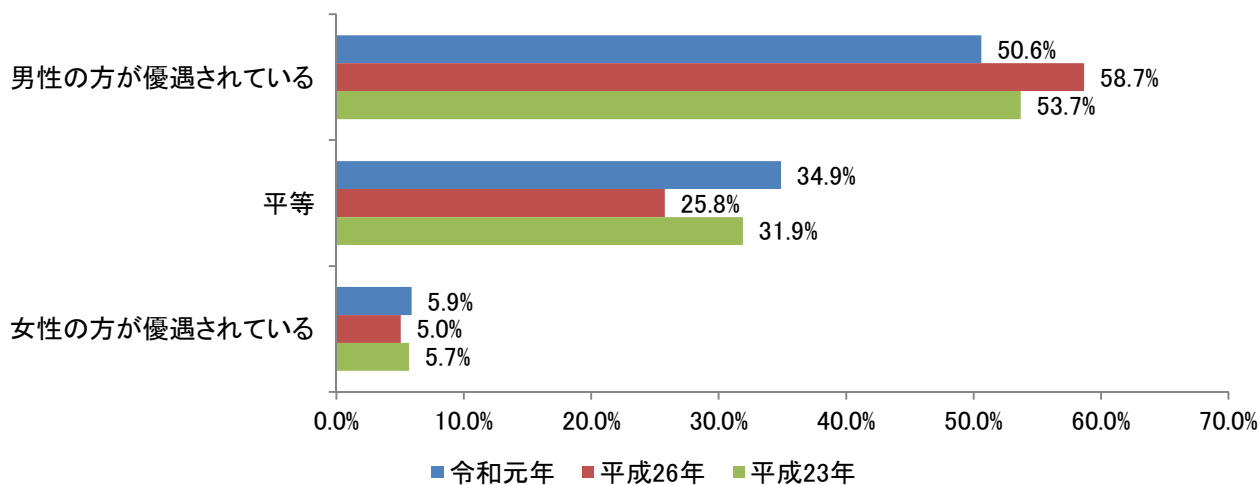
<前回調査時の結果>



問 30 あなたは社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。(1つ選択)

「男性の方が優遇されている」が 50.6%、「平等だと思う」が 34.9%、「女性の方が優遇されている」が 5.9%となっています。

前回調査時の結果と比較すると、「男性の方が優遇されている」の割合が減少し、「平等」の割合が増加しています。

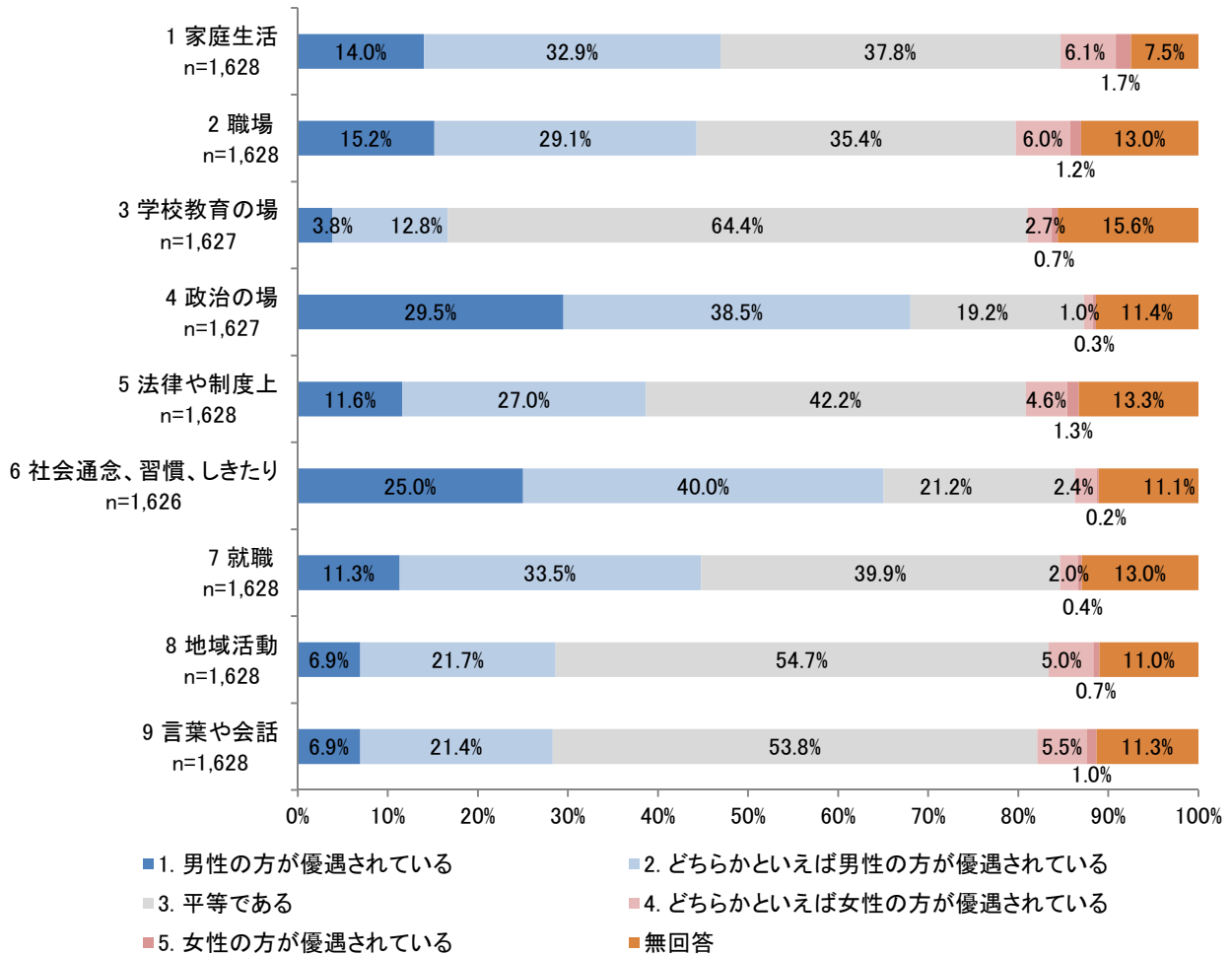


有効回答数=1,628

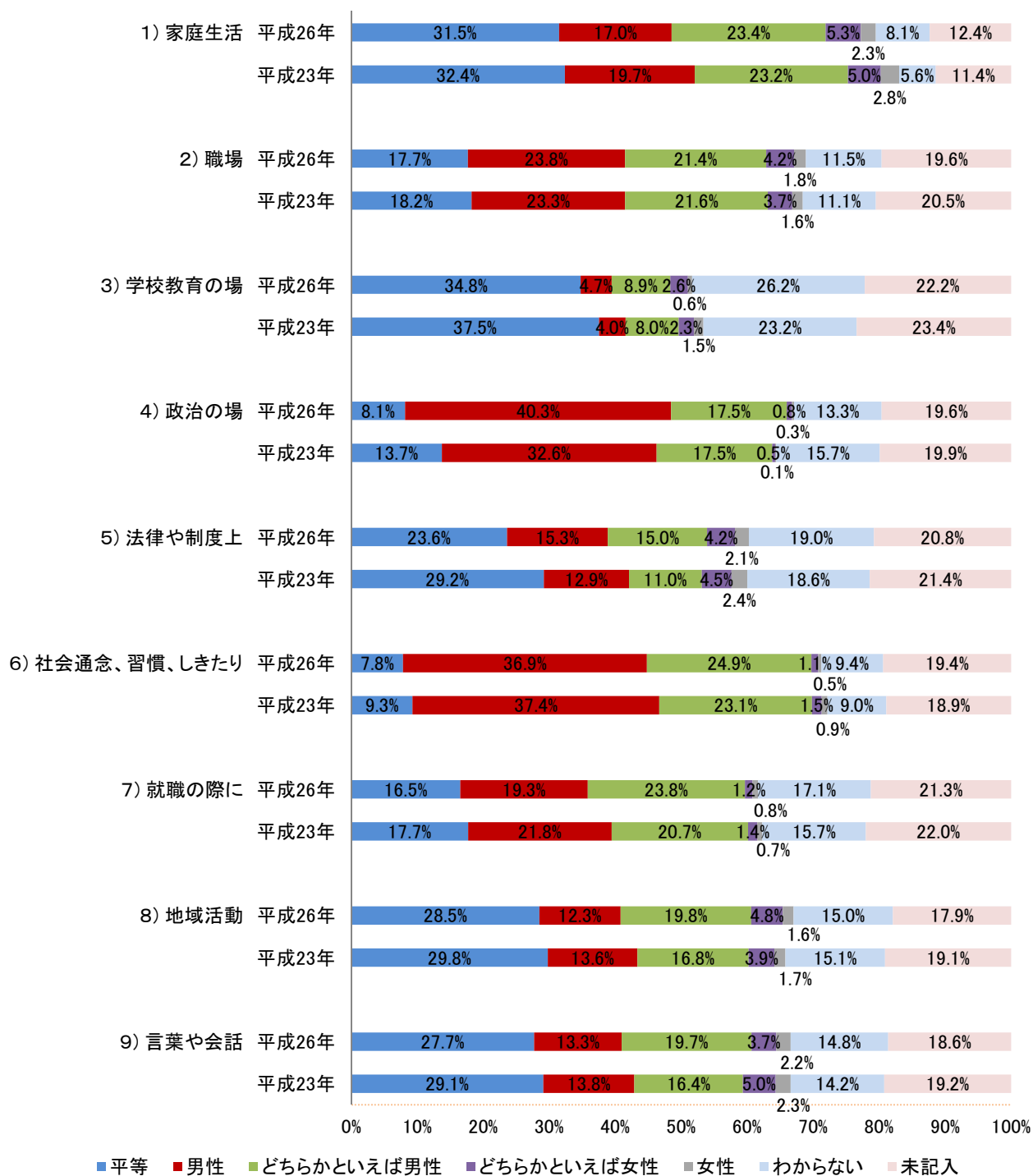
問 31 次にあげる各場面において、あなたの身の回りでは男女平等になっていると思いますか。(1つ選択)

「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が選択された割合は「政治の場」が68.0%と最も多く、「社会通念、習慣、しきたり」が65.1%、「家庭生活」が46.9%と続いています。

「女性の方が優遇されている」または「どちらかといえば女性の方が優遇されている」が選択された割合は「家庭生活」が7.8%と最も多く、「職場」が7.2%、「言葉や会話」が6.6%と続いています。



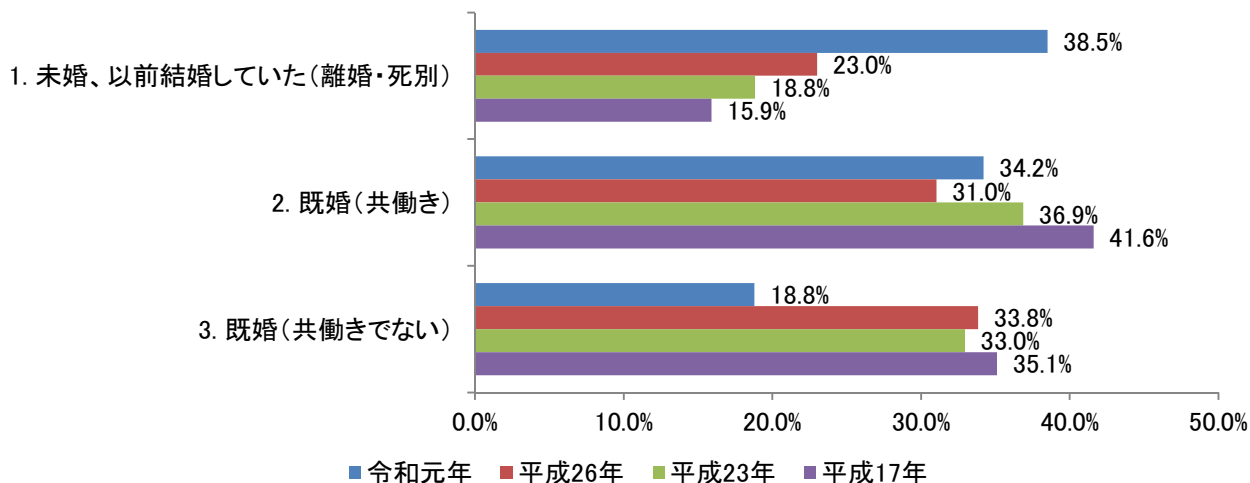
<前回調査時の結果>



問 32 あなたは現在、結婚されていますか。されている方は、共働きですか。(1つ選択)

「未婚、以前結婚していた(離婚・死別)」が38.5%と最も多く、「既婚(共働き)」が34.2%、「既婚(共働きでない)」が18.8%と続いています。

前回調査時の結果と比較すると、「未婚、以前結婚していた(離婚・死別)」、「既婚(共働き)」の割合が増加し、「既婚(共働きでない)」の割合が大幅に減少しています。



有効回答数=1,628

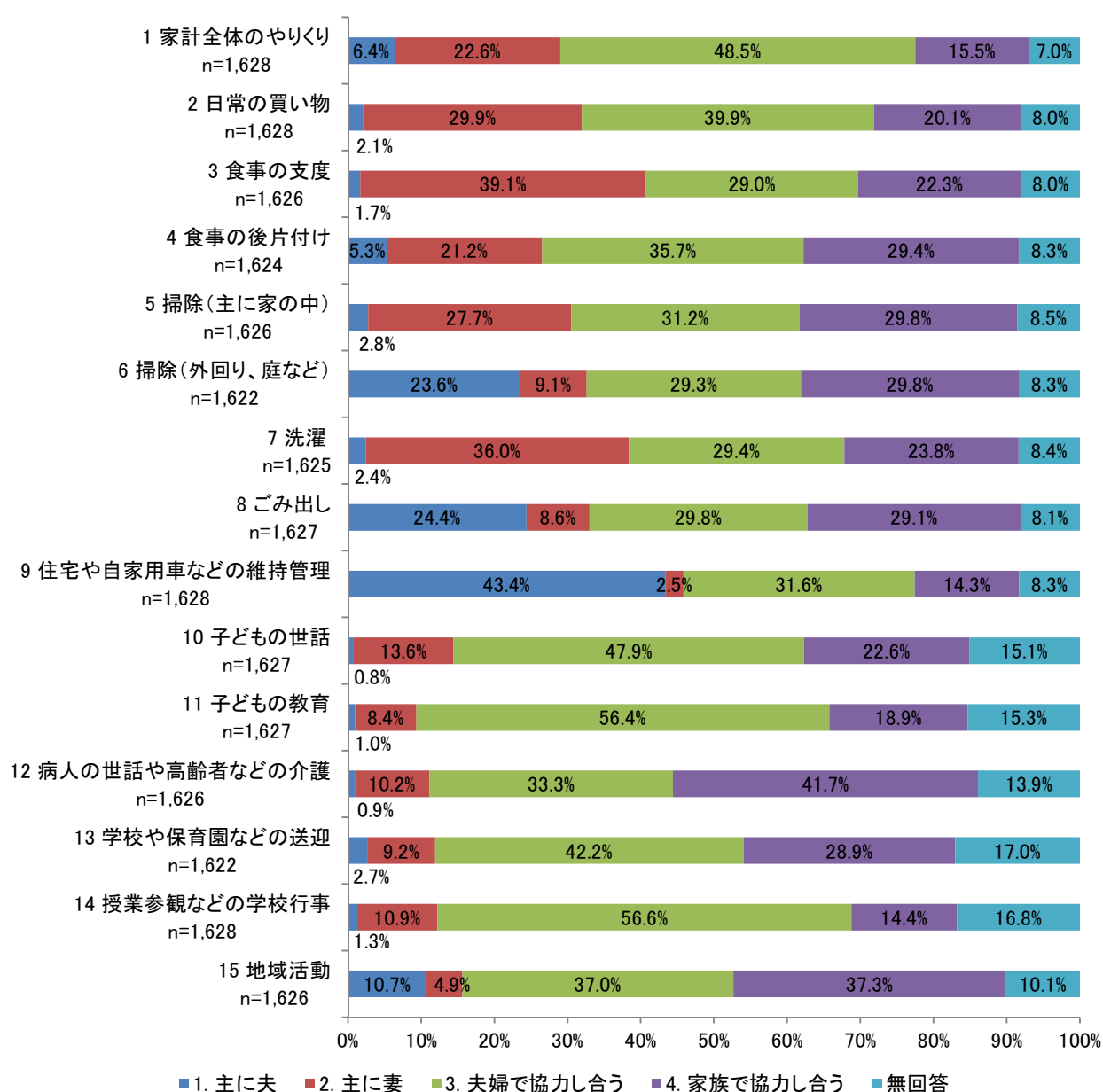
問 33 家庭での役割分担の理想についてうかがいます。次の項目の家事などの分担はどのような形が望ましいと思いますか。(1つ選択)

「主に夫」が選択された割合は「住宅や自家用車などの維持管理」が43.4%と最も多く、次いで「ごみ出し」が24.4%となっています。

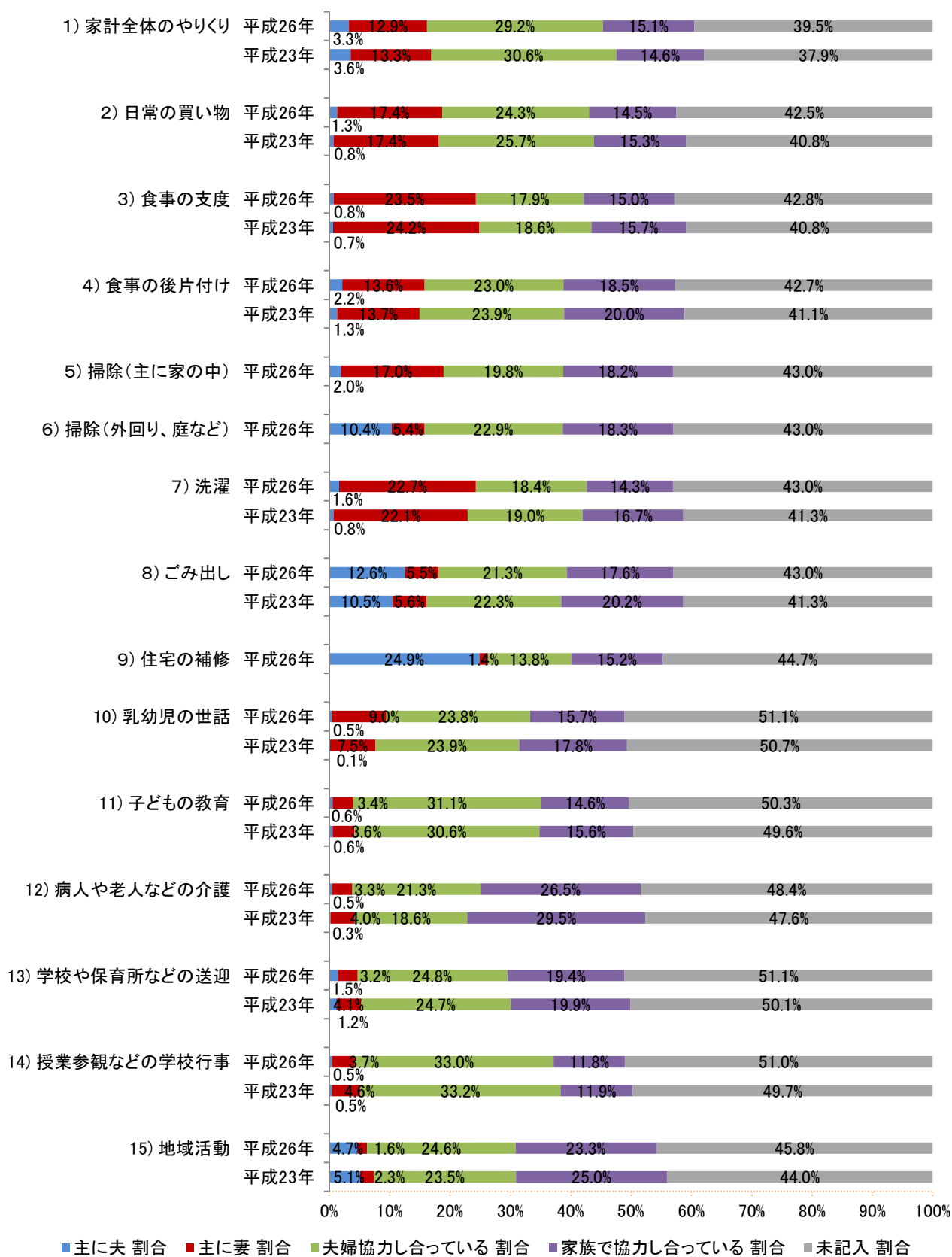
「主に妻」が選択された割合は「食事の支度」が39.1%と最も多く、次いで「洗濯」が36.0%となっています。

「夫婦で協力し合う」が選択された割合は「授業参観などの学校行事」が56.6%と最も多く、次いで「子どもの教育」が56.4%となっています。

「家族で協力し合う」が選択された割合は「病人の世話や高齢者などの介護」が41.7%と最も多く、次いで「地域活動」が37.3%となっています。



<前回調査時の結果>



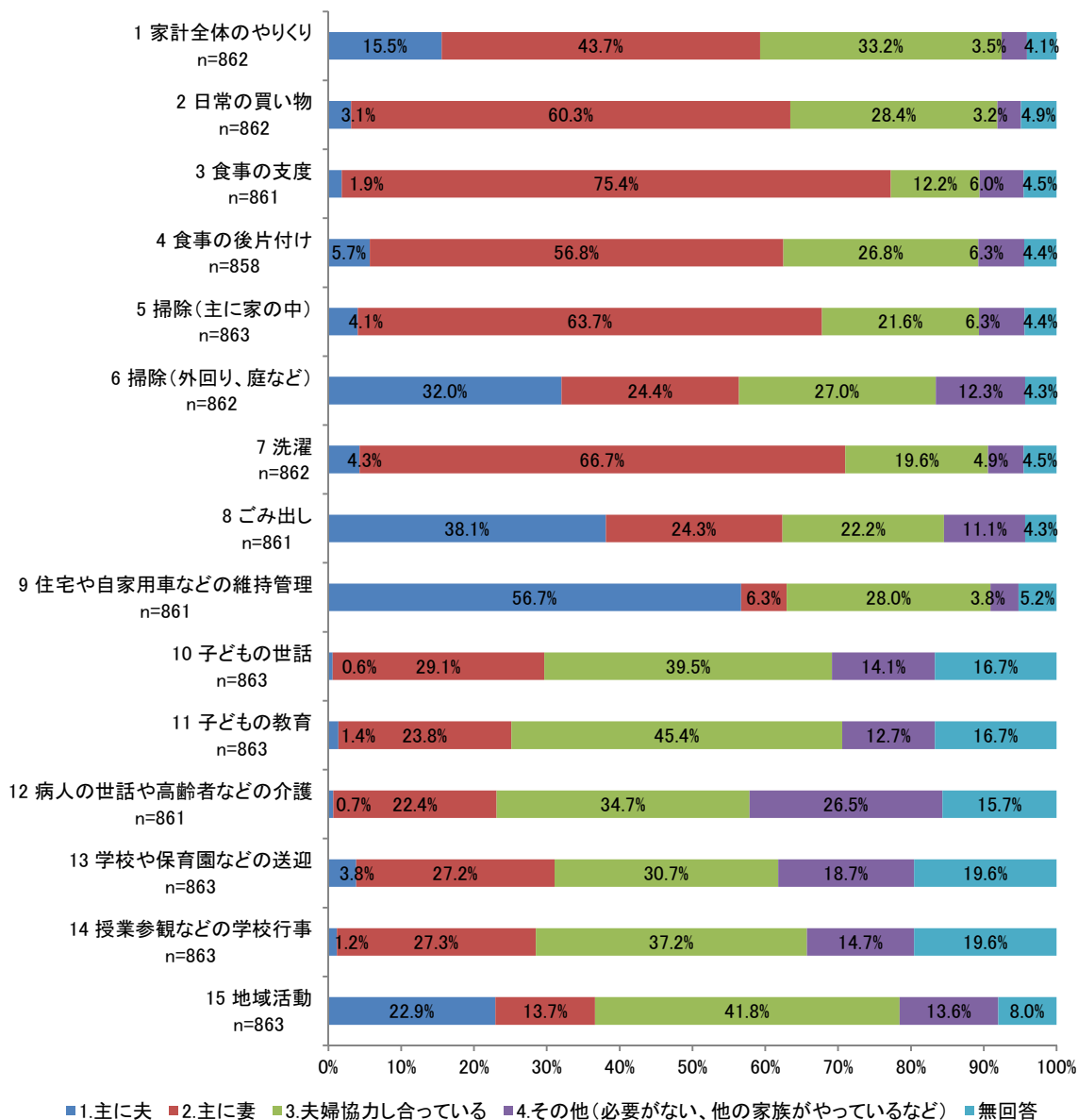
問 34 【★結婚されている方のみお答えください】家庭での役割分担の現状についてうかがいます。あなたの家庭では次の項目の家事などを主に誰が行っていますか。(1つ選択)

「主に夫」が選択された割合は、「住宅や自家用車などの維持管理」が43.4%と最も多く、次いで「ごみ出し」が24.4%となっています。

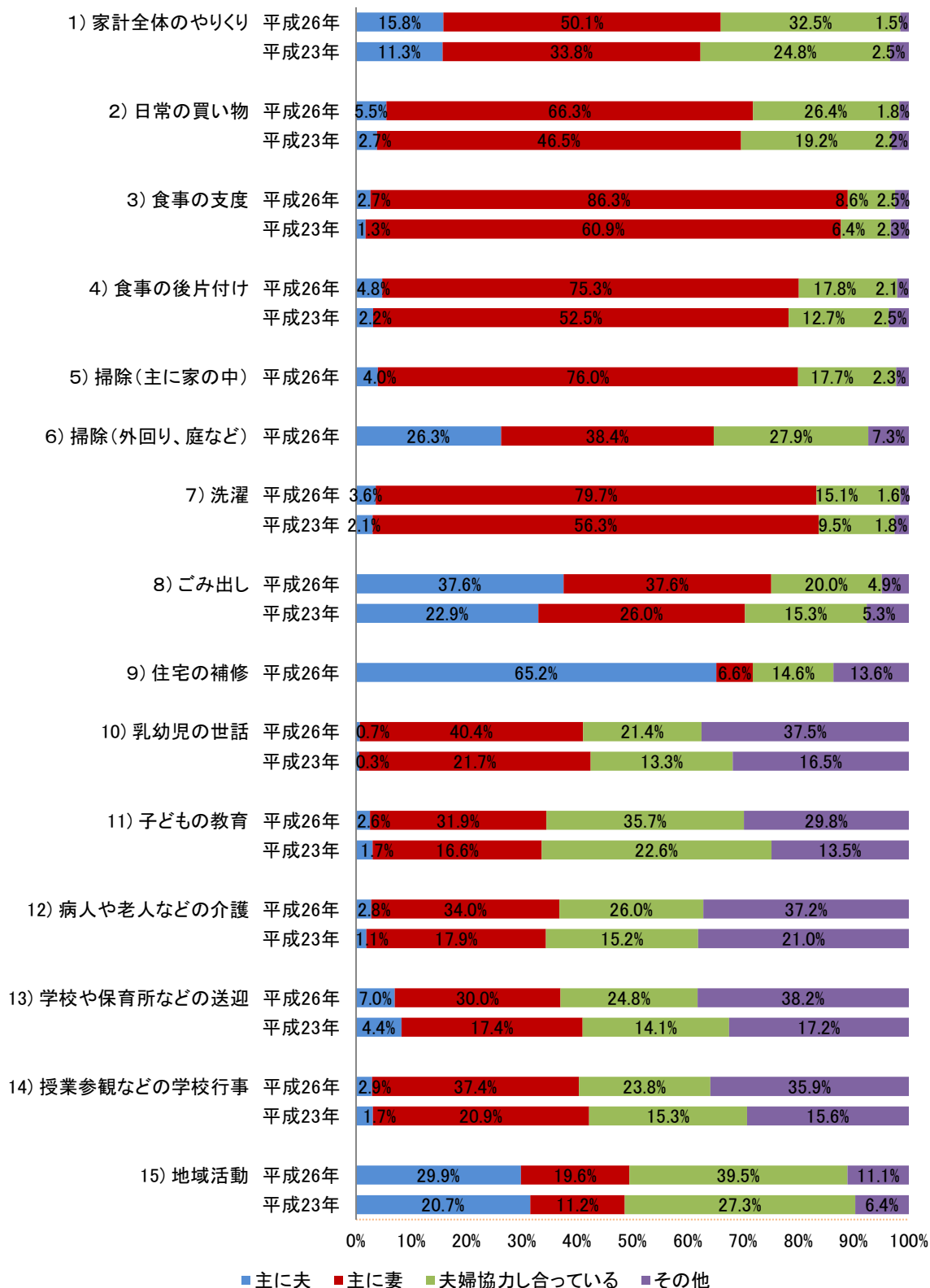
「主に妻」が選択された割合は、「食事の支度」が39.1%と最も多く、次いで「洗濯」が36.0%となっています。

「夫婦で協力し合う」が選択された割合は、「授業参観などの学校行事」が56.6%と最も多く、次いで「子どもの教育」が56.4%となっています。

「家族で協力し合う」が選択された割合は、「病人の世話や高齢者などの介護」が41.7%と最も多く、次いで「地域活動」が37.3%となっています。

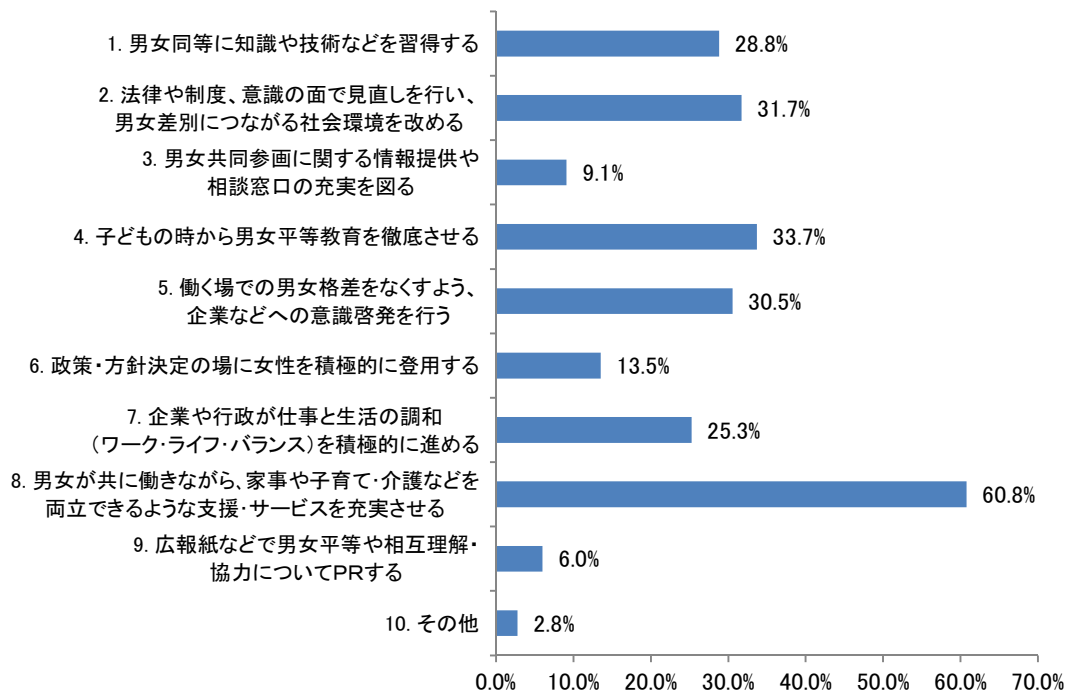


<前回調査時の結果>



問 35 あなたは、「男女共同参画社会」を築いていくために、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるもの3つまで選択)

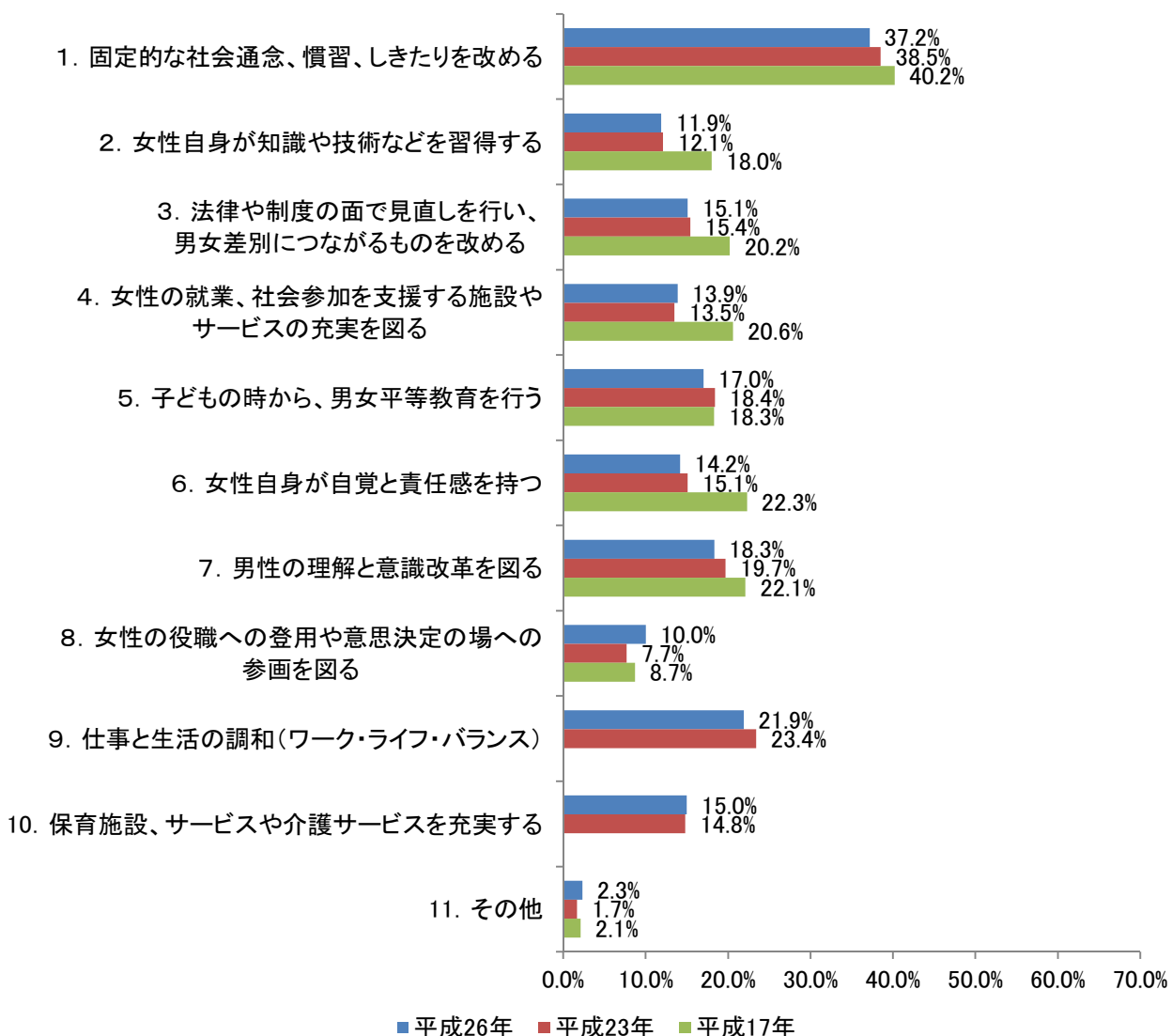
「男女が共に働きながら、家事や子育て・介護などを両立できるような支援・サービスを充実させる」が60.8%と最も多く、「子どもの時から男女平等教育を徹底させる」が33.7%、「法律や制度、意識の面で見直しを行い、男女差別につながる社会環境を改める」が31.7%と続いています。



有効回答数=1,614

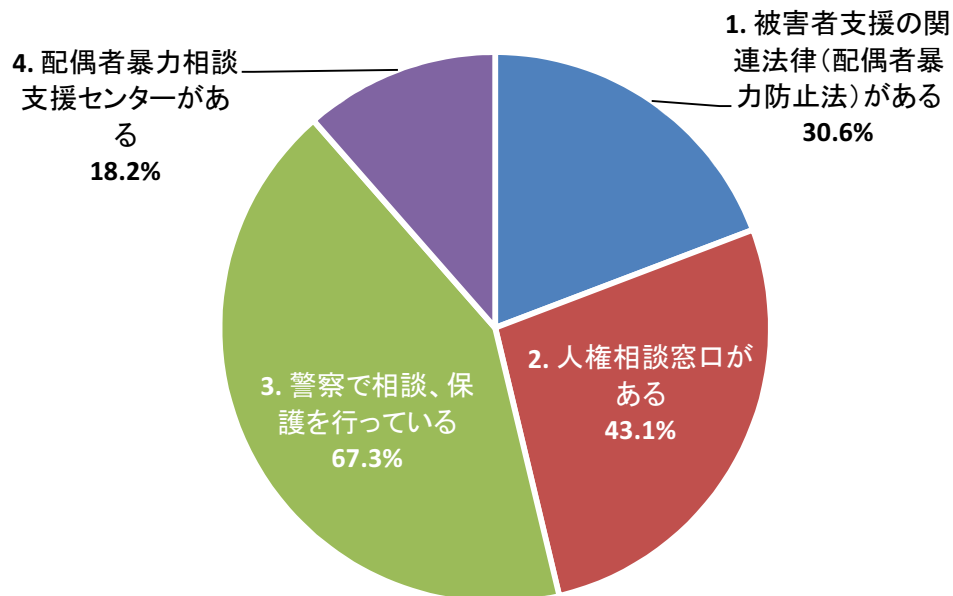
※複数回答のため、合計は100%にならない

<前回調査時の結果>



問 37 DV（ドメスティック・バイオレンス：配偶者やパートナーに対する身体的・心理的・経済的・性的暴力、社会的隔離）を防止するためにどのような支援があるか、知っているものをお選びください。（あてはまるものすべて選択）

「警察で相談、保護を行っている」が 67.3%と最も多く、「人権相談窓口がある」が 43.1%、「被害者支援の関連法律（配偶者暴力防止法）がある」が 30.6%、「配偶者暴力相談支援センターがある」が 18.2%と続いています。



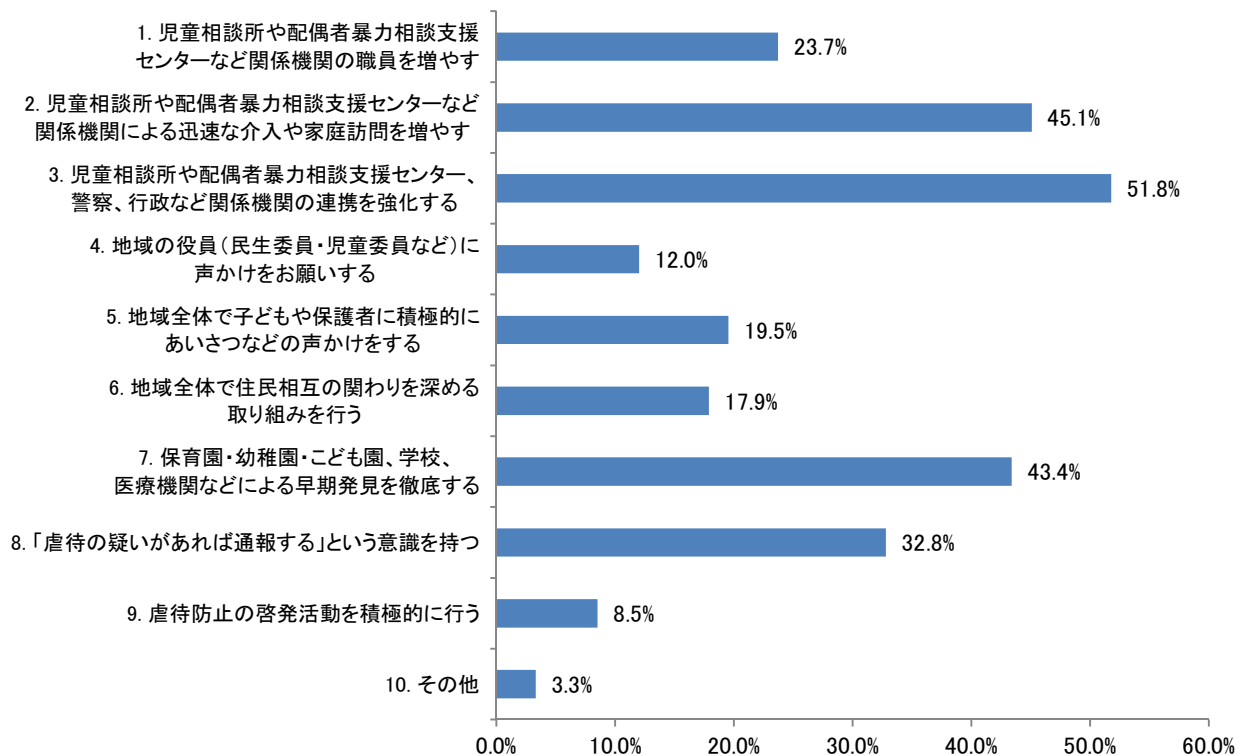
- 1. 被害者支援の関連法律（配偶者暴力防止法）がある
- 2. 人権相談窓口がある
- 3. 警察で相談、保護を行っている
- 4. 配偶者暴力相談支援センターがある

有効回答数=1,628

※複数回答のため、合計は 100%にならない

問 38 児童虐待を防止するために、どのような取り組みを進めることが必要だと思いますか。特に重要だと思うものをお選びください。(あてはまるもの3つまで選択)

「児童相談所や配偶者暴力相談支援センター、警察、行政など関係機関の連携を強化する」が 51.8%と最も多く、「児童相談所や配偶者暴力相談支援センターなど関係機関による迅速な介入や家庭訪問を増やす」が 45.1%、「保育園・幼稚園・こども園、学校、医療機関などによる早期発見を徹底する」が 43.4%と続いています。

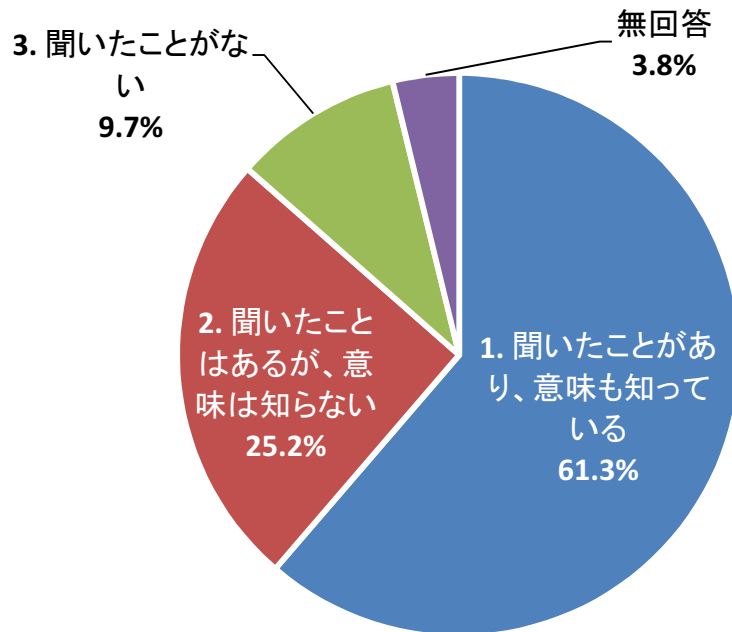


有効回答数=1,597

※複数回答のため、合計は100%にならない

問 40 LGBT（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー）、性的マイノリティ（同性が好きな人や、自分の性に違和感を覚える人、性同一性障害の人など）に関することについてうかがいます。近年、多様な性への無理解が社会的に課題となっており、多様な性への理解と配慮が求められています。LGBTという用語について、あてはまるものをお選びください。（1つ選択）

「聞いたことがあります、意味も知っている」が61.3%、「聞いたことはあるが、意味は知らない」が25.2%、「聞いたことがない」が9.7%となっています。



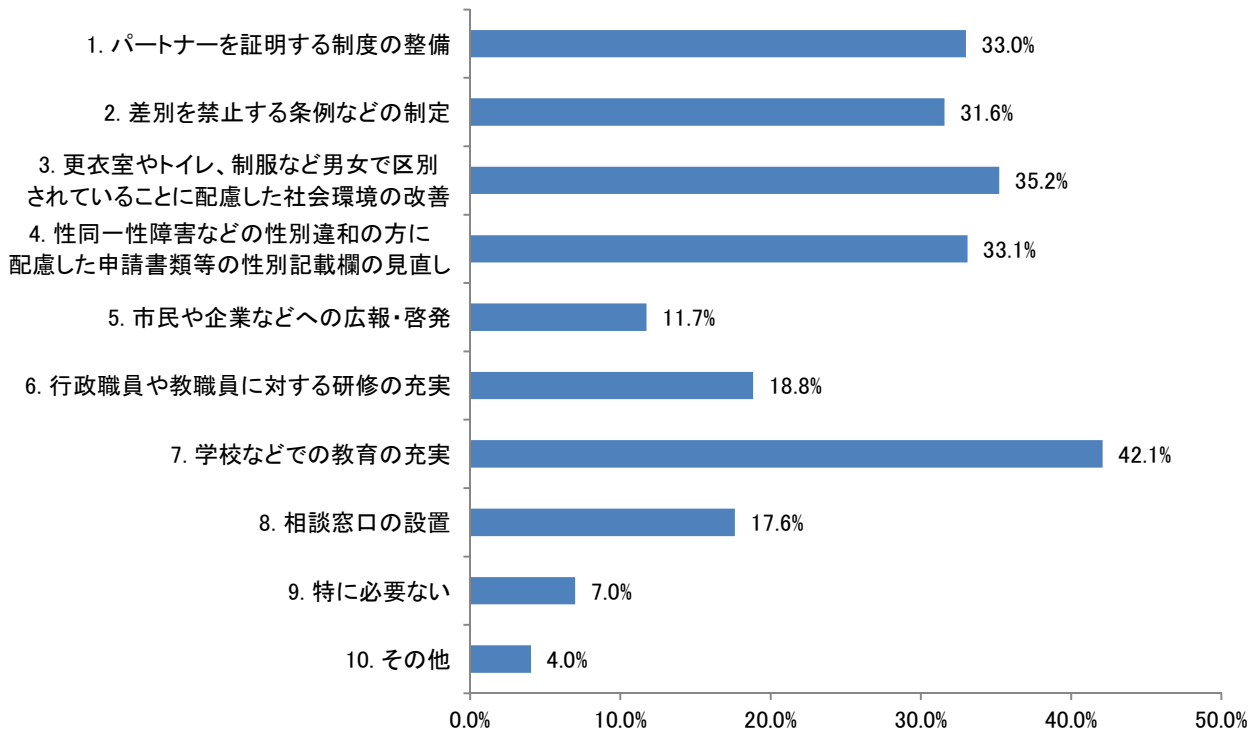
- 1. 聞いたことがあります、意味も知っている
- 2. 聞いたことはあるが、意味は知らない
- 3. 聞いたことがない
- 無回答

有効回答数=1,628

※複数回答のため、合計は100%にならない

問 41 問 40 で「1. 聞いたことがあり、意味も知っている」と答えた方にお聞きします。今後、多様な性への理解を進めるために何が重要だと思いますか。(あてはまるもの3つまで選択)

「学校などでの教育の充実」が 42.1%と最も多く、「更衣室やトイレ、制服など男女で区別されていることに配慮した社会環境の改善」が 35.2%、「性同一性障害などの性別違和の方に配慮した申請書類等の性別記載欄の見直し」が 33.1%と続いています。



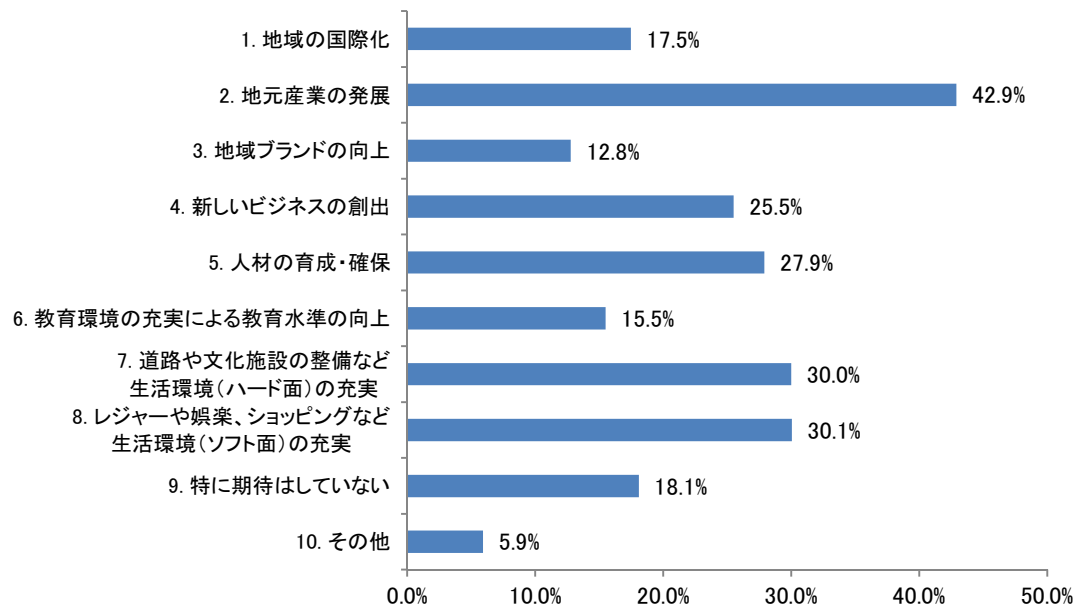
有効回答数=988

※複数回答のため、合計は 100%にならない

問 43 一関市を含む北上高地が I L C（国際リニアコライダー）計画の国内候補地となっています。一関市では I L Cの実現を目指し、市民への普及啓発、国内外への情報発信などに取り組んでいます。あなたは I L Cの実現に伴って地域にどのようなことを期待しますか。（あてはまるもの3つまで選択）

「地元産業の発展」が 42.9%と最も高く、「レジャーや娯楽、ショッピングなど生活環境（ソフト面）の充実」が 30.1%、「道路や文化施設の整備など生活環境（ハード面）の充実」が 30.0%と続いています。

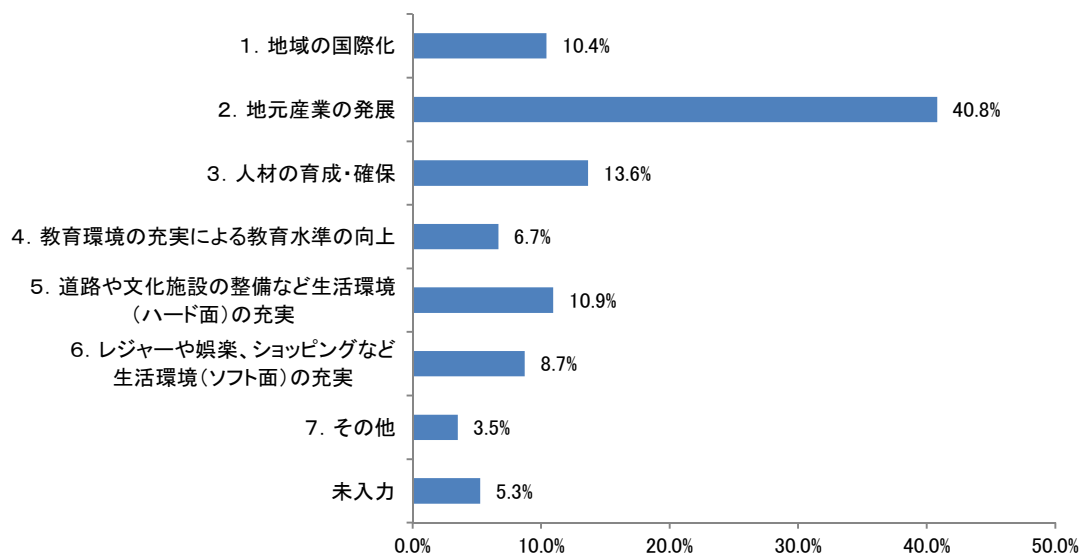
前回調査時と同様に「地元産業の発展」が最も高い割合を示しています。



有効回答数=1,620

※複数回答のため、合計は100%にならない

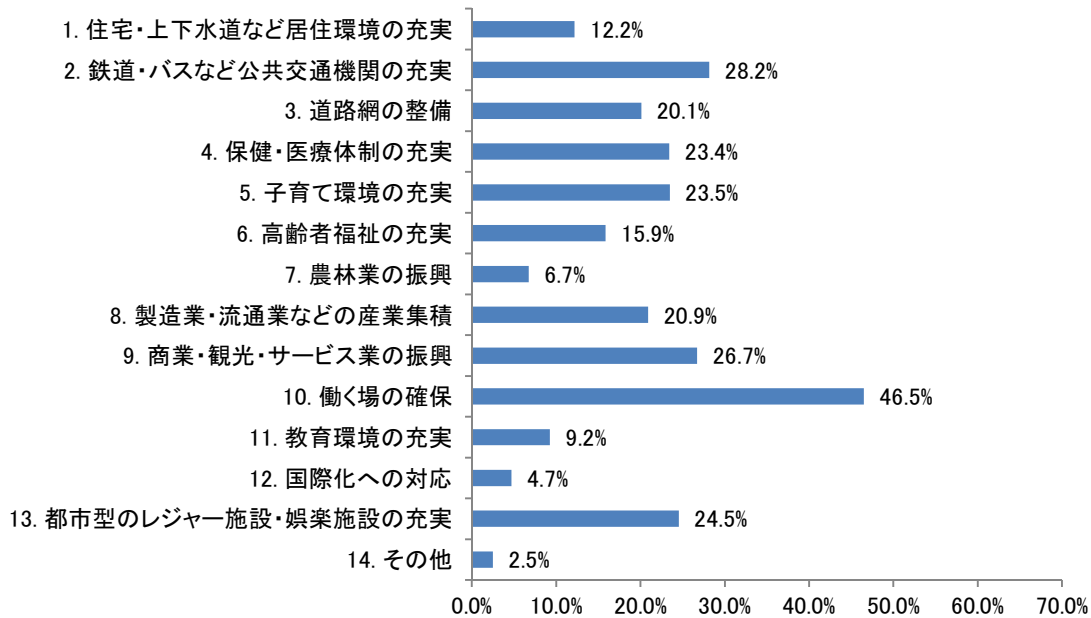
<前回調査時の結果>



問 45 岩手県南から宮城県北までの地域を中東北として発展させていくため、一関市の役割としてどのような分野に力を入れていくべきとお考えですか。(あてはまるもの3つまで選択)

「働く場の確保」が46.5%と最も多く、「鉄道・バスなど公共交通機関の充実」が28.2%、「商業・観光・サービス業の振興」が26.7%と続いています。

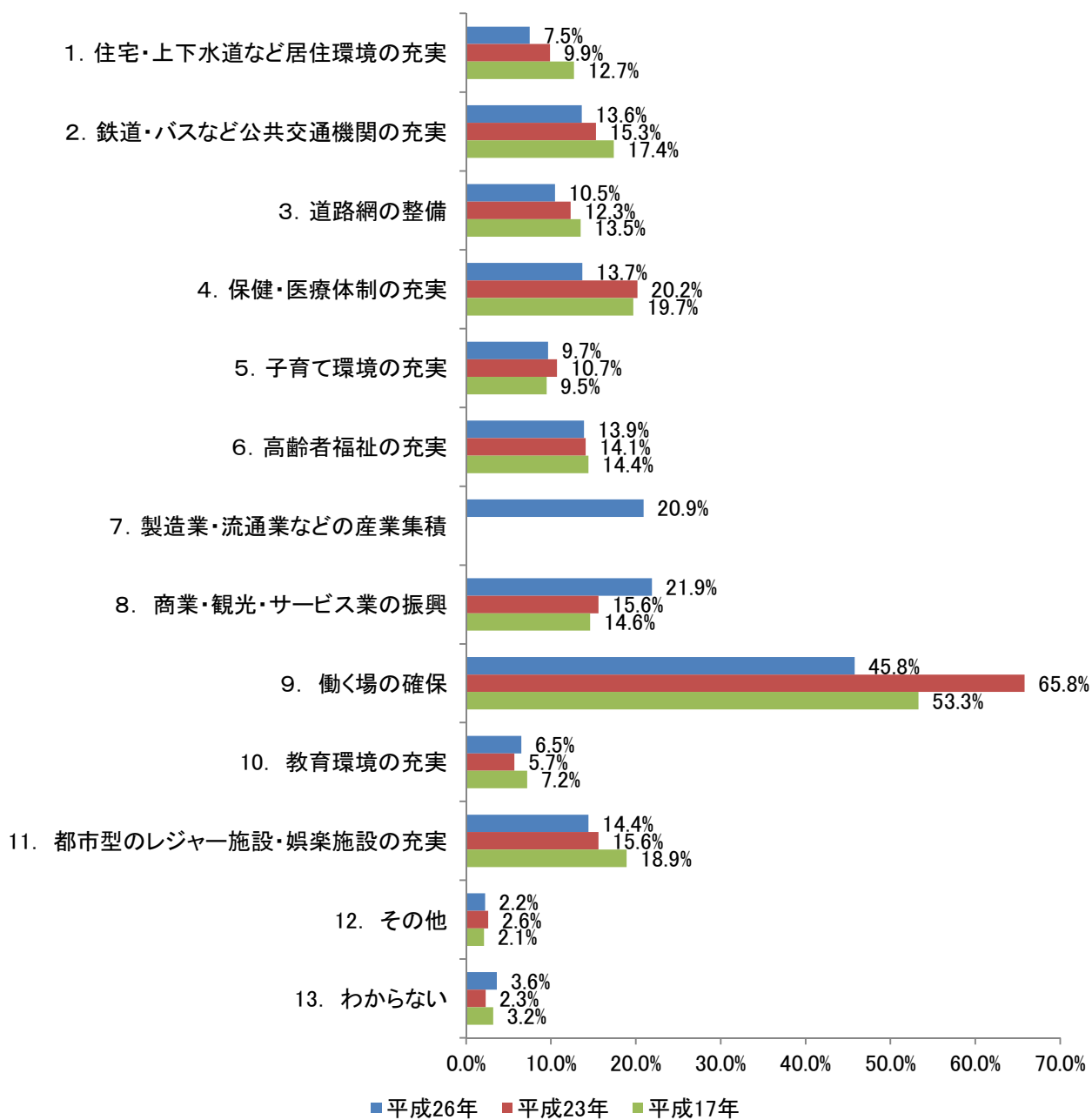
前回調査時と同様に「働く場の確保」が最も高い割合を示しています。



有効回答数=1,602

※複数回答のため、合計は100%にならない

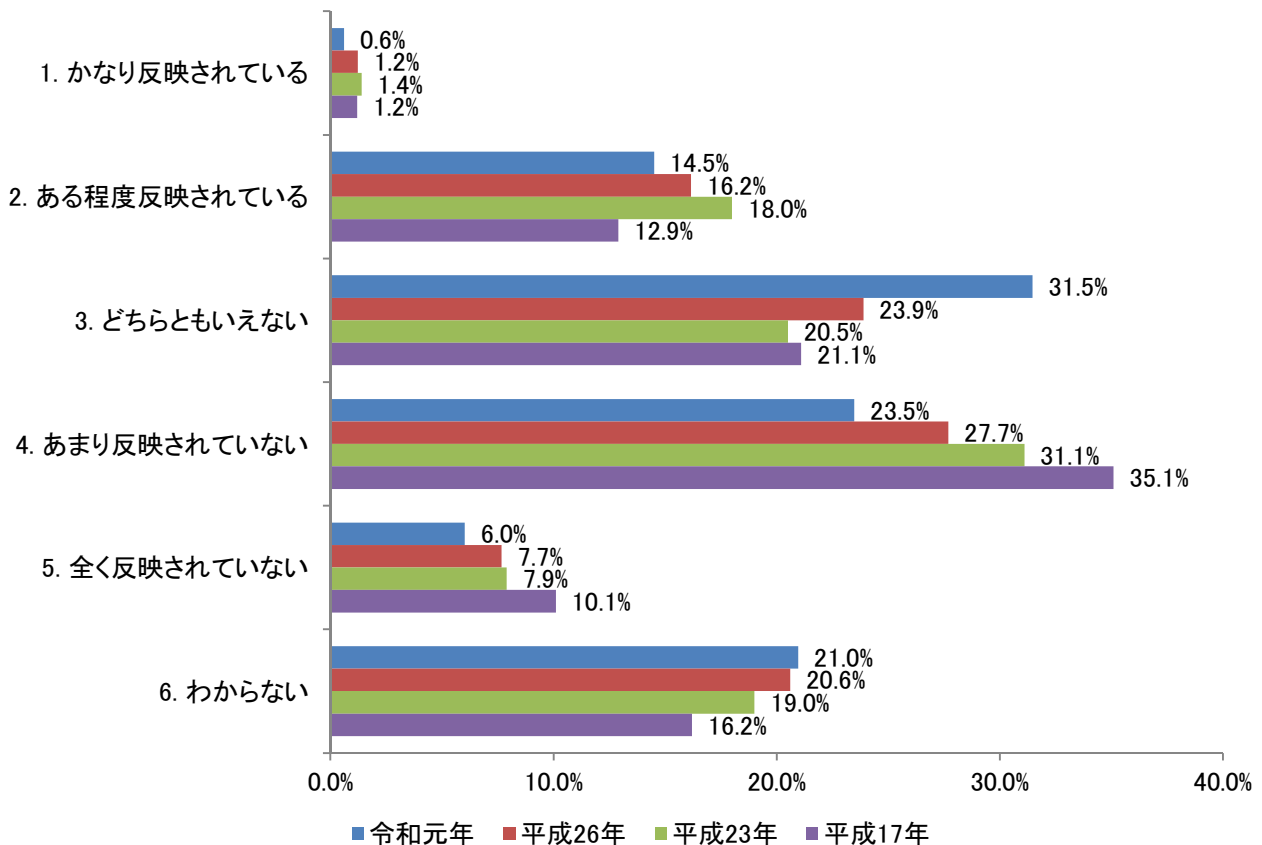
<前回調査時の結果>



問 47 あなたは市政全般について、市民の考えや意見がどの程度反映されていると思いますか。(1つ選択)

「どちらともいえない」が31.5%と最も多く、次いで「あまり反映されていない」が23.5%、「わからない」が21.0%と続いています。

前回調査時の結果と比較すると、「どちらともいえない」の割合が大幅に増加し、「あまり反映されていない」の割合が減少しています。

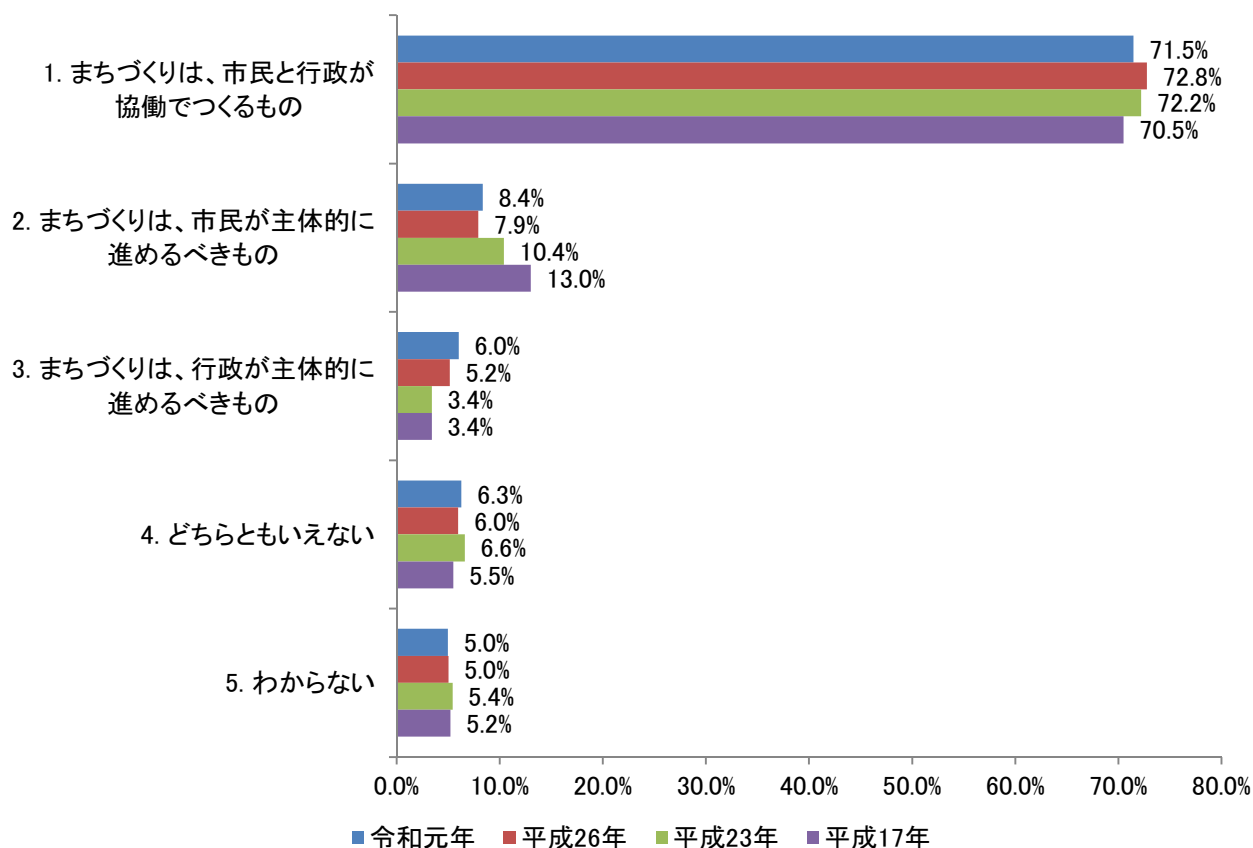


有効回答数=1,627

問 48 まちづくりに関する次の意見のうち、あなたの考えに近いのはどれですか。（1つ選択）

「まちづくりは、市民と行政が協働でつくるもの」が71.5%と最も多く、次いで「まちづくりは、市民が主体的に進めるべきもの」が8.4%、「どちらともいえない」が6.3%と続いています。

前回調査時との割合に大きな変化は見られませんでした。

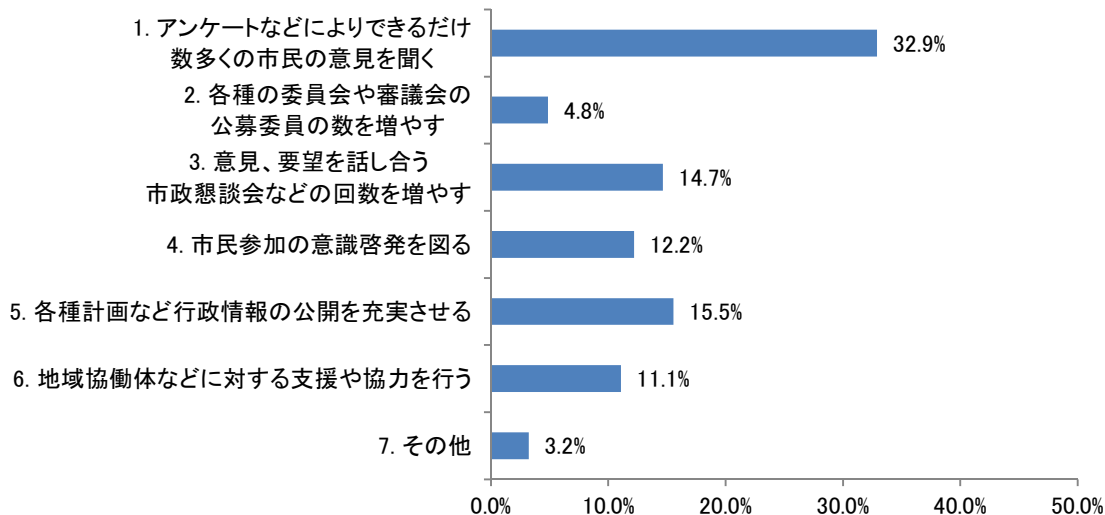


有効回答数=1,627

問 49 市政への市民参加をより活発にするために、あなたは市が特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（1つ選択）

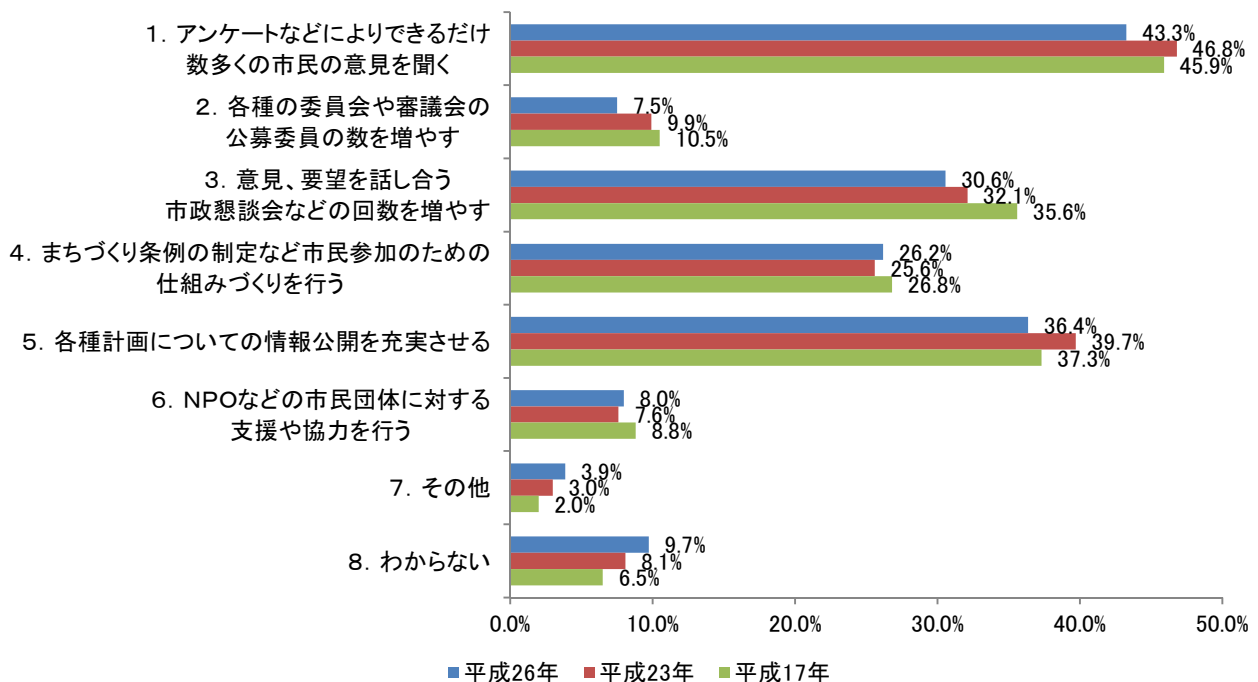
「アンケートなどによりできるだけ数多くの市民の意見を聞く」が32.9%と最も多く、「各種計画など行政情報の公開を充実させる」が15.5%、「意見、要望を話し合う市政懇談会などの回数を増やす」が14.7%と続いています。

前回調査時と同様に「アンケートなどによりできるだけ数多くの市民の意見を聞く」が最も高い割合を示しています。



有効回答数=1,589

<前回調査時の結果>



問 51 あなたは将来、一関市がどのようなまちになればよいと思いますか。ご意見やご提案がございましたら自由にお書きください。

現行の一関市総合計画前期基本計画（平成 28 年度から令和 2 年度）では、5 つの大項目、計 34 の分野で分類されています。この 34 分野をベースとして類似の分野を統合し、14 の分野に分類、整理しました。問 51 の回答内容を、この 14 分野で分類、集計しています。なお、一人の回答で複数の分野に該当する場合は、分解せずに複数の分野で重複して集計しています。

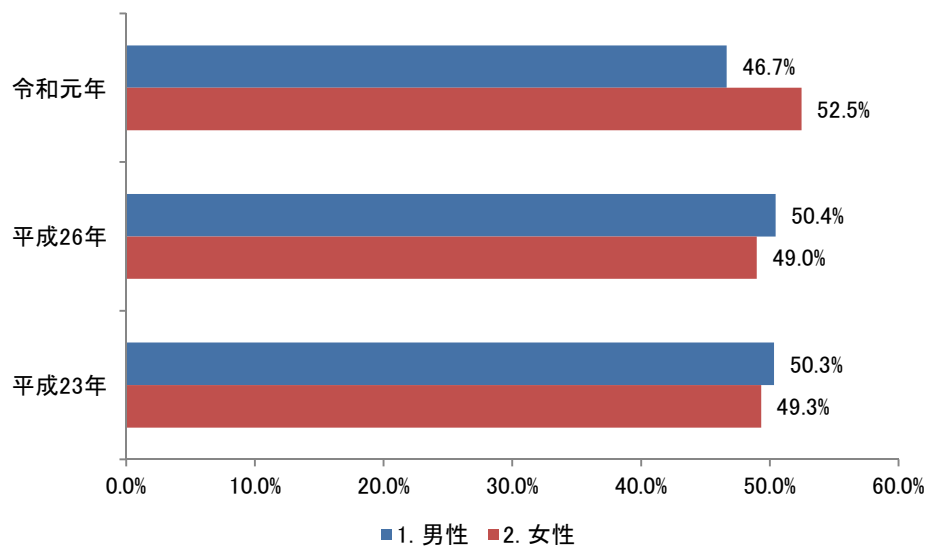
最も多かった分野は「子育て、教育」の 196 件で、「産業」が 191 件、「雇用」が 149 件と続いています。

分 野	件 数
子育て、教育	196
産業	191
雇用	149
インフラ関係	123
移住定住、結婚支援	121
医療、福祉、健康	109
観光	52
自然・公園・緑化・環境	43
安全対策	23
住環境・景観・水道	21
地域づくり活動	20
生涯学習・文化芸術、スポーツ・文化財	18
都市間交流、国際交流	10
その他（未分類）	121
計	1,197

(2) 中学生・高校生アンケート

問1 あなたの性別を教えてください。(1つ選択)

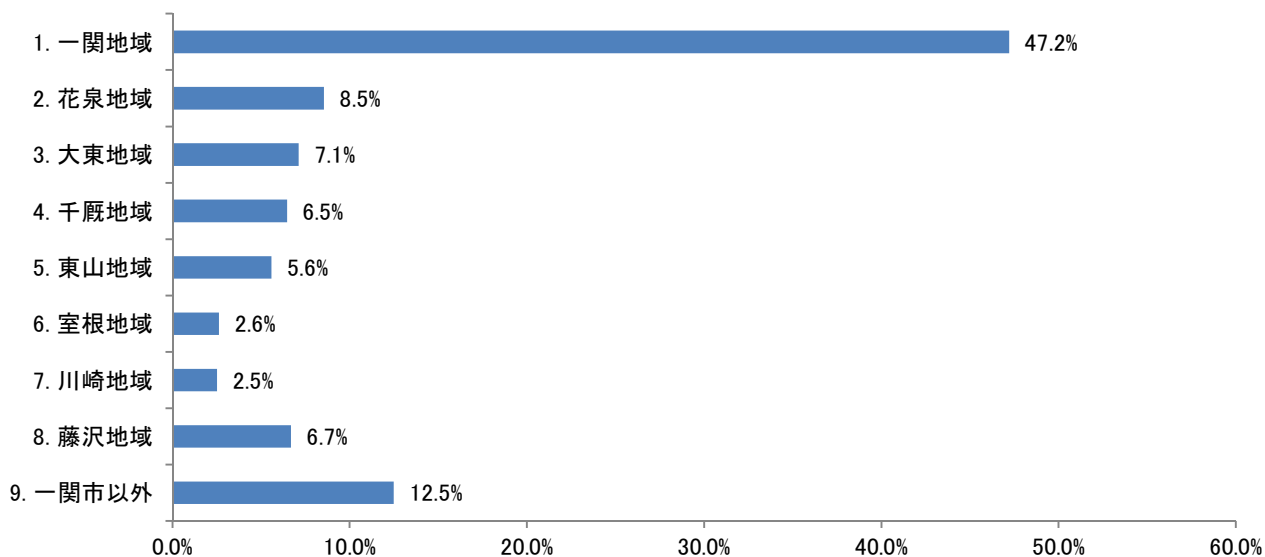
「女性」が52.5%、「男性」が46.7%となっています。



有効回答数=913

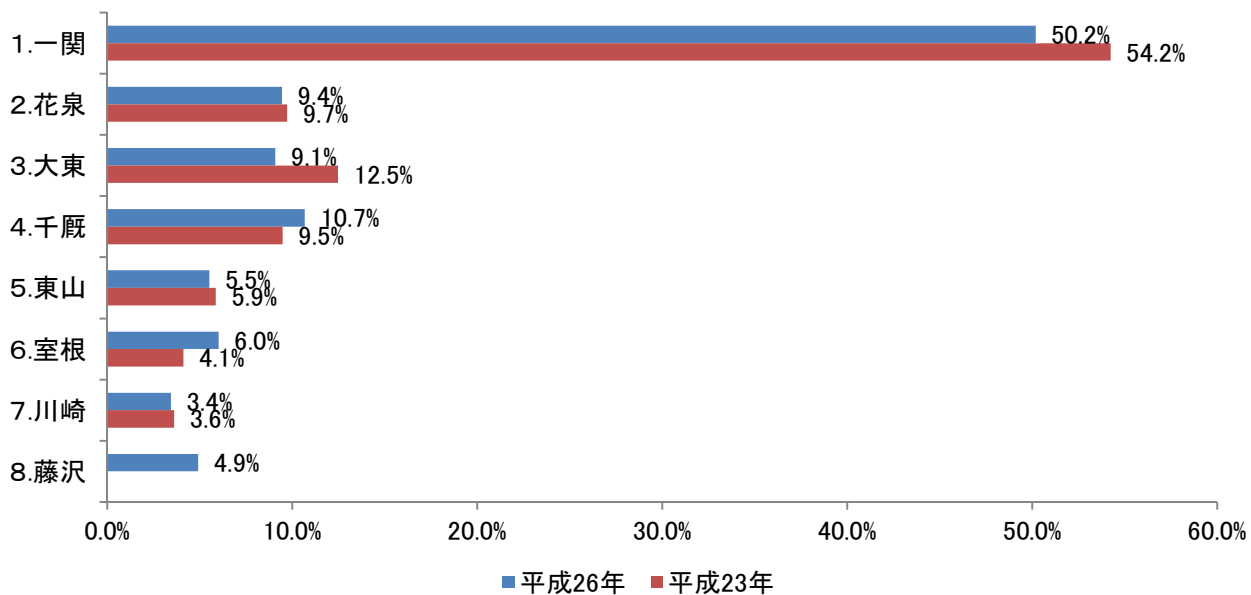
問2 現在お住まいの地域を教えてください。(1つ選択)

「一関地域」が47.2%と最も多く、「花泉地域」が8.5%、「大東地域」が7.1%と続いています。また、「一関市以外」と選択された方の居住地域は「奥州市」、「北上市」、「平泉町」が上位に上がっています。前回調査時と同様に、「一関地域」が最も高い割合を示しています。



有効回答数=913

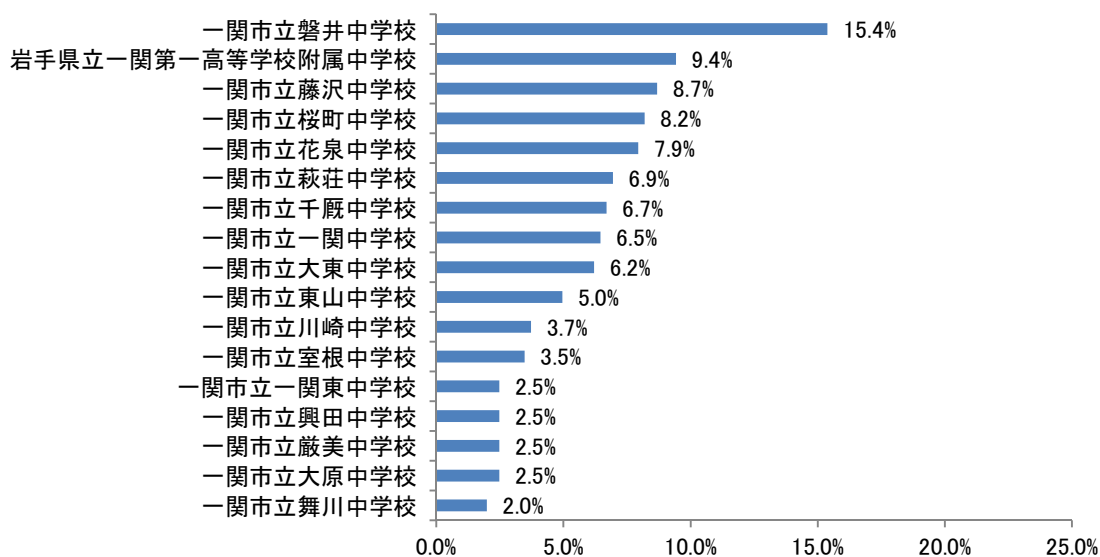
<前回調査時の結果>



問4 学校名をお書きください。

中学校

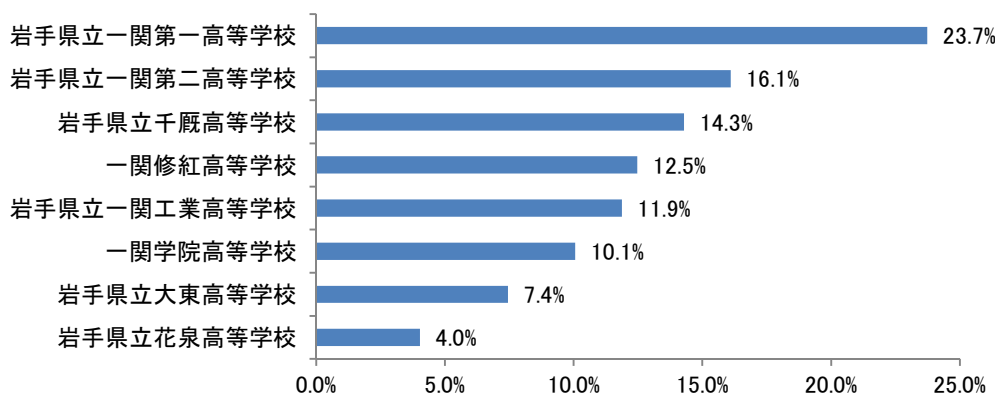
「一関市立磐井中学校」が15.4%と最も多く、「岩手県立一関第一高等学校附属中学校」が9.4%、「一関市立藤沢中学校」が8.7%と続いています。



有効回答数=403

高校

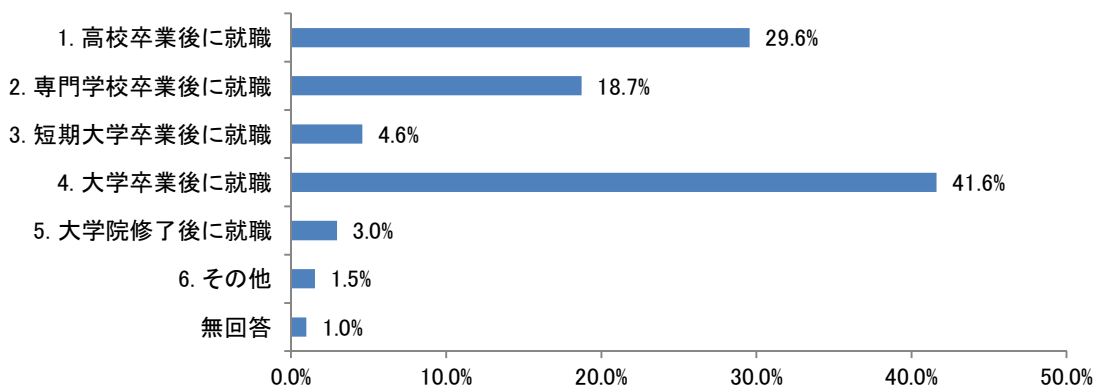
「岩手県立一関第一高等学校」が23.7%と最も多く、「岩手県立一関第二高等学校」が16.1%、「岩手県立千厩高等学校」が14.3%と続いています。



有効回答数=497

問6 就職はどの時期にしたいと考えていますか。(1つ選択)

「大学卒業後に就職」が41.6%と最も多く、「高校卒業後に就職」が29.6%、「専門学校卒業時に就職」が18.7%と続いています。

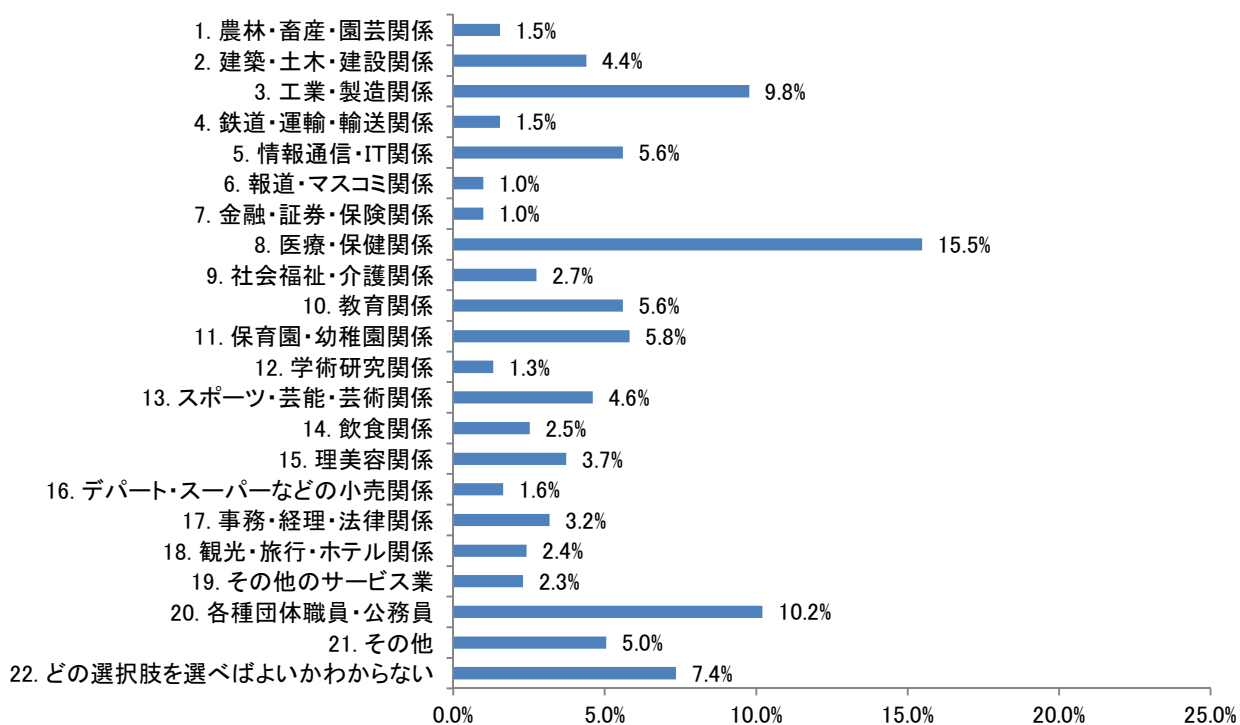


有効回答数=913

問8 あなたは将来、どのような職業につきたいですか。(1つ選択)

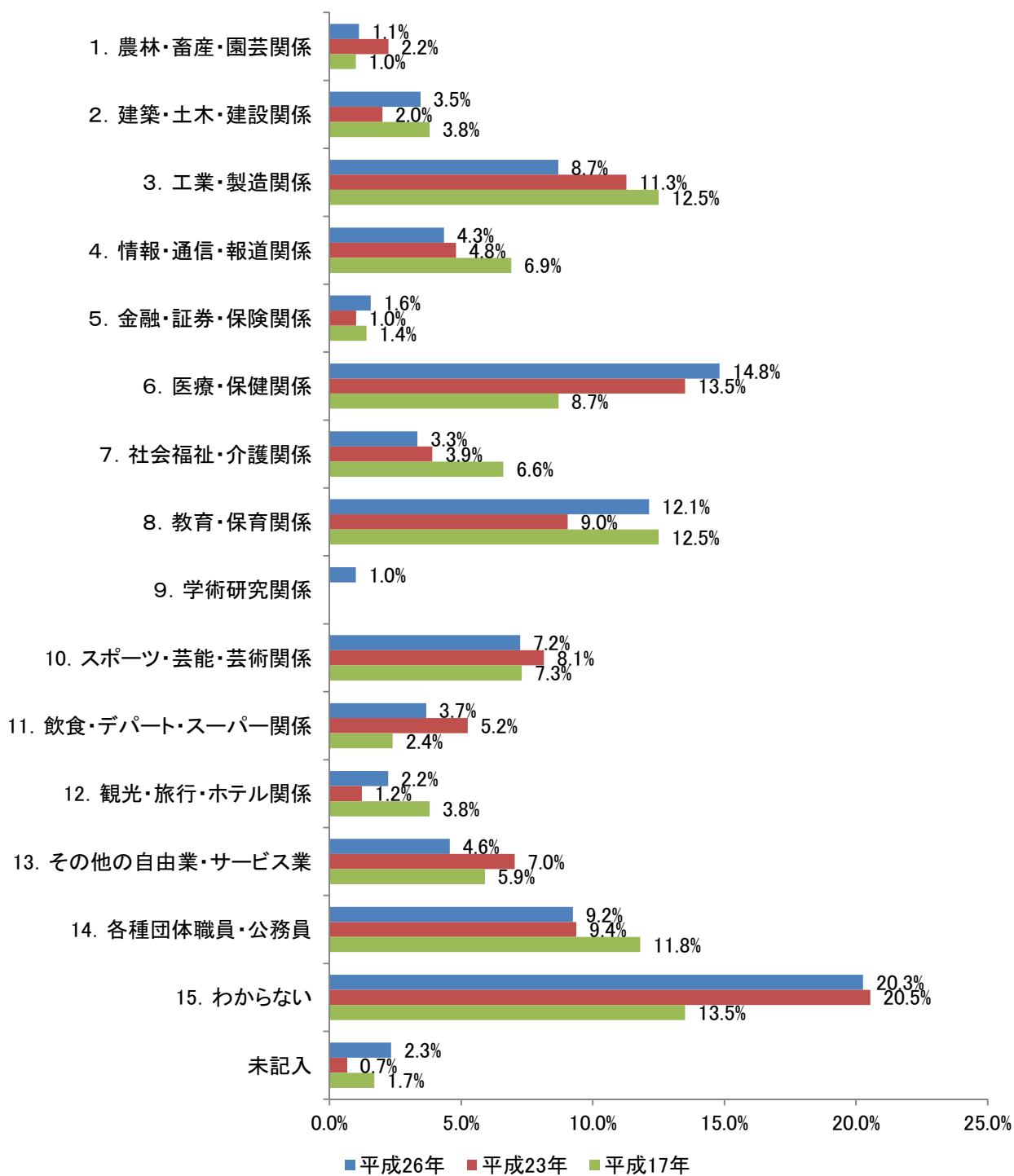
「医療・保健関係」が15.5%と最も多く、「各種団体職員・公務員」が10.2%、「工業・製造関係」が9.8%と続いています。

前回調査時と同様に、「医療・保健関係」が最も高い割合を示しています。



有効回答数=911

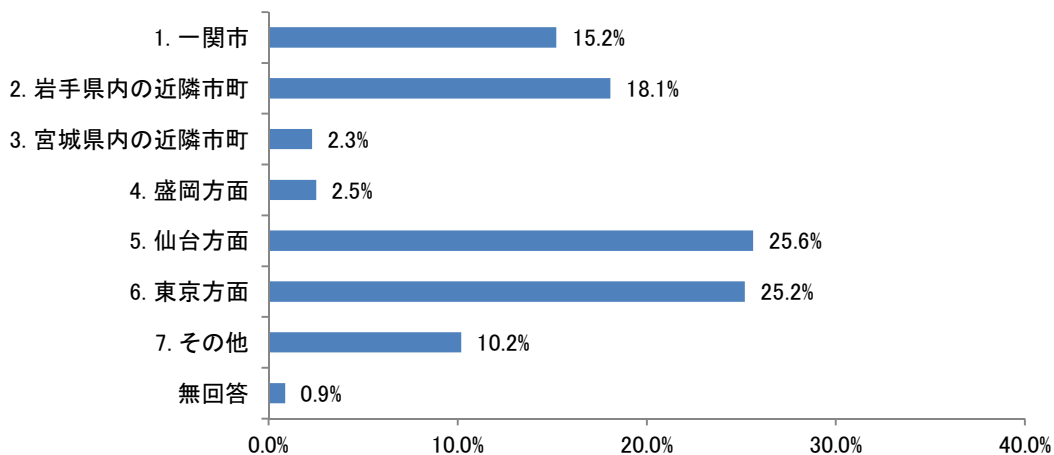
<前回調査時の結果>



問 11 あなたは将来、どの地域への就職を希望しますか。(1つ選択)

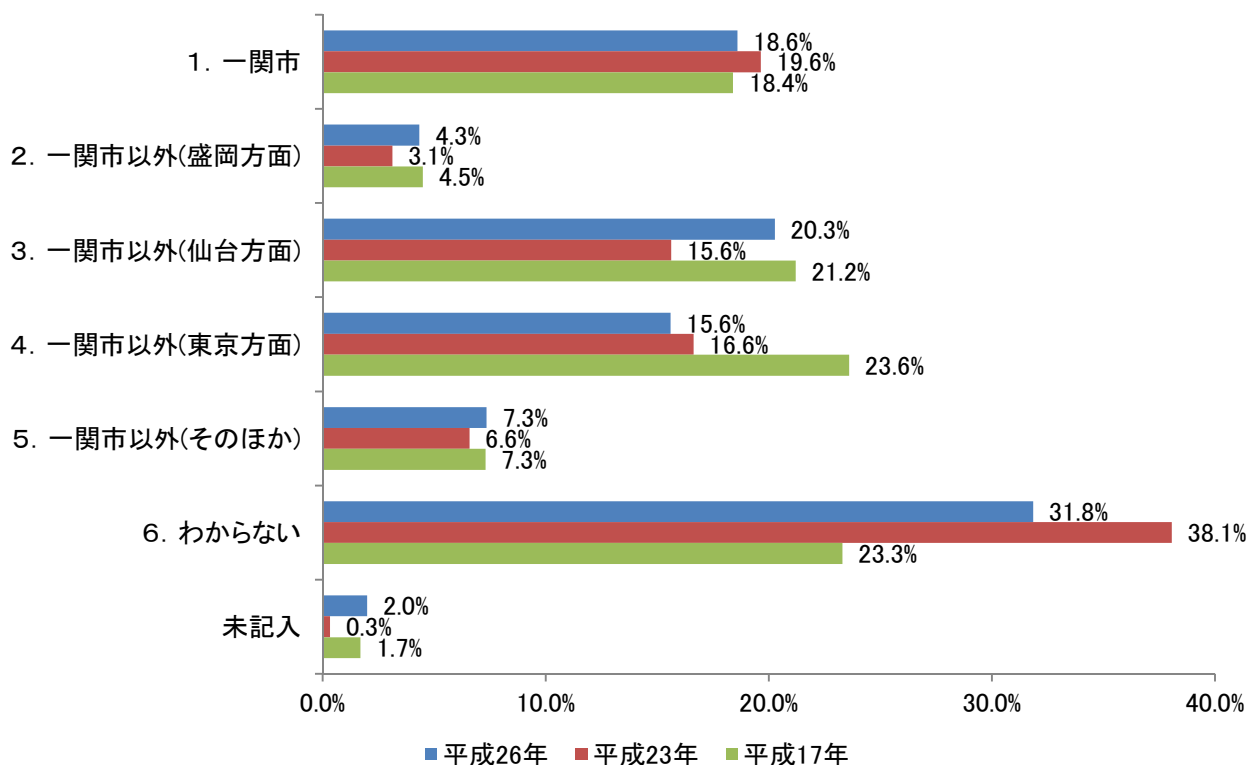
「仙台方面」が25.6%と最も多く、「東京方面」が25.2%、「岩手県内の近隣市町」が18.1%と続いています。

前回調査時と同様に「仙台方面」が最も高い割合を示しています。



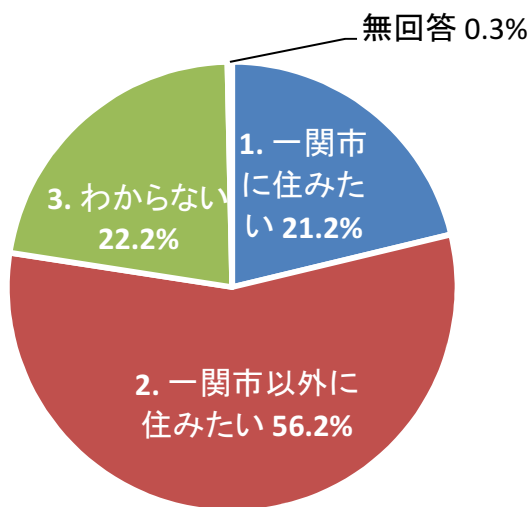
有効回答数=913

<前回調査時の結果>



問 13 あなたが就職後に住みたい場所はどこですか。(1つ選択)

「一関市以外に住みたい」が56.2%、「一関市に住みたい」が21.2%、「わからない」が22.2%となっています。



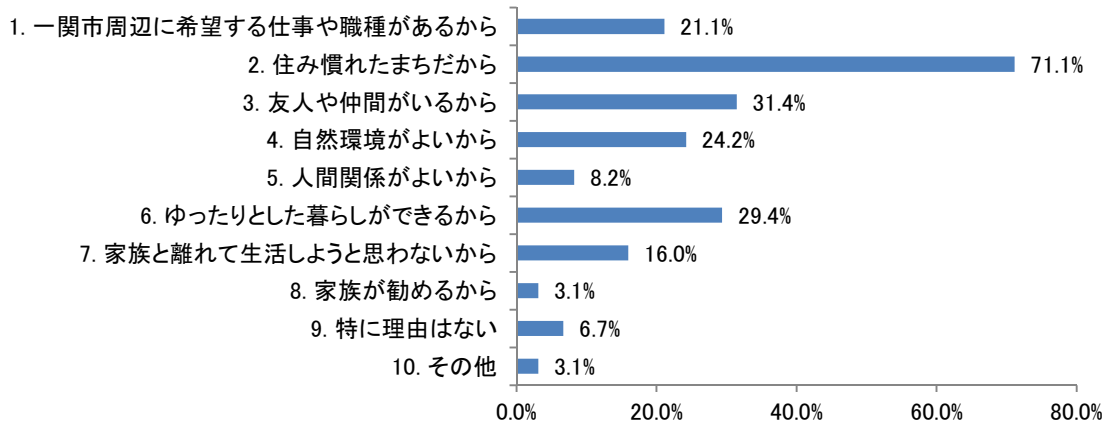
■ 1. 一関市に住みたい ■ 2. 一関市以外に住みたい ■ 3. わからない ■ 無回答

有効回答数=913

問 14 問 13 で「1. 一関市に住みたい」と答えた方にかがいます。住みたいと思った理由は何ですか。
 (あてはまるもの3つまで選択)

「住み慣れたまちだから」が71.1%と最も多く、「友人や仲間がいるから」が31.4%、「ゆったりとした暮らしができるから」が29.4%と続いています。

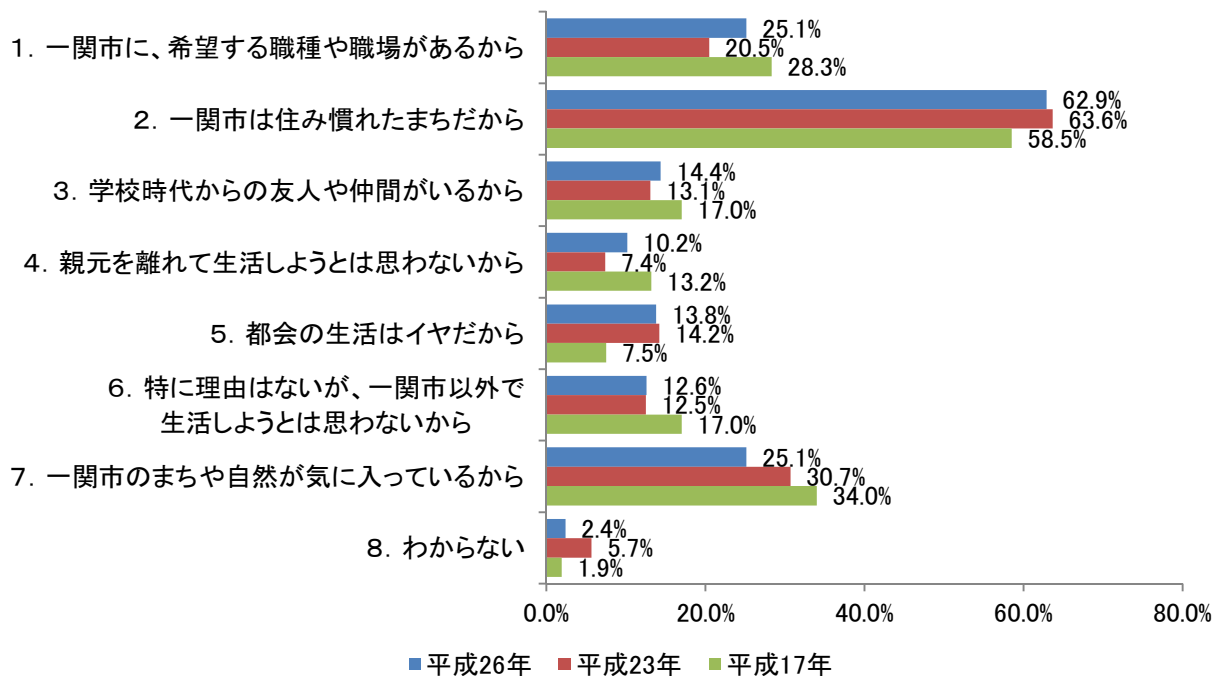
前回調査時と同様に「住み慣れたまちだから」が最も高い割合を示しています。



有効回答数=194

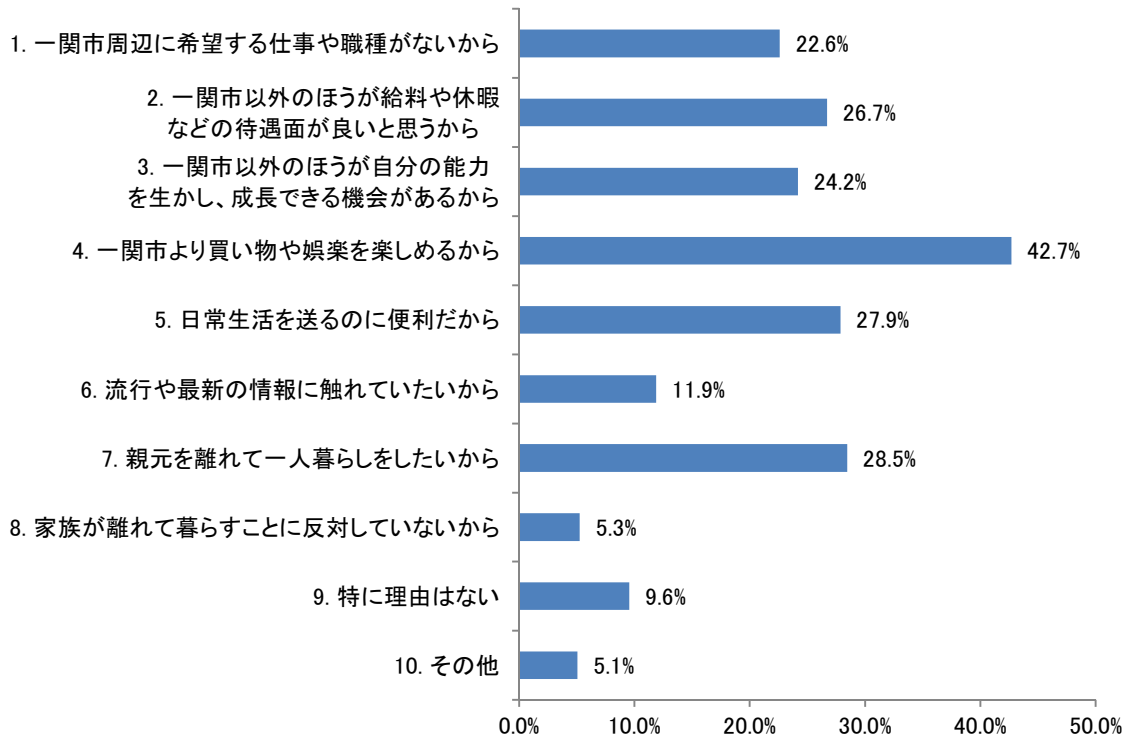
※複数回答のため、合計は100%にならない

<前回調査時の結果>



問 16 問 13 で「2. 一関市以外に住みたい」と答えた方いかがいます。一関市以外に住みたいと思った理由は何ですか。(あてはまるもの3つまで選択)

「一関市より買い物や娯楽を楽しめるから」が 42.7%と最も多く、「親元を離れて一人暮らしをしたいから」が 28.5%、「日常生活を送るのに便利だから」が 27.9%と続いています。

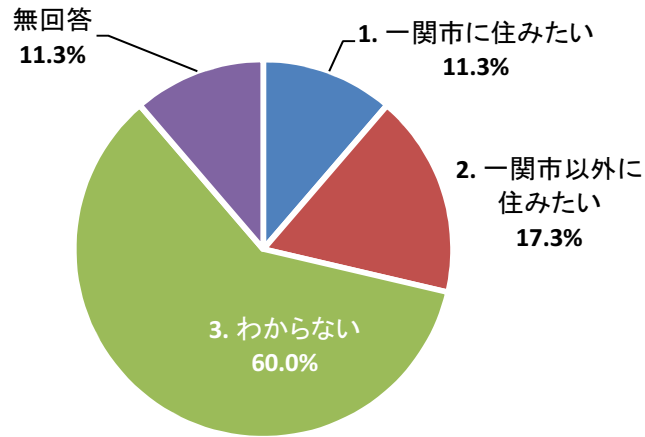


有効回答数=513

※複数回答のため、合計は 100%にならない

問 18 問 13 で「2. 一関市以外に住みたい」と答えた方いかがいます。将来的に一関市に戻ってくる考えはありますか。(1つ選択)

「一関市以外に住みたい」が 17.3%、「一関市に住みたい」が 11.3%、「わからない」が 60.0%となっています。



■ 1. 一関市に住みたい ■ 2. 一関市以外に住みたい ■ 3. わからない ■ 無回答

有効回答数=513

問 19 問 18 で「1. 戻りたい」を選んだ場合は、その理由をお書きください。

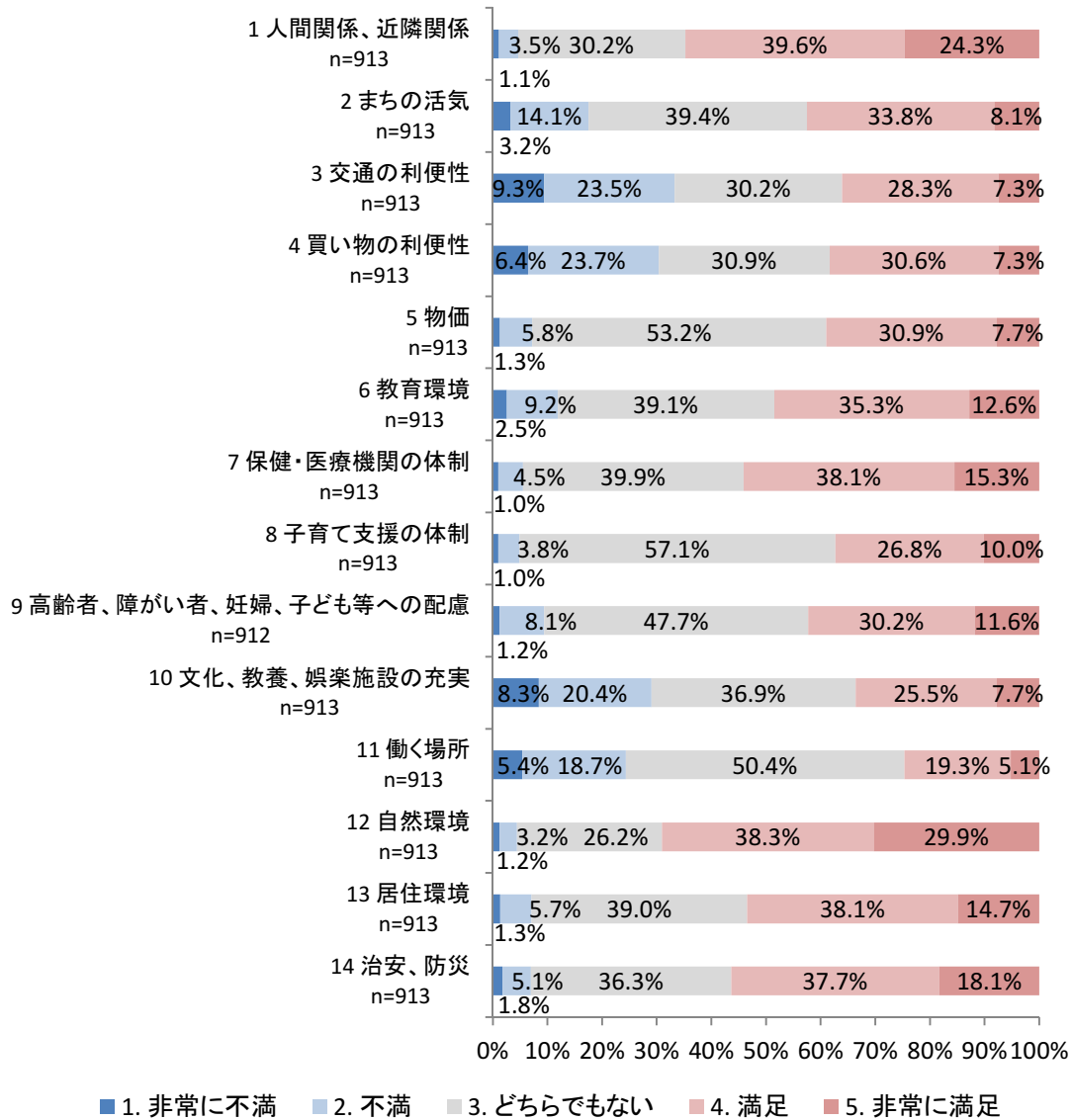
「親・友達がいるから」、「地元が好きだから」が 5 件と最も多く、「親が心配だから」、「生まれ育った場所だから」が 4 件と続いています。

自由記載（要旨）	件数
親・友達がいるから	5
地元が好きだから	5
親が心配だから	4
生まれ育った場所だから	4
住み慣れているから	3
住みやすいから	2
一関市以外で得た経験を、将来戻って活かしたいから	2
自然が豊かだから	2
実家があるから	2
退職後、地元に戻りたいから	2
地元に貢献したいから	2
帰省するから	2
その他	10
計	45

その他（各 1 件 計 10 件）

- ・親に心配かけないように。
- ・一関市内でも仕事をしたいと思ったから。
- ・落ち着くから。
- ・行事があるときだけ。
- ・故郷のことが心配だから。
- ・自分の故郷なのでタイミングをみて移り、ゆっくり生活したいから。
- ・住んだことないけれど魅力があるから。
- ・年をとったら都会は過ごしにくいと思う。
- ・家を継ぐから。
- ・自分が仙台に行って働いている間に一関も発達してくれると思うから。

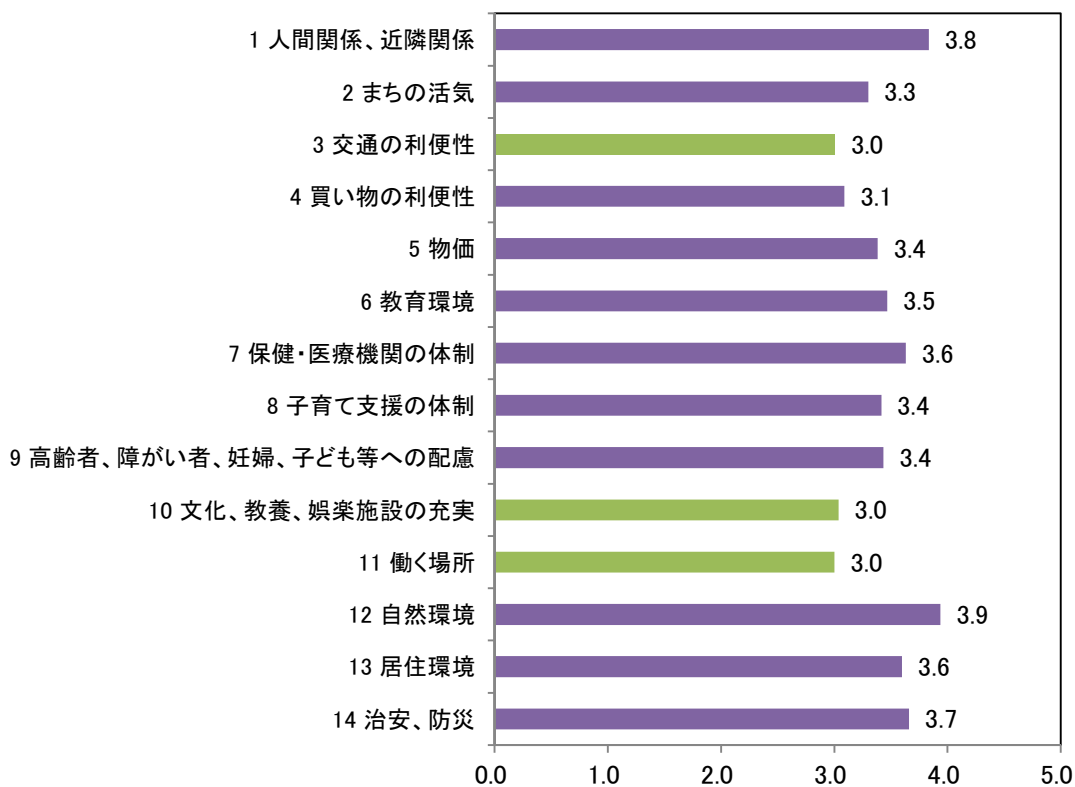
問 20 あなたは一関市の住みやすさについて、どのように感じていますか。項目ごとに1「非常に不満」～5「非常に満足」の5段階評価のうち、あてはまる番号を1つ選択してください。



各項目の5段階評価の平均値

問 20 の各項目の満足度について5段階評価の平均値を示しています。

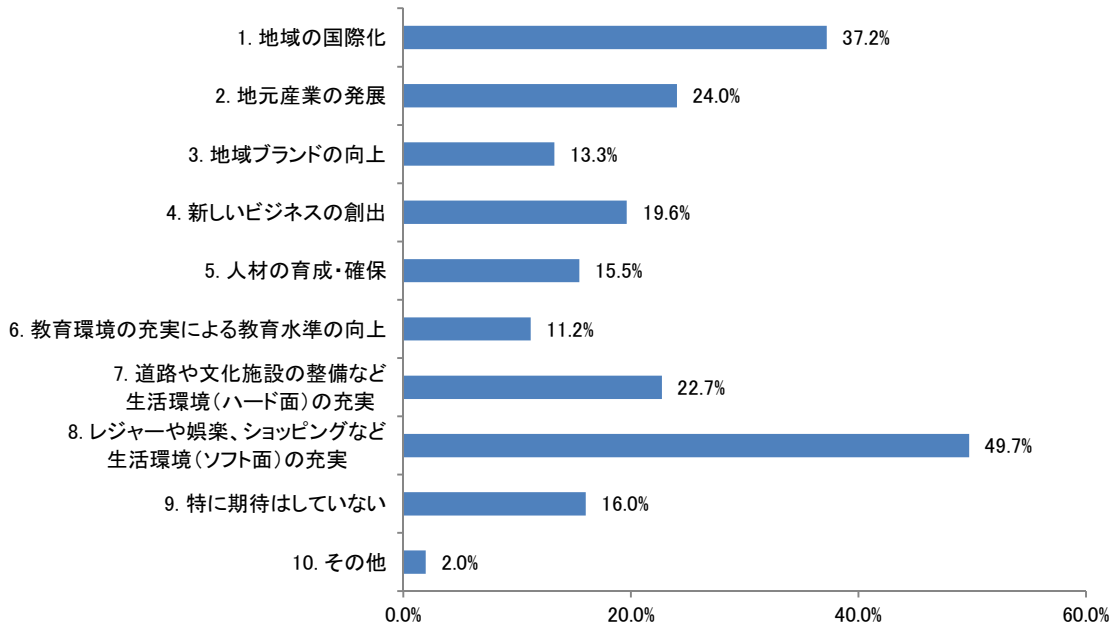
「自然環境」が3.9と最も高く、次いで「人間関係、近隣関係」が3.8となっています。また「交通の利便性」と「文化、教養、娯楽施設の充実」、「働く場所」が3.0と最も低くなっています。



問 21 一関市を含む北上高地が I L C（国際リニアコライダー）計画の国内候補地となっています。一関市では I L C の実現を目指し、市民への普及啓発、国内外への情報発信などに取り組んでいます。あなたは I L C の実現に伴って地域にどのようなことを期待しますか。（あてはまるもの3つまで選択）

「レジャーや娯楽、ショッピングなど生活環境（ソフト面）の充実」が 49.7% と最も多く、「地域の国際化」が 37.2%、「地元産業の発展」が 24.0% と続いています。

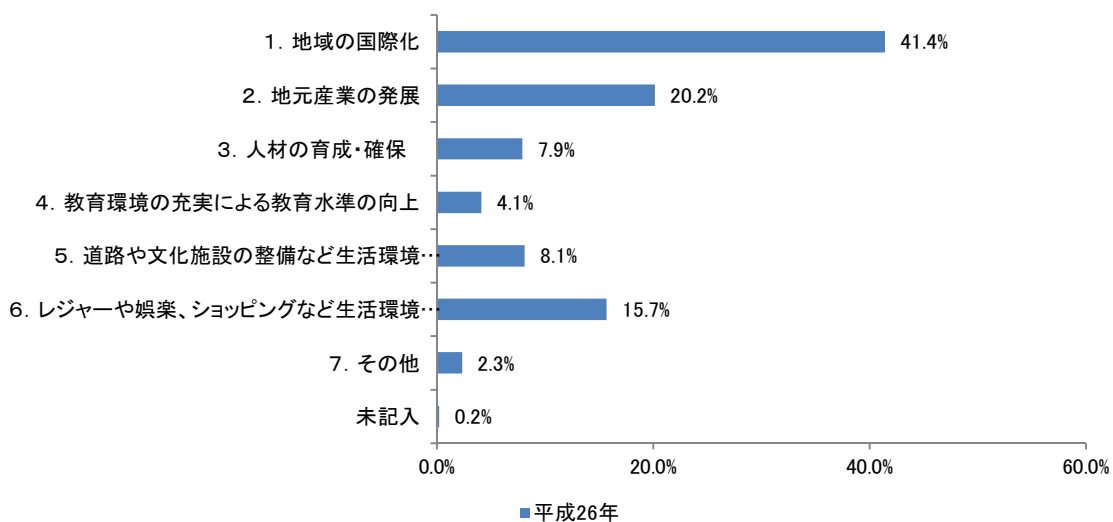
前回調査時と比較すると、「レジャーや娯楽、ショッピングなど生活環境（ソフト面）の充実」の順位が上がり、「地域の国際化」は下がっています。



有効回答数=911

※複数回答のため、合計は100%にならない

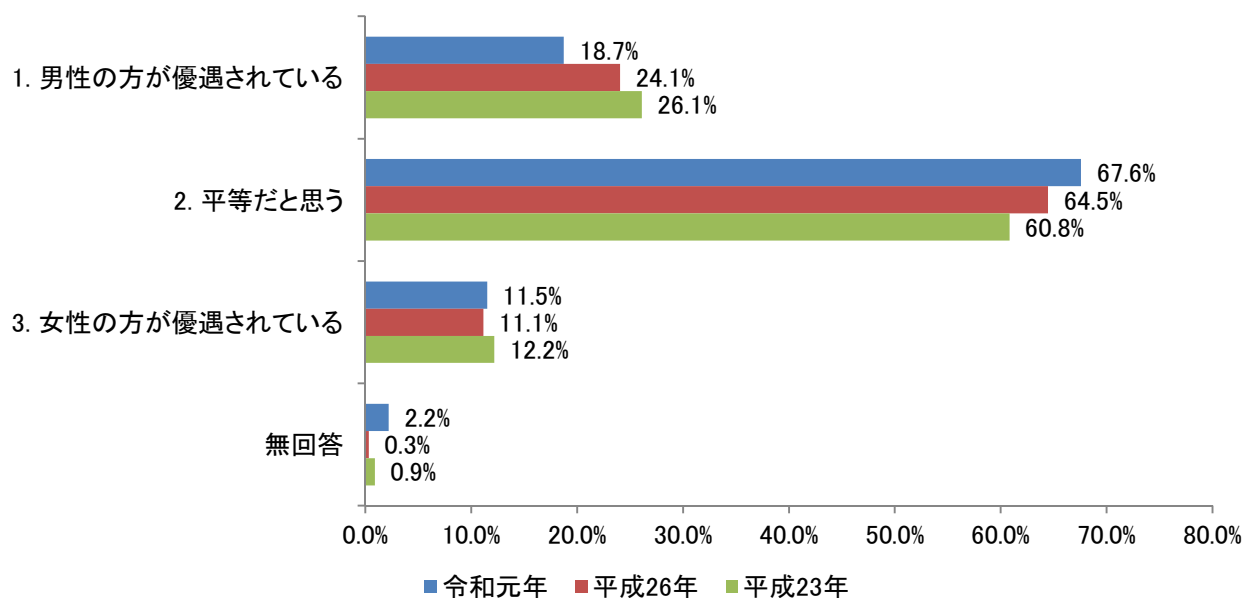
<前回調査時の結果>



問 23 あなたは社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。(1つ選択)

「平等だと思う」が 67.6%、「男性の方が優遇されている」が 18.7%、「女性の方が優遇されている」が 11.5%となっています。

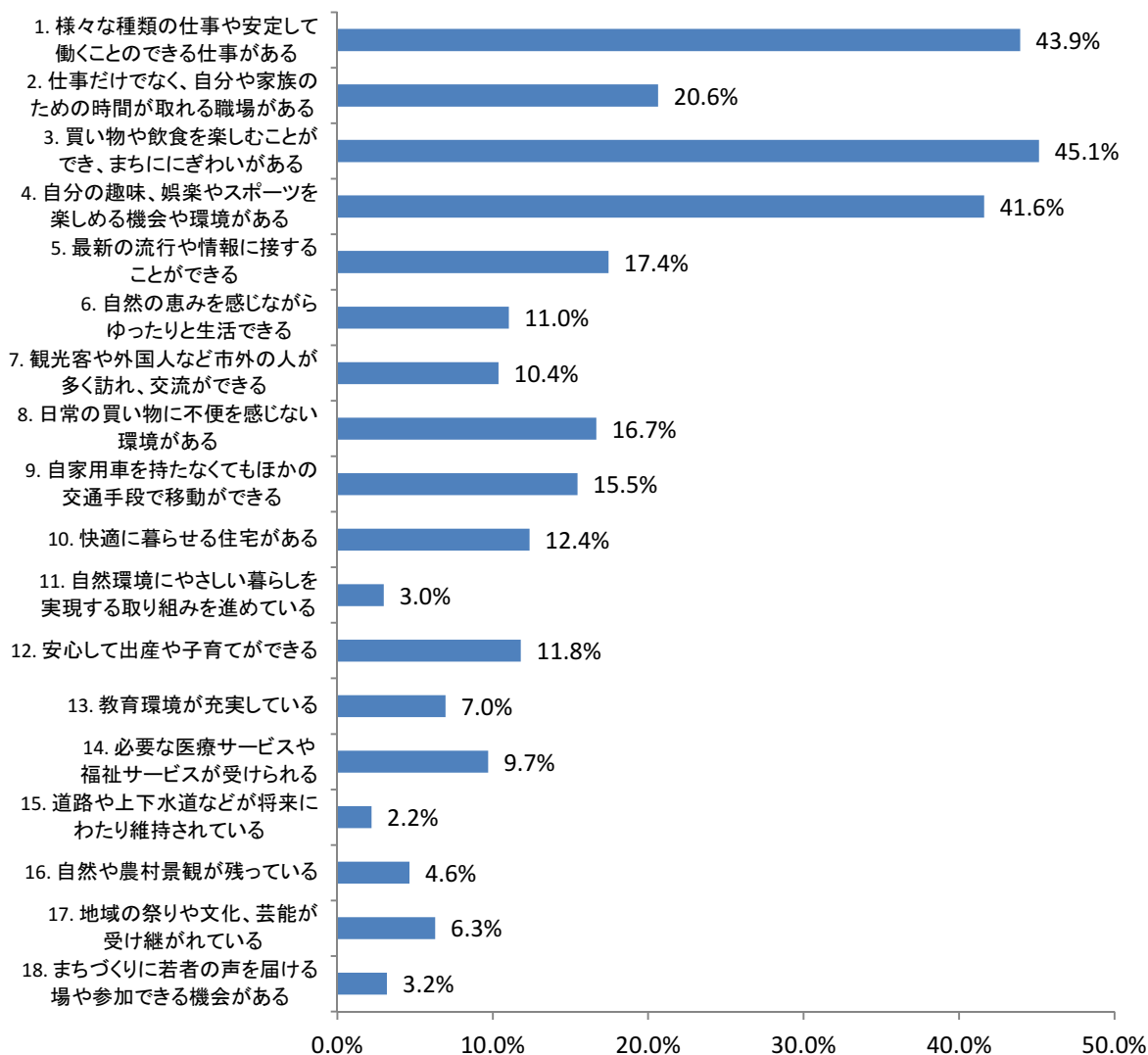
前回調査時と比較すると、「平等だと思う」が上昇している一方「男性のほうに優遇されている」が減少しています。「女性の方が優遇されている」はほぼ横ばいとなっています。



有効回答数=913

問 24 将来、どのようなまちになれば、一関市に住みたいと思う人が多くなると思いますか。(あてはまるもの3つまで選択)

「買い物や飲食を楽しむことができ、まちににぎわいがある」が45.1%と最も多く、「様々な種類の仕事や安定して働くことのできる仕事がある」が43.9%、「自分の趣味、娯楽やスポーツを楽しめる機会や環境がある」が41.6%となっています。



有効回答数=906

※複数回答のため、合計は100%にならない

問 25 あなたは将来、一関市がどのようなまちになればよいと思いますか。ご意見やご提案があれば自由にお書きください。

現行の一関市総合計画前期基本計画（平成 28 年度から令和 2 年度）では、5 つの大項目、計 34 の分野で分類されています。この 34 分野をベースとして類似の分野を統合し、14 の分野に分類、整理しました。問 25 の回答内容を、この 14 分野で分類、集計しています。なお、一人の回答で複数の分野に該当する場合は、分解せずに複数の分野で重複して集計しています。

最も多かった分野は「産業」の 113 件で、「インフラ関係」が 82 件、「自然・公園・緑化・環境」が 49 件と続いています。

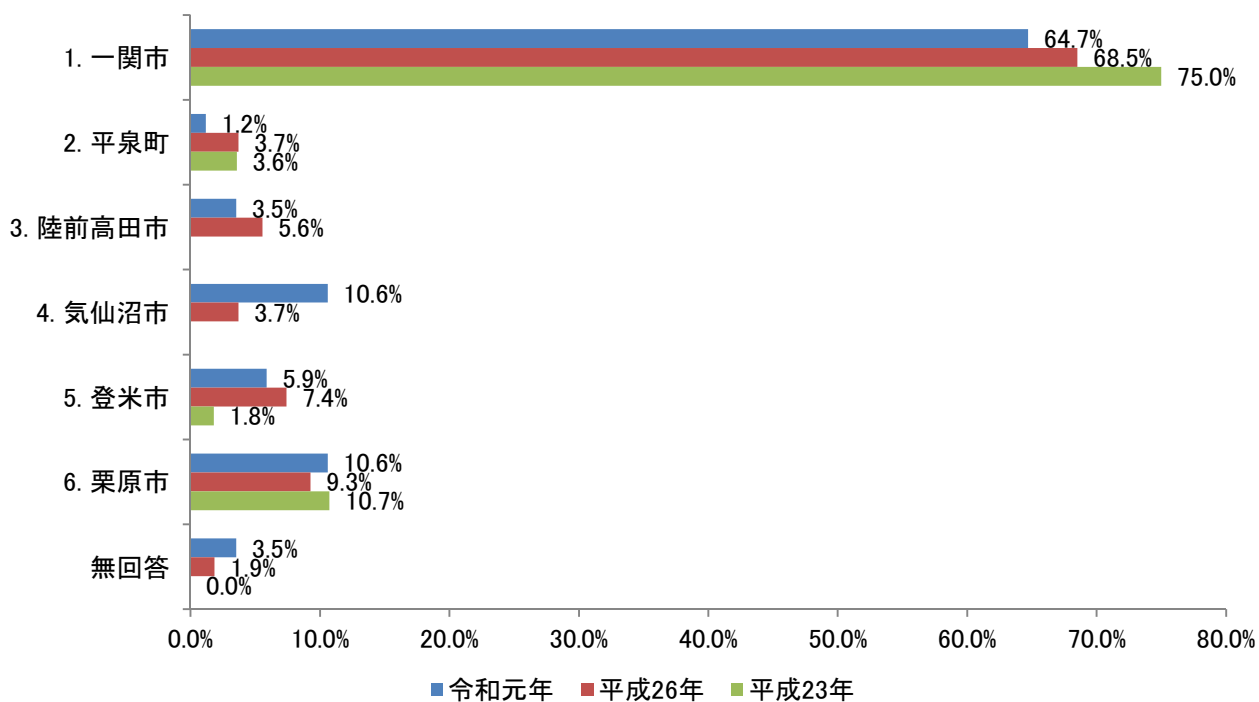
分 野	件 数
産業	113
インフラ関係	82
自然・公園・緑化・環境	49
子育て、教育	36
雇用	27
観光	26
生涯学習・文化芸術、スポーツ・文化財	25
安全対策	23
医療、福祉、健康	17
都市間交流、国際交流	12
移住定住、結婚支援	11
地域づくり活動	9
住環境・景観・水道	2
その他（未分類）	123
計	555

(3) 企業アンケート

問1 貴社の所在地（当地の現地事務所、工場など）は、次のうちどちらですか。（1つ選択）複数の市町に該当する場合は、主たる所在地をお選びください。

「一関市」が64.7%と最も多く、「気仙沼市」と「栗原市」が10.6%と続いています。

前回調査時と同様に、「一関市」が最も高い割合を示しています。「気仙沼市」の割合が増えている一方で、「登米市」は減少しています。

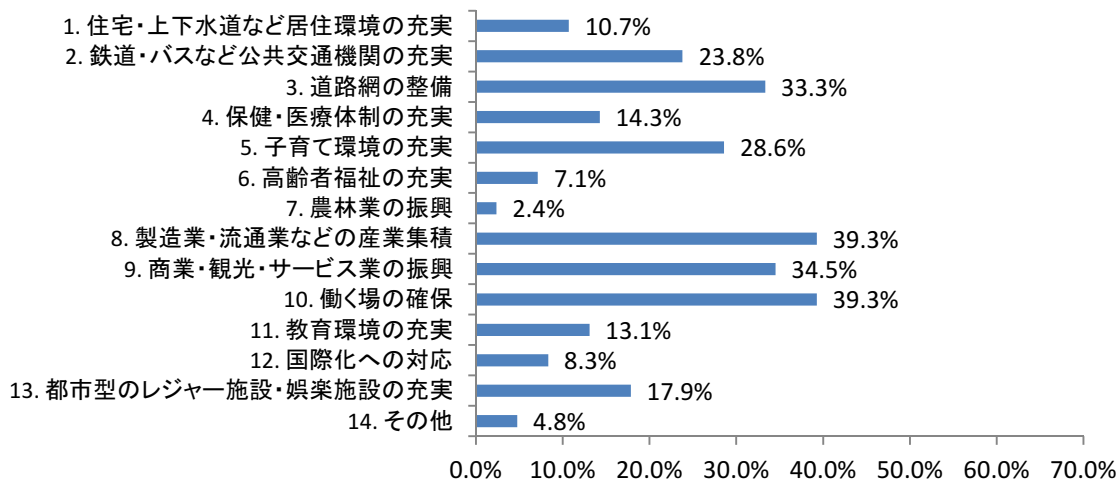


有効回答数=85

問2 岩手県南から宮城県北までの地域を中東北として発展させていくため、一関市の役割としてどう
いう分野に力を入れていくべきとお考えですか。(あてはまるもの3つまで選択)

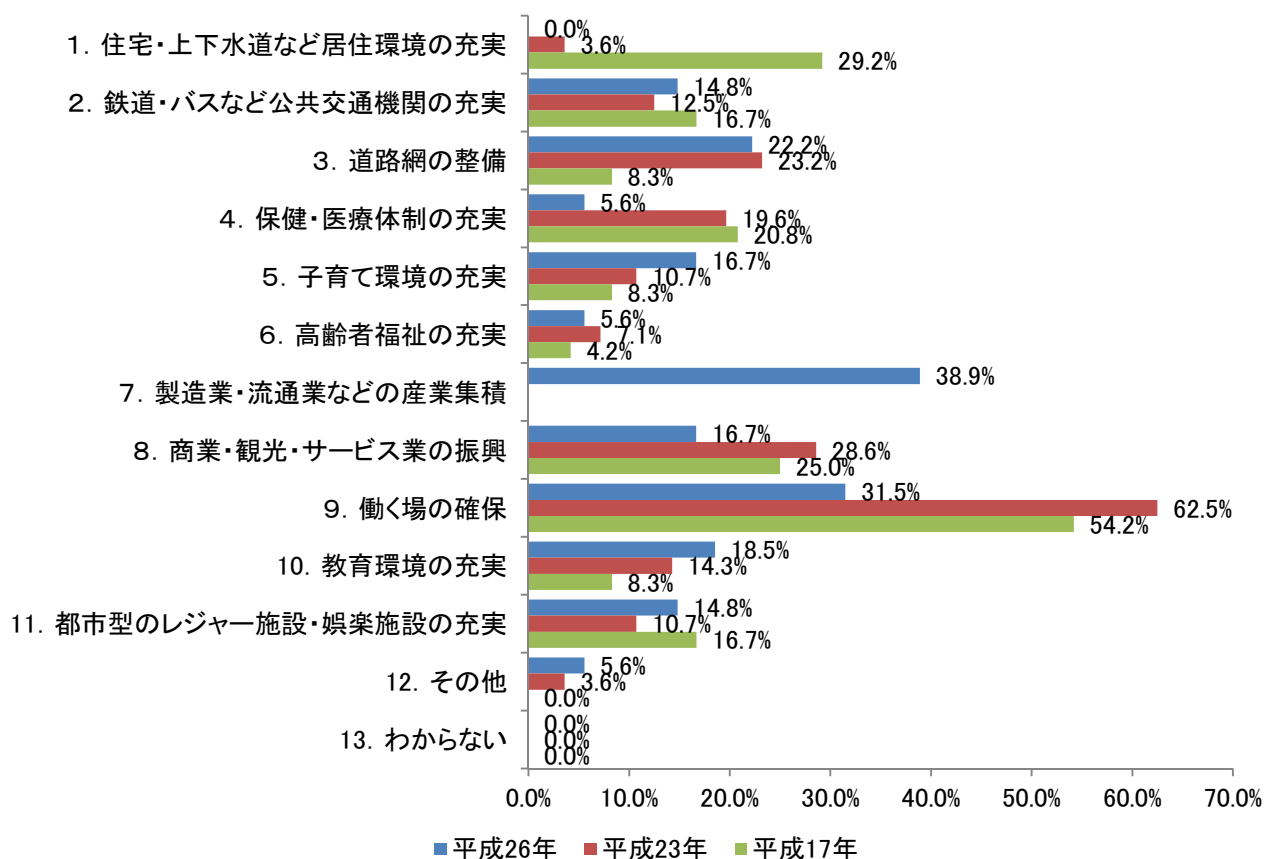
「製造業・流通業などの産業集積」、「働く場の確保」が39.3%と最も高く、「商業・観光・サービス業の振興」が34.5%、「道路網の整備」が33.3%と続いています。

前回調査時と同様に「製造業・流通業などの産業集積」が最も高い割合を示しています。



有効回答数=84

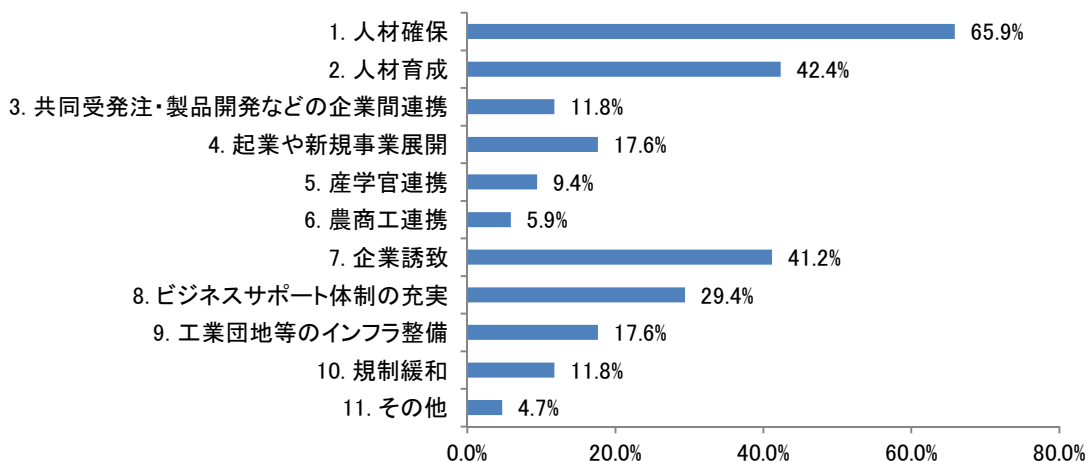
<前回調査時の結果>



※複数回答のため、合計は100%にならない

問4 商工業の振興のため必要とお考えのものは、次のうちどれですか。(あてはまるもの3つまで選択)

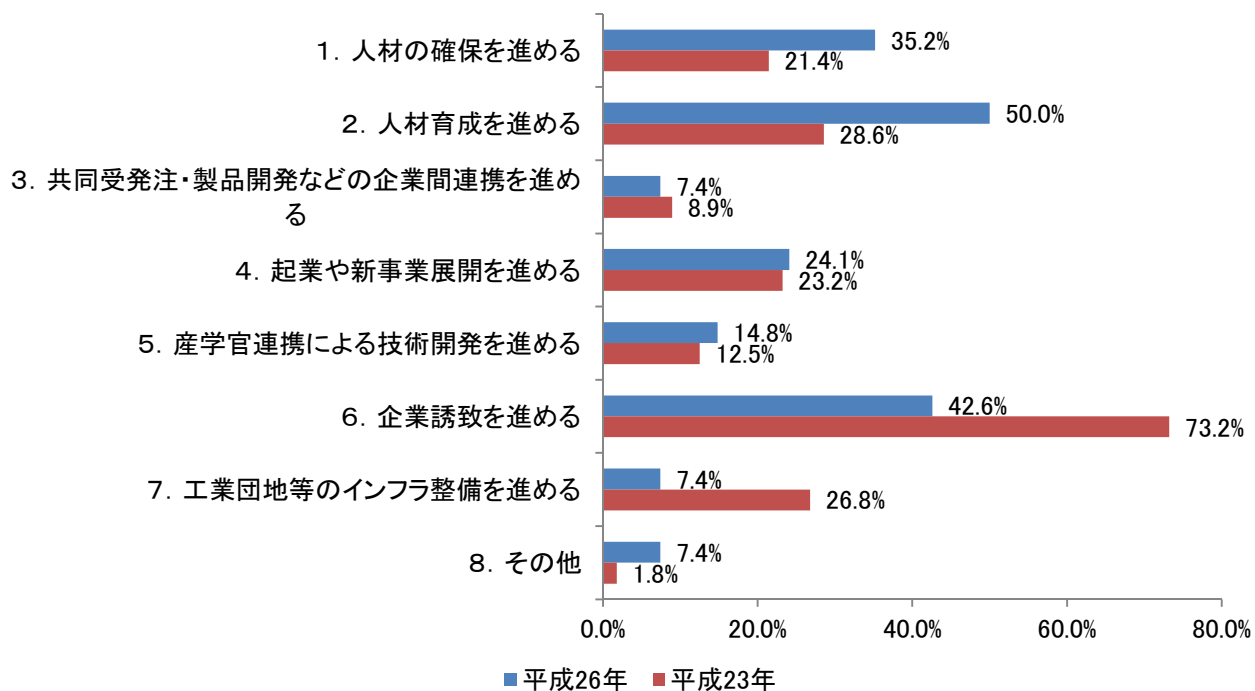
「人材確保」が65.9%と最も多く、「人材育成」が42.4%、「企業誘致」が41.2%と続いています。前回調査時と比較すると、「人材確保」の順位が上がり、「人材育成」は下がっています。



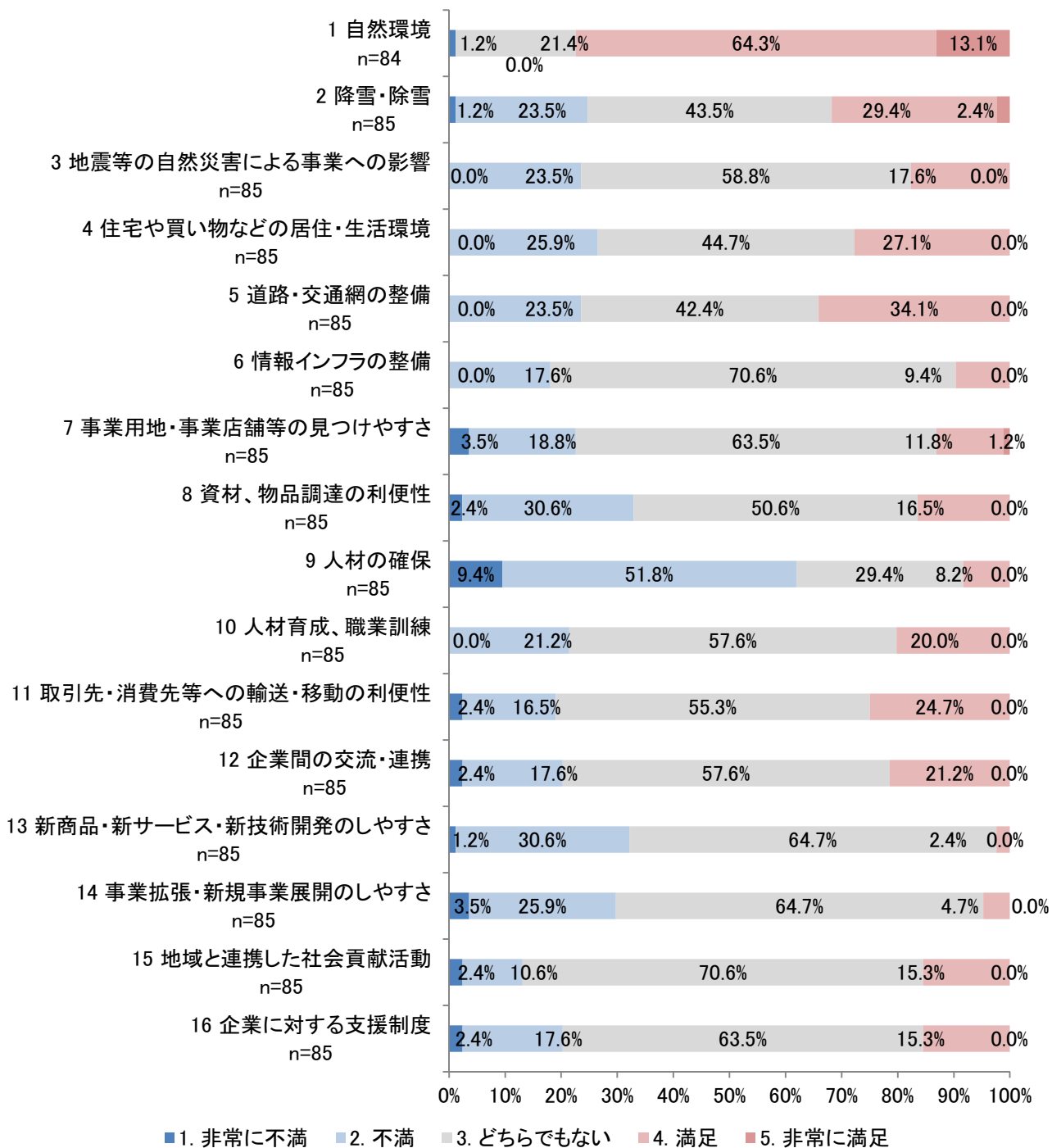
有効回答数=85

※複数回答のため、合計は100%にならない

<前回調査時の結果>



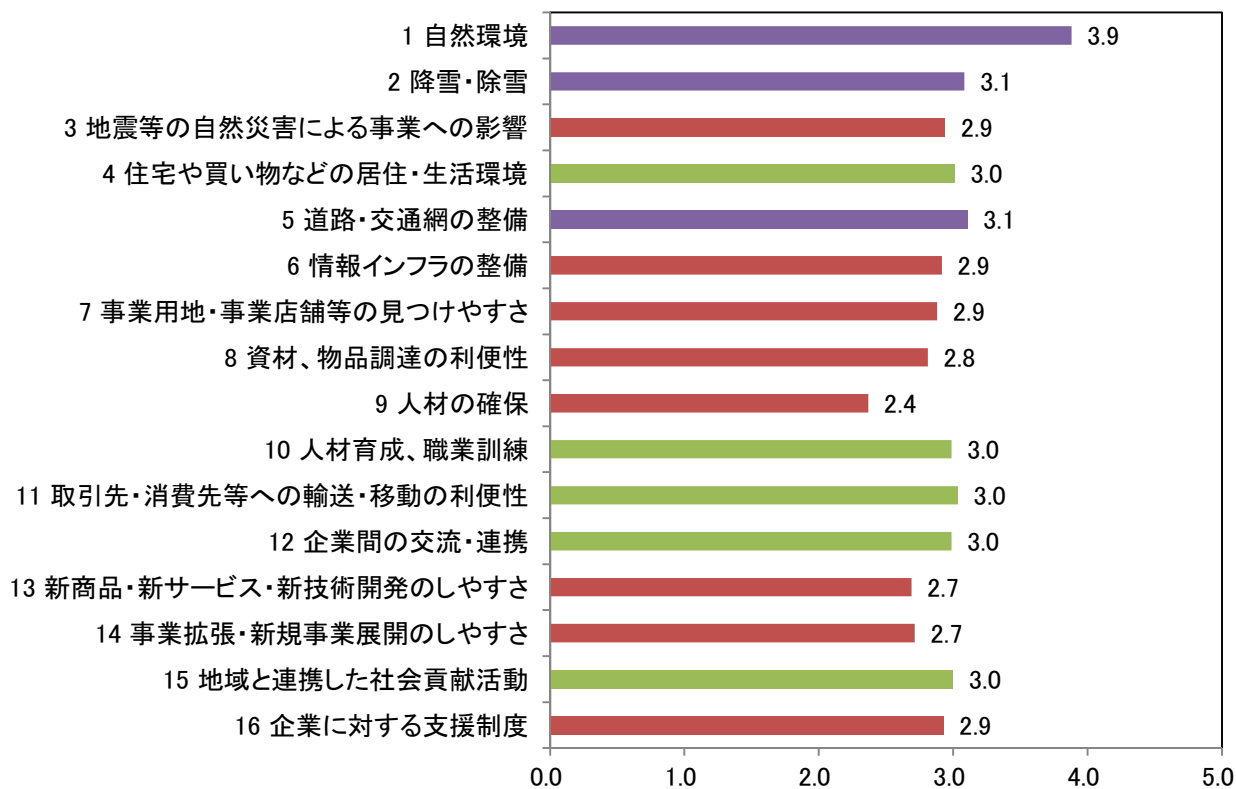
問6 企業活動を行うにあたり、他の市町村と比べた一関市の状況はいかがですか。



問6 各項目の5段階評価の平均値

問6の各項目の満足度について、5段階評価の平均値を示しています。

「自然環境」が3.9と最も高く、次いで「降雪・除雪」と「道路・交通網の整備」が3.1となっています。また「人材の確保」が2.4と最も低く、次いで「新商品・新サービス・新技術開発のしやすさ」と「事業拡張・新規事業展開のしやすさ」が2.7となっています。

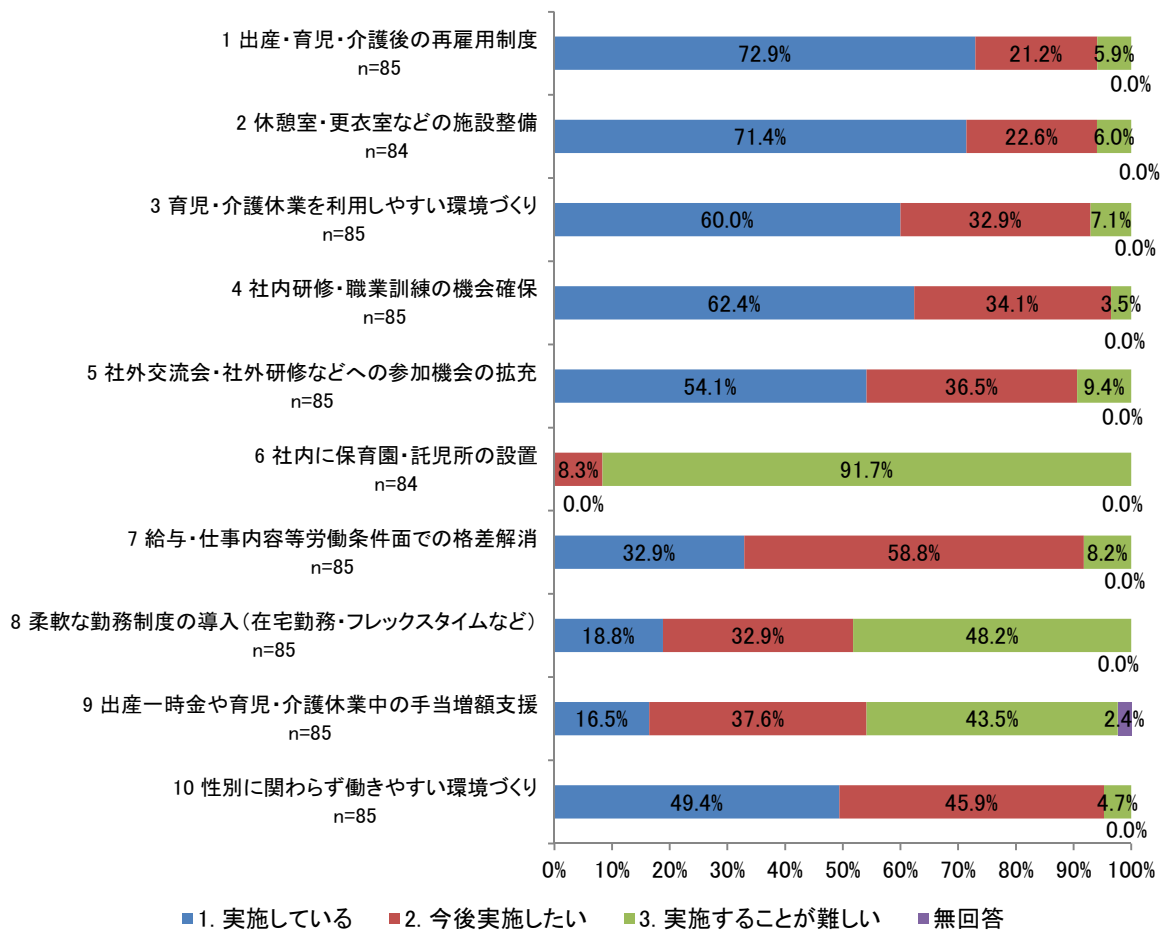


問7 一関市では「男女が互いにその人権を尊重し、責任を分かち合い、その個性と能力を十分に発揮することのできる」男女共同参画社会の実現を目指した取り組みを推進しています。男女共同参画社会の実現のため、以下の項目について貴社の取り組み状況をお選びください。

「実施している」が選択された割合は 「出産・育児・介護後の再雇用制度」が72.9%と最も多く、次いで「休憩室・更衣室などの施設整備」が71.4%となっています。

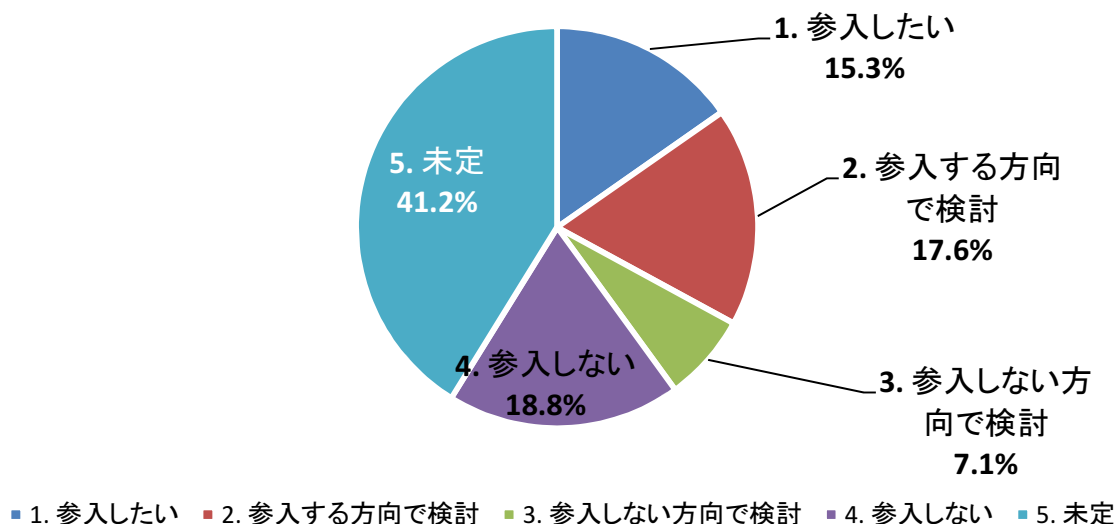
「今後実施したい」が選択された割合は、「給与・仕事内容等労働条件面での格差解消」が58.8%と最も多く、次いで「性別に関わらず働きやすい環境づくり」が45.9%となっています。

「実施することが難しい」が選択された割合は、「社内に保育園・託児所の設置」が91.7%と最も多く、次いで「柔軟な勤務制度の導入（在宅勤務・フレックスタイムなど）」が48.2%となっています。



問8 一関市を含む北上高地がILC（国際リニアコライダー）計画の国内候補地となっています。ILC関連産業への参入について、どのようにお考えですか。（1つ選択）

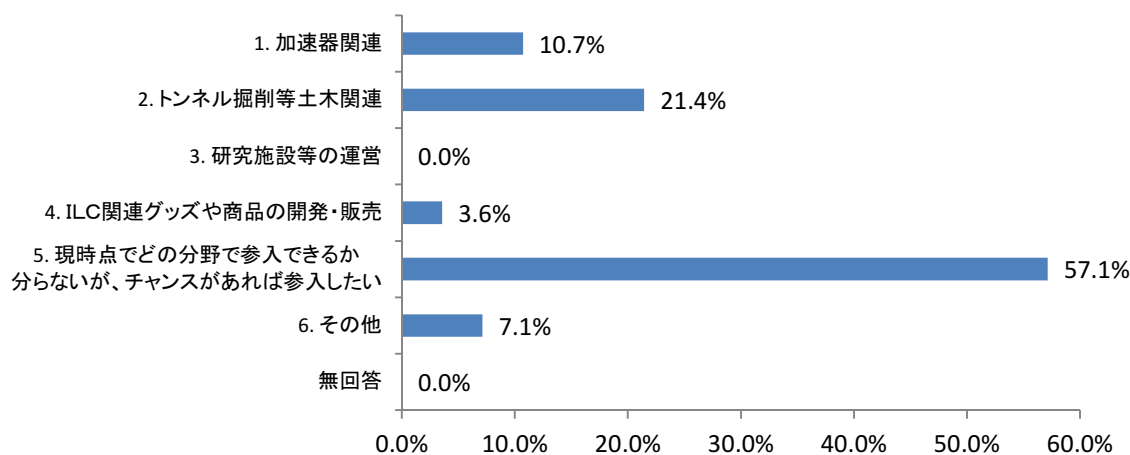
「未定」が41.2%と最も多く、「参入しない」が18.8%、「参入する方向で検討」が17.6%、「参入したい」が15.3%、「参入しない方向で検討」が7.1%と続いています。



有効回答数=85

問9 問8で「1. 参入したい」または「2. 参入する方向で検討」を選択した方にうかがいます。参入する場合、主にどのような分野で参入したいと考えていますか。（1つ選択）

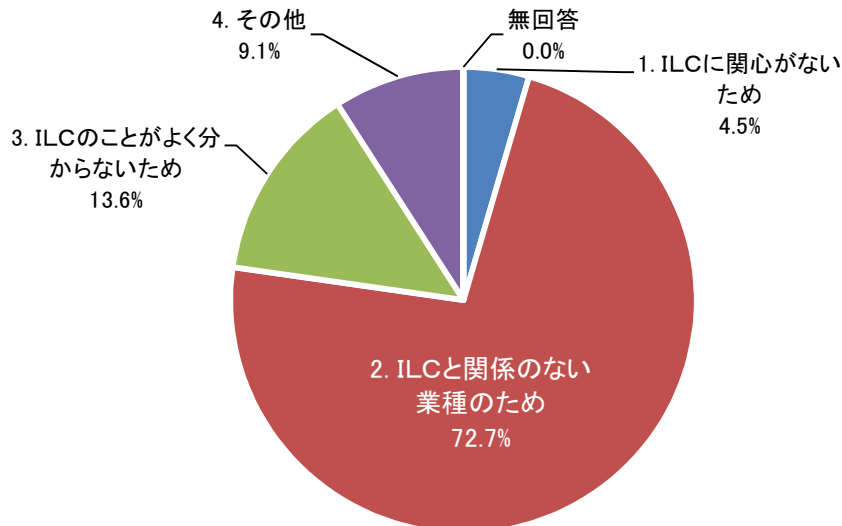
「現時点でどの分野で参入できるかわからないが、チャンスがあれば参入したい」が57.1%と最も多く、「トンネル掘削等土木関連」が21.4%、「加速器関連」が10.7%と続いています。



有効回答数=28

問 11 問 8 で「3. 参入しない方向で検討」または「4. 参入しない」を選択した方にうかがいます。参入しない理由は何ですか。(1つ選択)

「ILCと関係のない業種のため」が72.7%と最も多く、次いで「ILCのことがよく分からないため」が13.6%となっています。



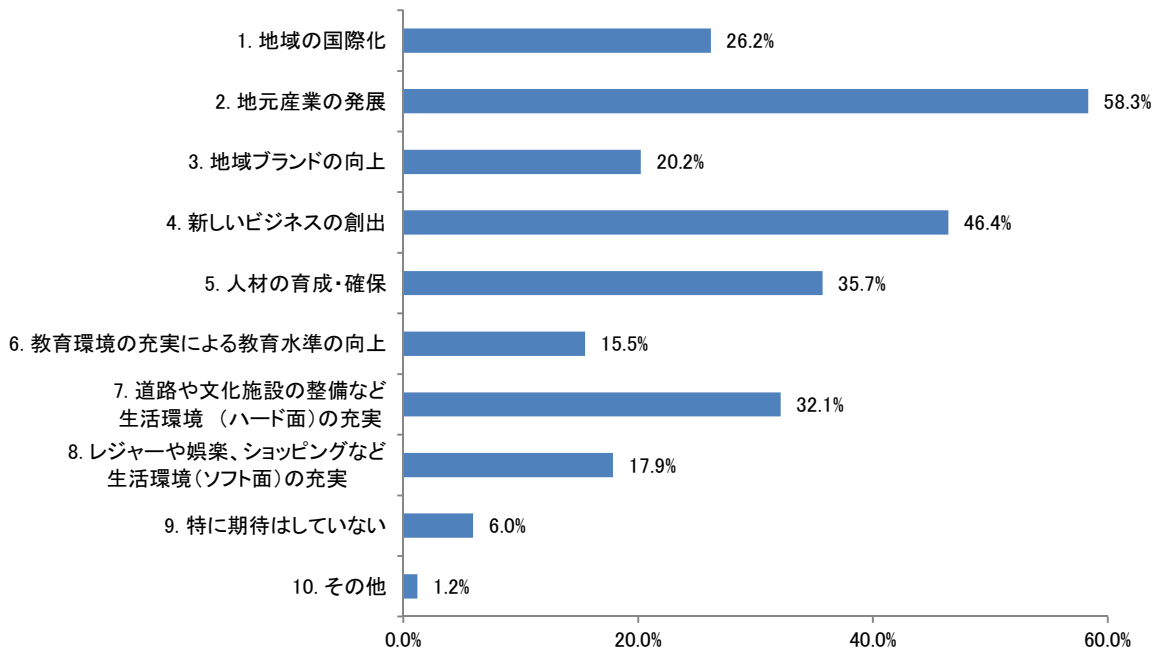
- 1. ILCに関心がないため
- 2. ILCと関係のない業種のため
- 3. ILCのことがよく分からないため
- 4. その他
- 無回答

有効回答数=22

問 13 一関市では I L C の実現を目指し、市民への普及啓発、国内外への情報発信などに取り組んでいます。貴社は I L C の実現に伴って地域にどのようなことを期待しますか。(あてはまるもの3つまで選択)

「地元産業の発展」が 58.3% と最も多く、「新しいビジネスの創出」が 46.4%、「人材の育・確保」が 35.7% と続いています。

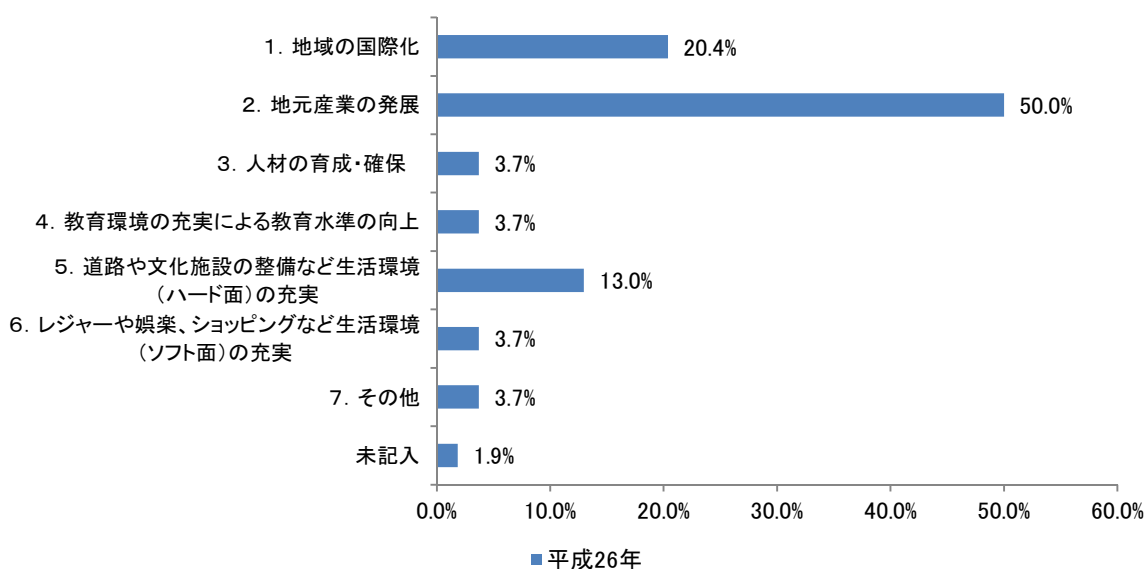
前回調査時と同様に、「一関地域」が最も高い割合を示しています。



有効回答数=84

※複数回答のため、合計は100%にならない

<前回調査時の結果>



問 15 これからの一関市のまちづくりについて、ご意見やご提案がございましたらお書きください。

現行の一関市総合計画前期基本計画（平成 28 年度から令和 2 年度）では、5 つの大項目、計 34 の分野で分類されています。この 34 分野をベースとして類似の分野を統合し、14 の分野に分類、整理しました。問 15 の回答内容を、この 14 分野で分類、集計しています。なお、一人の回答で複数の分野に該当する場合は、分解せずに複数の分野で重複して集計しています。

最も多かった分野は「産業」の 4 件で、「雇用」、「インフラ関係」、「移住定住、結婚支援」が 3 件と続いています。

分 野	件 数
産業	4
雇用	3
インフラ関係	3
移住定住、結婚支援	3
観光	1
子育て、教育	1
生涯学習・文化芸術、スポーツ・文化財	1
自然・公園・緑化・環境	1
住環境・景観・水道	1
安全対策	1
都市間交流、国際交流	0
地域づくり活動	0
医療、福祉、健康	0
その他	1
計	20

3. 回答者属性別調査結果

(1) 市民アンケート

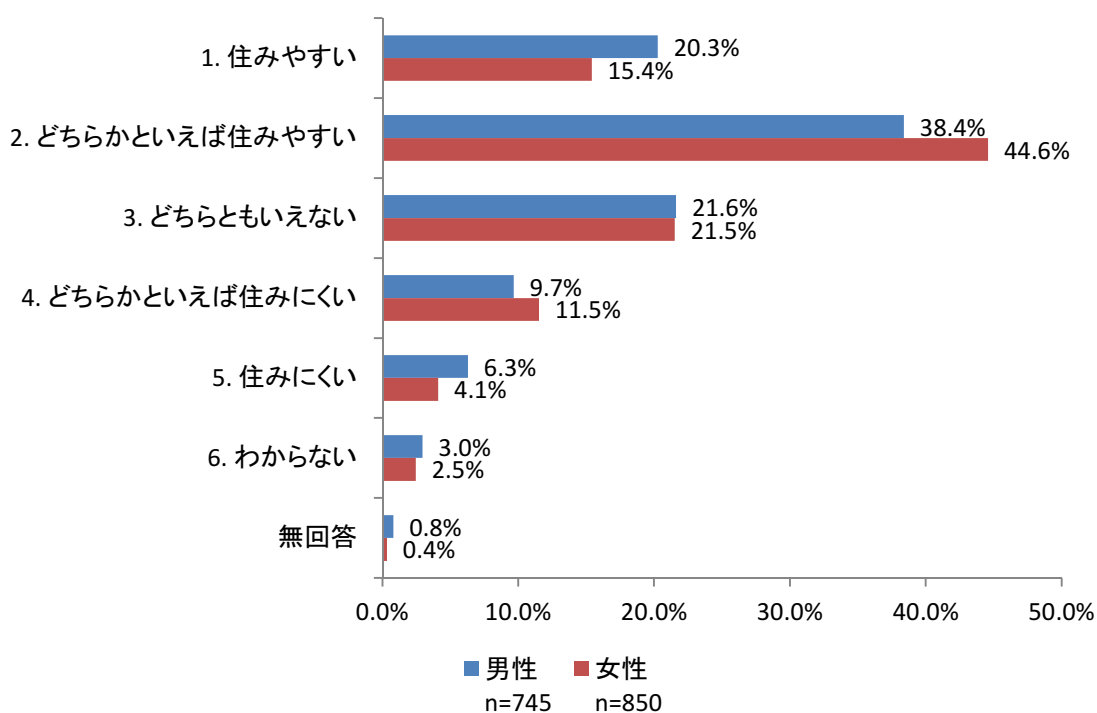
問6 あなたは、一関市の住みやすさについて、どのように感じていますか。(1つ選択)

問6で尋ねた一関市の住みやすさについて、男女別、年代別、地域別に示しています。

①男女別

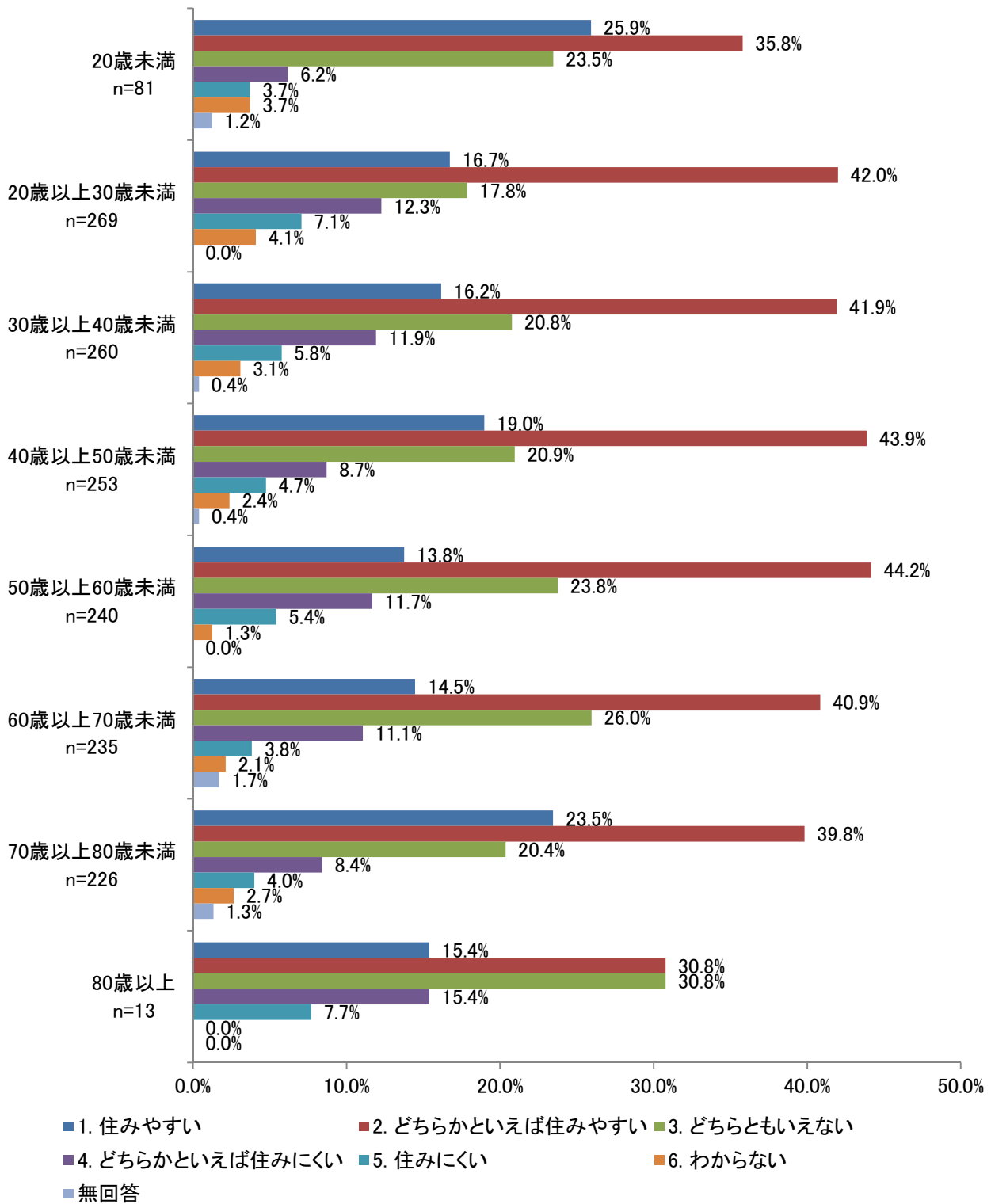
男性は「どちらかといえば住みやすい」と感じている割合が38.4%と最も多く、次いで「どちらともいえない」(21.6%)、「住みやすい」(20.3%)の順に多くなっています。

女性は「どちらかといえば住みやすい」と感じている割合が44.6%と最も多く、次いで「どちらともいえない」(21.5%)、「住みやすい」(15.4%)の順に多くなっています。



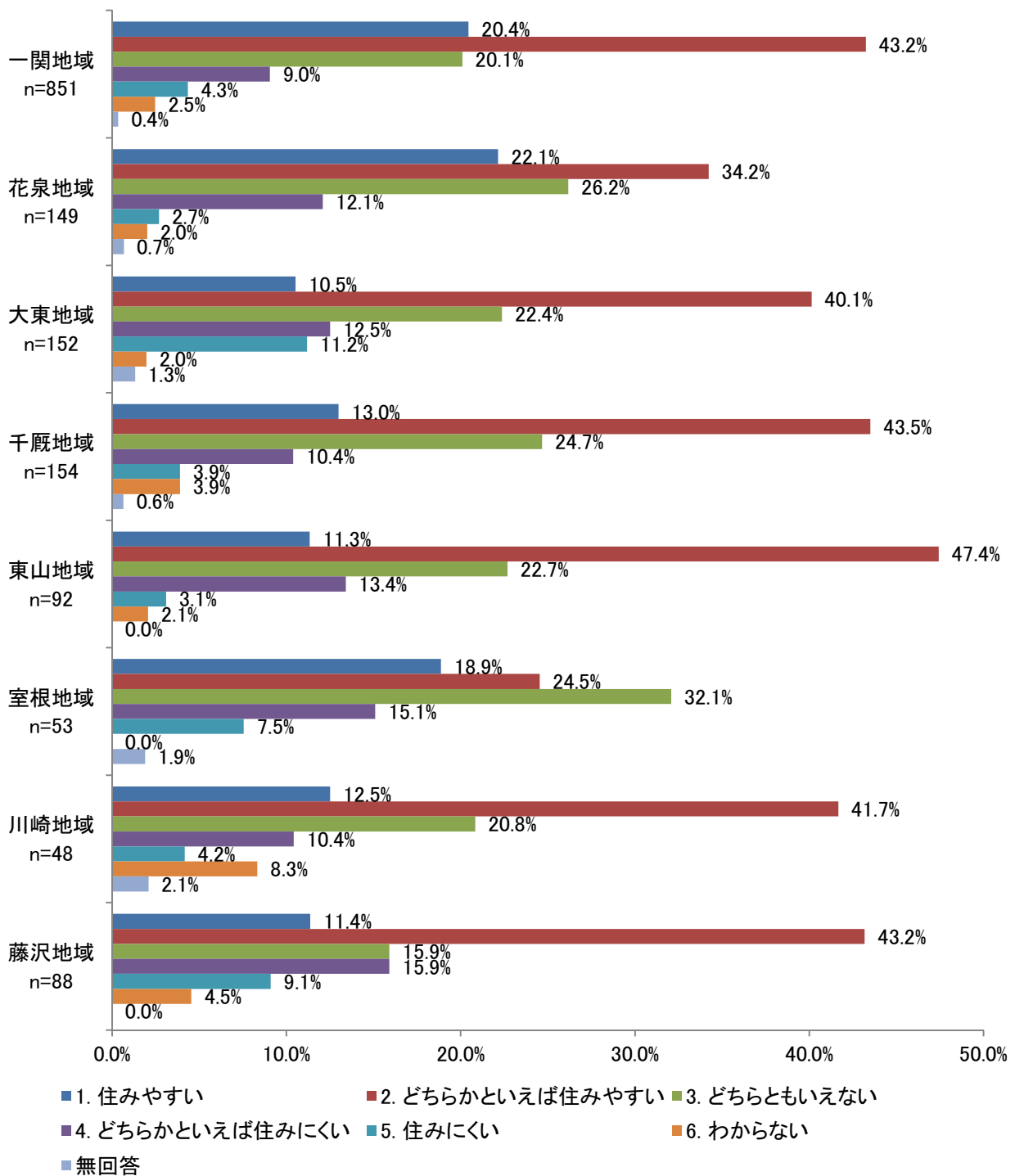
②年代別

すべての年代で共通して「どちらかといえば住みやすい」が最も多い結果となっています。「80歳以上」では「どちらかといえば住みやすい」、「どちらともいえない」が同率1位となっています。



③地域別

「室根地域」を除くすべての地域で「どちらかといえば住みやすい」が最も多く、「室根地域」では「どちらともいえない」が最も多い結果となっています。

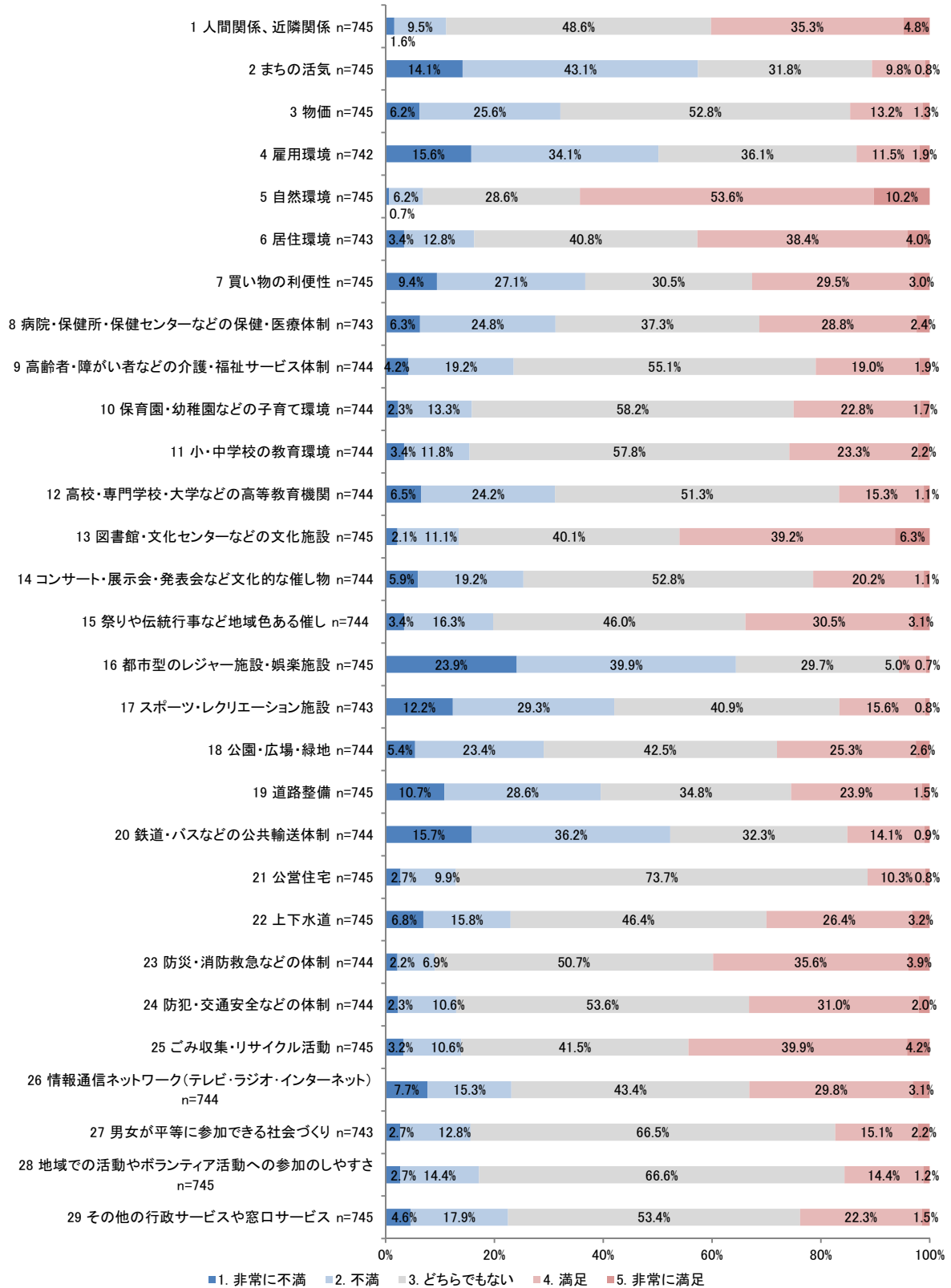


問7 あなたは一関市の生活環境について、どのように感じていますか。項目ごとに1「非常に不満」～5「非常に満足」の5段階評価のうち、あてはまる番号を1つ選択してください。

問7で尋ねた一関市の生活環境の満足度について、男女別、年代別、地域別に示しています。

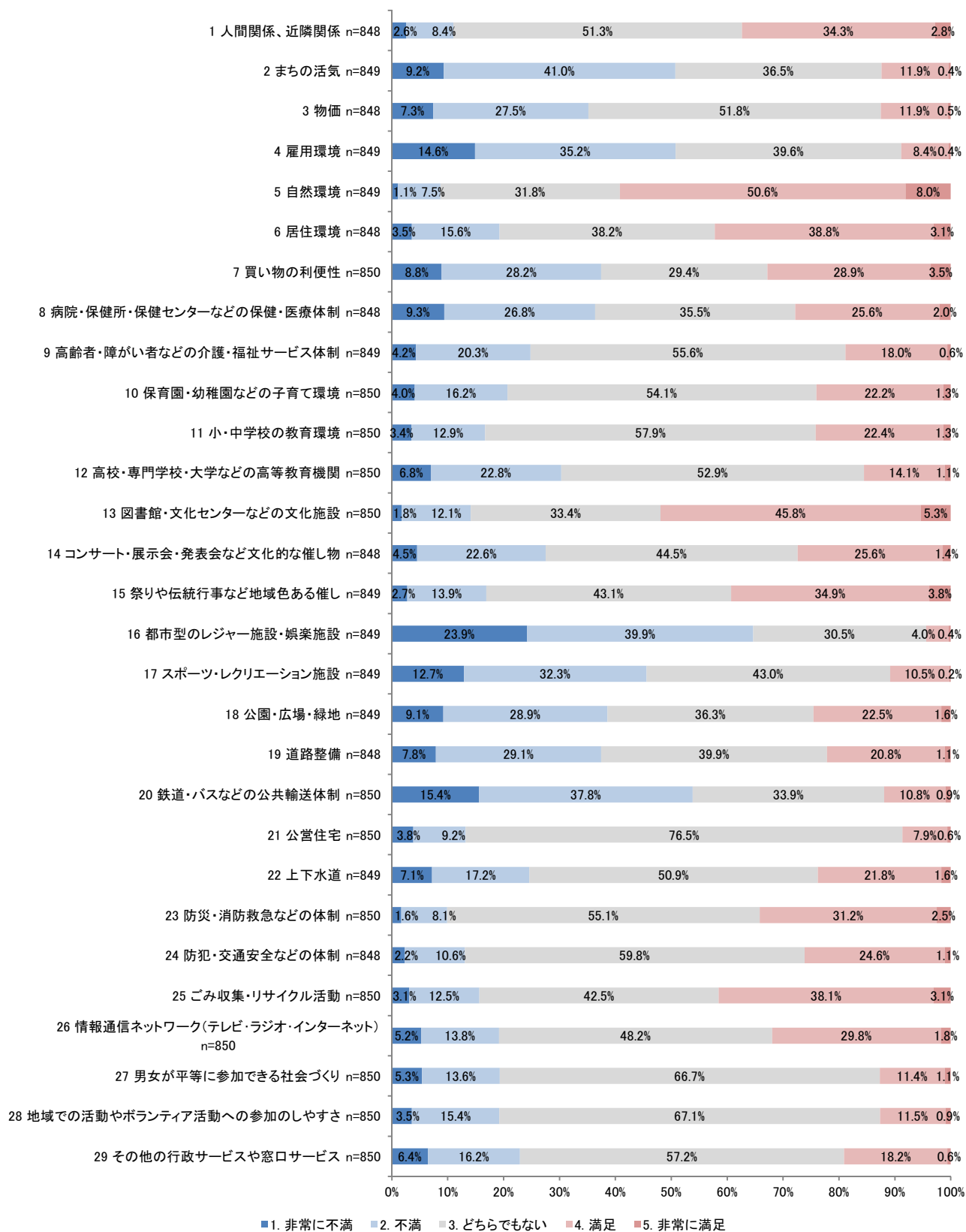
①男性

男性の結果を見ると、最も満足度が高い項目は「自然環境」(63.8%)となっています。一方、不満度が高い項目は「都市型のレジャー施設・娯楽施設」(63.8%)となっています。



②女性

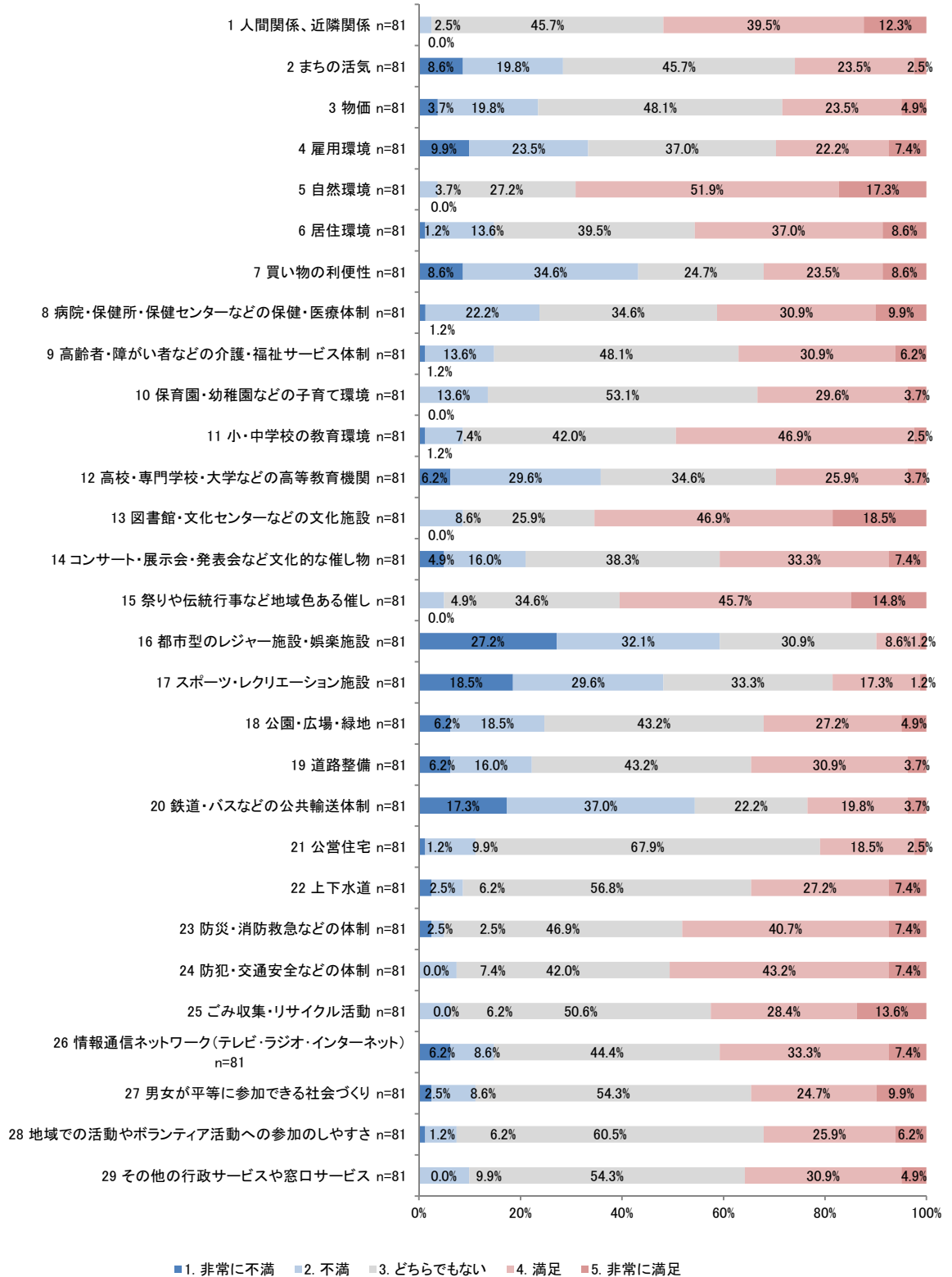
女性の結果を見ると、最も満足度が高い項目は「自然環境」(58.6%)となっています。一方、不満度が高い項目は「都市型のレジャー施設・娯楽施設」(63.8%)となっています。



③年代別

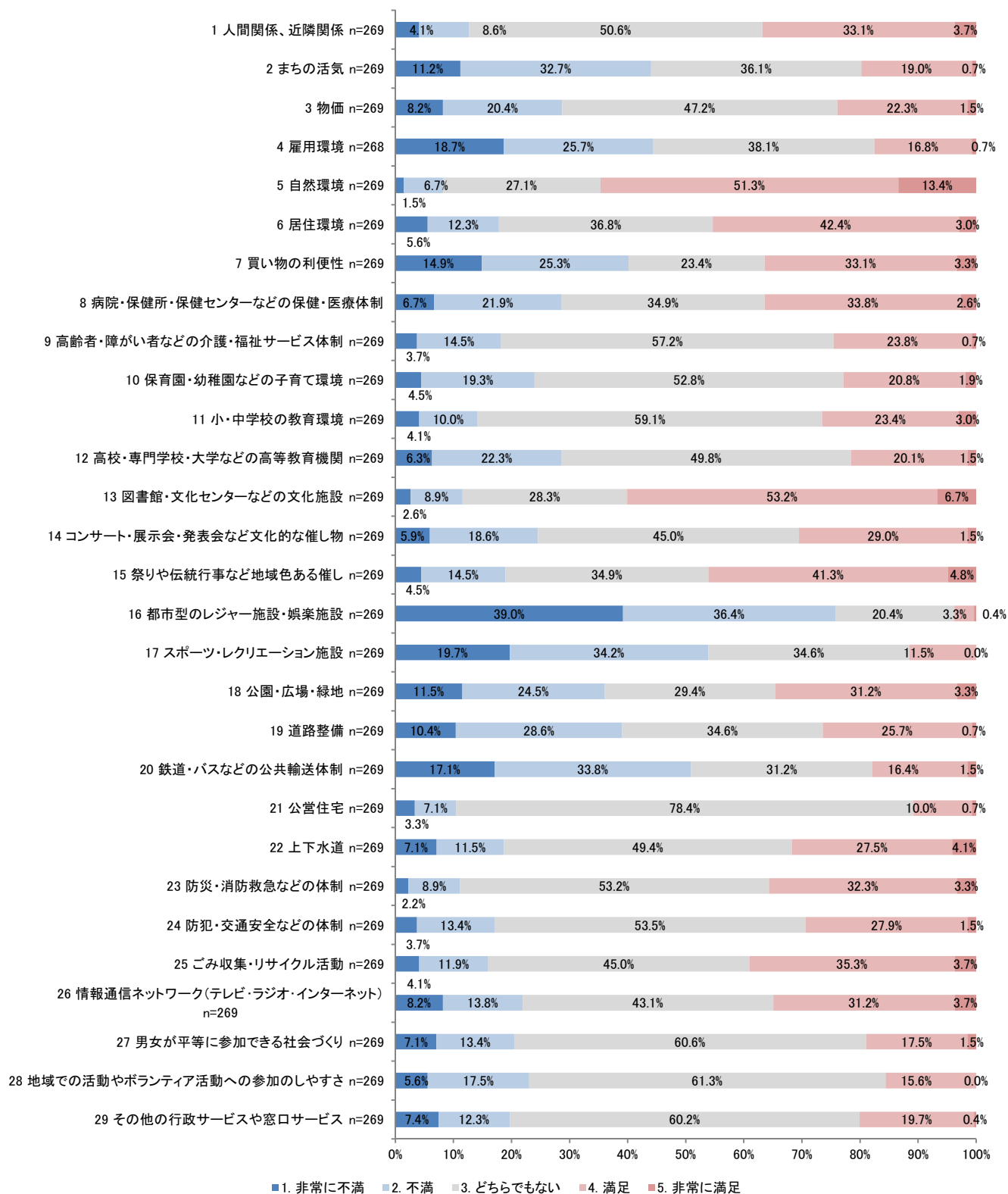
1) 20歳未満

20歳未満の結果を見ると、最も満足度が高い項目は「自然環境」(69.1%)となっています。一方、最も不満度が高い項目は「都市型のレジャー施設・娯楽施設」(59.3%)となっています。



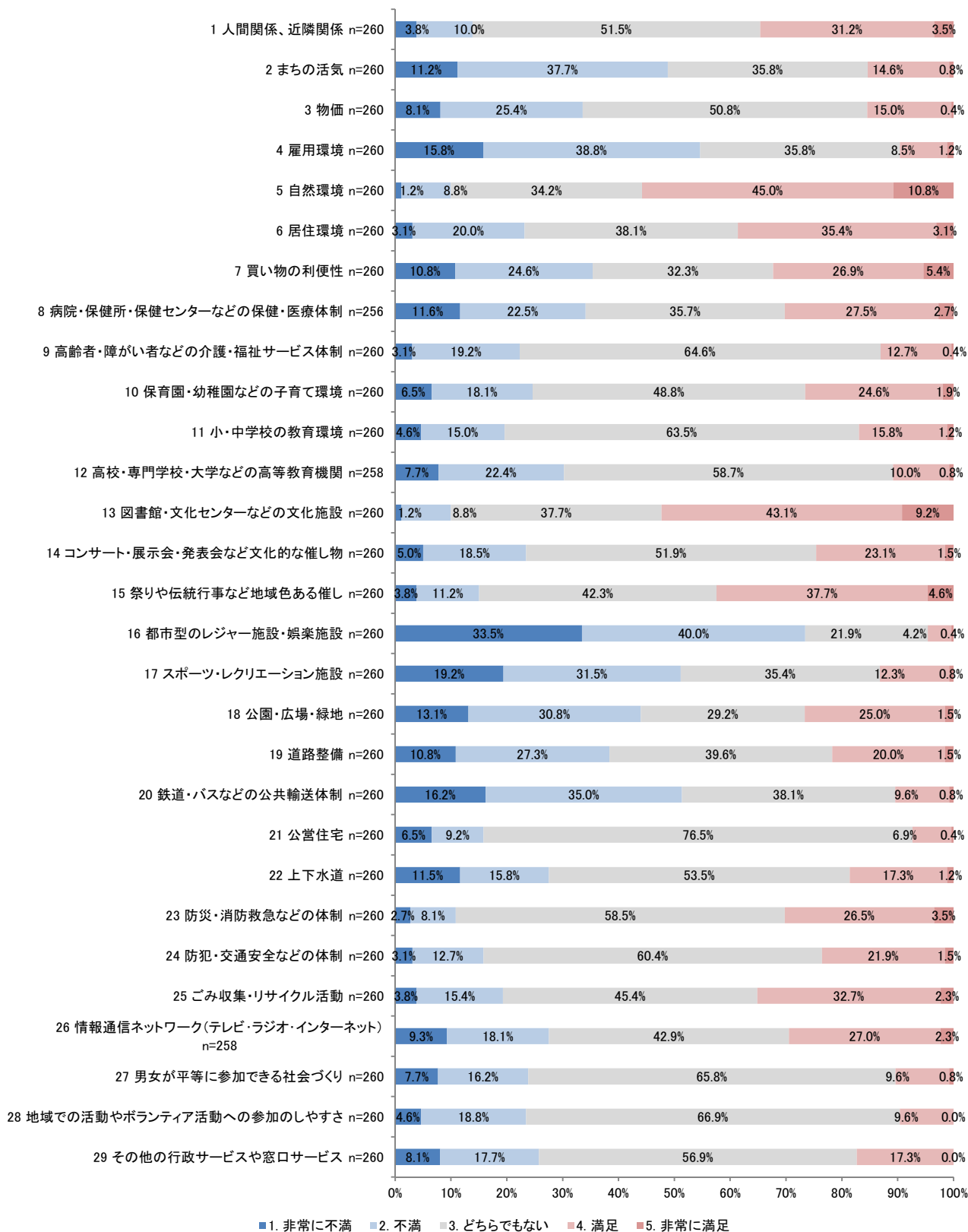
2) 20歳以上30歳未満

20歳以上30歳未満の結果を見ると、最も満足度が高い項目は「自然環境」(64.7%)となっています。一方、最も不満度が高い項目は「都市型のレジャー施設・娯楽施設」(59.3%)となっています。



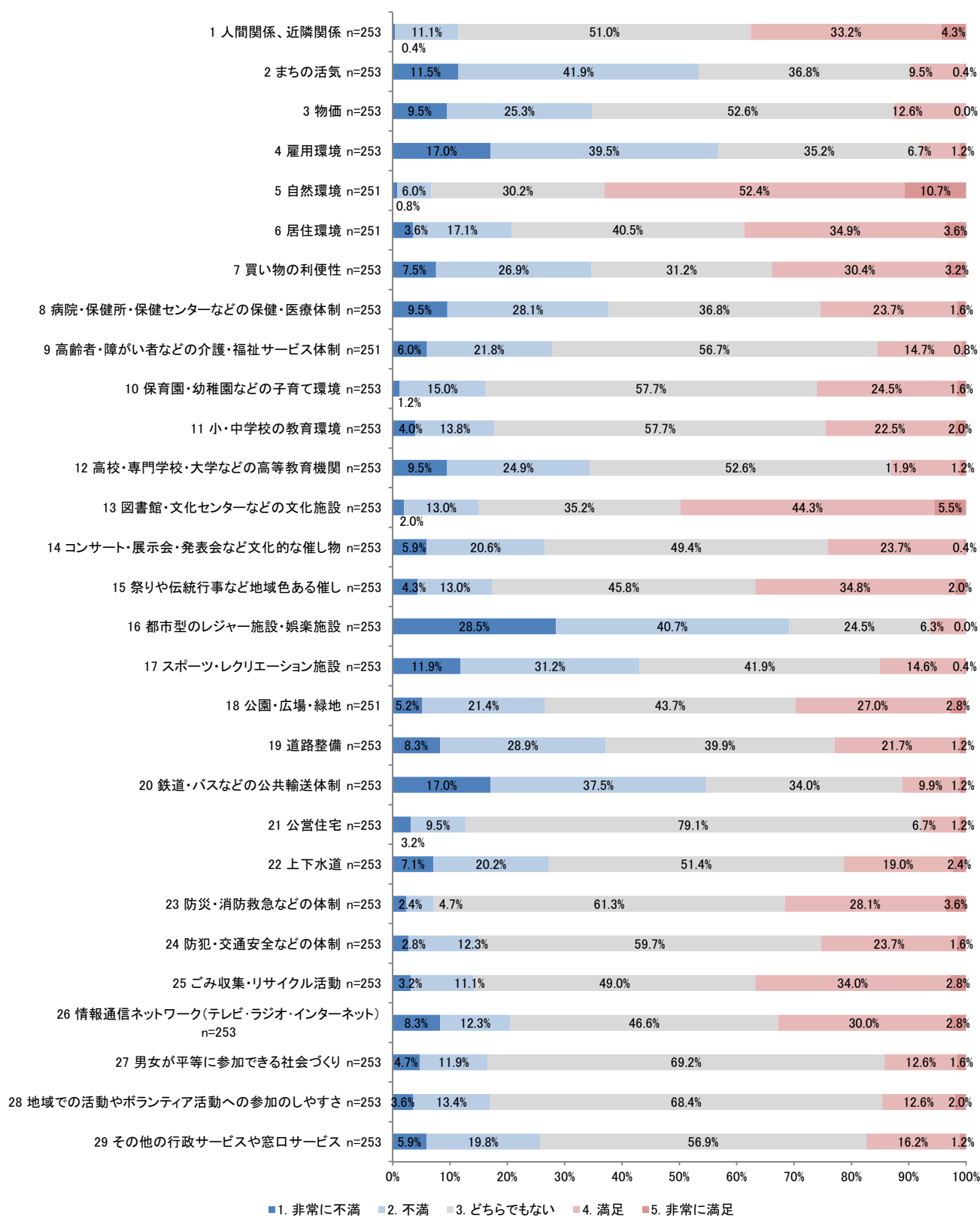
3) 30歳以上40歳未満

30歳以上40歳未満の結果を見ると、最も満足度が高い項目は「自然環境」(55.8%)となっています。一方、最も不満度が高い項目は「都市型のレジャー施設・娯楽施設」(73.5%)となっています。



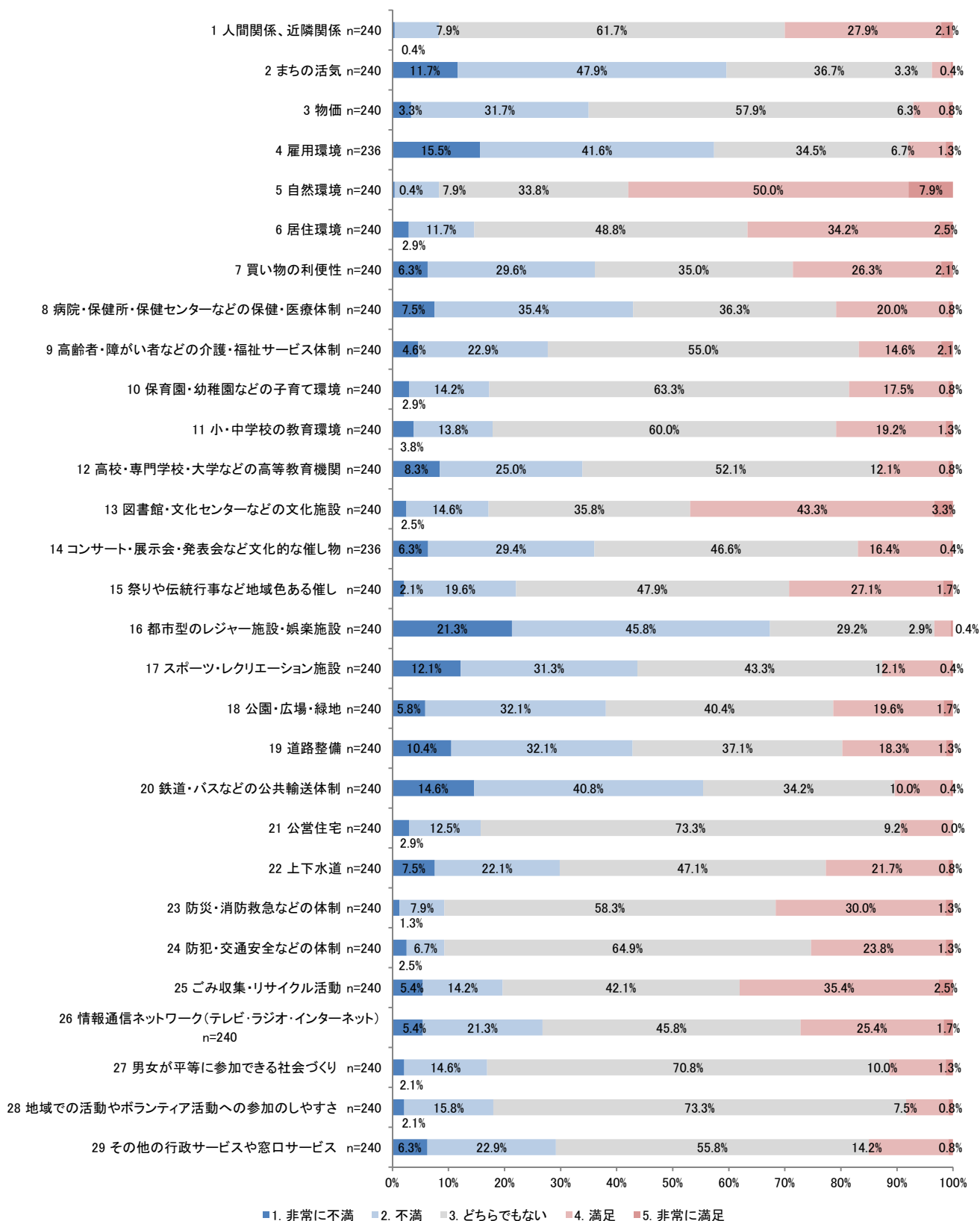
4) 40歳以上50歳未満

40歳以上50歳未満の結果を見ると、最も満足度が高い項目は「自然環境」(63.1%)となっています。一方、最も不満度が高い項目は「都市型のレジャー施設・娯楽施設」(69.2%)となっています。



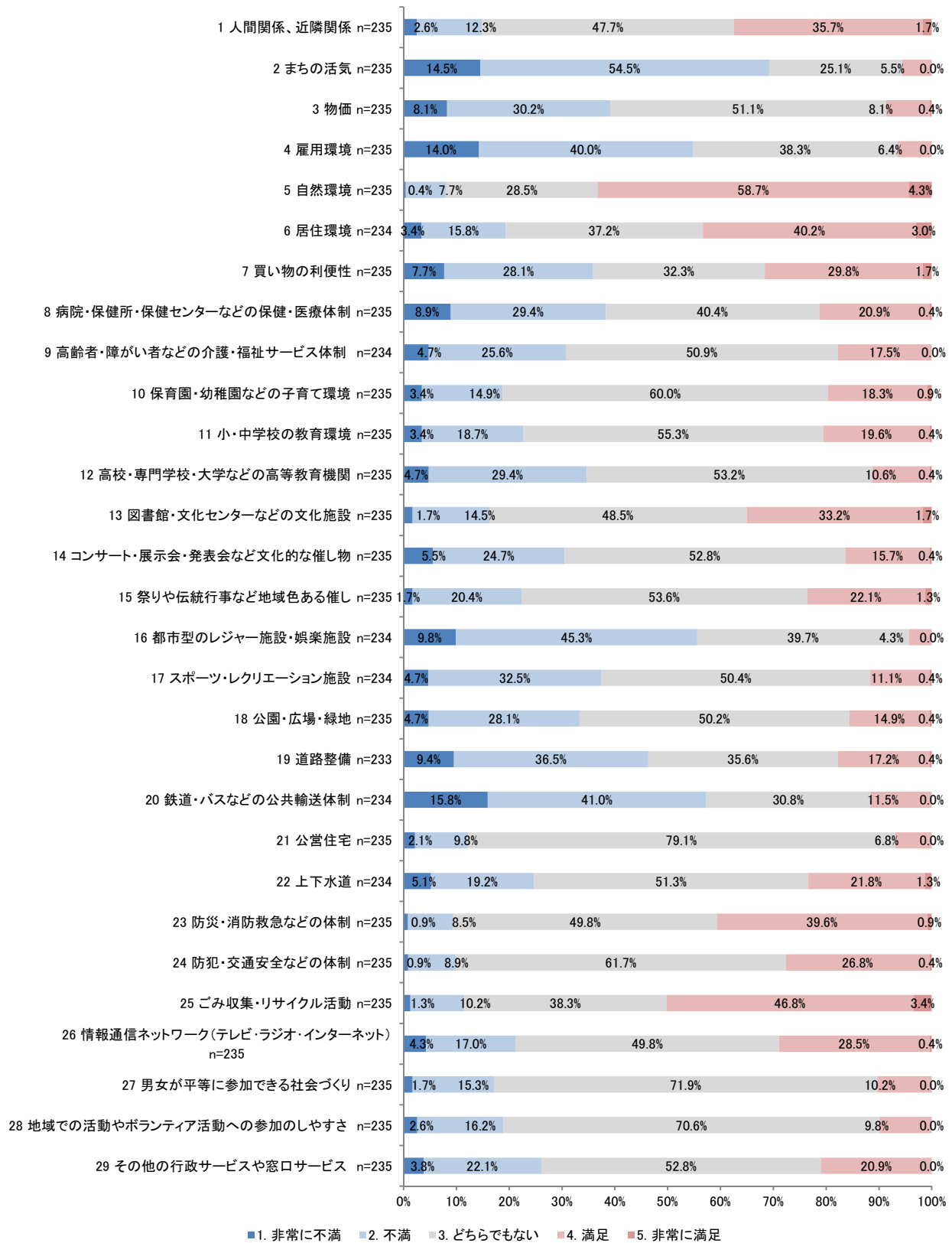
5) 50歳以上60歳未満

50歳以上60歳未満の結果を見ると、最も満足度が高い項目は「自然環境」(57.9%)となっています。一方、不満度が高い項目は「都市型のレジャー施設・娯楽施設」(67.1%)となっています。



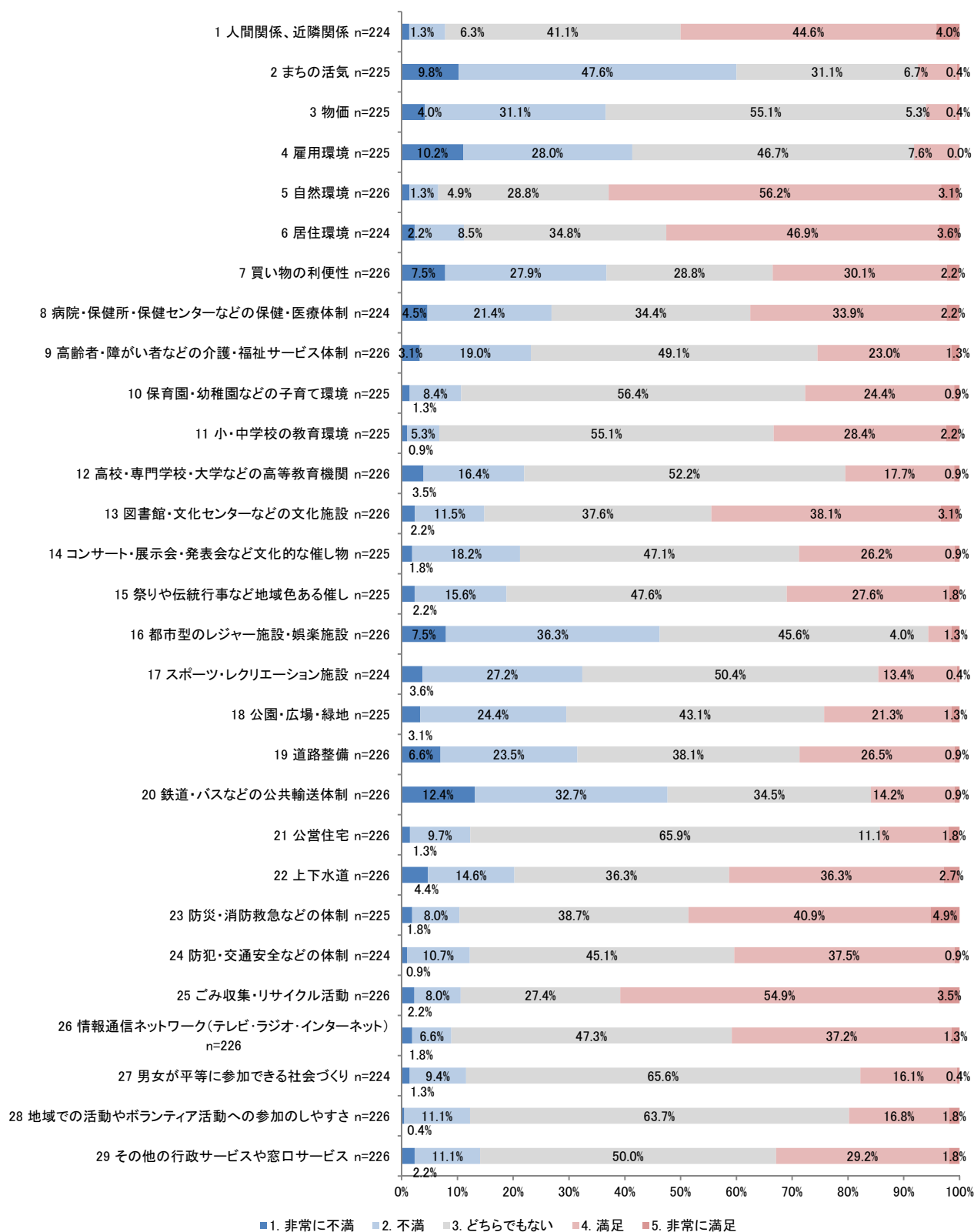
6) 60歳以上70歳未満

60歳以上70歳未満の結果を見ると、最も満足度が高い項目は「自然環境」(63.0%)となっています。一方、不満度が高い項目は「まちの活気」(68.9%)となっています。



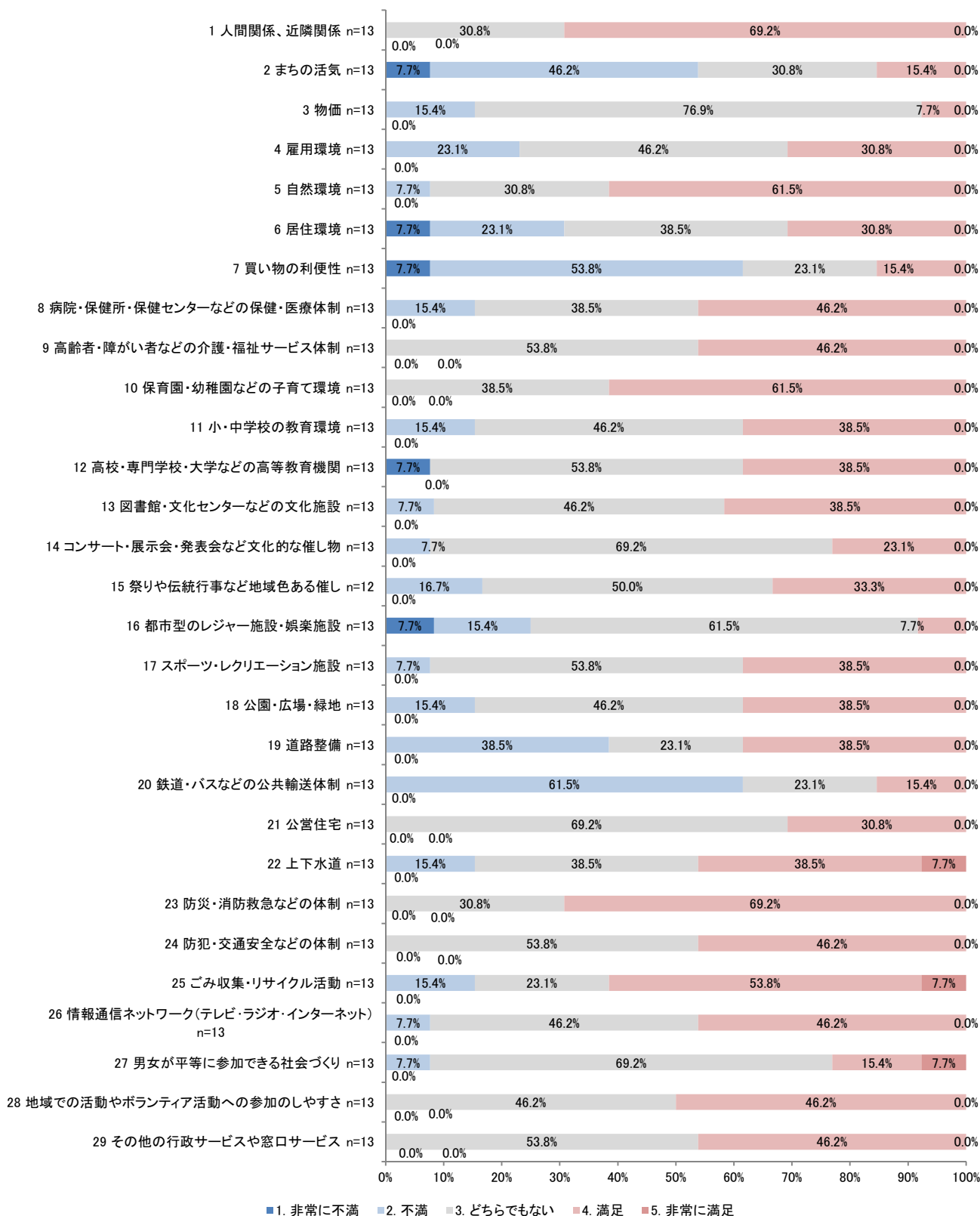
7) 70歳以上 80歳未満

70歳以上 80歳未満の結果を見ると、最も満足度が高い項目は「自然環境」(59.3%)となっています。一方、不満度が高い項目は「まちの活気」(57.3%)となっています。



8) 80歳以上

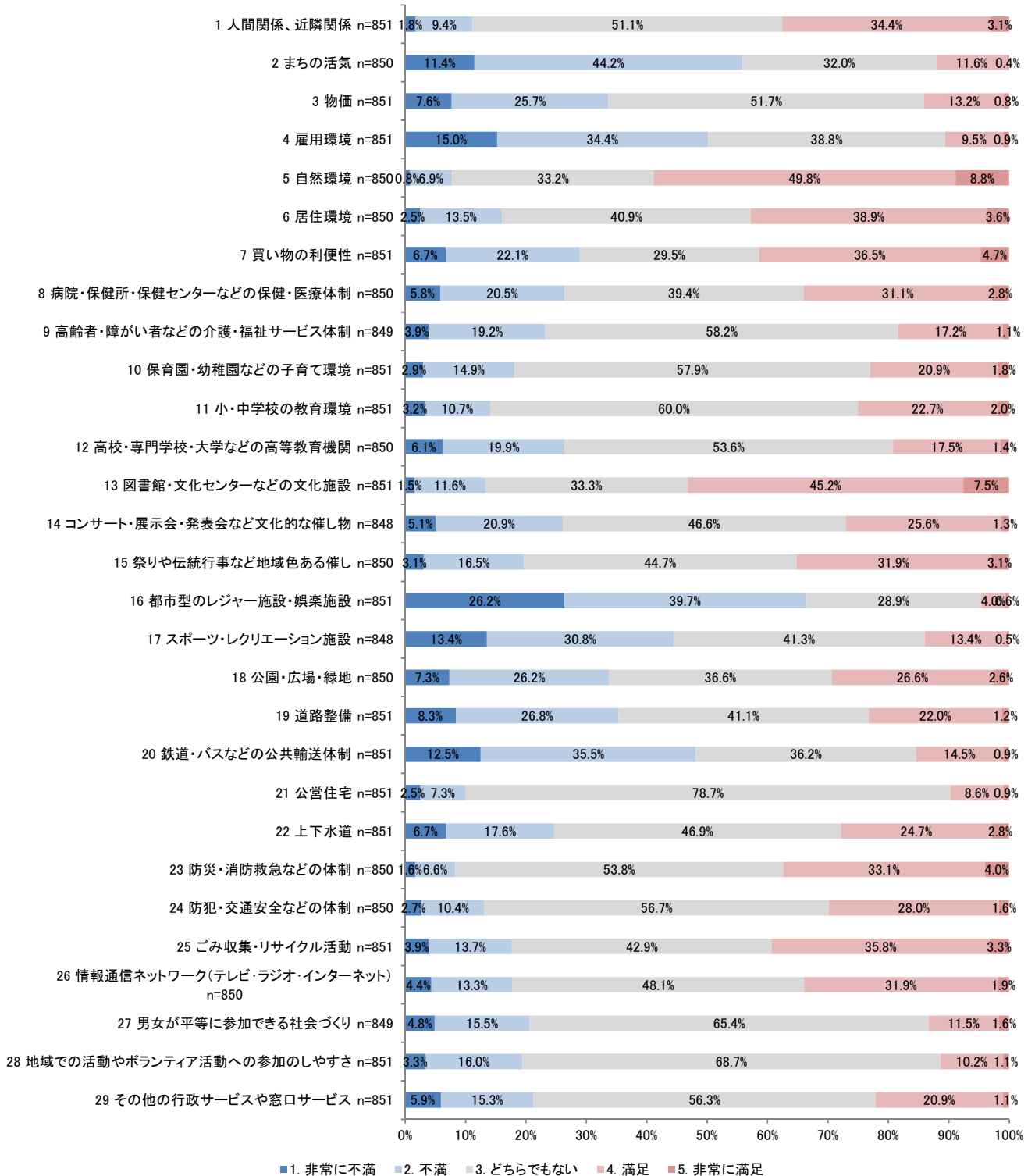
80歳以上の結果を見ると、最も満足度が高い項目は「人間関係」(69.2%)となっています。一方、不満度が高い項目は「都市型のレジャー施設・娯楽施設」(61.5%)となっています。



④地域別

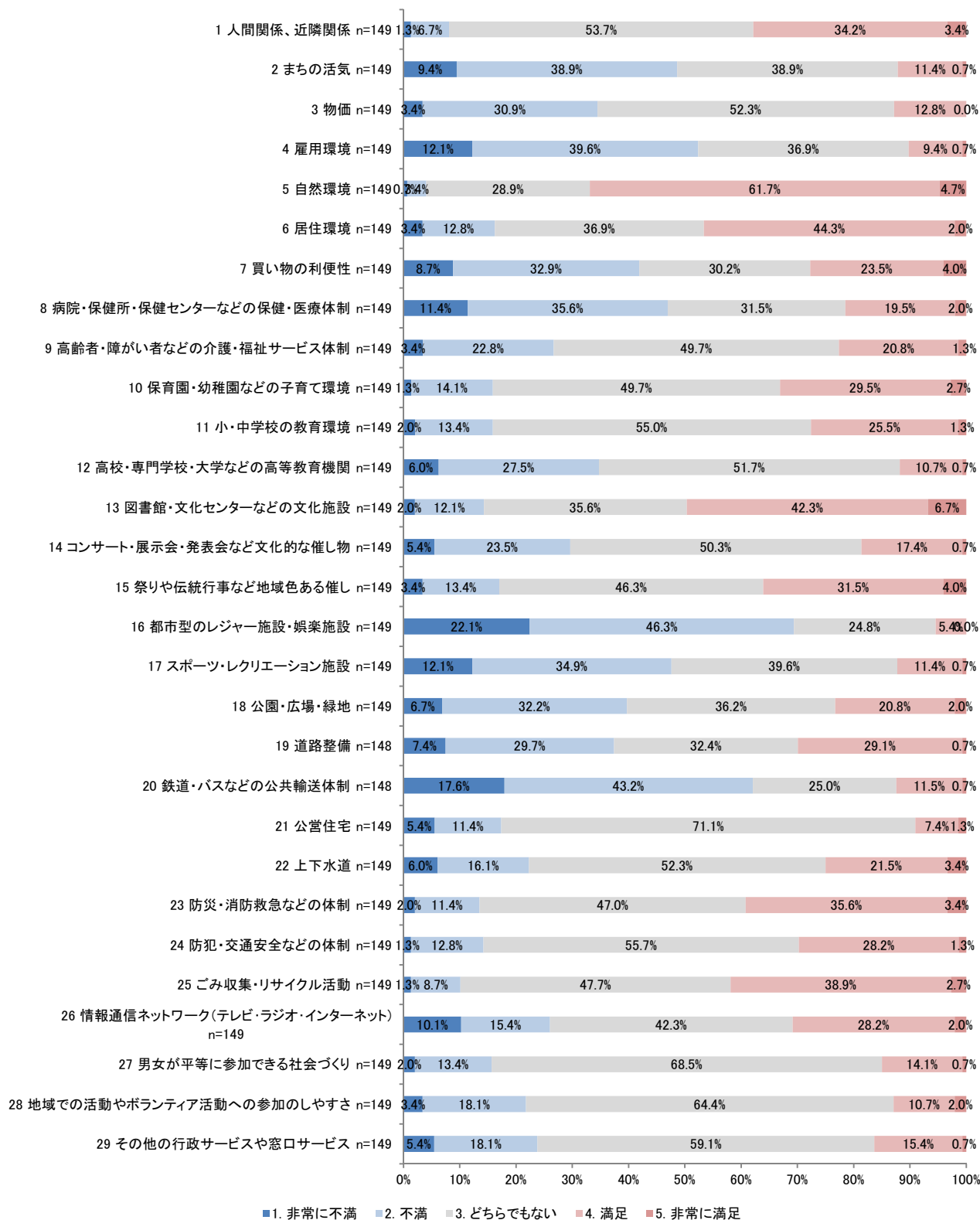
1) 一関地域

一関地域の結果を見ると、最も満足度が高い項目は「自然環境」(58.6%)となっています。一方、不満度が高い項目は「都市型のレジャー施設・娯楽施設」(65.9%)となっています。



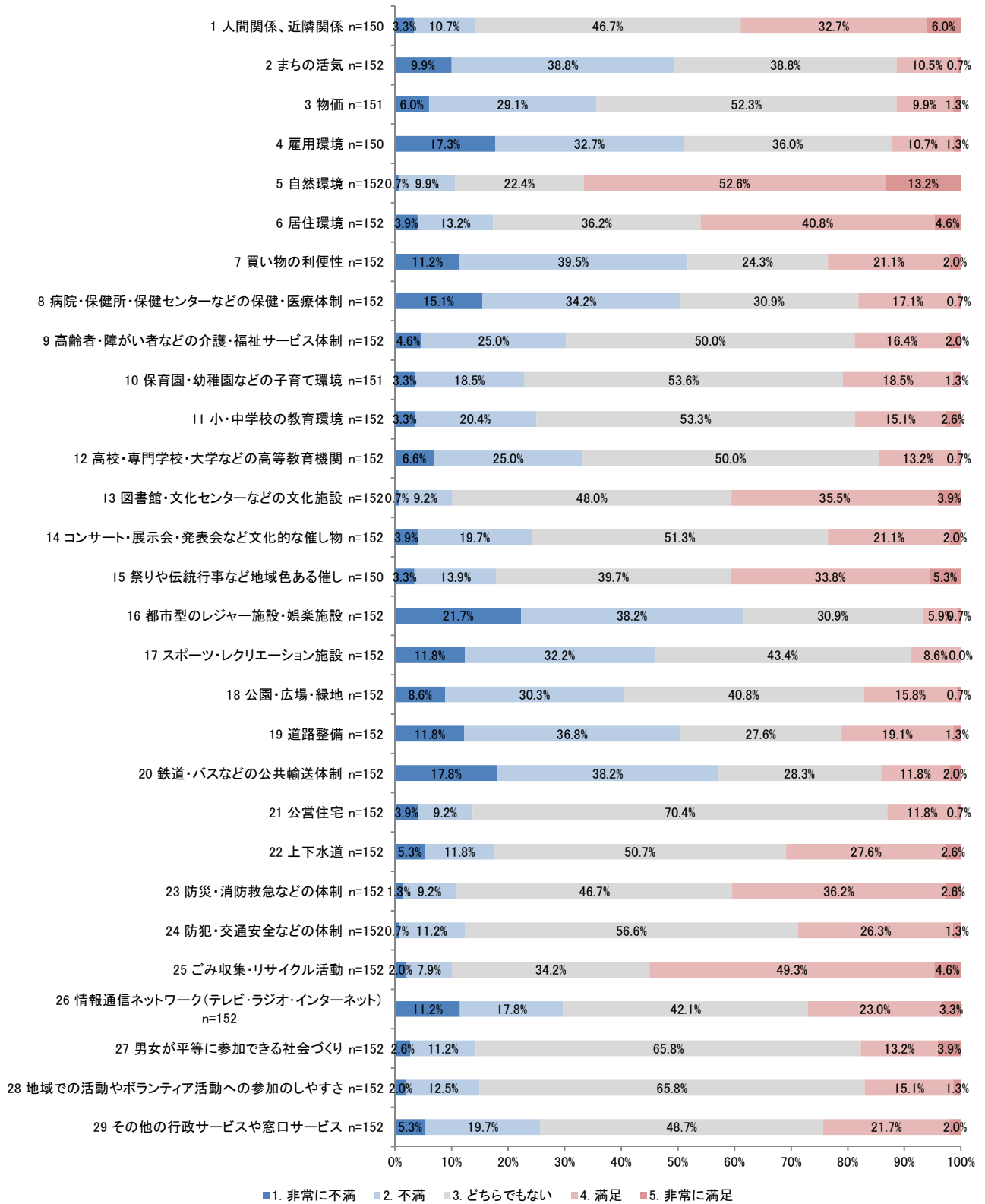
2) 花泉地域

花泉地域の結果を見ると、最も満足度が高い項目は「自然環境」(66.4%)となっています。一方、不満度が高い項目は「都市型のレジャー施設・娯楽施設」(68.5%)となっています。



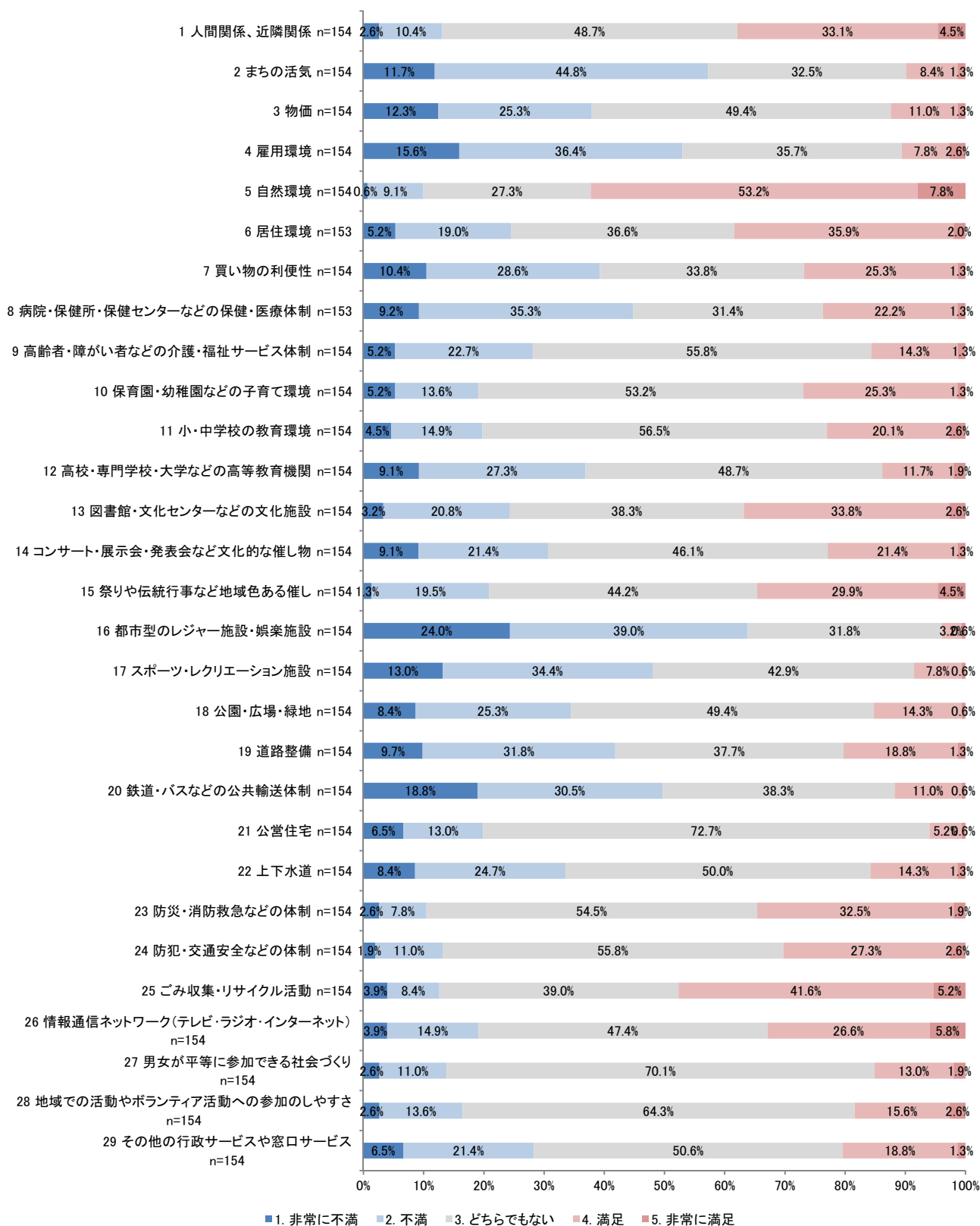
3) 大東地域

大東地域の結果を見ると、最も満足度が高い項目は「自然環境」(65.8%)となっています。一方、不満度が高い項目は「都市型のレジャー施設・娯楽施設」(59.9%)となっています。



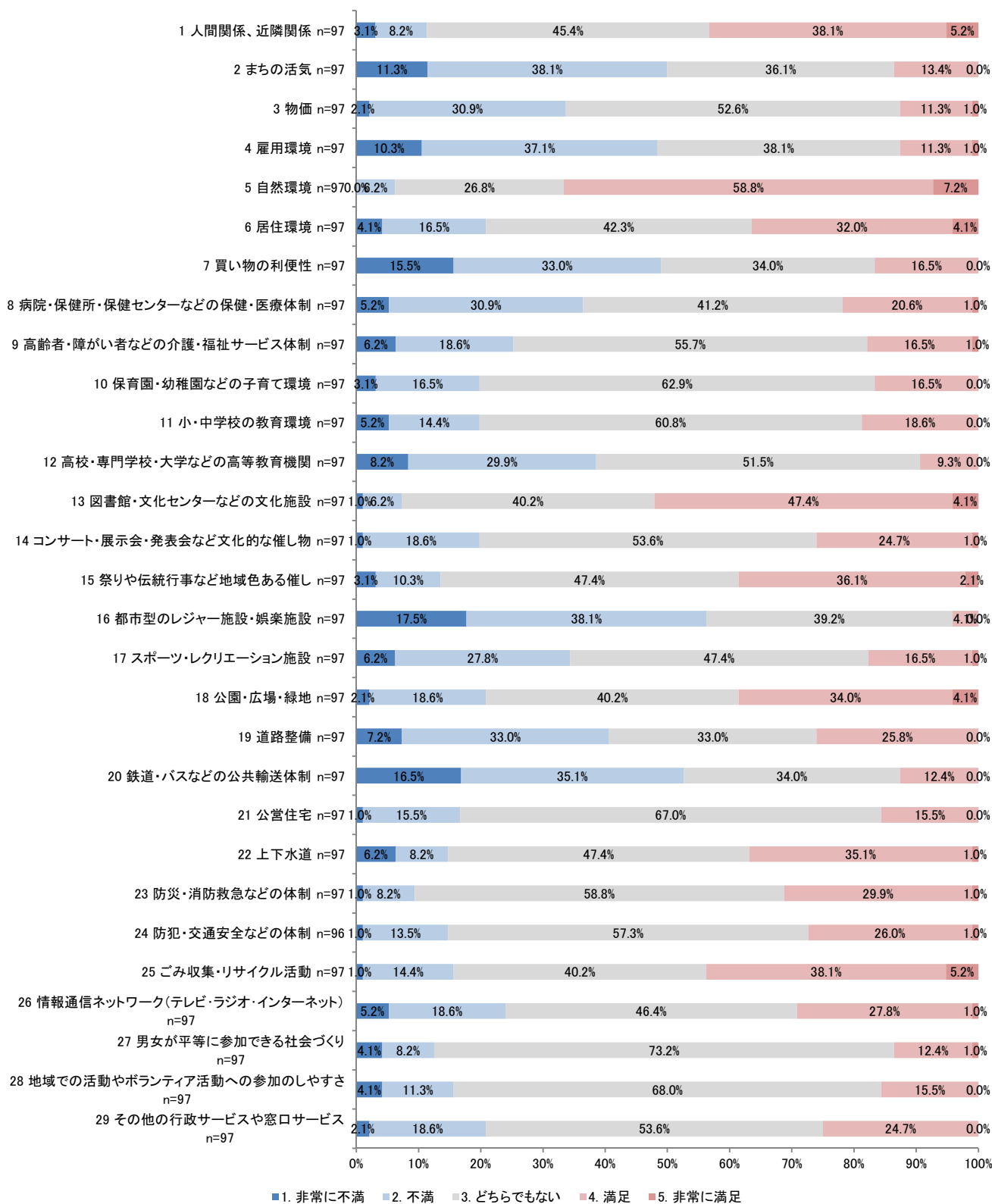
4) 千厩地域

千厩地域の結果を見ると、最も満足度が高い項目は「自然環境」(61.0%)となっています。一方、不満度が高い項目は「都市型のレジャー施設・娯楽施設」(63.0%)となっています。



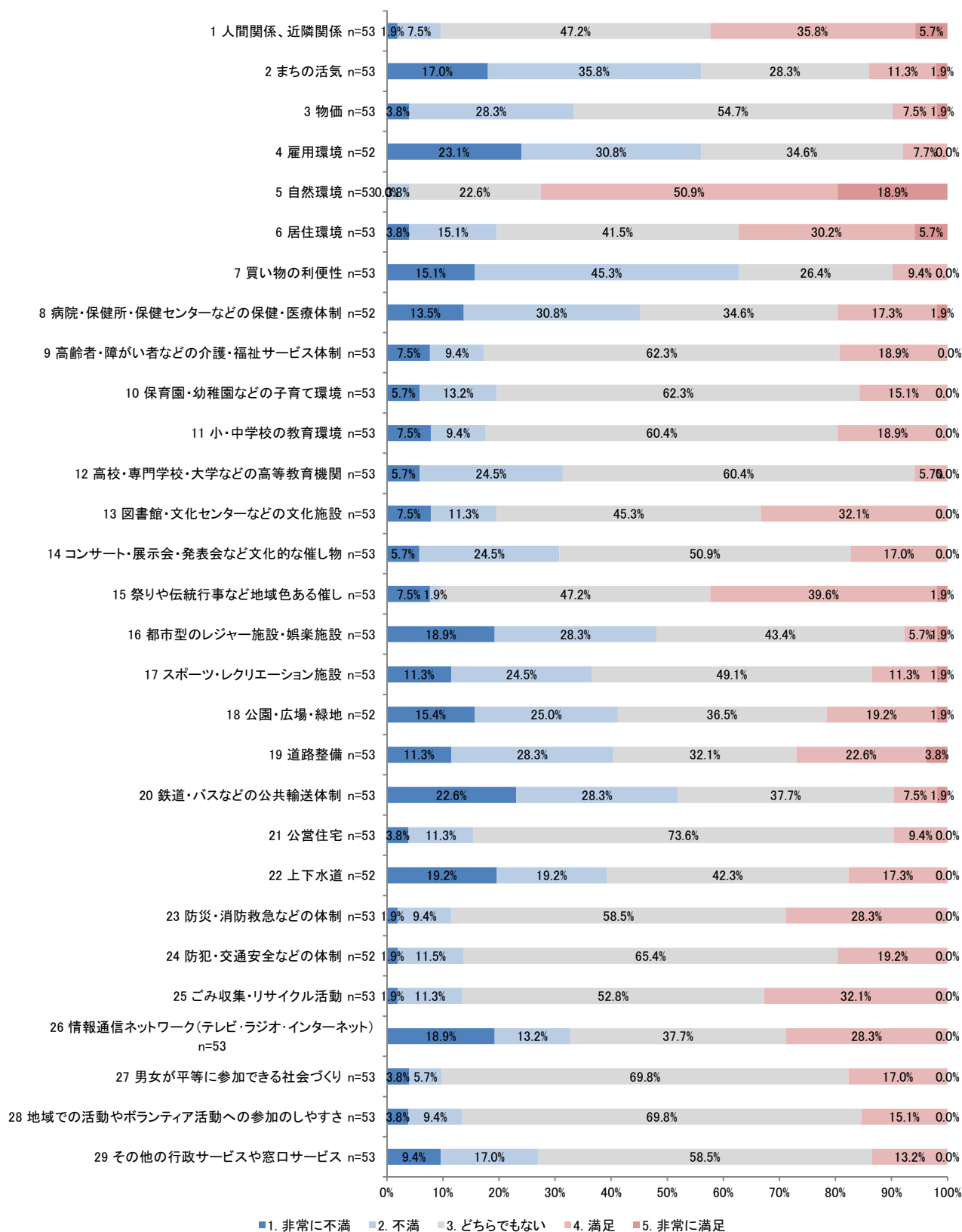
5) 東山地域

東山地域の結果を見ると、最も満足度が高い項目は「自然環境」(66.0%)となっています。一方、不満度が高い項目は「都市型のレジャー施設・娯楽施設」(55.7%)となっています。



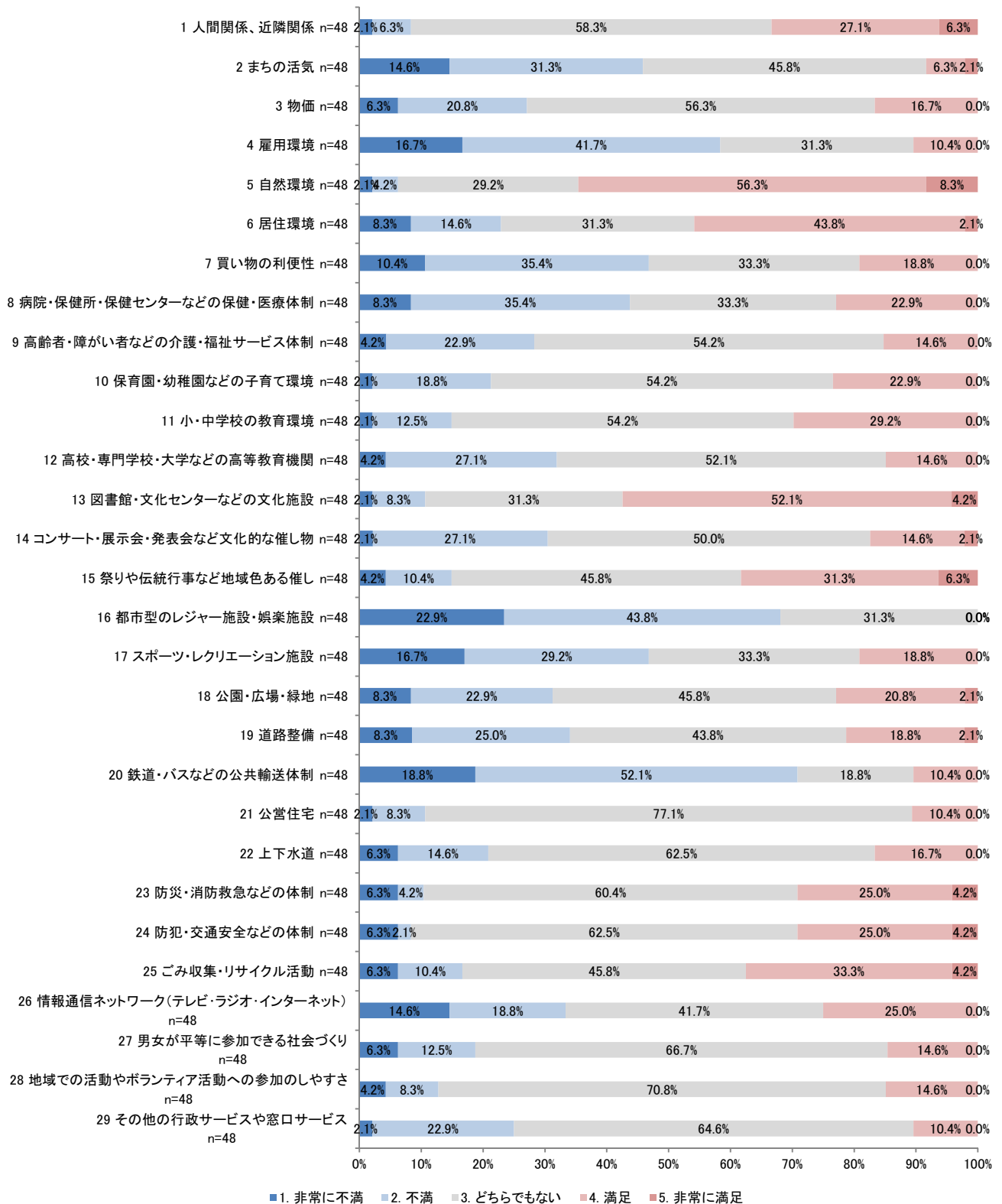
6) 室根地域

室根地域の結果を見ると、最も満足度が高い項目は「自然環境」(69.8%)となっています。一方、不満度が高い項目は「買い物の利便性」(60.4%)となっています。



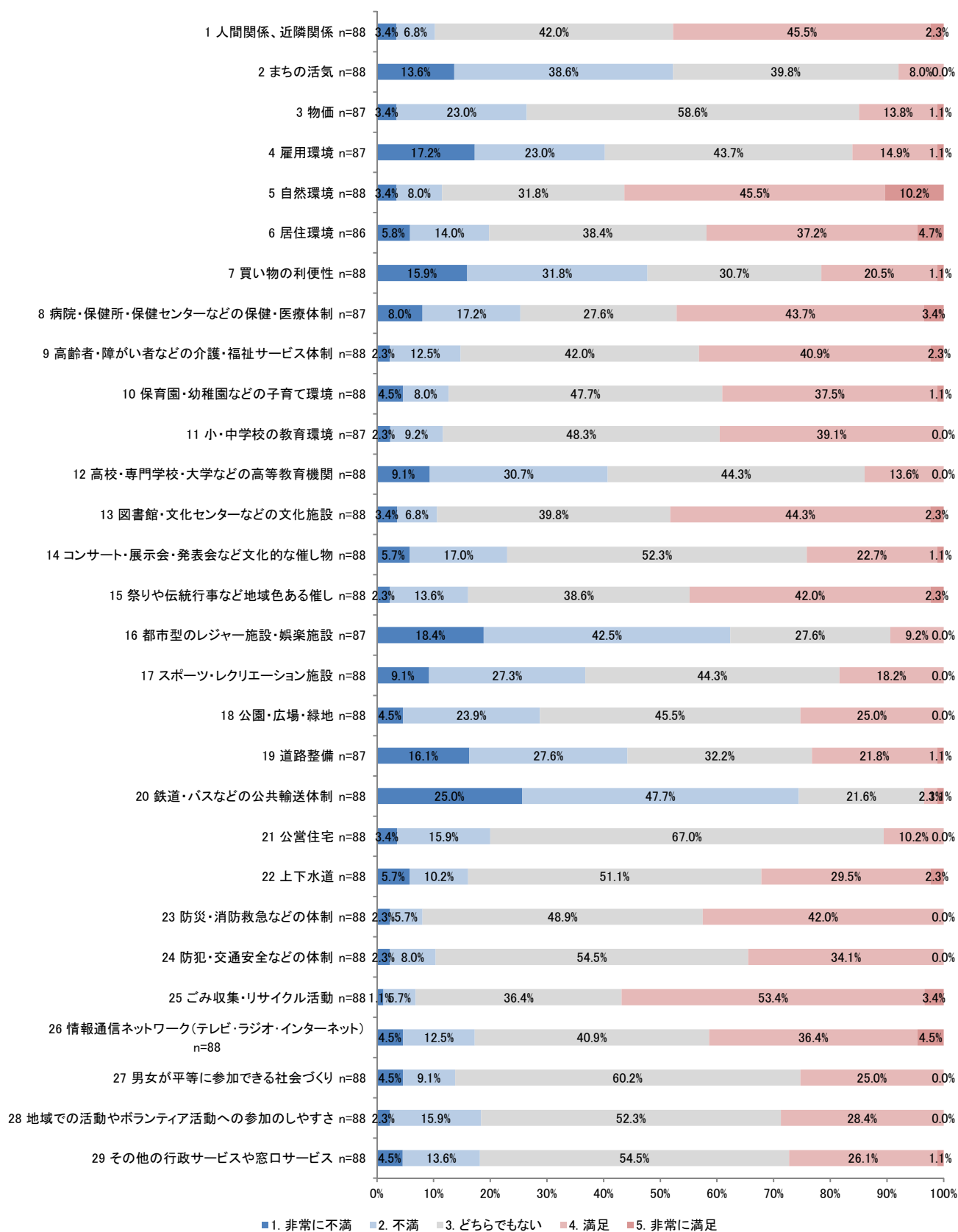
7) 川崎地域

川崎地域の結果を見ると、最も満足度が高い項目は「自然環境」(64.6%)となっています。一方、不満度が高い項目は「鉄道・バスなどの公共輸送体制」(70.8%)となっています。



8) 藤沢地域

藤沢地域の結果を見ると、最も満足度が高い項目は「ごみ収集・リサイクル活動」(56.8%) となっています。一方、不満度が高い項目は「鉄道・バスなどの公共輸送体制」(72.7%) となっています。



各項目の5段階評価の平均値

問7で記載した1から29までの項目の評価の平均点を、男女別、年代別（5歳階級別）、地域別に示しています。数値が高いほど満足度が高いことを意味しています。

①男女別

男女ともに共通して、「自然環境」、「図書館・文化センターなどの文化施設」の満足度が高い一方、「スポーツレクリエーション施設」、「まちの活気」、「雇用環境」、「鉄道・バスなどの公共交通体制」は低い数値となっています。

項目	評価の平均点	
	男性	女性
1 人間関係、近隣関係	3.3	3.3
2 まちの活気	2.4	2.5
3 物価	2.8	2.7
4 雇用環境	2.5	2.4
5 自然環境	3.7	3.6
6 居住環境	3.3	3.2
7 買い物の利便性	2.9	2.9
8 病院・保健所・保健センターなどの保健・医療体制	3.0	2.8
9 高齢者・障がい者などの介護・福祉サービス体制	3.0	2.9
10 保育園・幼稚園などの子育て環境	3.1	3.0
11 小・中学校の教育環境	3.1	3.1
12 高校・専門学校・大学などの高等教育機関	2.8	2.8
13 図書館・文化センターなどの文化施設	3.4	3.4
14 コンサート・展示会・発表会など文化的な催し物	2.9	3.0
15 祭りや伝統行事など地域色ある催し	3.1	3.2
16 都市型のレジャー施設・娯楽施設	2.2	2.2
17 スポーツ・レクリエーション施設	2.6	2.5
18 公園・広場・緑地	3.0	2.8
19 道路整備	2.8	2.8
20 鉄道・バスなどの公共交通体制	2.5	2.4
21 公営住宅	3.0	2.9
22 上下水道	3.0	2.9
23 防災・消防救急などの体制	3.3	3.3
24 防犯・交通安全などの体制	3.2	3.1
25 ごみ収集・リサイクル活動	3.3	3.3
26 情報通信ネットワーク(テレビ・ラジオ・インターネット)	3.1	3.1
27 男女が平等に参加できる社会づくり	3.0	2.9
28 地域での活動やボランティア活動への参加のしやすさ	3.0	2.9
29 その他の行政サービスや窓口サービス	3.0	2.9

②年代別

「人間関係、近隣関係」「自然環境」「図書館・文化センターなどの文化施設」「祭りや伝統行事など地域色ある催し」「防災・消防救急などの体制」の評価の平均点は、全ての年代で3.0を上回っており、満足度が高いことがうかがえます。一方、「まちの活気」「都市型のレジャー施設・娯楽施設」「コンサート・展示会・発表会など文化的な催し物」「都市型のレジャー施設・娯楽施設」「スポーツ・レクリエーション施設」「道路整備」「鉄道・バスなどの公共輸送体制」「鉄道・バスなどの公共輸送体制」は全ての年代で平均点3.0を下回っています。

項目	評価の平均点							
	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上 70歳未満	70歳以上 80歳未満	80歳以上
1 人間関係、近隣関係	3.6	3.2	3.2	3.3	3.2	3.2	3.4	3.7
2 まちの活気	2.9	2.7	2.6	2.5	2.3	2.2	2.4	2.5
3 物価	3.1	2.9	2.7	2.7	2.7	2.6	2.7	2.9
4 雇用環境	2.9	2.6	2.4	2.4	2.4	2.4	2.6	3.1
5 自然環境	3.8	3.7	3.6	3.7	3.6	3.6	3.6	3.5
6 居住環境	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.4	2.9
7 買い物の利便性	2.9	2.8	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.5
8 病院・保健所・保健センターなどの保健・医療体制	3.3	3.0	2.9	2.8	2.7	2.7	3.1	3.3
9 高齢者・障がい者などの介護・福祉サービス体制	3.3	3.0	2.9	2.8	2.9	2.8	3.0	3.5
10 保育園・幼稚園などの子育て環境	3.2	3.0	3.0	3.1	3.0	3.0	3.2	3.6
11 小・中学校の教育環境	3.4	3.1	2.9	3.0	3.0	2.9	3.3	3.2
12 高校・専門学校・大学などの高等教育機関	2.9	2.9	2.7	2.7	2.7	2.7	3.0	3.2
13 図書館・文化センターなどの文化施設	3.8	3.5	3.5	3.4	3.3	3.2	3.3	3.3
14 コンサート・展示会・発表会など文化的な催し物	3.2	3.0	3.0	2.9	2.8	2.8	3.1	3.2
15 祭りや伝統行事など地域色ある催し	3.7	3.3	3.3	3.2	3.1	3.0	3.1	3.2
16 都市型のレジャー施設・娯楽施設	2.2	1.9	2.0	2.1	2.2	2.4	2.5	2.8
17 スポーツ・レクリエーション施設	2.5	2.4	2.4	2.6	2.6	2.7	2.8	3.3
18 公園・広場・緑地	3.1	2.9	2.7	3.0	2.8	2.8	2.9	3.2
19 道路整備	3.1	2.8	2.7	2.8	2.7	2.6	2.9	3.0
20 鉄道・バスなどの公共輸送体制	2.6	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	2.6	2.5
21 公営住宅	3.1	3.0	2.9	2.9	2.9	2.9	3.0	3.3
22 上下水道	3.3	3.1	2.8	2.9	2.9	2.9	3.2	3.4
23 防災・消防救急などの体制	3.5	3.3	3.2	3.3	3.2	3.3	3.4	3.7
24 防犯・交通安全などの体制	3.5	3.1	3.1	3.1	3.1	3.2	3.3	3.5
25 ごみ収集・リサイクル活動	3.5	3.2	3.1	3.2	3.2	3.4	3.5	3.5
26 情報通信ネットワーク(テレビ・ラジオ・インターネット)	3.3	3.1	2.9	3.1	3.0	3.0	3.3	3.4
27 男女が平等に参加できる社会づくり	3.3	2.9	2.8	2.9	2.9	2.9	3.1	3.2
28 地域での活動やボランティア活動への参加のしやすさ	3.3	2.9	2.8	3.0	2.9	2.9	3.1	3.5
29 その他の行政サービスや窓口サービス	3.3	2.9	2.8	2.9	2.8	2.9	3.2	3.5

③地域別

「人間関係、近隣関係」「自然環境」「居住環境」「図書館・文化センターなどの文化施設」「祭りや伝統行事など地域色ある催し」「防災・消防救急などの体制」「防犯・交通安全などの体制」「ごみ収集・リサイクル活動」の評価の平均点は、全ての年代で3.0を上回っており、満足度が高いことがうかがえます。一方、「まちの活気」「物価」「雇用環境」「高校・専門学校・大学などの高等教育機関」「都市型のレジャー施設・娯楽施設」「鉄道・バスなどの公共輸送体制」は全ての年代で平均点3.0を下回っています。

項目	評価の平均点							
	1. 一関地域	2. 花泉地域	3. 大東地域	4. 千厩地域	5. 東山地域	6. 室根地域	7. 川崎地域	8. 藤沢地域
1 人間関係、近隣関係	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4
2 まちの活気	2.5	2.5	2.5	2.4	2.5	2.4	2.5	2.4
3 物価	2.7	2.8	2.7	2.6	2.8	2.7	2.8	2.9
4 雇用環境	2.5	2.5	2.4	2.4	2.5	2.3	2.4	2.6
5 自然環境	3.6	3.7	3.7	3.6	3.7	3.9	3.6	3.5
6 居住環境	3.3	3.3	3.3	3.1	3.2	3.2	3.2	3.2
7 買い物の利便性	3.1	2.8	2.6	2.8	2.5	2.3	2.6	2.6
8 病院・保健所・保健センターなどの保健・医療体制	3.0	2.7	2.5	2.7	2.8	2.6	2.7	3.2
9 高齢者・障がい者などの介護・福祉サービス体制	2.9	2.9	2.9	2.8	2.9	2.9	2.8	3.3
10 保育園・幼稚園などの子育て環境	3.0	3.2	3.0	3.0	2.9	2.9	3.0	3.2
11 小・中学校の教育環境	3.1	3.1	2.9	3.0	2.9	2.9	3.1	3.3
12 高校・専門学校・大学などの高等教育機関	2.9	2.7	2.8	2.7	2.6	2.7	2.8	2.6
13 図書館・文化センターなどの文化施設	3.5	3.4	3.3	3.1	3.5	3.1	3.5	3.4
14 コンサート・展示会・発表会など文化的な催し物	3.0	2.8	3.0	2.8	3.1	2.8	2.9	3.0
15 祭りや伝統行事など地域色ある催し	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3
16 都市型のレジャー施設・娯楽施設	2.1	2.1	2.2	2.2	2.3	2.4	2.1	2.3
17 スポーツ・レクリエーション施設	2.6	2.5	2.5	2.5	2.8	2.7	2.6	2.7
18 公園・広場・緑地	2.9	2.8	2.7	2.7	3.2	2.7	2.9	2.9
19 道路整備	2.8	2.9	2.6	2.7	2.8	2.8	2.8	2.6
20 鉄道・バスなどの公共輸送体制	2.6	2.3	2.4	2.4	2.4	2.4	2.2	2.0
21 公営住宅	3.0	2.9	3.0	2.8	3.0	2.9	3.0	2.9
22 上下水道	3.0	3.0	3.1	2.8	3.2	2.6	2.9	3.1
23 防災・消防救急などの体制	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.2	3.3
24 防犯・交通安全などの体制	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.0	3.2	3.2
25 ごみ収集・リサイクル活動	3.2	3.3	3.5	3.4	3.3	3.2	3.2	3.5
26 情報通信ネットワーク(テレビ・ラジオ・インターネット)	3.1	3.0	2.9	3.2	3.0	2.8	2.8	3.2
27 男女が平等に参加できる社会づくり	2.9	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.9	3.1
28 地域での活動やボランティア活動への参加のしやすさ	2.9	2.9	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.1
29 その他の行政サービスや窓口サービス	3.0	2.9	3.0	2.9	3.0	2.8	2.8	3.1

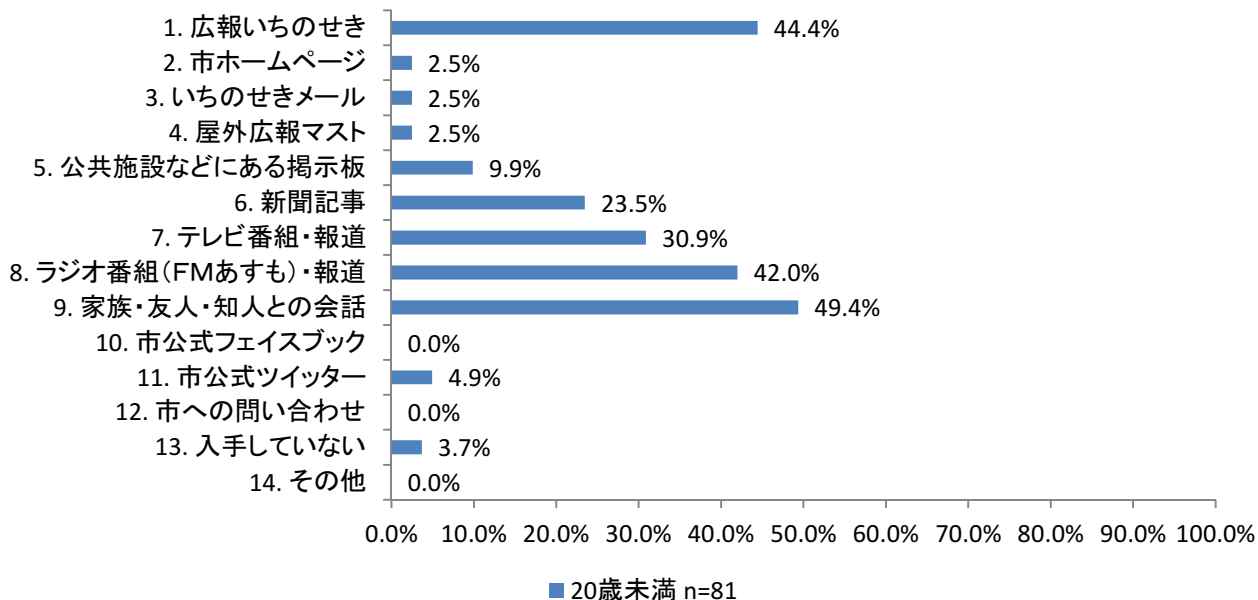
問9 市からの情報は主に何で入手していますか。(あてはまるもの3つまで選択)

問9で尋ねた市からの情報の入手方法について、年代別、地域別に示しています。

①年代別 ※複数回答のため、合計は100%にならない

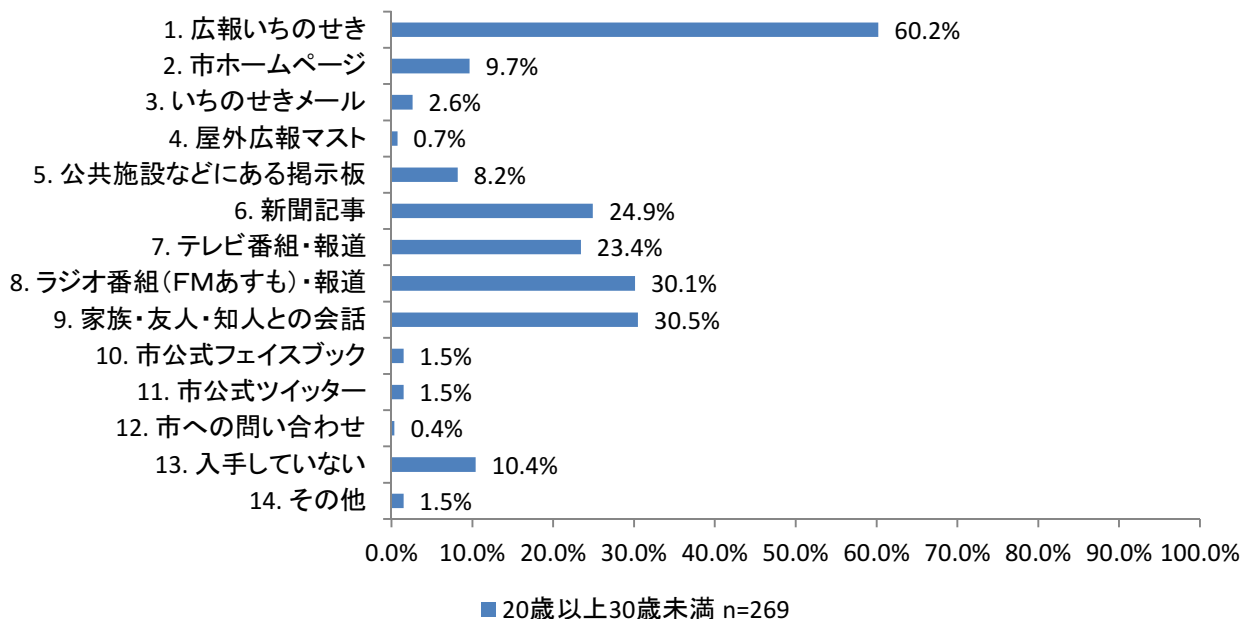
1) 20歳未満

20歳未満の結果を見ると「家族・友人・知人との会話」が49.4%と最も多く、次いで「広報いちのせき」が44.4%となっています。



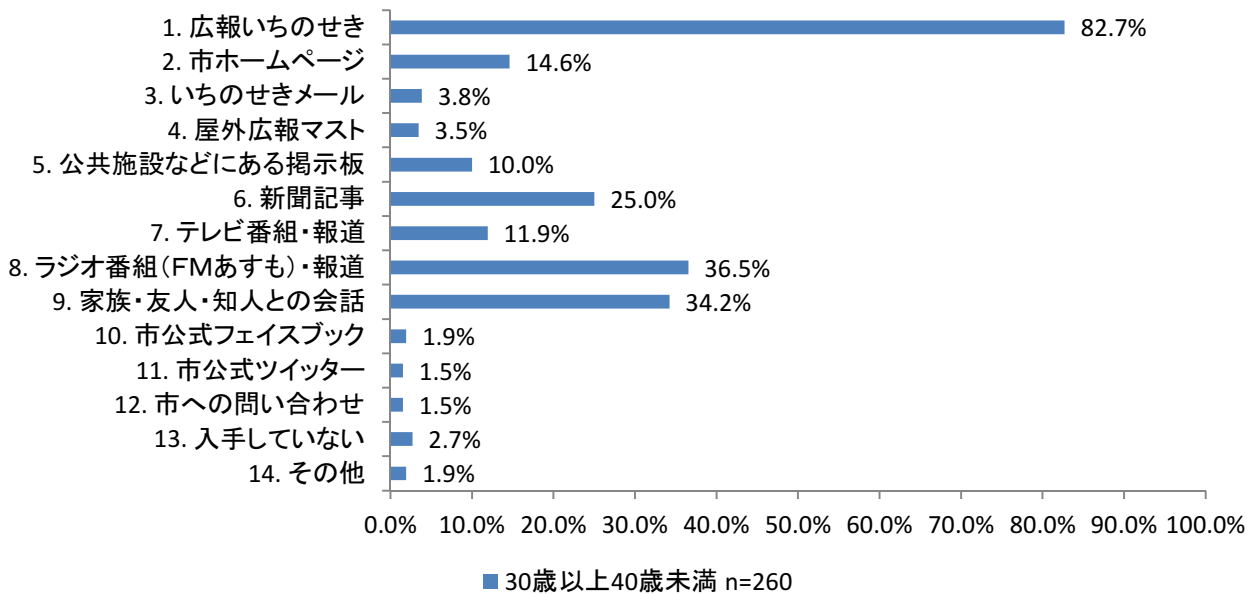
2) 20歳以上30歳未満

20歳以上30歳未満の結果を見ると「広報いちのせき」が60.2%と最も多く、次いで「家族・友人・知人との会話」が30.5%となっています。



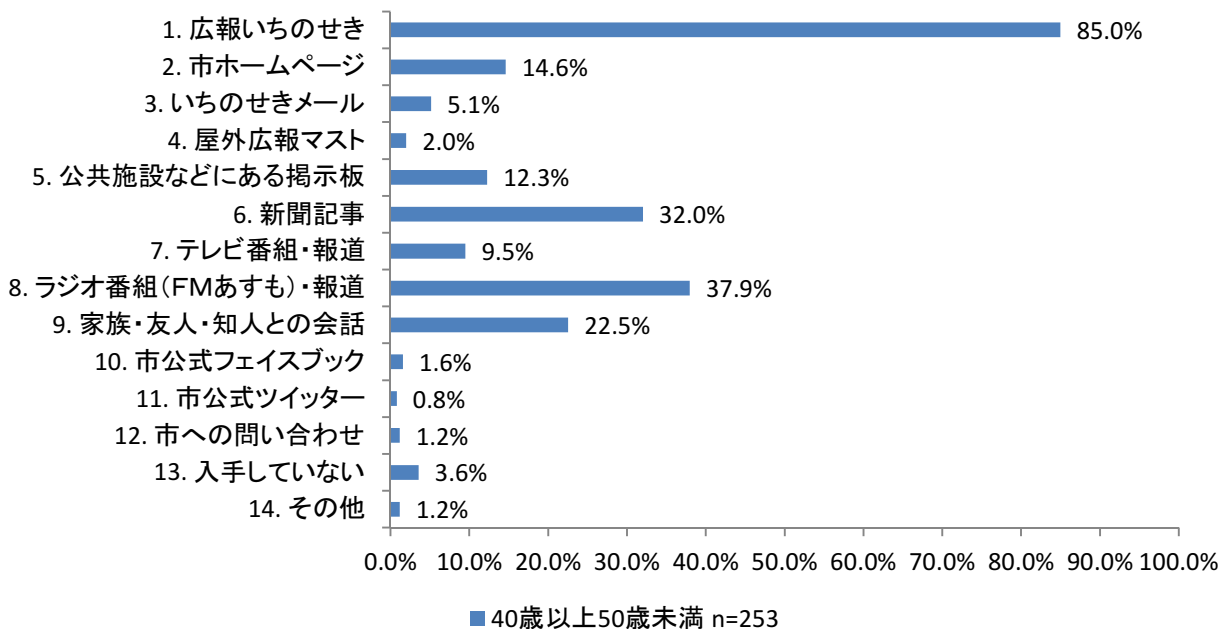
3) 30歳以上40歳未満

20歳以上30歳未満の結果を見ると「広報いちのせき」が82.7%と最も多く、次いで「ラジオ番組（FMあすも）・報道」が36.5%となっています。



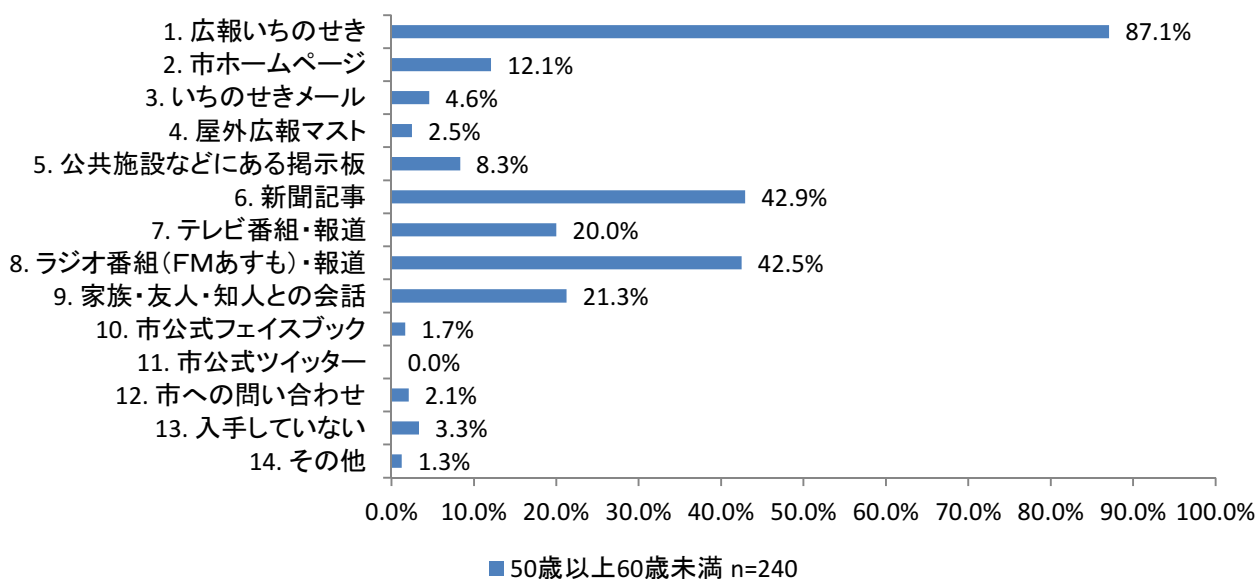
4) 40歳以上50歳未満

40歳以上50歳未満の結果を見ると「広報いちのせき」が85.0%と最も多く、次いで「ラジオ番組（FMあすも）・報道」が37.9%となっています。



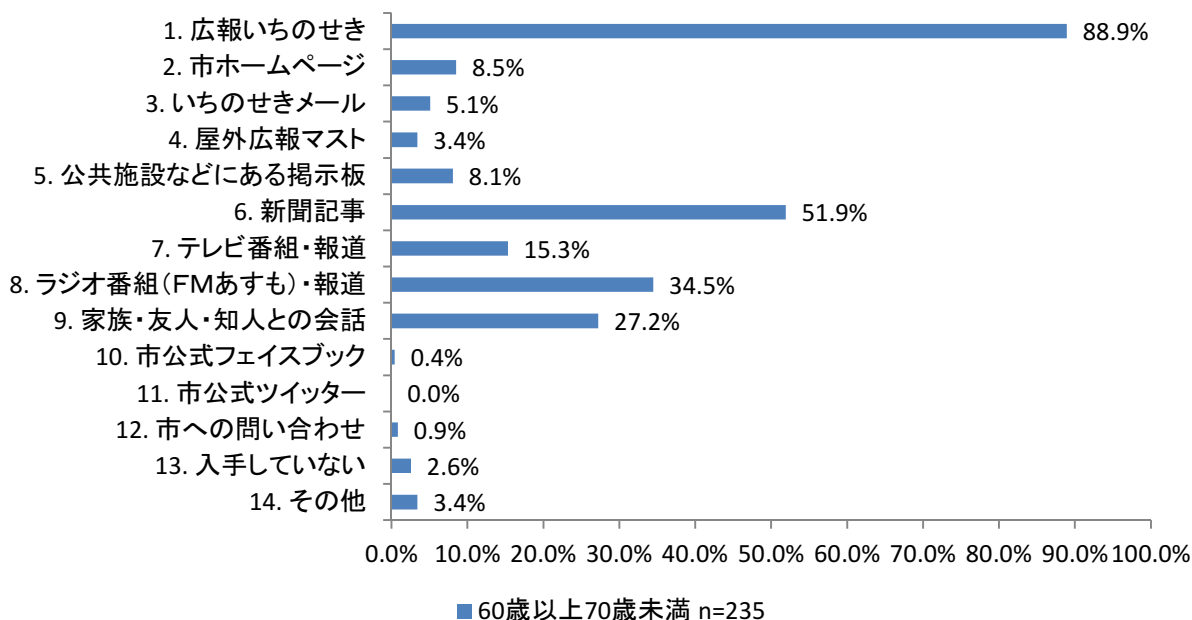
5) 50 歳以上 60 歳未満

50 歳以上 60 歳未満の結果を見ると「広報いちのせき」が 87.1%と最も多く、次いで「新聞記事」が 42.9%となっています。



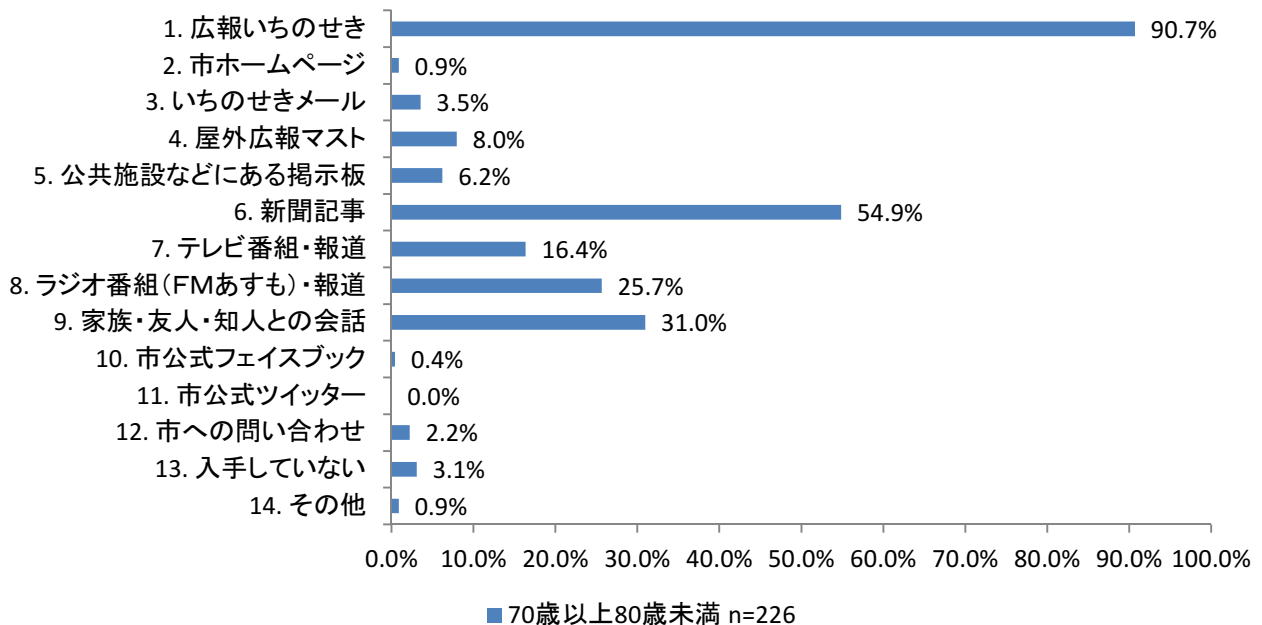
6) 60 歳以上 70 歳未満

60 歳以上 70 歳未満の結果を見ると「広報いちのせき」が 88.9%と最も多く、次いで「新聞記事」が 51.9%となっています。



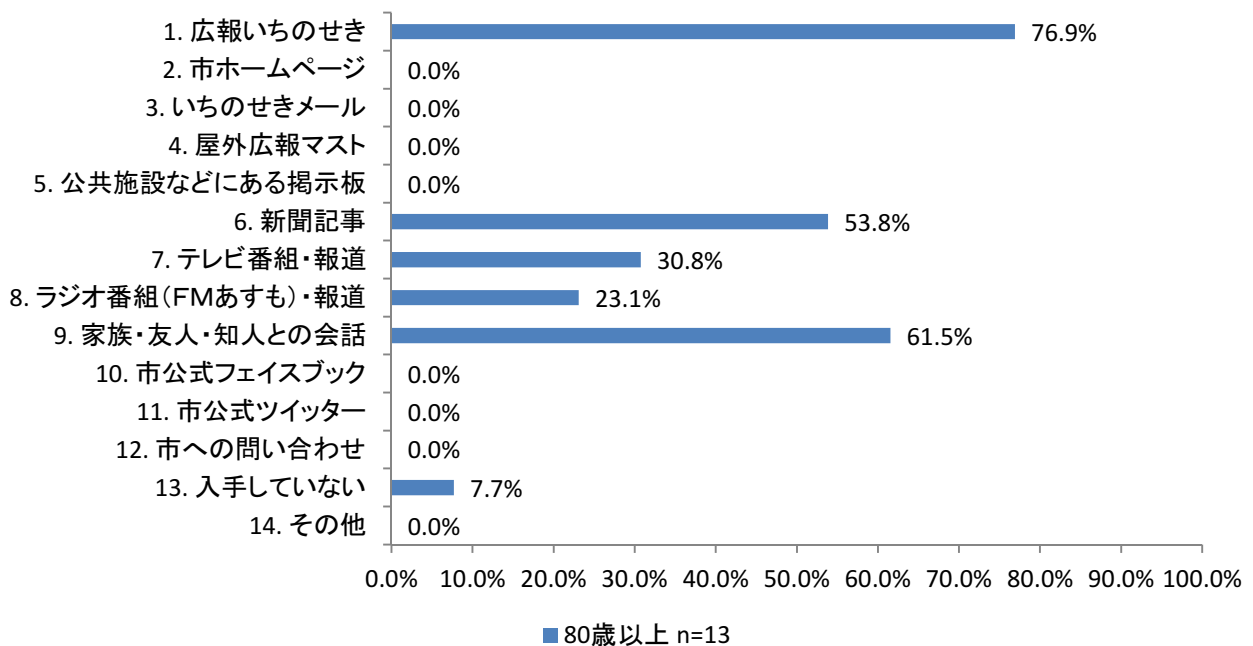
7) 70歳以上 80歳未満

70歳以上 80歳未満の結果を見ると「広報いちのせき」が90.7%と最も多く、次いで「新聞記事」が54.9%となっています。



8) 80歳以上

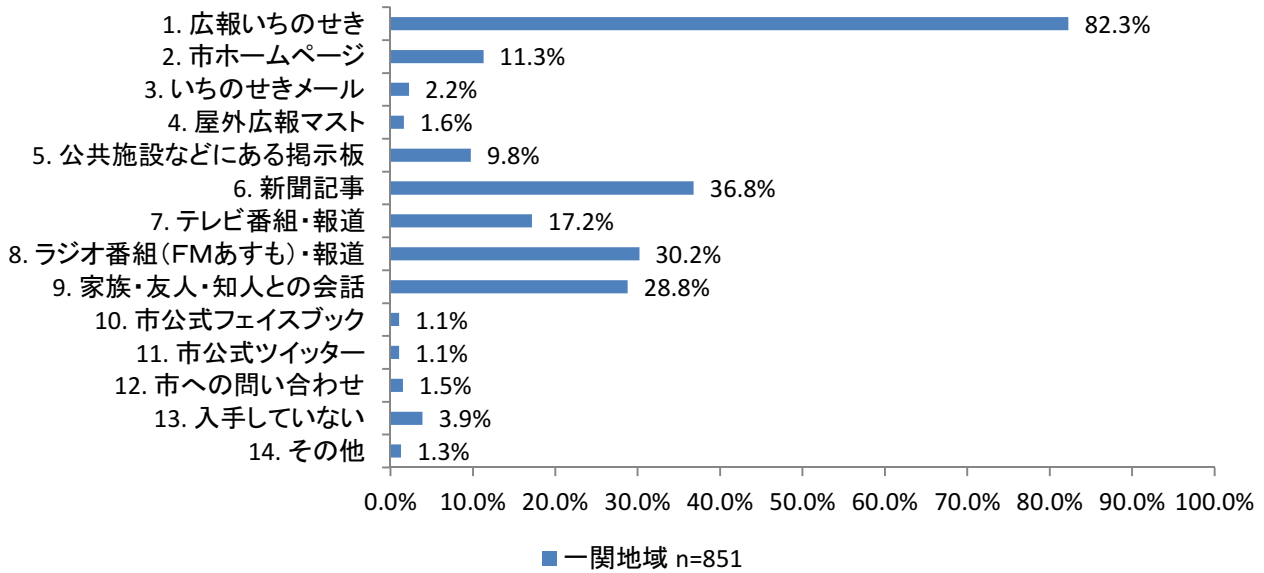
80歳以上の結果を見ると「広報いちのせき」が76.9%と最も多く、次いで「家族・友人・知人との会話」が61.5%となっています。



②地域別 ※複数回答のため、合計は100%にならない

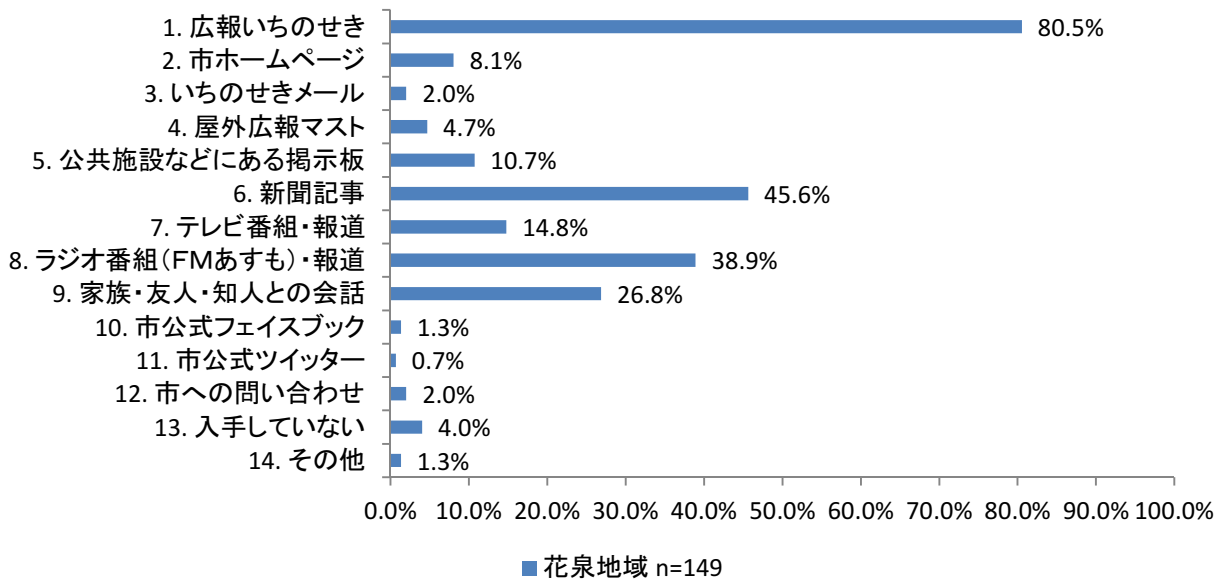
1) 一関地域

一関地域の結果を見ると「広報いちのせき」が82.3%と最も多く、次いで「新聞記事」が36.8%となっています。



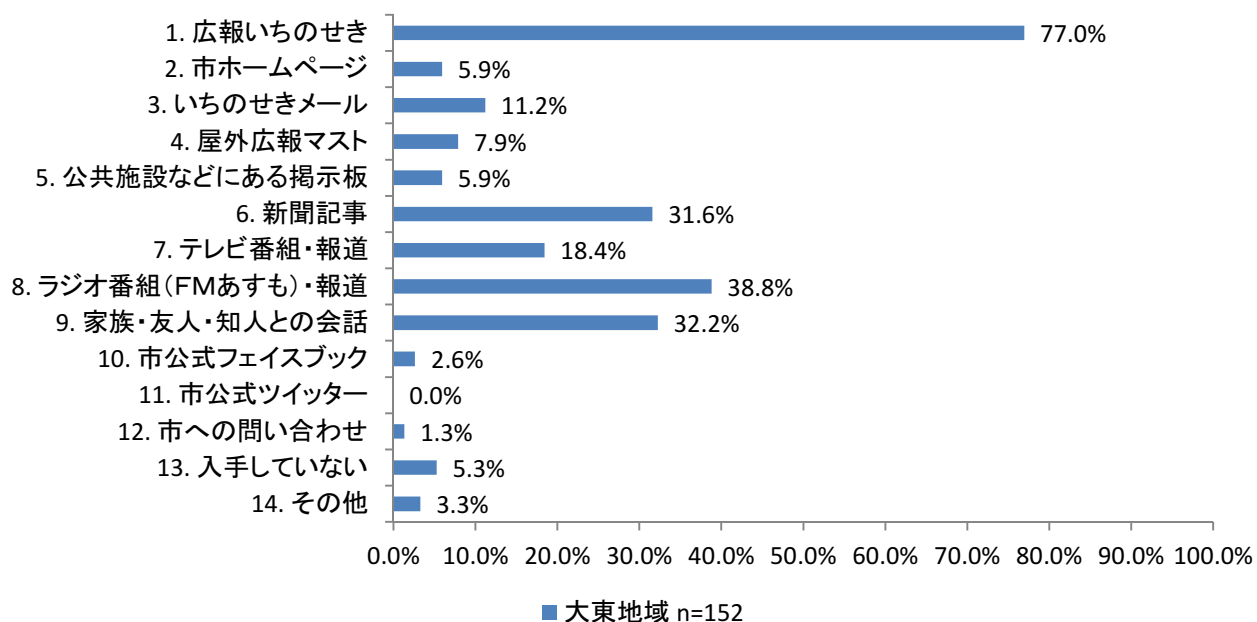
2) 花泉地域

花泉地域の結果を見ると「広報いちのせき」が80.5%と最も多く、次いで「新聞記事」が45.6%となっています。



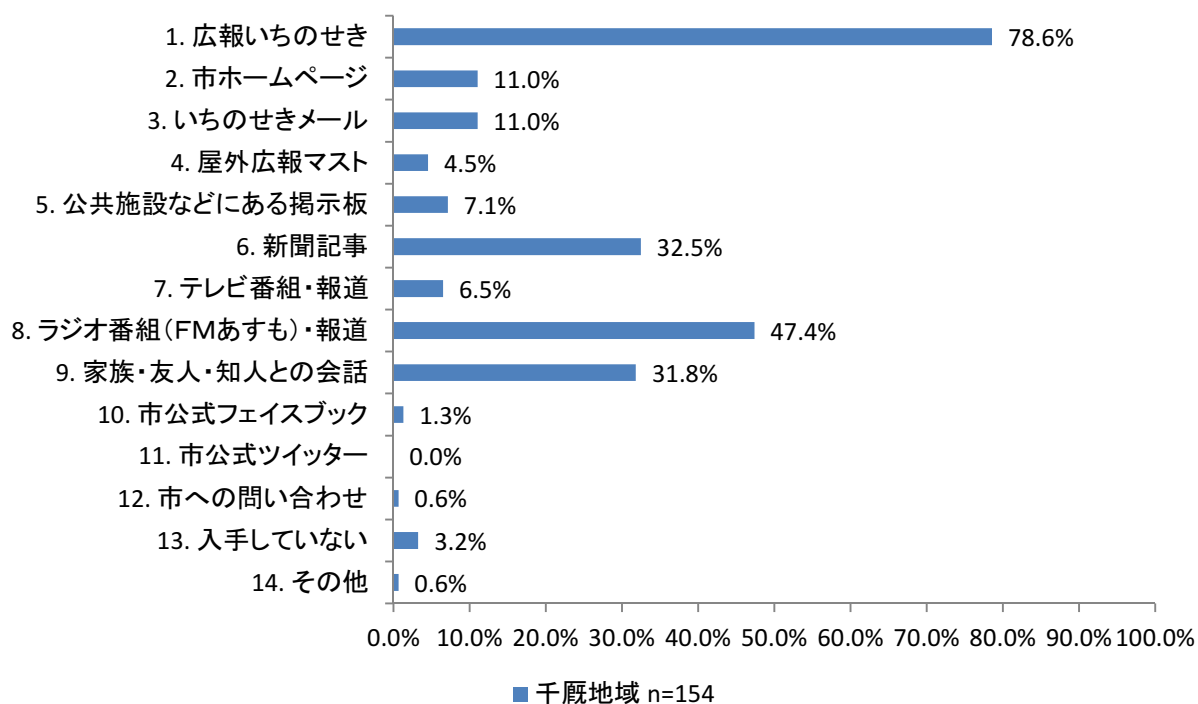
3) 大東地域

大東地域の結果を見ると「広報いちのせき」が77.0%と最も多く、次いで「ラジオ番組（FMあすも）・報道」が38.8%となっています。



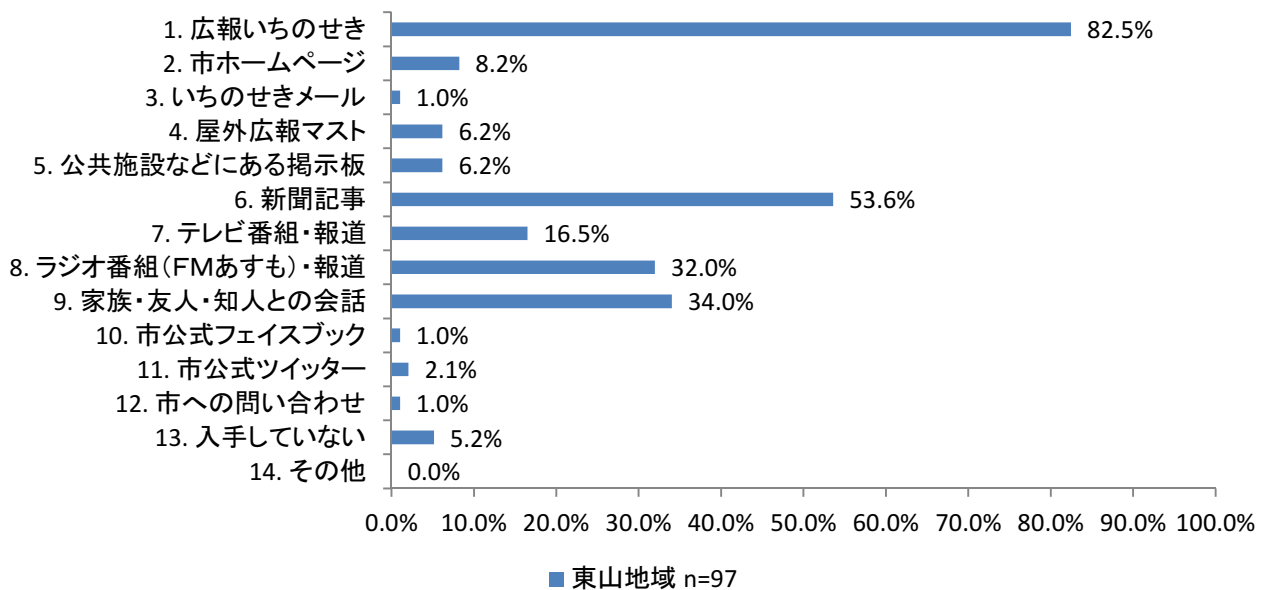
4) 千厩地域

千厩地域の結果を見ると「広報いちのせき」が78.6%と最も多く、次いで「ラジオ番組（FMあすも）・報道」が47.4%となっています。



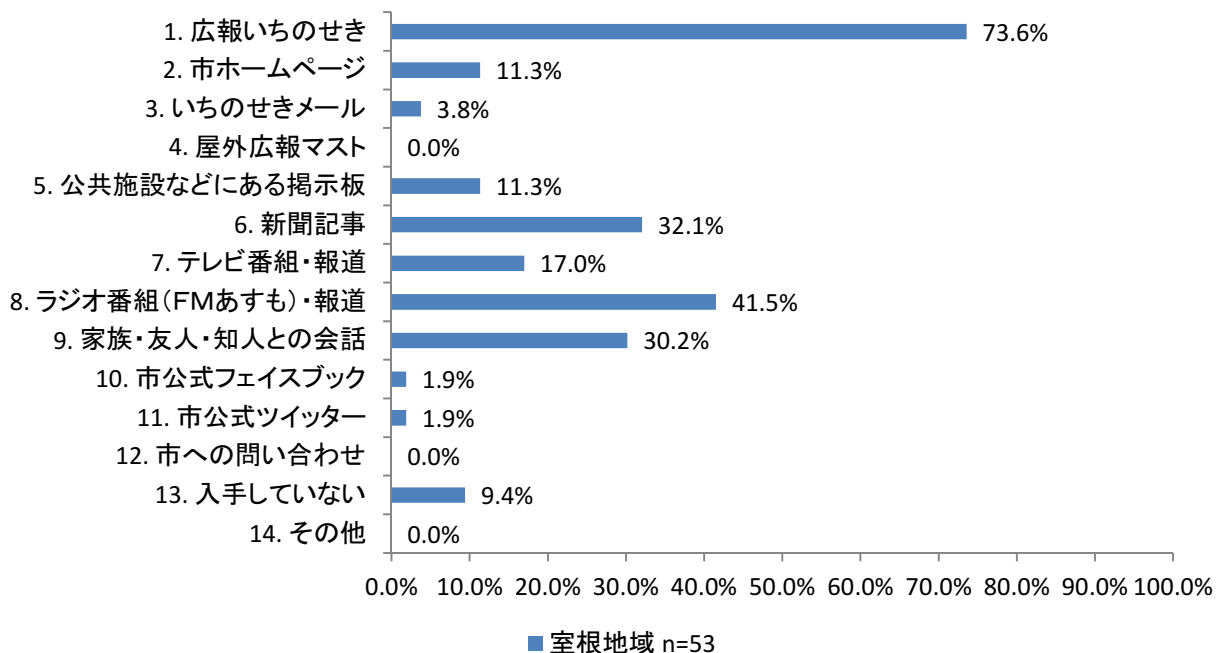
5) 東山地域

千厩地域の結果を見ると「広報いちのせき」が82.5%と最も多く、次いで「新聞記事」が53.6%となっています。



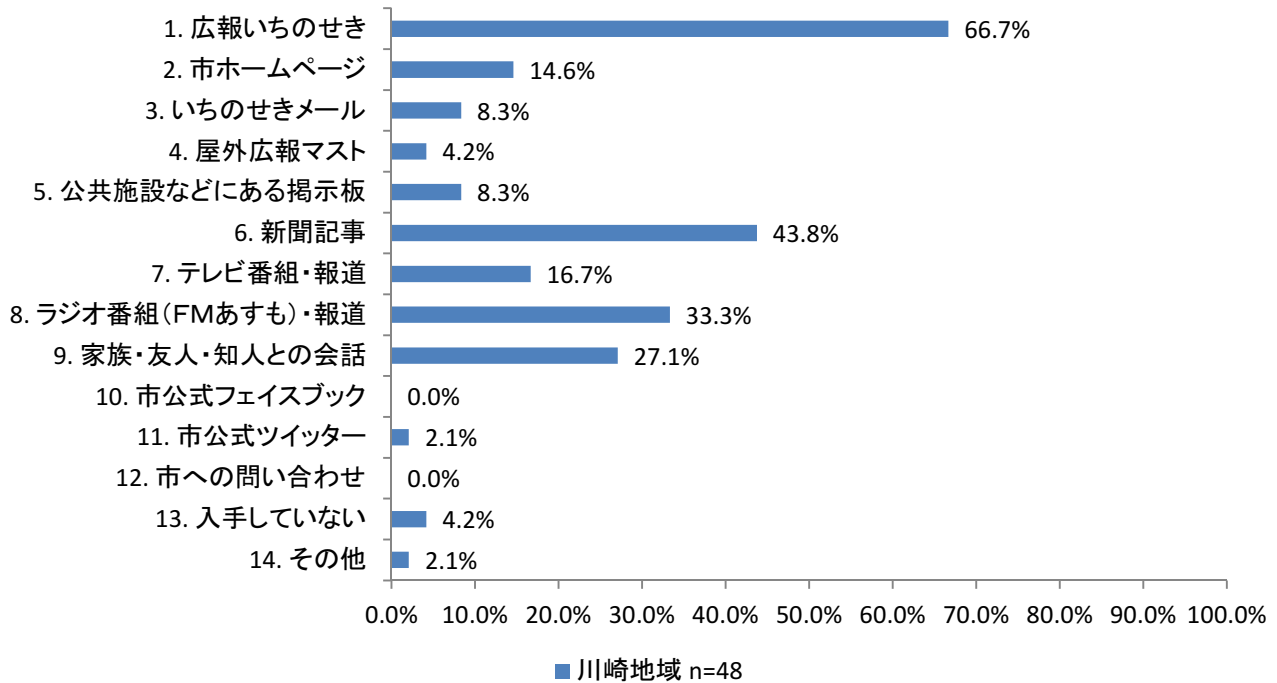
6) 室根地域

室根地域の結果を見ると「広報いちのせき」が73.6%と最も多く、次いで「ラジオ番組(FMあすも)・報道」が41.5%となっています。



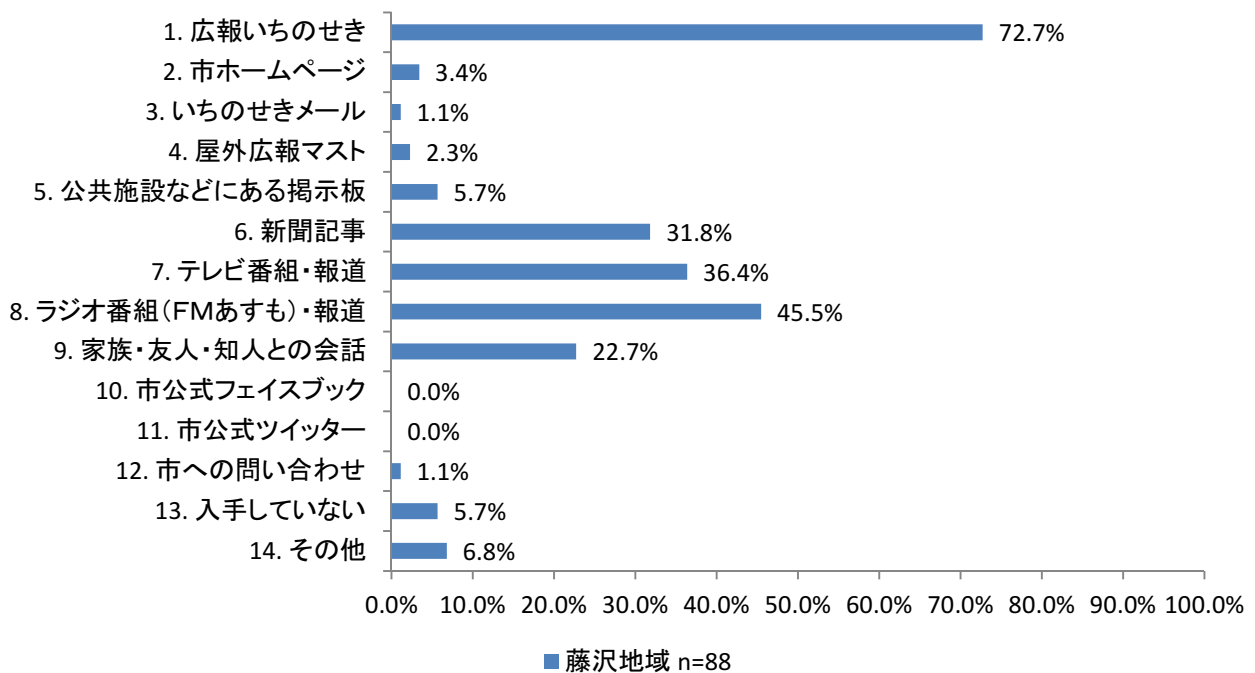
7) 川崎地域

川崎地域の結果を見ると「広報いちのせき」が66.7%と最も多く、次いで「新聞記事」が43.8%となっています。



8) 藤沢地域

川崎地域の結果を見ると「広報いちのせき」が72.7%と最も多く、次いで「ラジオ番組(FMあすも)・報道」が45.5%となっています。



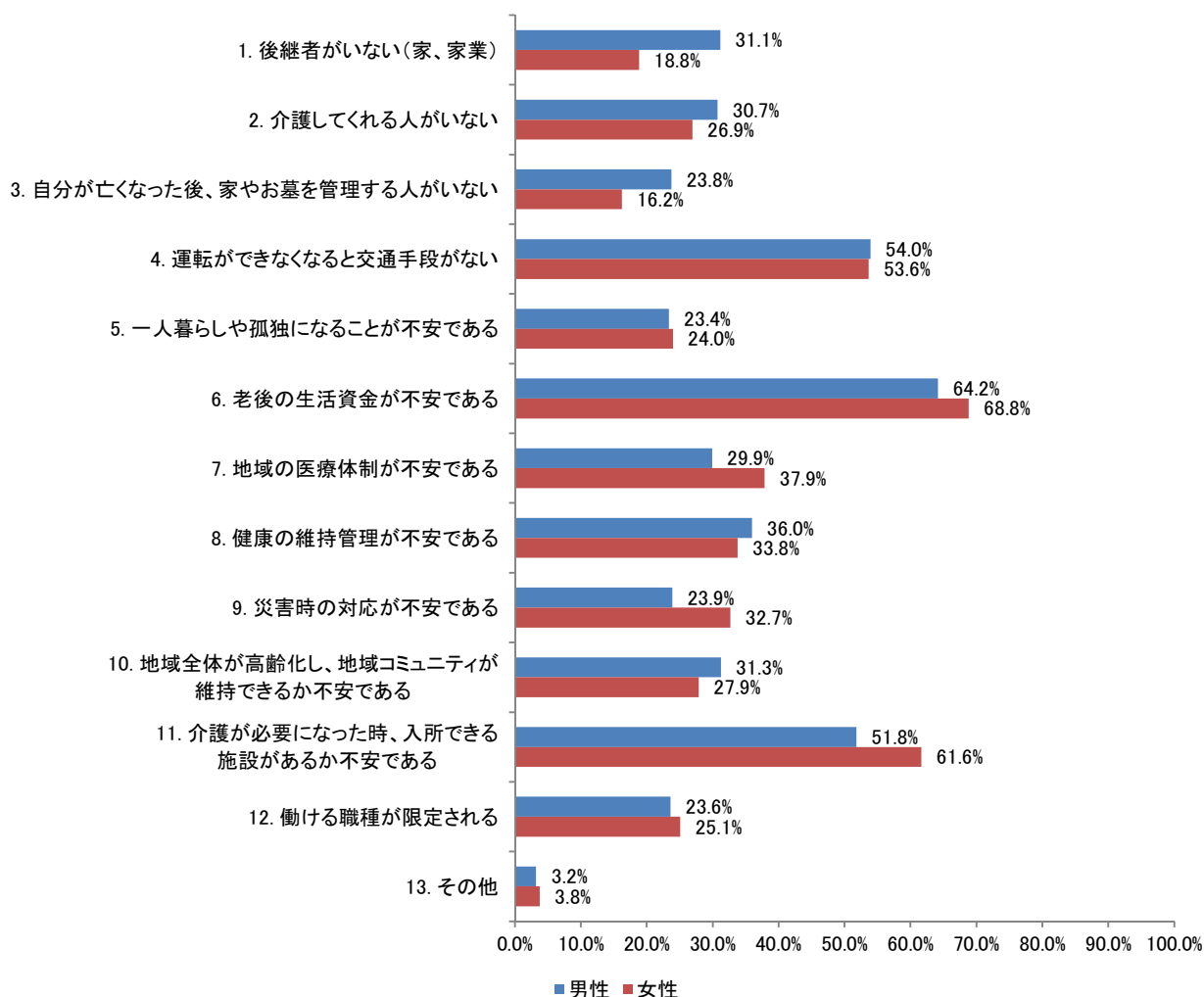
問 15 高齢化社会が進行する中であなたが不安に思っていること、困っていることは何ですか。(あてはまるものすべて選択)

問 15 で尋ねた高齢社会が進行する上で不安に思っていること、困っていることについて、男女別、年代別（10 歳階級別）、地域別に示しています。

①男女別

男性の結果を見ると、「老後の生活資金が不安である」(64.2%)と回答した方の割合が最も高く、次いで「運転ができなくなると交通手段がない」(54.0%)、「介護が必要になった時、入所できる施設があるか不安である」(51.8%)の順に多くなっています。

女性の結果を見ると、「老後の生活資金が不安である」(68.8%)と回答した方の割合が最も高く、次いで「介護が必要になった時、入所できる施設があるか不安である」(61.6%)、「運転ができなくなると交通手段がない」(53.6%)の順に多くなっています。

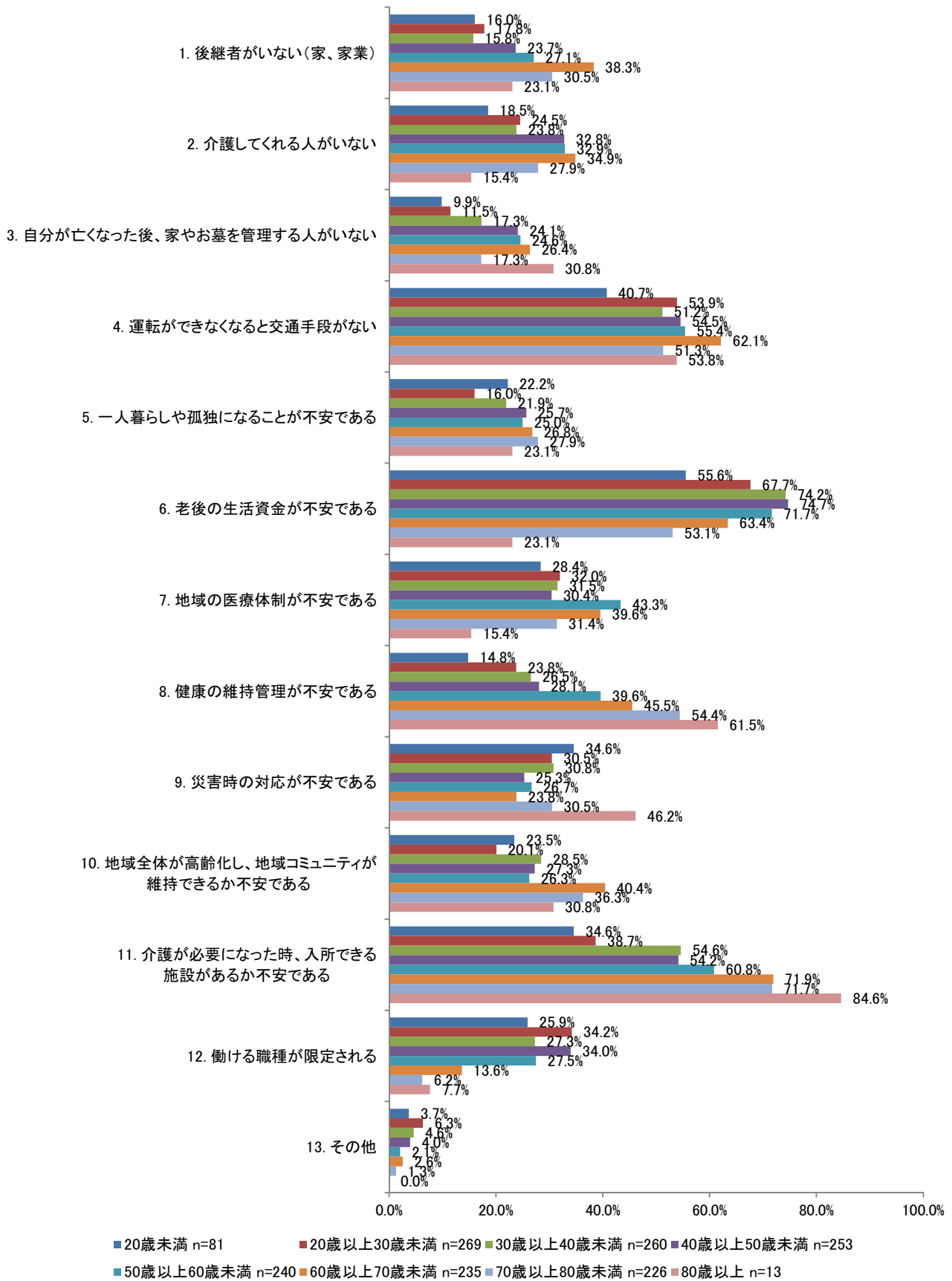


有効回答数 男性＝745，女性＝850 ※複数回答のため、合計は100%にならない

②年代別

下表の通り、年代別の傾向を概観すると、60歳未満の方は老後の生活資金に不安を感じているのに対し、60歳以上の方は介護が必要になった時の入所先に不安を感じていることが分かりました。

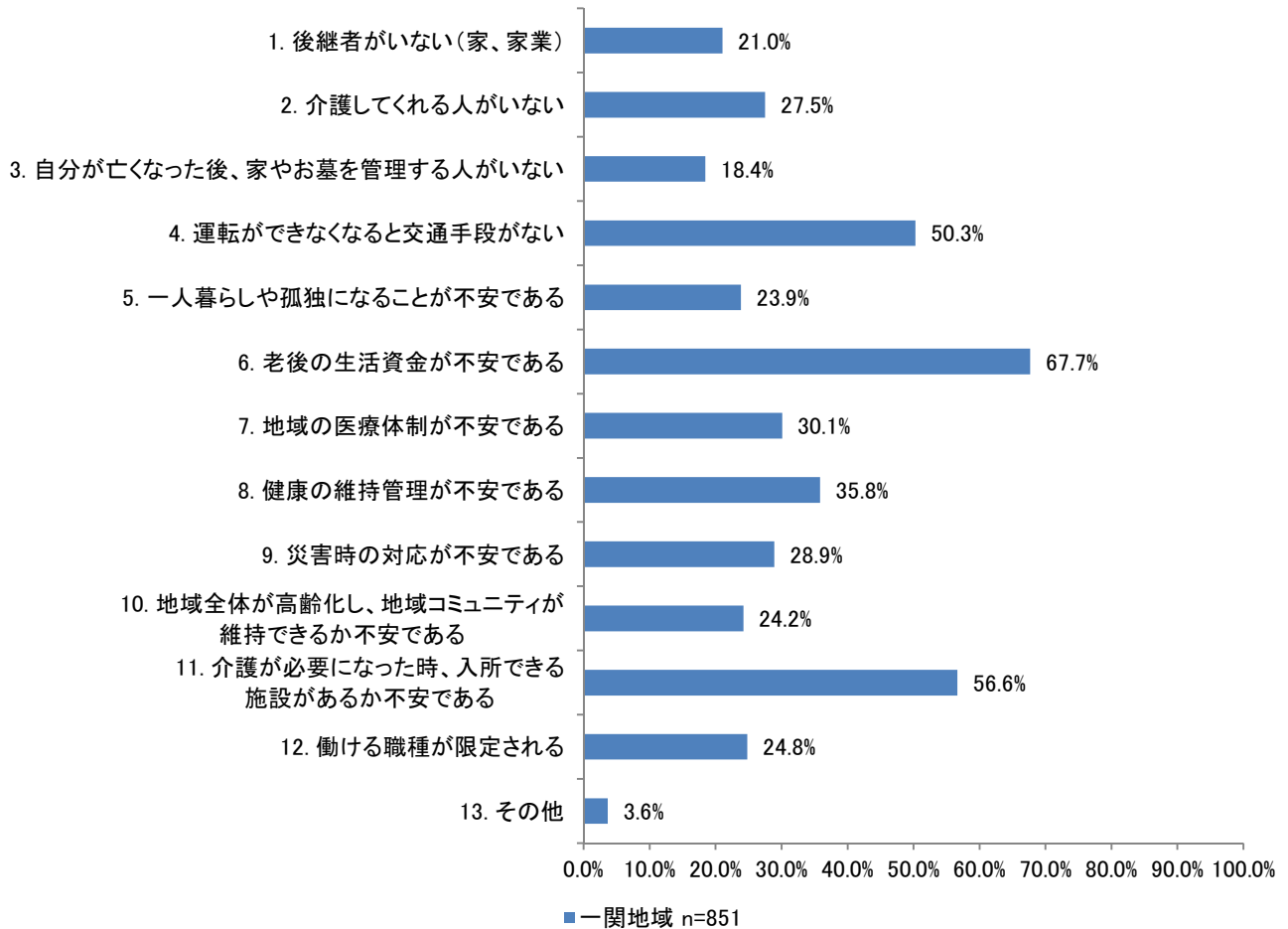
年代	最も回答割合が高い項目	
20歳未満	老後の生活資金が不安である	55.6%
20歳以上 30歳未満	老後の生活資金が不安である	67.7%
30歳以上 40歳未満	老後の生活資金が不安である	74.2%
40歳以上 50歳未満	老後の生活資金が不安である	74.7%
50歳以上 60歳未満	老後の生活資金が不安である	71.7%
60歳以上 70歳未満	介護が必要になった時、入所できる施設があるか不安である	71.9%
70歳以上 80歳未満	介護が必要になった時、入所できる施設があるか不安である	71.7%
80歳以上	介護が必要になった時、入所できる施設があるか不安である	84.6%



③地域別 ※複数回答のため、合計は100%にならない

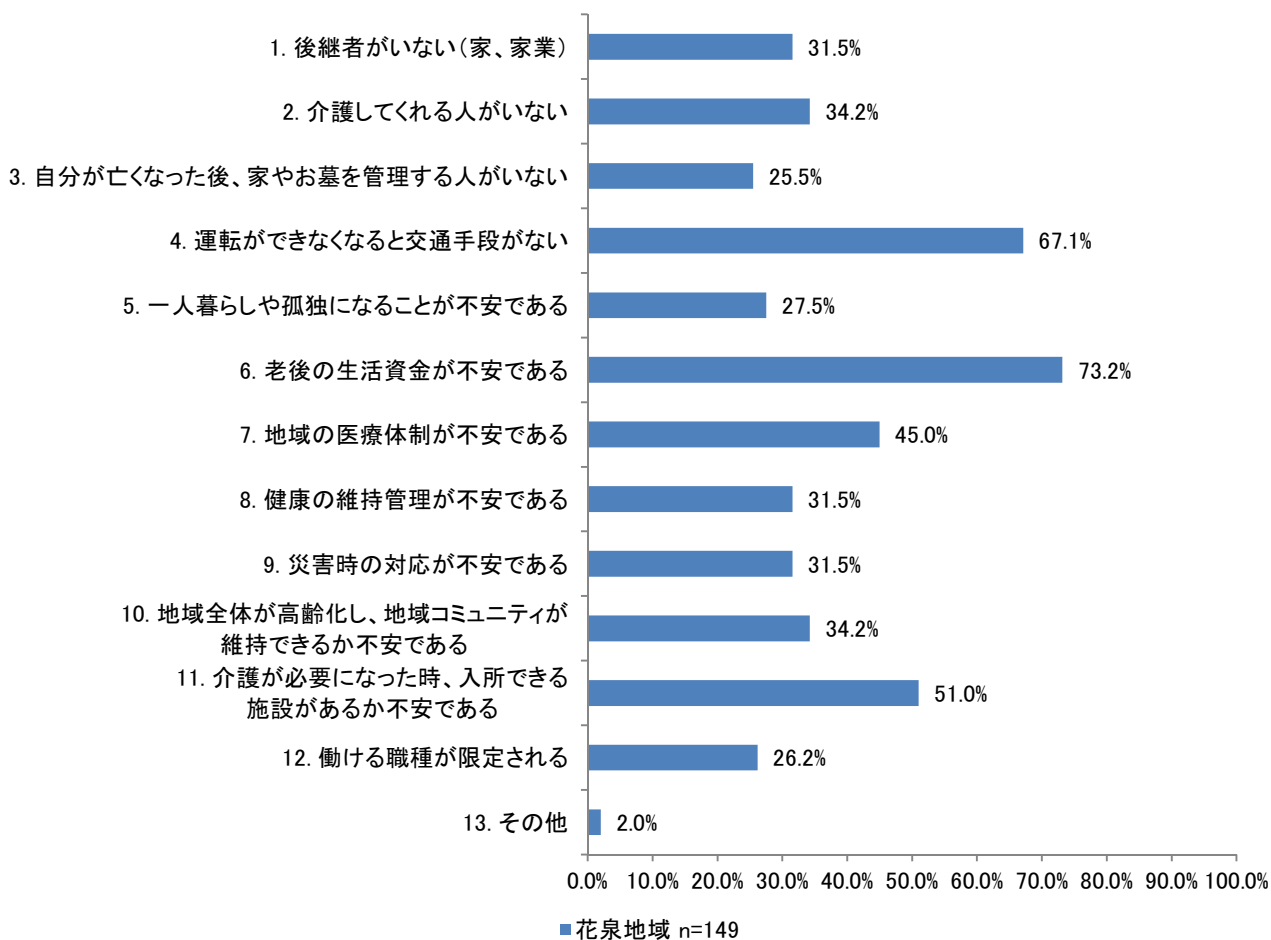
1) 一関地域

「老後の生活資金が不安である」が67.7%と最も多く、「介護が必要になった時、入所できる施設があるか不安である」が56.6%と続いています。



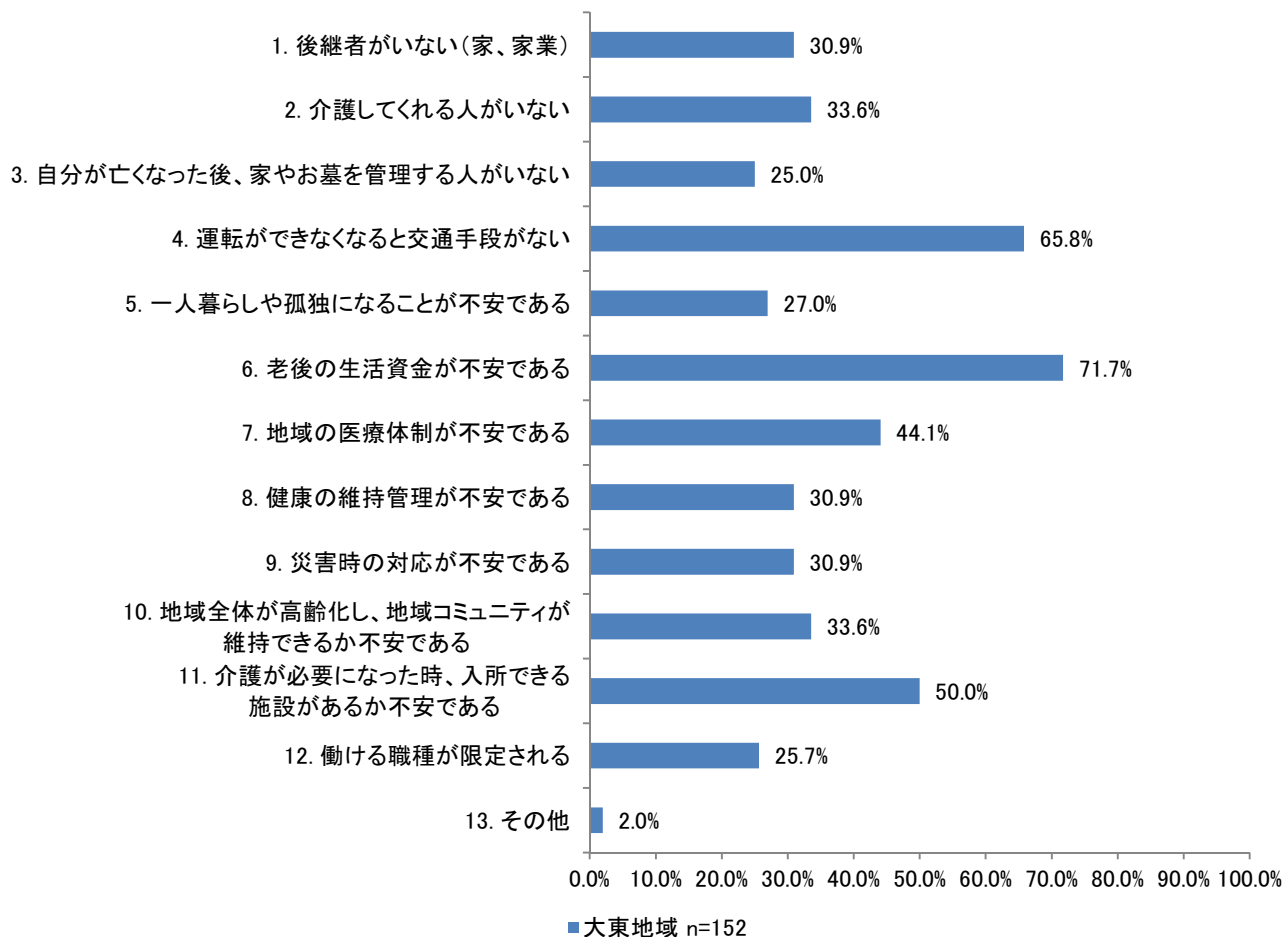
2) 花泉地域

「老後の生活資金が不安である」が 73.2%と最も多く、「運転ができなくなると交通手段がない」が 67.1%と続いています。



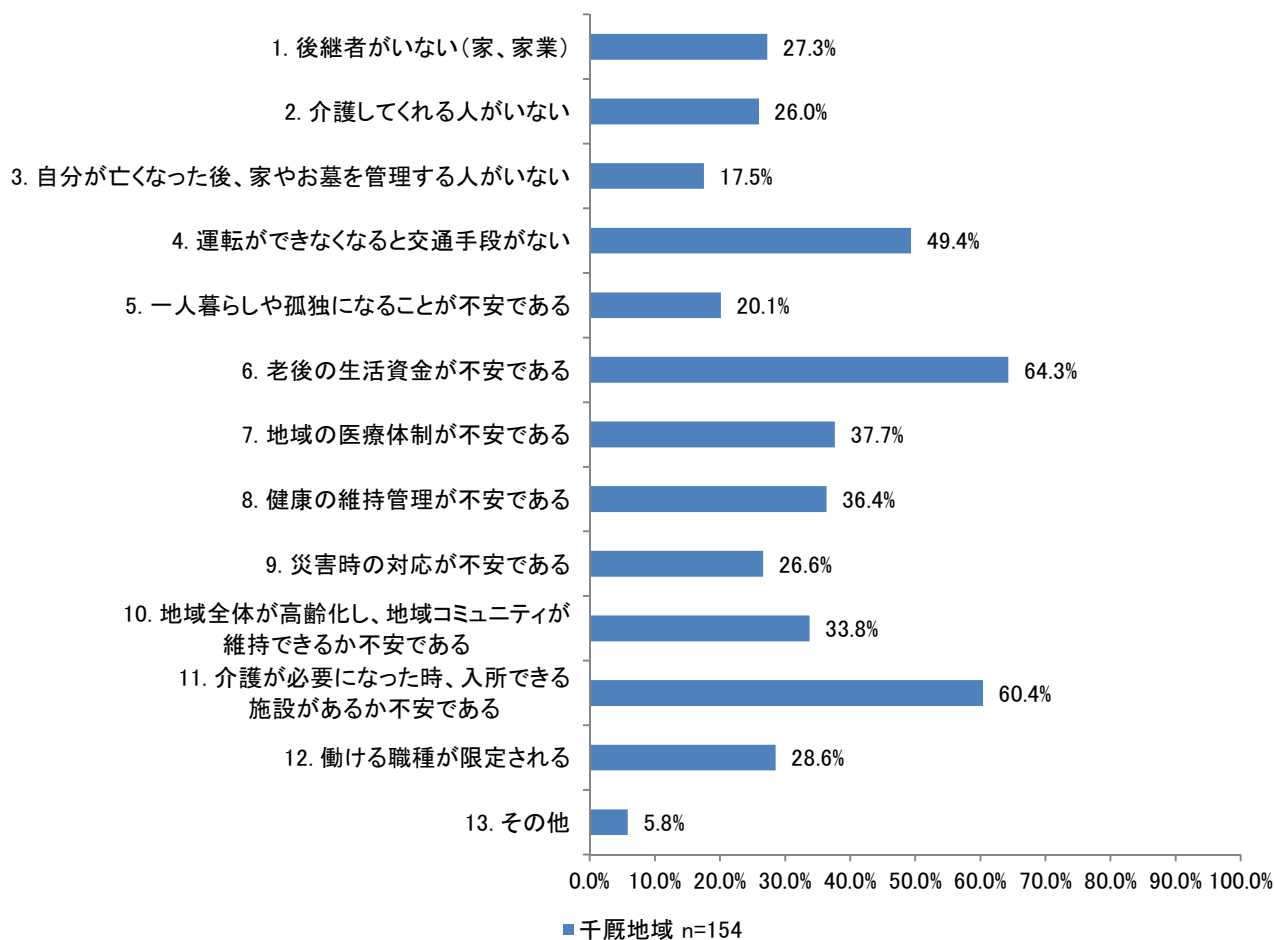
3) 大東地域

「老後の生活資金が不安である」が 71.7%と最も多く、「運転ができなくなると交通手段がない」が 65.8%と続いています。



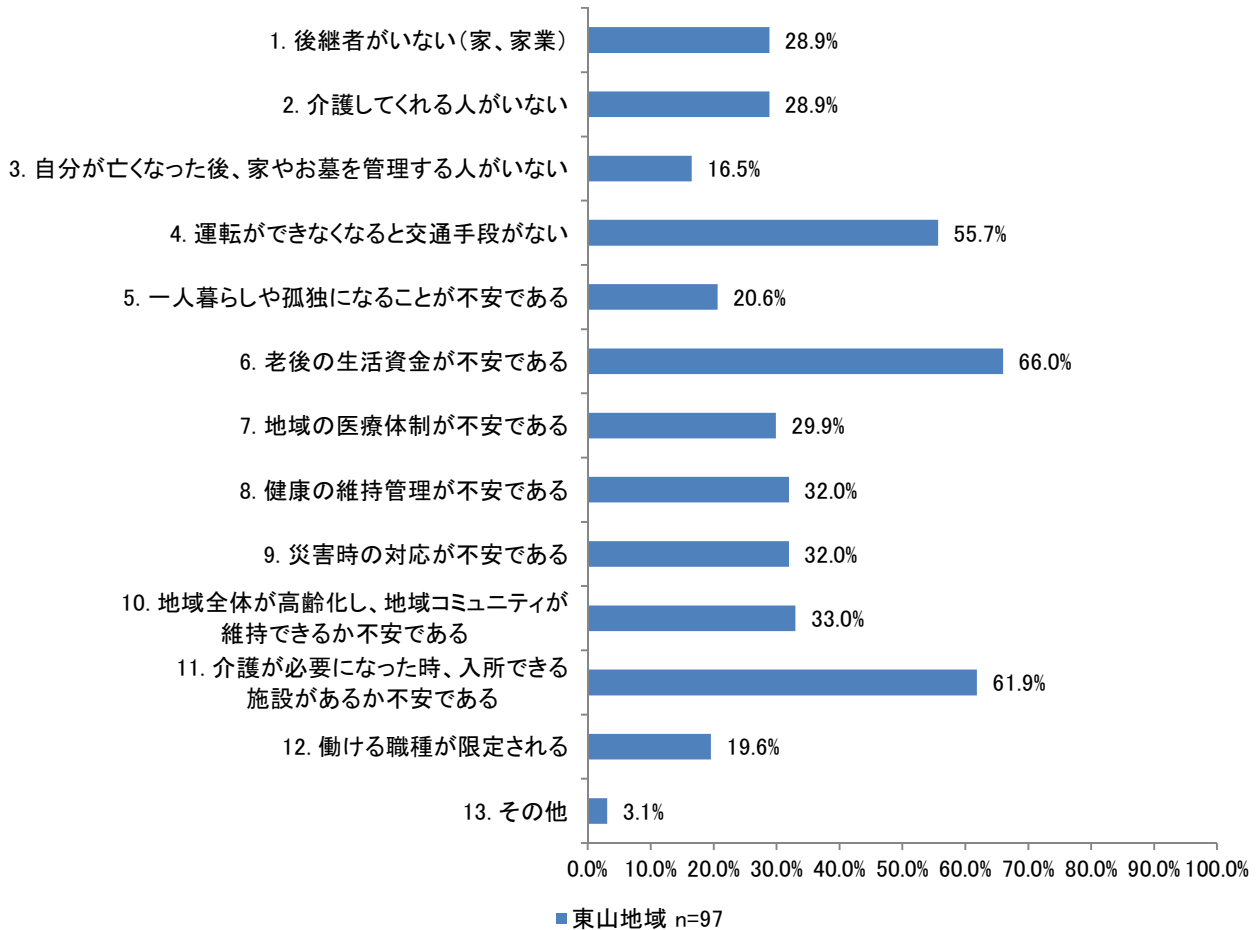
4) 千厩地域

「老後の生活資金が不安である」が64.3%と最も多く、「介護が必要になった時、入所できる施設があるか不安である」が60.4%と続いています。



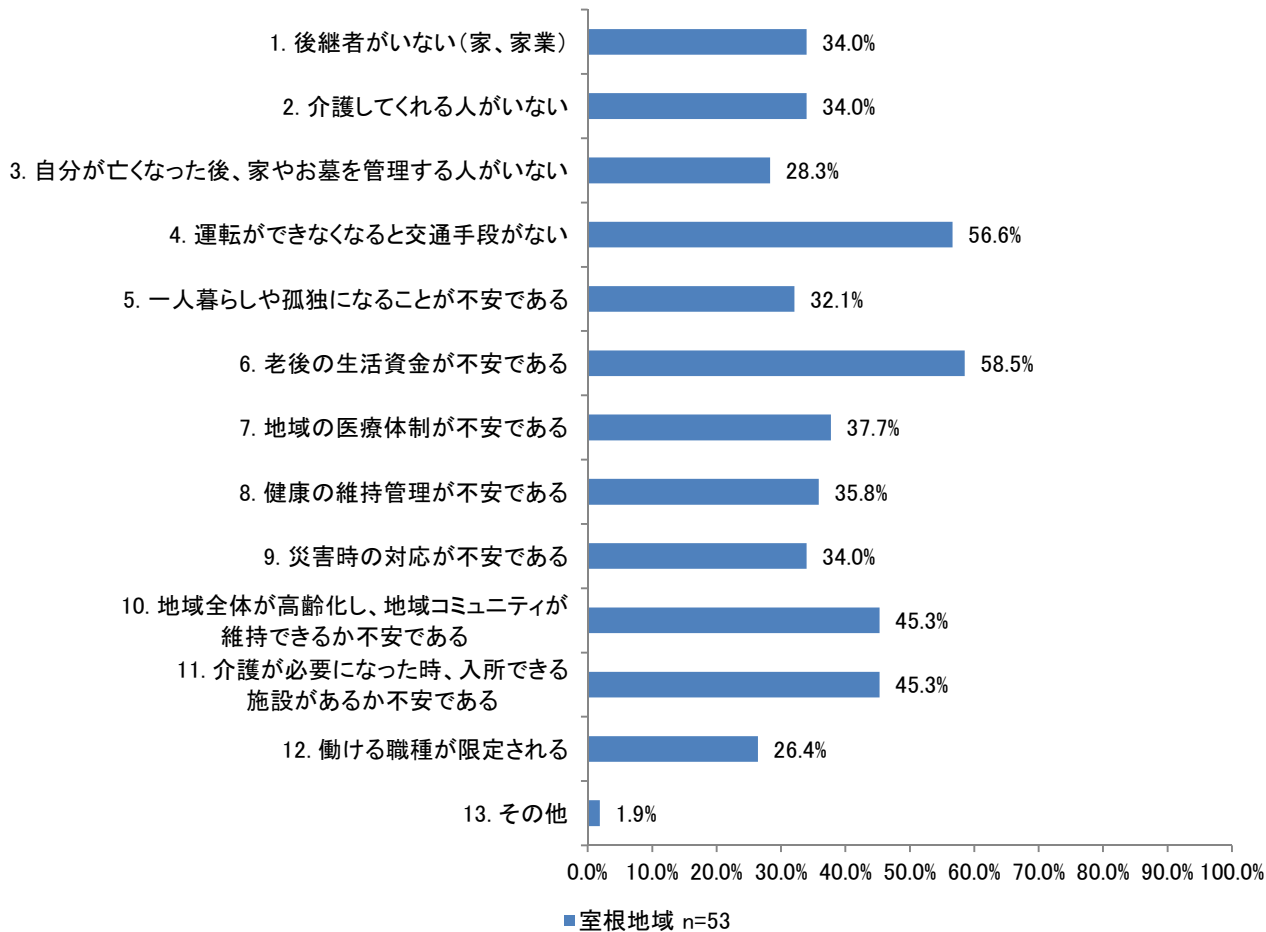
5) 東山地域

「老後の生活資金が不安である」が66.0%と最も多く、「介護が必要になった時、入所できる施設があるか不安である」が61.9%と続いています。



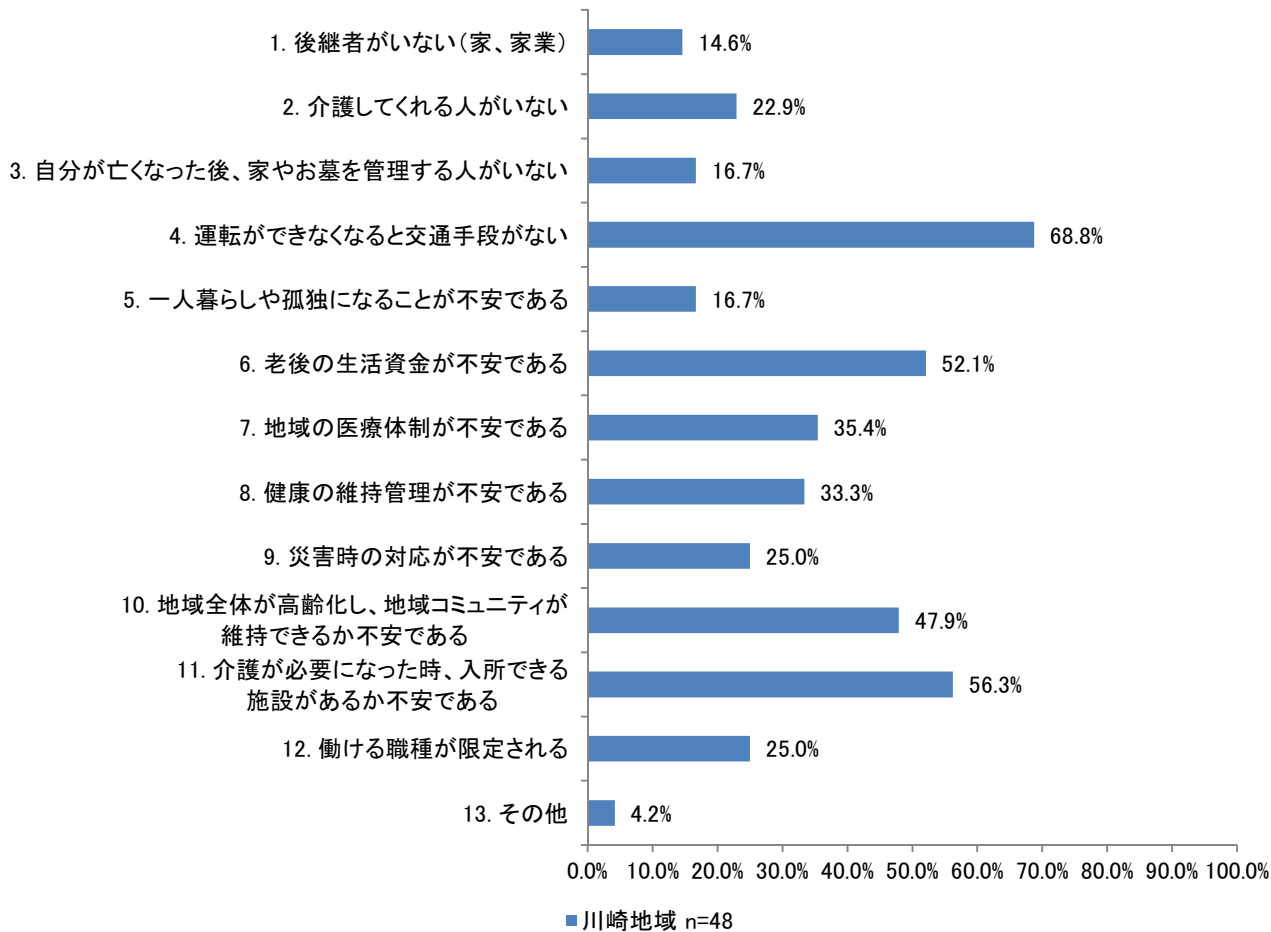
6) 室根地域

「老後の生活資金が不安である」が 58.5%と最も多く、「運転ができなくなると交通手段がない」が 56.5%と続いています。



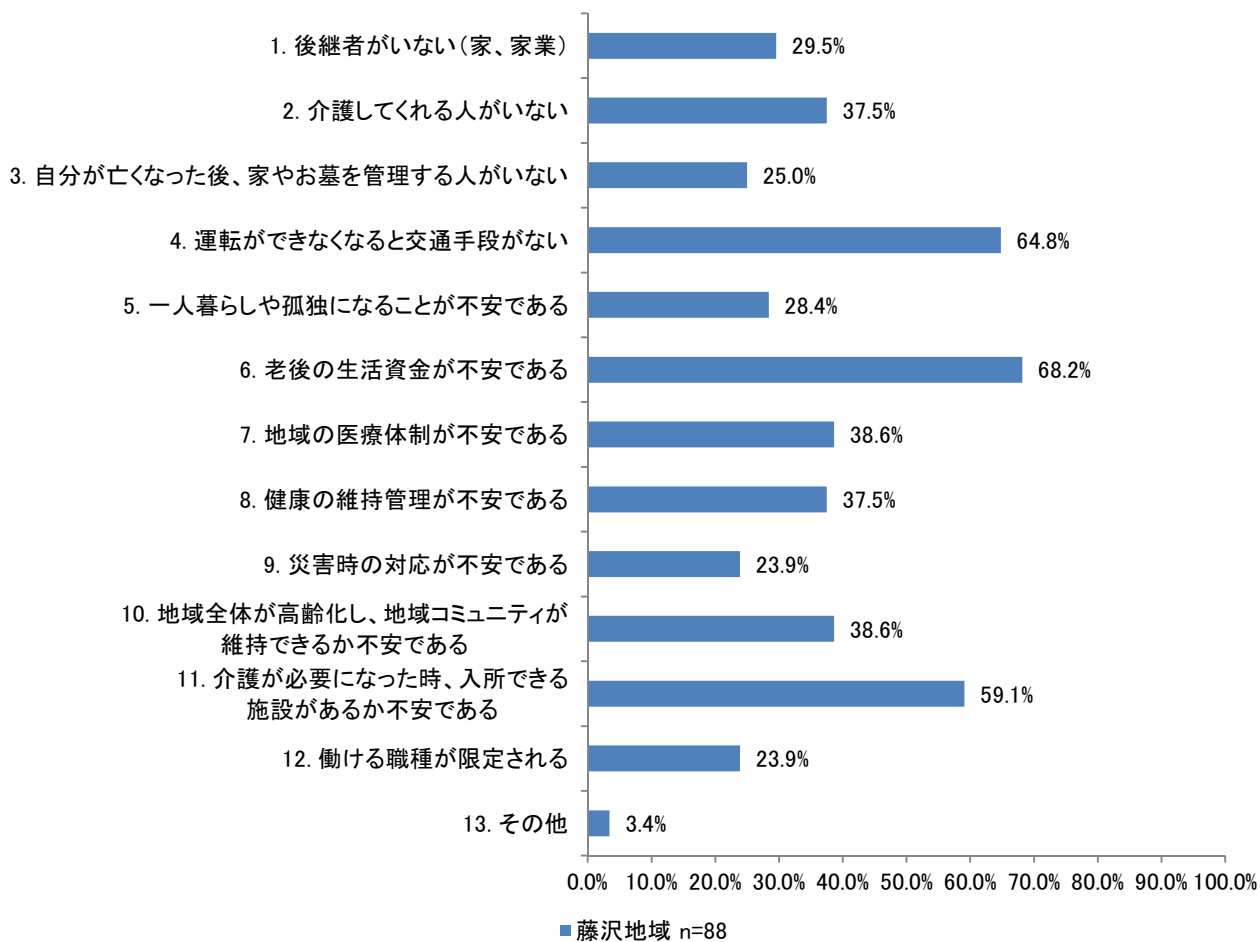
7) 川崎地域

「運転ができなくなると交通手段がない」が68.8%と最も多く、「介護が必要になった時、入所できる施設があるか不安である」が56.3%と続いています。



8) 藤沢地域

「老後の生活資金が不安である」が 68.2%と最も多く、「運転ができなくなると交通手段がない」が 64.8%と続いています。



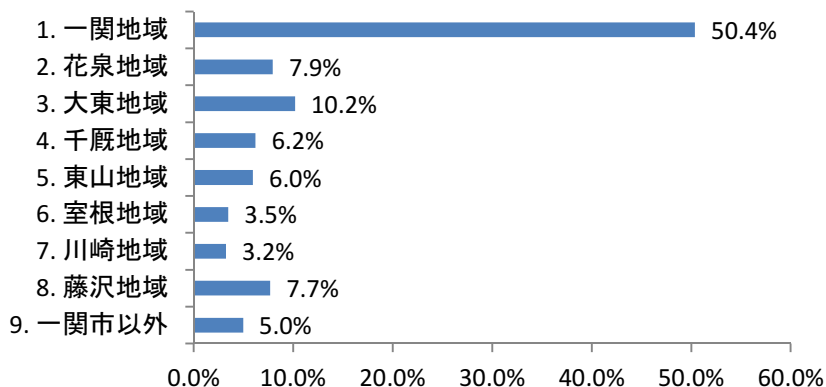
(2) 中学生・高校生アンケート

問2 現在お住まいの地域を教えてください。(1つ選択)

現在お住まいの地域について尋ねた結果を、中学生と高校生に分けて示しています。

①中学生

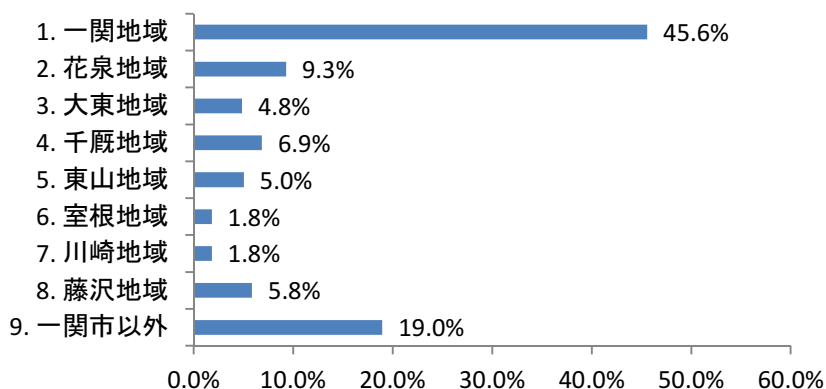
中学生が現在住んでいる地域は、一関地域(50.4%)が最も多く、次いで大東地域(10.2%)、花泉地域(7.9%)の順に多くなっています。



有効回答者数=403

②高校生

高校生が現在住んでいる地域は、一関地域(45.6%)が最も多く、次いで花泉地域(9.3%)、千厩地域(6.9%)の順に多くなっています。



有効回答者数=496

問6 就職はどの時期にしたいと考えていますか。(1つ選択)

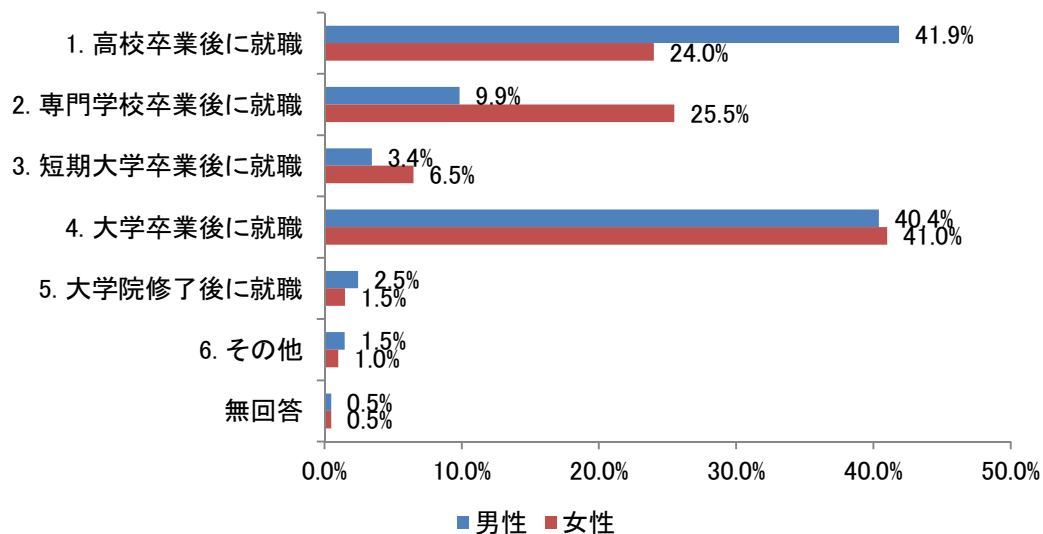
就職したい時期について尋ねた結果を、中学生(男女別)と高校生(男女別)に分けて示しています。

①中学生

1) 男女別

中学生(男性)が希望する就職時期は、「高校卒業後に就職」(41.9%)が最も多く、次いで「大学卒業後に就職」(40.4%)、「専門学校卒業後に就職」(9.9%)の順に多くなっています。

中学生(女性)が希望する就職時期は、「大学卒業後に進学」(41.0%)が最も多く、次いで「専門学校卒業後に就職」(25.5%)、「高校卒業後に就職」(24.0%)の順に多くなっています。



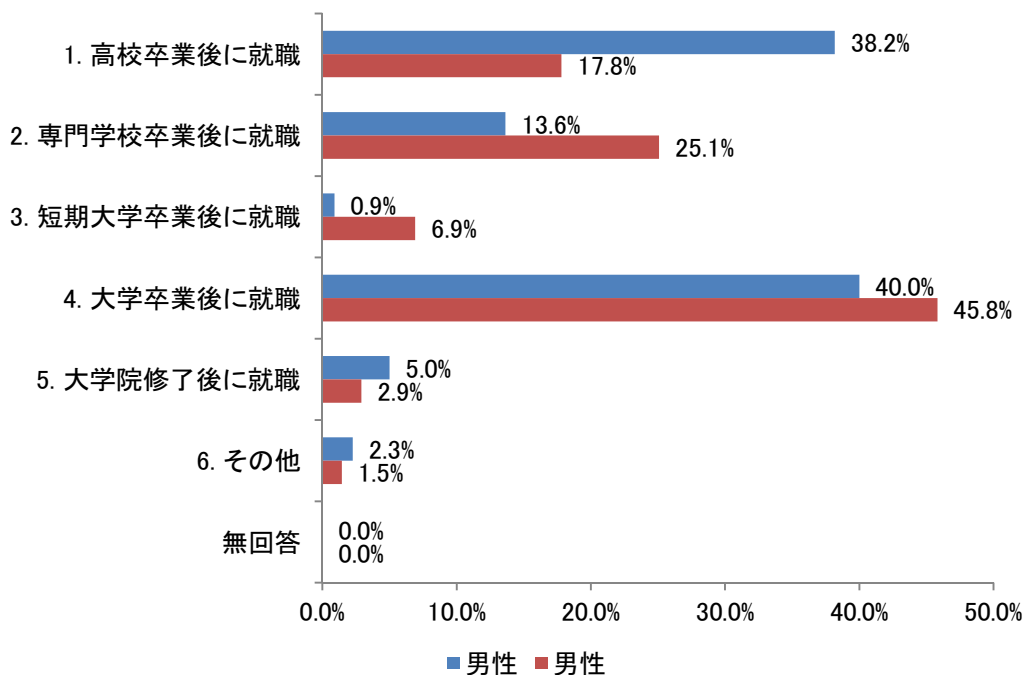
有効回答者数 男性=203, 女性=200

②高校生

1) 男女別

高校生（男性）が希望する就職時期は、「大学卒業後に進学」（40.0%）が最も多く、次いで「高校卒業後に就職」（38.2%）、「専門学校卒業後に就職」（13.6%）の順に多くなっています。

高校生（女性）が希望する就職時期は、「大学卒業後に進学」（45.8%）が最も多く、次いで「専門学校卒業後に就職」（25.1%）、「高校卒業後に就職」（17.8%）の順に多くなっています。



有効回答者数 男性=220, 女性=275

問8 あなたは将来、どのような職業につきたいですか。(1つ選択)

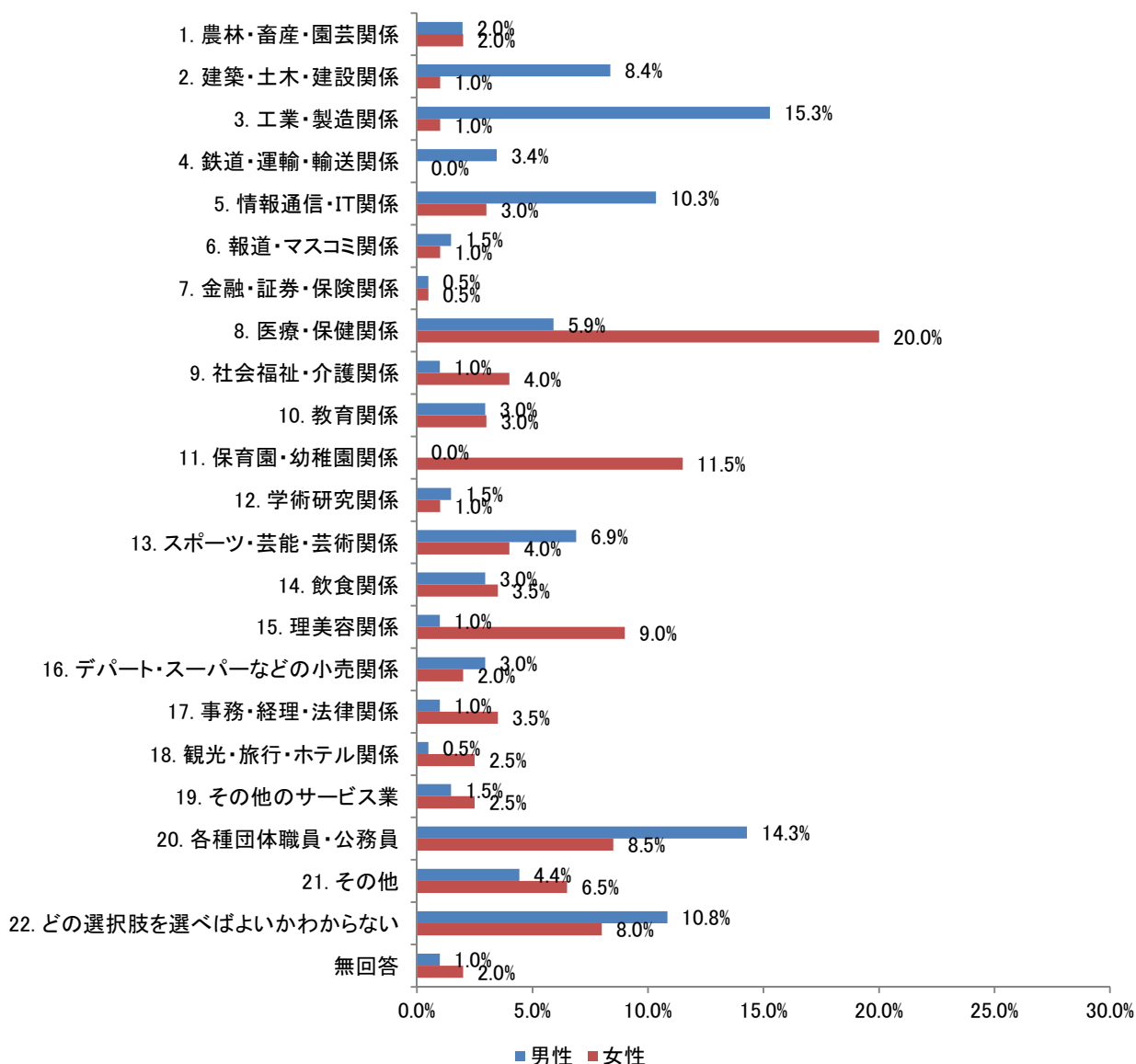
就職就きたい職業について尋ねた結果を、中学生(男女別)と高校生(男女別)に分けて示しています。

①中学生

1) 男女別

中学生(男性)が将来就きたい職業は、「工業・製造関係」(15.3%)が最も多く、次いで「各種団体職員・公務員」(14.3%)、「情報通信・IT関係」(10.3%)の順に多くなっています。

中学生(女性)が将来就きたい職業は、「医療・保険関係」(20.0%)が最も多く、次いで「保育園・幼稚園関係」(11.5%)、「理美容関係」(9.0%)の順に多くなっています。



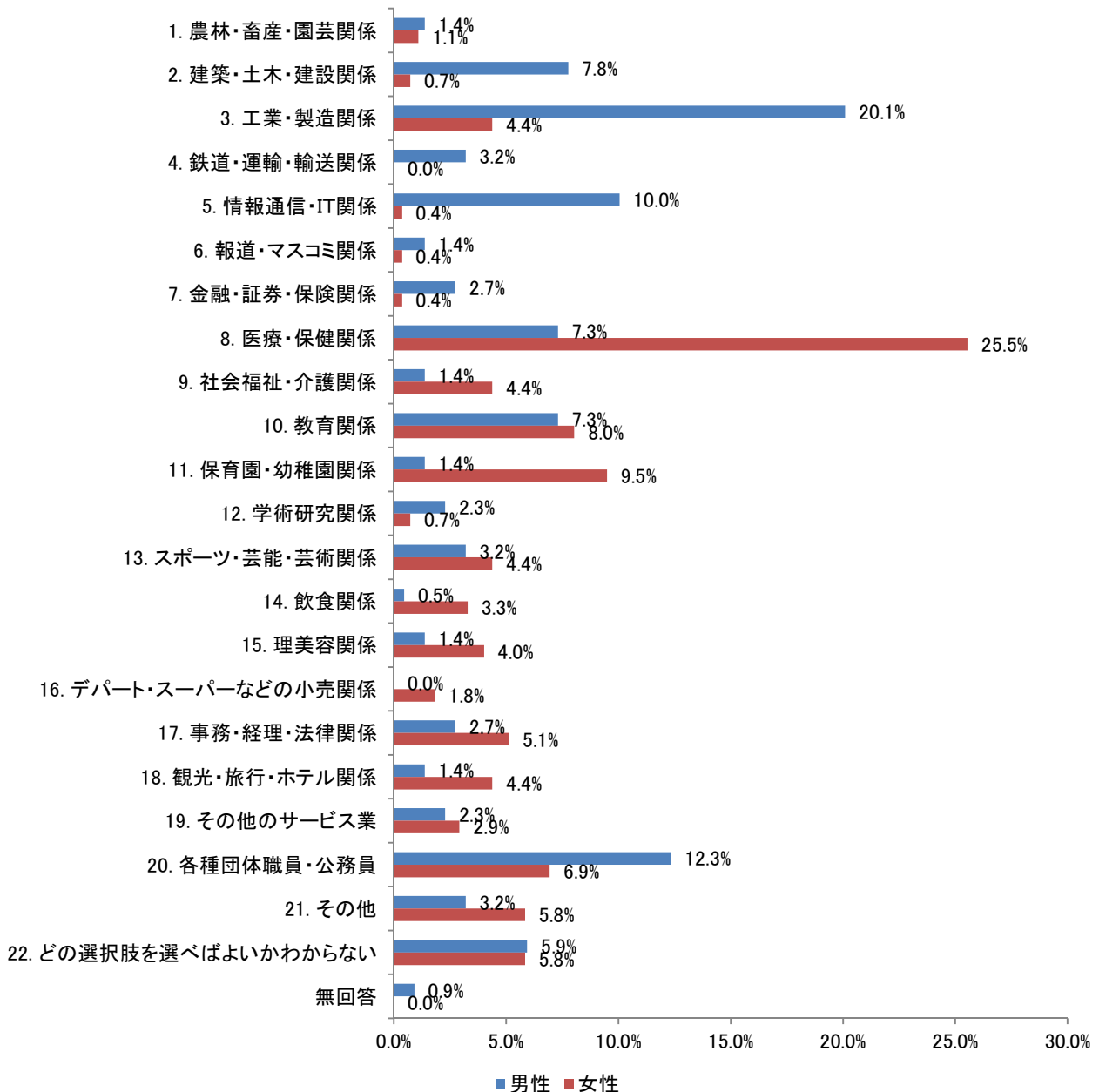
有効回答者数 男性=203, 女性=200

②高校生

1) 男女別

高校生（男性）が将来就きたい職業は、「工業・製造関係」（20.1%）が最も多く、次いで「各種団体職員・公務員」（12.3%）、「情報通信・IT関係」（10.0%）の順に多くなっています。

高校生（女性）が将来就きたい職業は、「医療・保健関係」（25.5%）が最も多く、次いで「保育園・幼稚園関係」（9.5%）、「教育関係」（8.0%）の順に多くなっています。



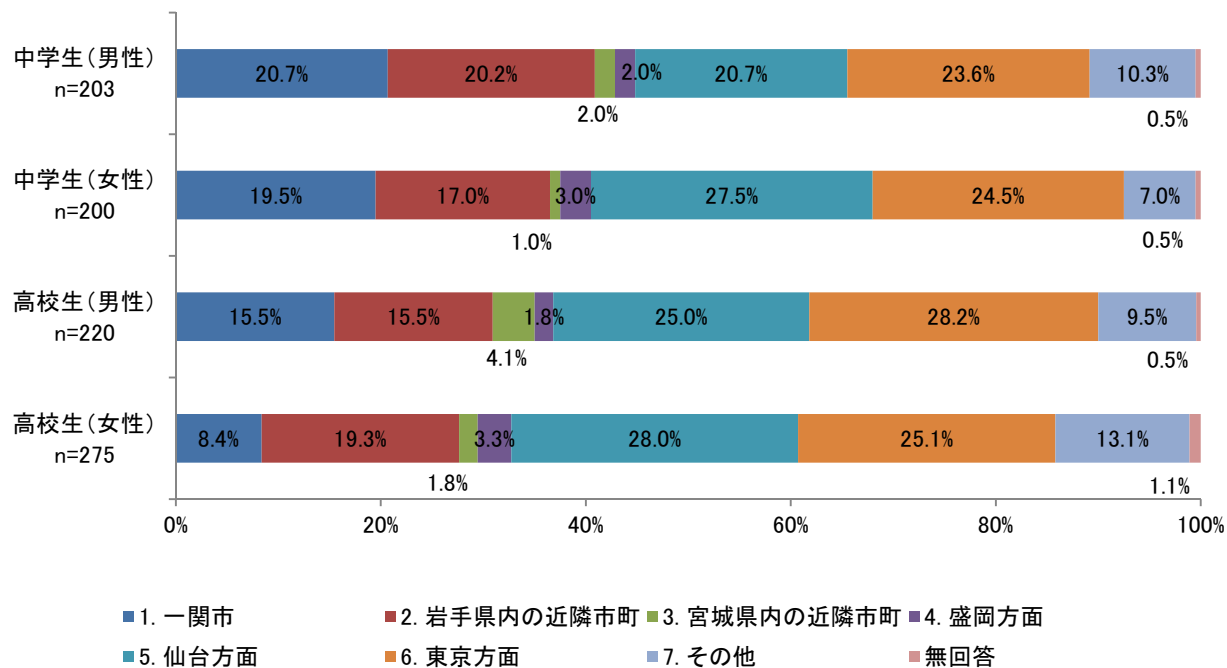
有効回答者数 男性=218, 女性=273

問 11 あなたは将来、どの地域への就職を希望しますか。(1つ選択)

就職後、どの地域へ就職を希望するか尋ねた結果を、中学生男女別、高校生男女別に示しています。

中学生の結果を見てみると、男性では「東京方面」での就職を希望する割合が最も高くなっているのに対して、女性では「仙台方面」での就職を希望する割合が最も高い結果となっています。

高校生の結果を見てみると、男性では「東京方面」での就職を希望する割合が最も高くなっているのに対して、女性では「仙台方面」での就職を希望する割合が最も高い結果となっています。



就職後、どの地域へ就職を希望するか尋ねた結果を、問6で尋ねた希望する就職時期ごとに分けて中学生（男女別）、高校生（男女別）ごとに示しています。

①中学生

1) 男性

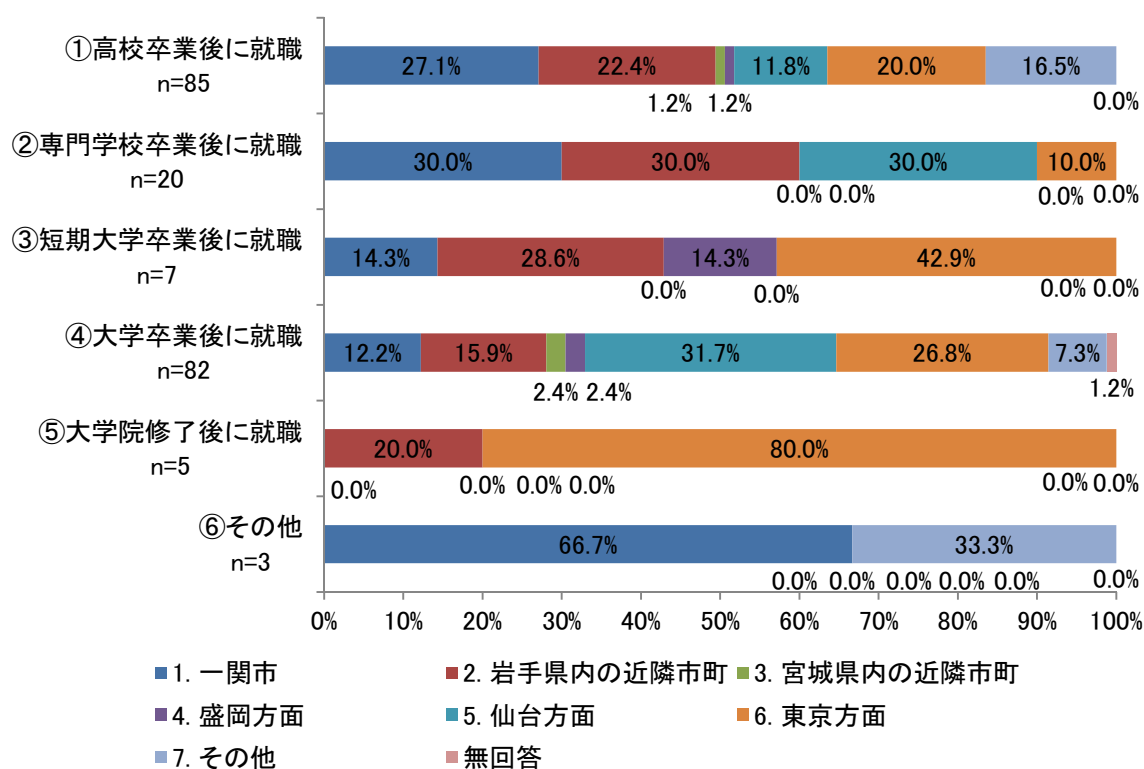
高校卒業後に就職を考えている方に、就職後どの地域へ就職を希望するか集計したところ「一関市」(27.1%)が最も多く、次いで「岩手県内の近隣市町」(22.4%)となりました。

専門学校卒業後に就職を考えている方に、就職後どの地域へ就職を希望するか集計したところ「一関市」「岩手県内の近隣市町」「仙台方面」(30.0%)が同率となりました。

短期大学卒業後に就職を考えている方に、就職後どの地域へ就職を希望するか集計したところ「東京方面」(42.9%)が最も多く、次いで「岩手県内の近隣市町」(28.6%)となりました。

大学卒業後に就職を考えている方に、就職後どの地域へ就職を希望するか集計したところ「仙台方面」(31.7%)が最も多く、次いで「東京方面」(26.8%)となりました。

大学院卒業後に就職を考えている方に、就職後どの地域へ就職を希望するか集計したところ「東京方面」(80.0%)が最も多く、次いで「岩手県内の近隣市町」(20.0%)となりました。



2) 女性

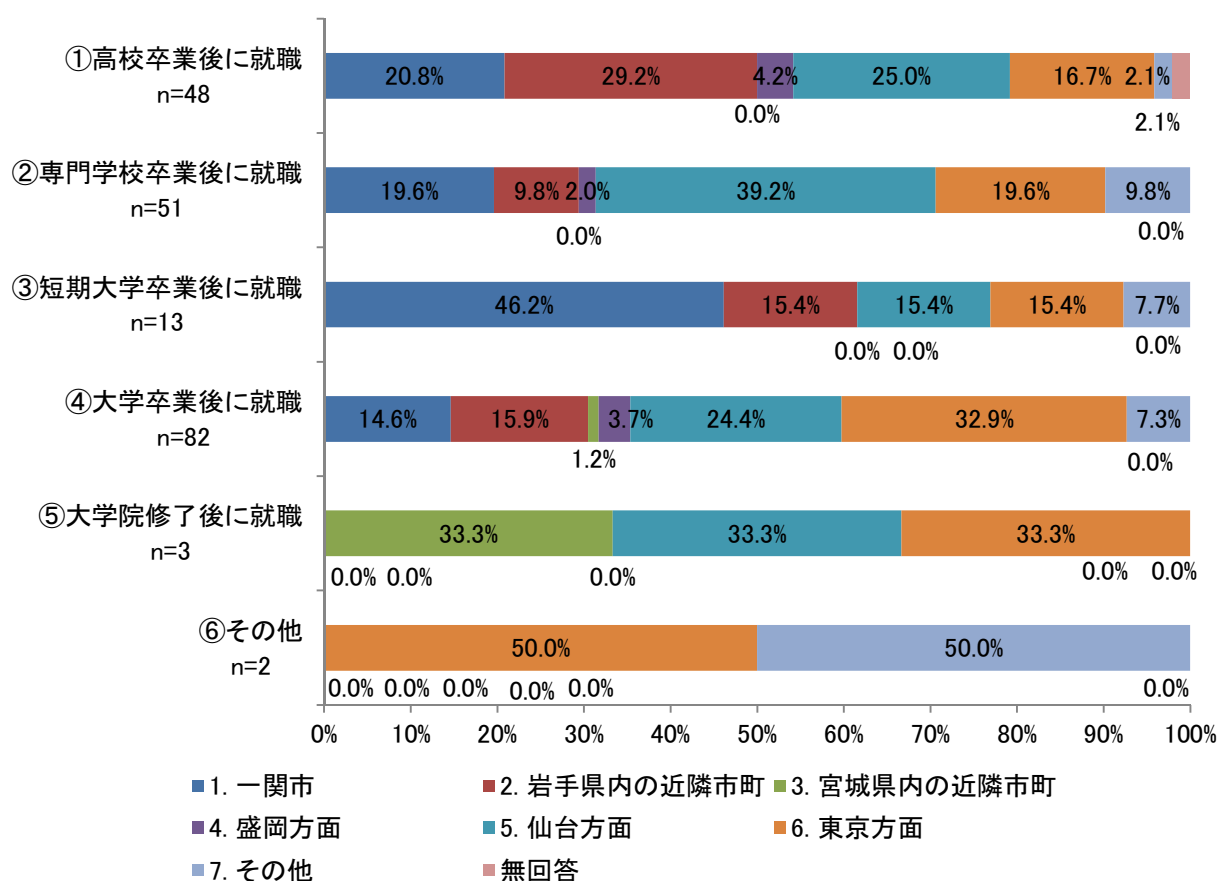
高校卒業後に就職を考えている方に、就職後どの地域へ就職を希望するか集計したところ「岩手県内の近隣市町」(29.2%)が最も多く、次いで「仙台方面」(25.0%)となりました。

専門学校卒業後に就職を考えている方に、就職後どの地域へ就職を希望するか集計したところ「仙台方面」(39.2%)が最も多く、次いで「一関市」「東京方面」(19.6%)となりました。

短期大学卒業後に就職を考えている方に、就職後どの地域へ就職を希望するか集計したところ「一関市」(46.2%)が最も多く、次いで「岩手県内の近隣市町」「仙台方面」「東京方面」が同率となりました。

大学卒業後に就職を考えている方に、就職後どの地域へ就職を希望するか集計したところ「東京方面」(32.9%)が最も多く、次いで「仙台方面」(24.4%)となりました。

大学院卒業後に就職を考えている方に、就職後どの地域へ就職を希望するか集計したところ「宮城県内の近隣市町」「仙台方面」「東京方面」が同率となりました。



②高校生

1) 男性

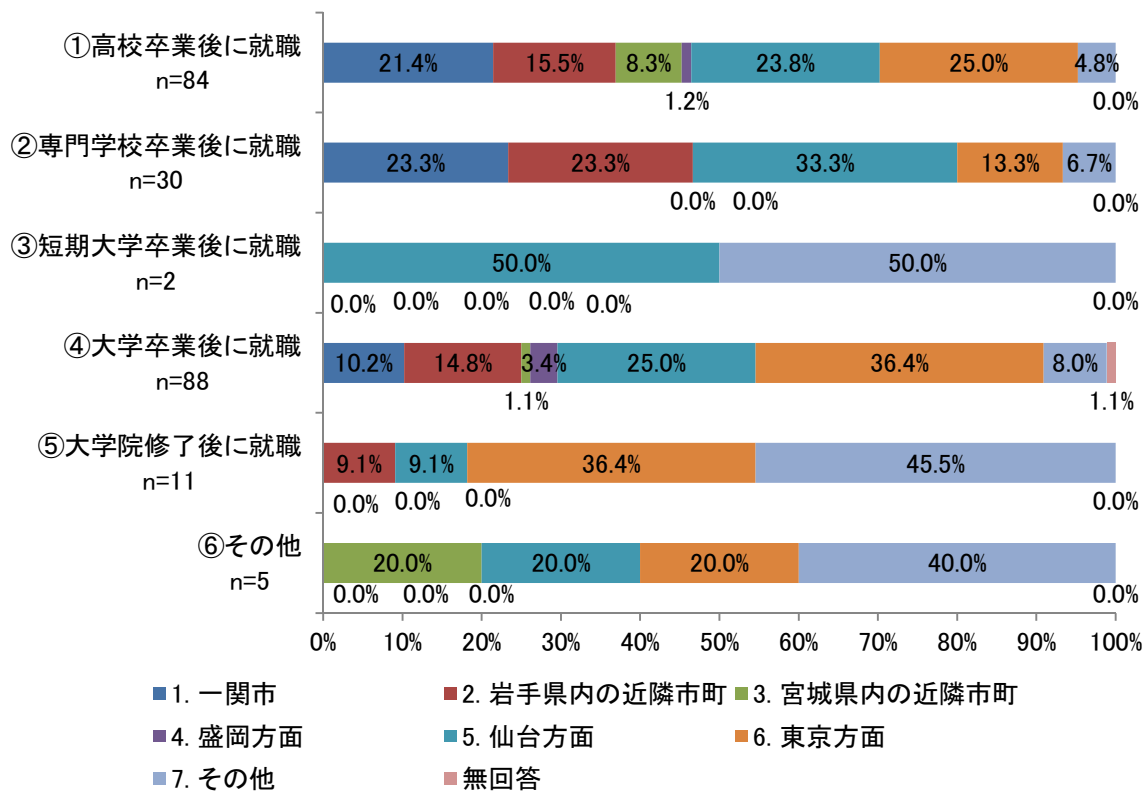
高校卒業後に就職を考えている方に、就職後どの地域へ就職を希望するか集計したところ「東京方面」(25.0%)が最も多く、次いで「仙台方面」(23.8%)となりました。

専門学校卒業後に就職を考えている方に、就職後どの地域へ就職を希望するか集計したところ「仙台方面」(33.3%)が最も多く、次いで「一関市」「岩手県内の近隣市町」(23.3%)となりました。

短期大学卒業後に就職を考えている方に、就職後どの地域へ就職を希望するか集計したところ「仙台方面」(50.0%)が最も多い結果となりました。

大学卒業後に就職を考えている方に、就職後どの地域へ就職を希望するか集計したところ「東京方面」(36.4%)が最も多く、次いで「仙台方面」(25.0%)となりました。

大学院卒業後に就職を考えている方に、就職後どの地域へ就職を希望するか集計したところ「東京方面」(36.4%)が最も多く、次いで「岩手県内の近隣市町」「仙台方面」(9.1%)となりました。



2) 女性

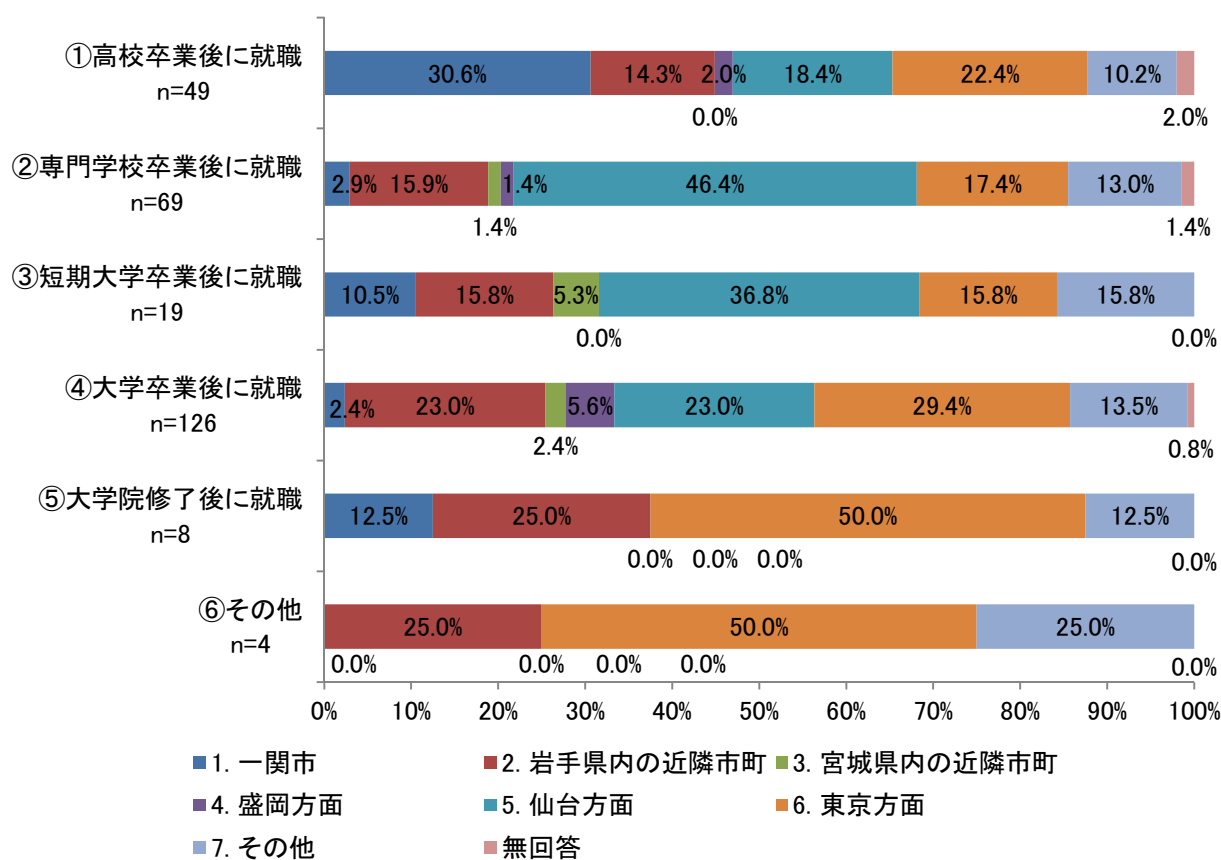
高校卒業後に就職を考えている方に、就職後どの地域へ就職を希望するか集計したところ「一関市」(30.6%)が最も多く、次いで「東京方面」(22.4%)となりました。

専門学校卒業後に就職を考えている方に、就職後どの地域へ就職を希望するか集計したところ「仙台方面」(46.4%)が最も多く、次いで「東京方面」(17.4%)となりました。

短期大学卒業後に就職を考えている方に、就職後どの地域へ就職を希望するか集計したところ「仙台方面」(36.8%)が最も多く、次いで「東京方面」(15.8%)となりました。

大学卒業後に就職を考えている方に、就職後どの地域へ就職を希望するか集計したところ「東京方面」(29.4%)が最も多く、次いで「岩手県内の近隣市町」(23.0%)となりました。

大学院卒業後に就職を考えている方に、就職後どの地域へ就職を希望するか集計したところ「東京方面」(50.0%)が最も多く、次いで「岩手県内の近隣市町」(25.0%)となりました。



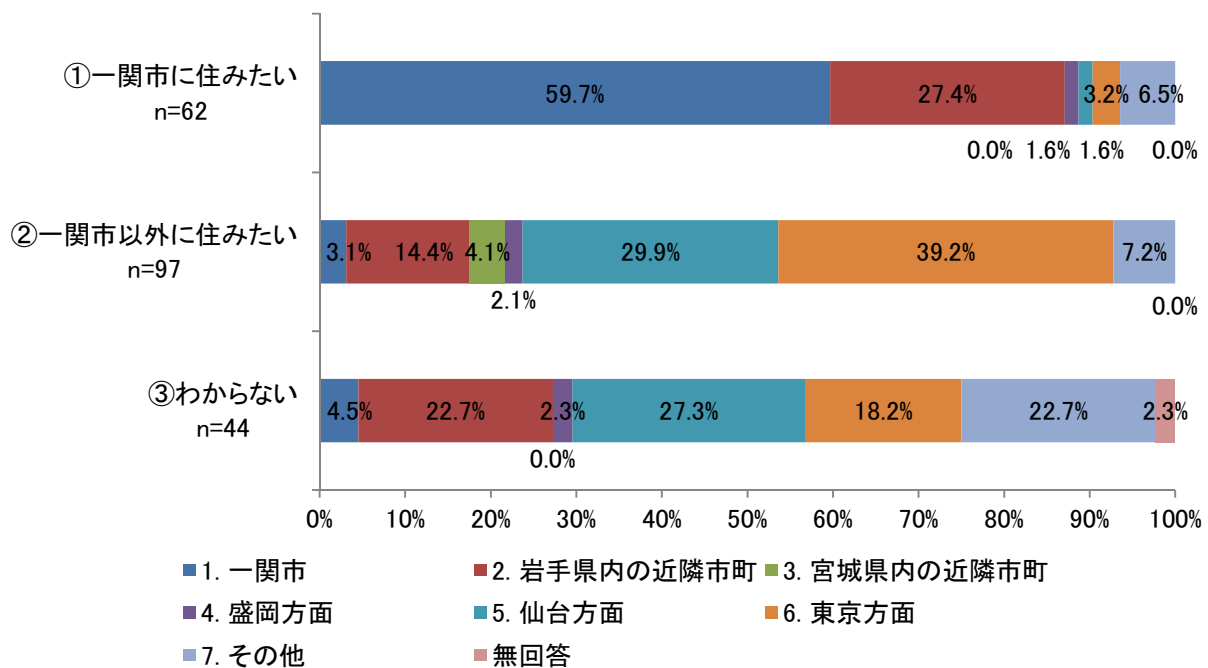
就職後、どの地域へ就職を希望するか尋ねた結果を、問 13 で尋ねた就職後に住みたい地域ごとに分けて中学生（男女別）、高校生（男女別）ごとに示しています。

①中学生

1) 男性

就職後「一関市に住みたい」と回答された方が就職後どの地域に住みたいと回答されているか割合を見ると、「一関市」（59.7%）が最も多く、次いで「岩手県内の近隣市町」（27.4%）という結果になっています。

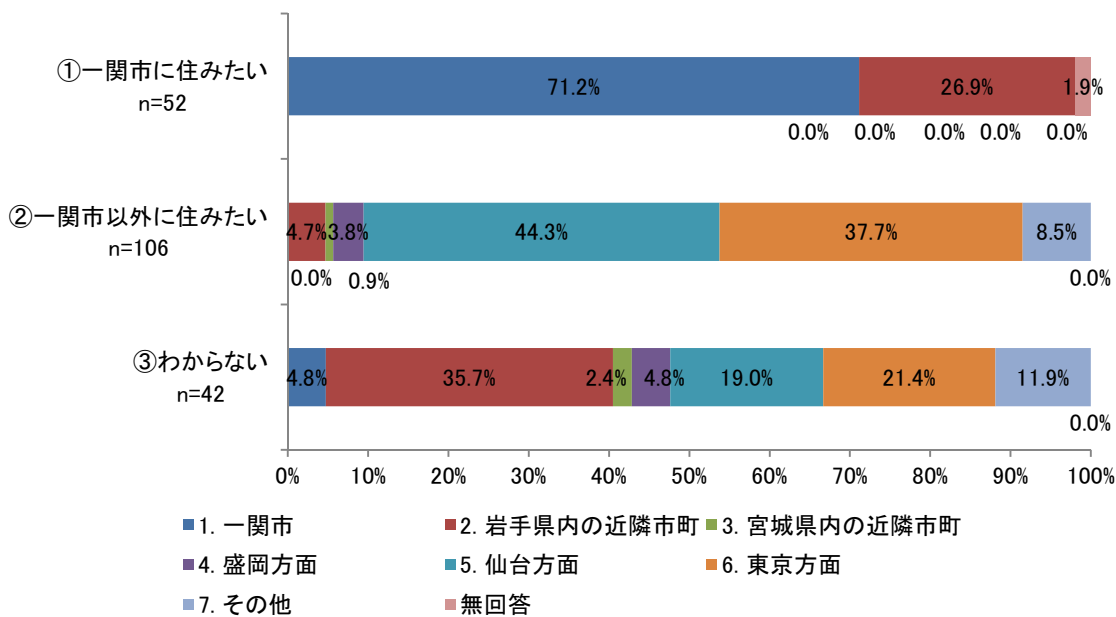
就職後「一関市以外に住みたい」と回答された方が就職後どの地域に住みたいと回答されているか割合を見ると、「東京方面」（39.2%）が最も多く、次いで「仙台方面」（29.9%）という結果になっています。



2) 女性

就職後「一関市に住みたい」と回答された方が就職後どの地域に住みたいと回答されているか割合を見ると、「一関市」(71.2%)が最も多く、次いで「岩手県内の近隣市町」(26.9%)という結果になっています。

就職後「一関市以外に住みたい」と回答された方が就職後どの地域に住みたいと回答されているか割合を見ると、「仙台方面」(44.3%)が最も多く、次いで「東京方面」(37.7%)という結果になっています。

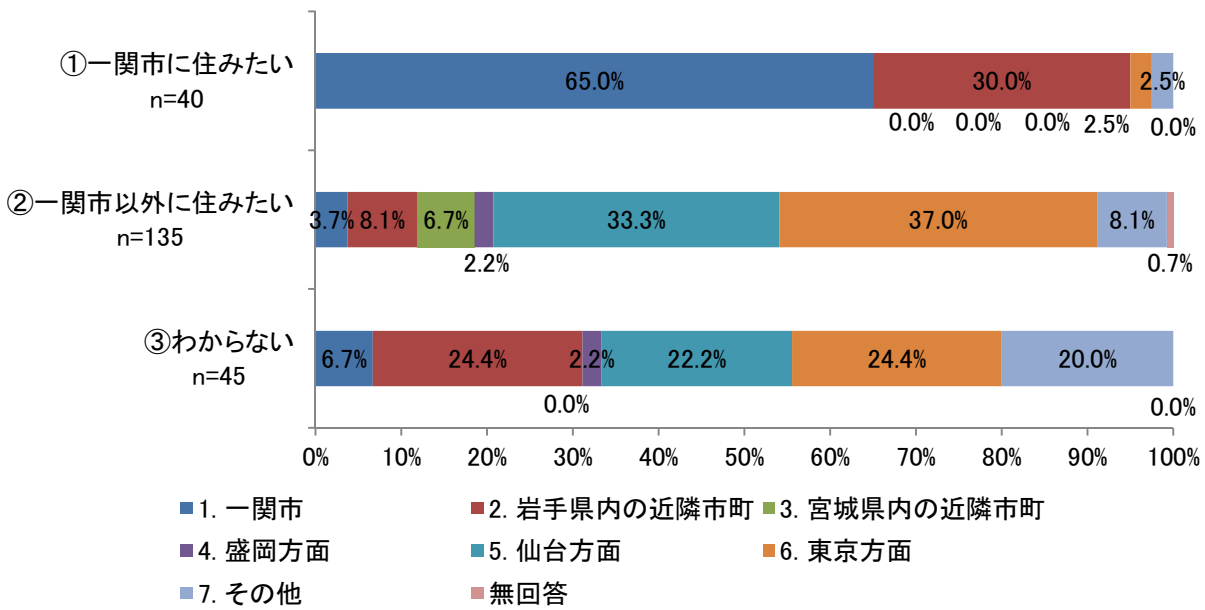


②高校生

1) 男性

就職後「一関市に住みたい」と回答された方が就職後どの地域に住みたいと回答されているか割合を見ると、「一関市」(65.0%)が最も多く、次いで「岩手県内の近隣市町」(30.0%)という結果になっています。

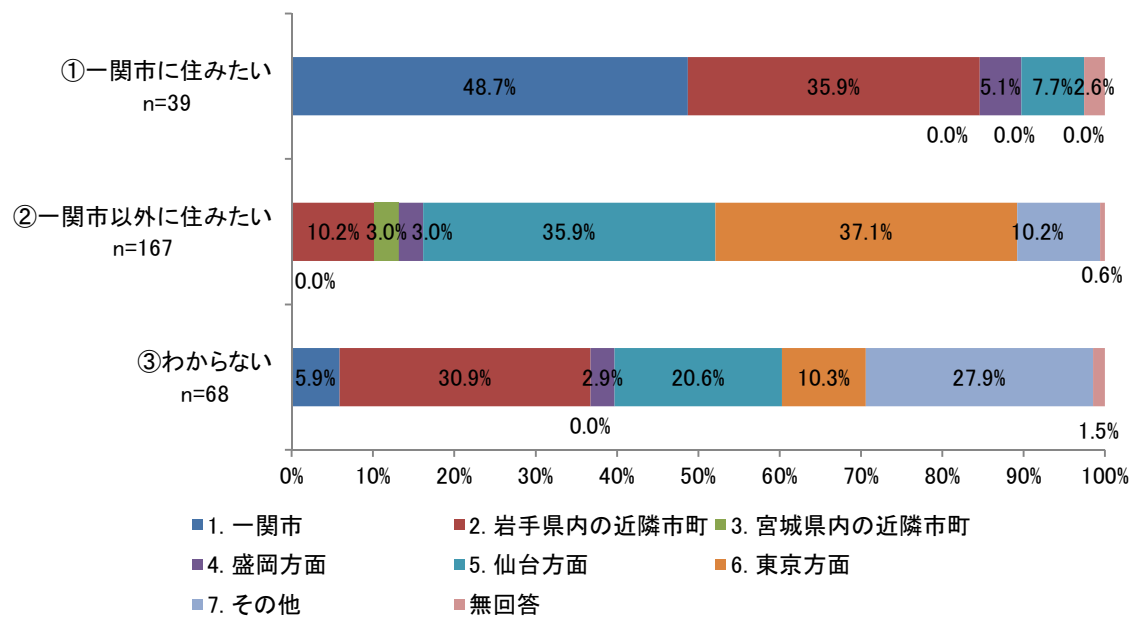
就職後「一関市以外に住みたい」と回答された方が就職後どの地域に住みたいと回答されているか割合を見ると、「東京方面」(37.0%)が最も多く、次いで「仙台方面」(33.3%)という結果になっています。



2) 女性

就職後「一関市に住みたい」と回答された方が就職後どの地域に住みたいと回答されているか割合を見ると、「一関市」(48.7%)が最も多く、次いで「岩手県内の近隣市町」(35.9%)という結果になっています。

就職後「一関市以外に住みたい」と回答された方が就職後どの地域に住みたいと回答されているか割合を見ると、「東京方面」(37.1%)が最も多く、次いで「仙台方面」(35.9%)という結果になっています。



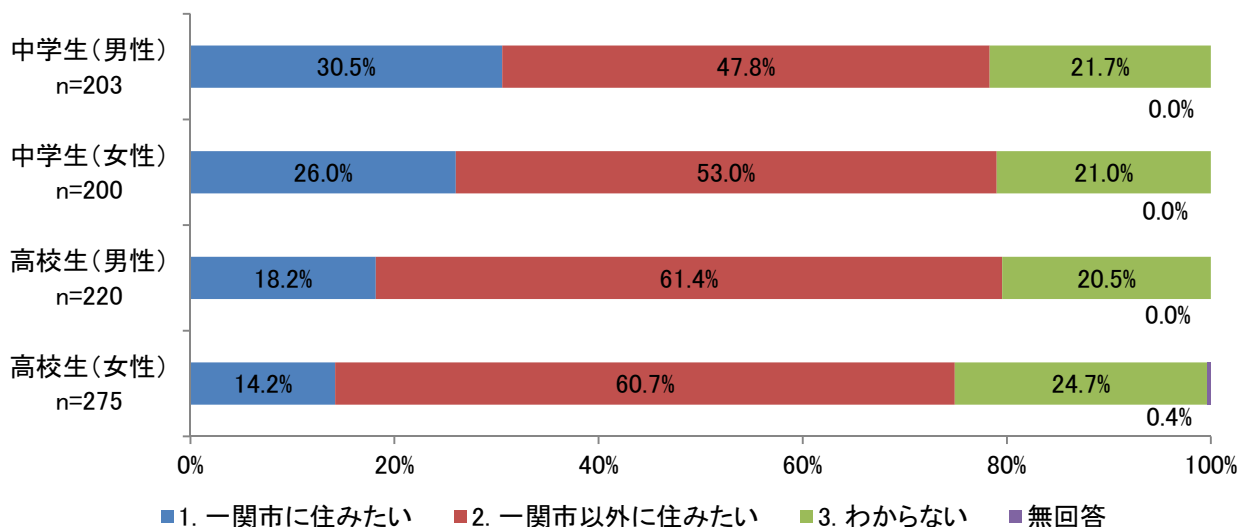
問 13 あなたが就職後に住みたい場所はどこですか。(1つ選択)

就職後の住みたい場所について尋ねた結果を、中学生(男女別)、高校生(男女別)に示しています。

中学生の結果をしてみると、男女ともに「一関市以外に住みたい」と回答した割合が最も高い結果となっています。

高校生の結果をしてみると、男女ともに「一関市以外に住みたい」と回答した割合が最も高い結果となっています。

中学生と高校生で共通して、男性より女性の方が「一関市に住みたい」と回答した割合が少なくなっています。



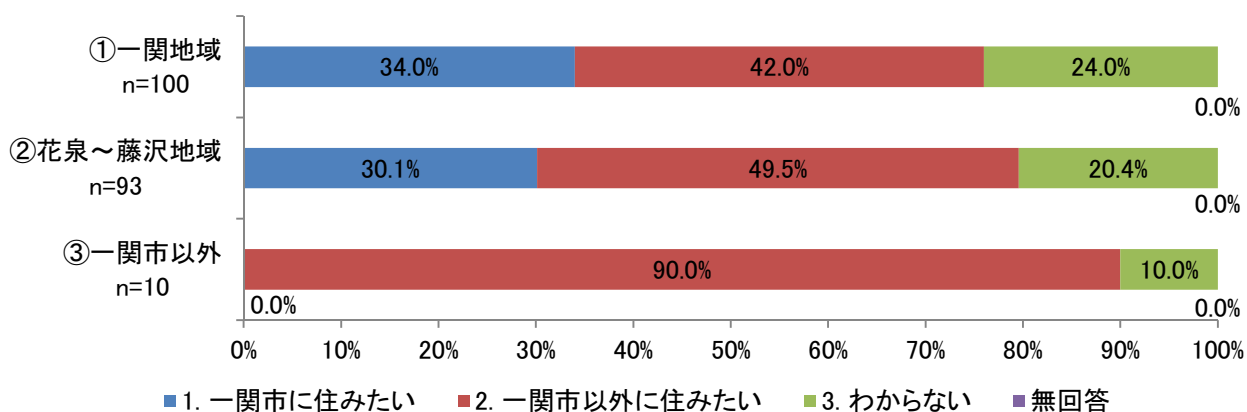
就職後の住みたい場所について尋ねた結果を、問2で現在の居住地ごとに分けて中学生（男女別）、高校生（男女別）ごとに示しています。

①中学生

1) 男性

現在「一関地域」に居住されている方の就職後に住みたい場所について、「一関市以外に住みたい」(42.0%)が最も多く、次いで「一関市に住みたい」(34.0%)となっています。

現在「花泉～藤沢地域」に居住されている方の就職後に住みたい場所について、「一関市以外に住みたい」(49.5%)が最も多く、次いで「一関市に住みたい」(30.1%)となっています。

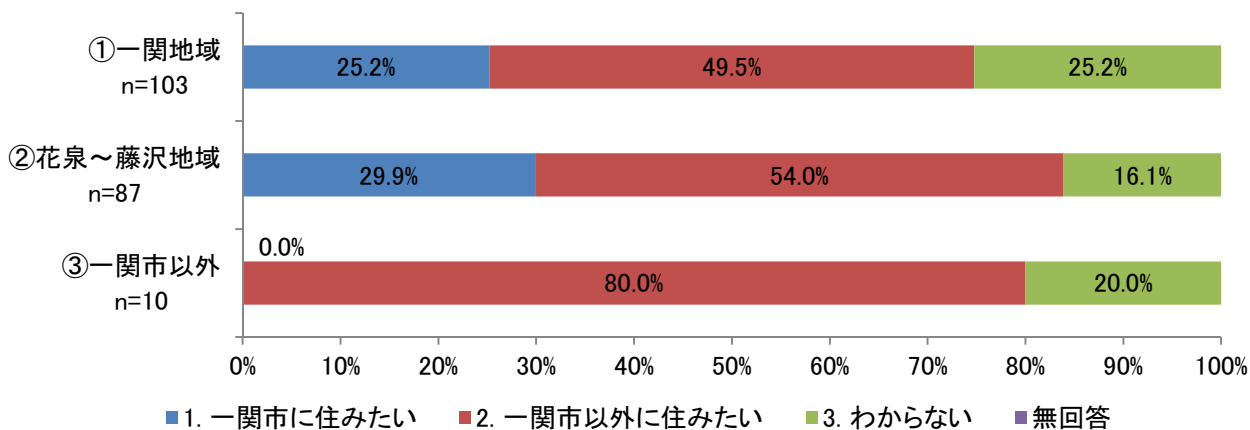


※「②花泉～藤沢地域」は、花泉、大東、千厩、東山、室根、川崎、藤沢地域に居住されている方を合計しています。

2) 女性

現在「一関地域」に居住されている方の就職後に住みたい場所について、「一関市以外に住みたい」(49.5%)が最も多く、次いで「一関市に住みたい」(25.2%)となっています。

現在「花泉～藤沢地域」に居住されている方の就職後に住みたい場所について、「一関市以外に住みたい」(54.0%)が最も多く、次いで「一関市に住みたい」(29.9%)となっています。



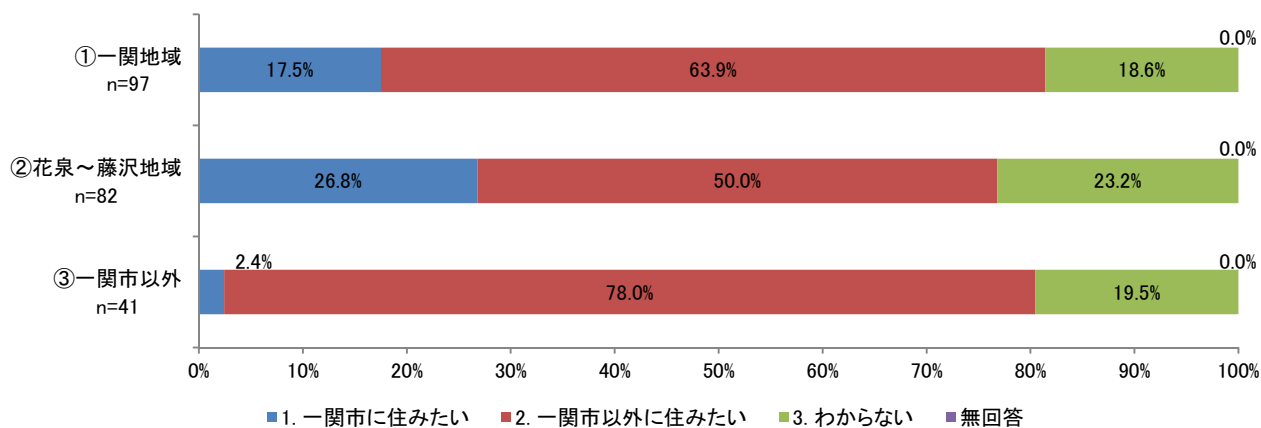
※「②花泉～藤沢地域」は、花泉、大東、千厩、東山、室根、川崎、藤沢地域に居住されている方を合計しています。

②高校生

1) 男性

現在「一関地域」に居住されている方の就職後に住みたい場所について、「一関市以外に住みたい」(63.9%)が最も多く、次いで「一関市に住みたい」(17.5%)となっています。

現在「花泉～藤沢地域」に居住されている方の就職後に住みたい場所について、「一関市以外に住みたい」(50.0%)が最も多く、次いで「一関市に住みたい」(26.8%)となっています。

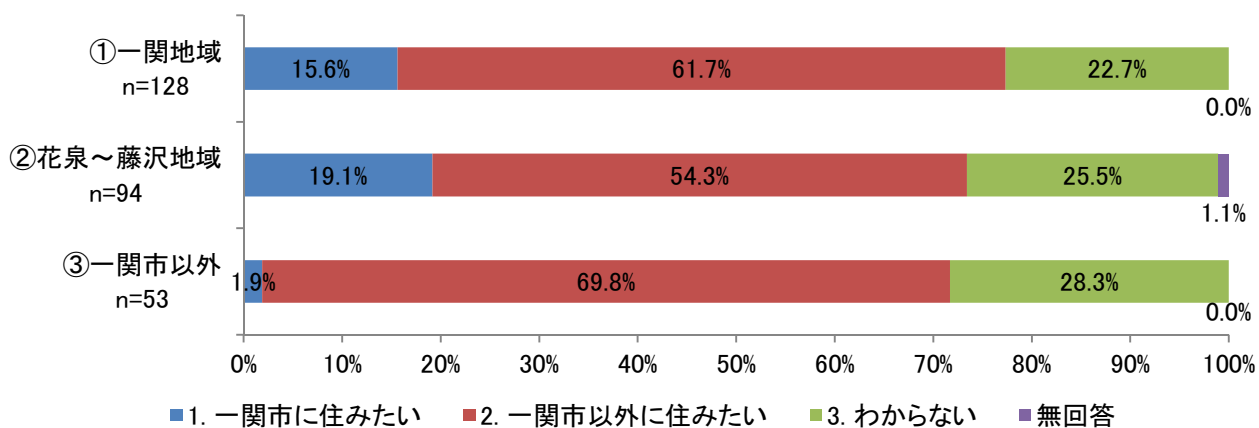


※「②花泉～藤沢地域」は、花泉、大東、千厩、東山、室根、川崎、藤沢地域に居住されている方を合計しています。

2) 女性

現在「一関地域」に居住されている方の就職後に住みたい場所について、「一関市以外に住みたい」(61.7%)が最も多く、次いで「一関市に住みたい」(15.6%)となっています。

現在「花泉～藤沢地域」に居住されている方の就職後に住みたい場所について、「一関市以外に住みたい」(54.3%)が最も多く、次いで「一関市に住みたい」(19.1%)となっています。



※「②花泉～藤沢地域」は、花泉、大東、千厩、東山、室根、川崎、藤沢地域に居住されている方を合計しています。

問 16 問 13 で「2. 一関市以外に住みたい」と答えた方いかがいます。一関市以外に住みたいと思った理由は何ですか。(あてはまるもの3つまで選択)

一関市以外に住みたいと思った理由について尋ねた結果を、問 11 の将来就職を希望する地域ごとに分けて全体、中学生（男女別）、高校生（男女別）ごとに示しています。

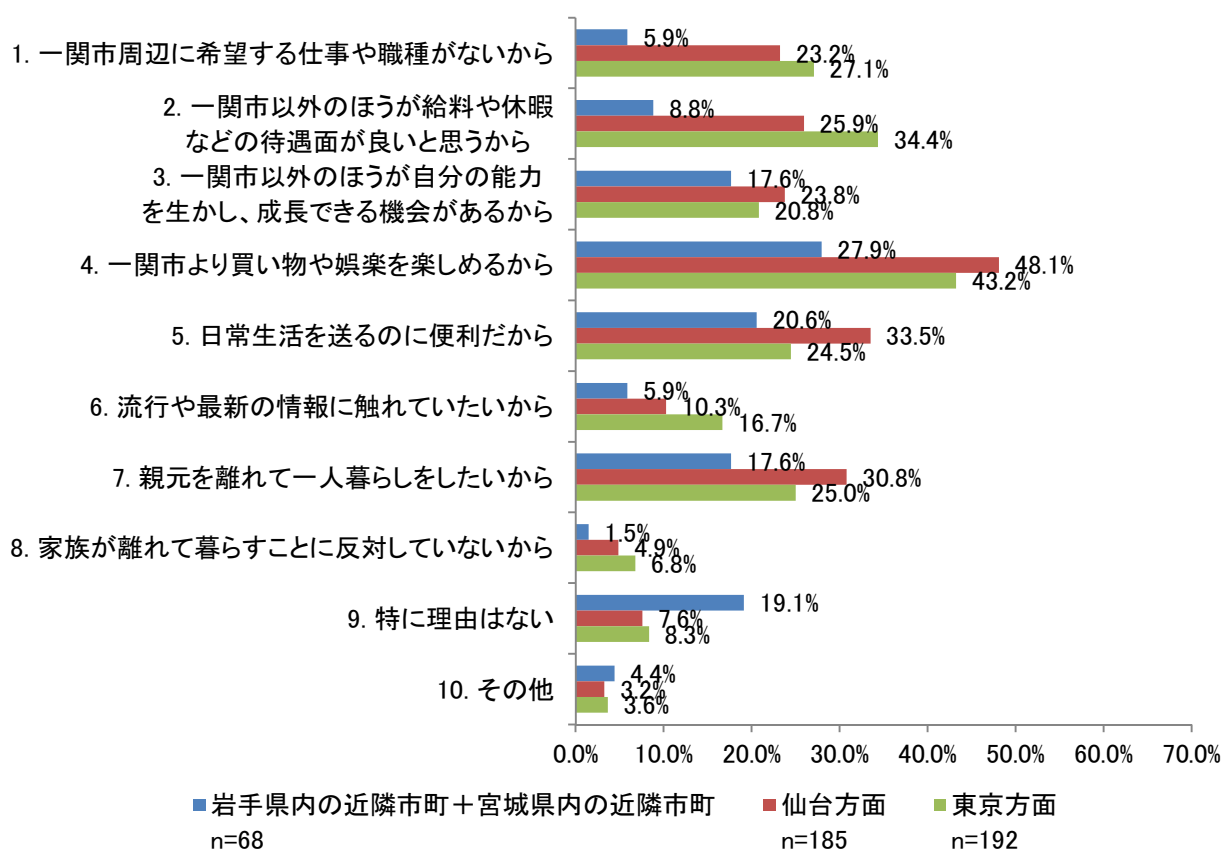
①全体

1) 将来就職を希望する地域別

将来「岩手県内の近隣市町+宮城県内の近隣市町」に就職を希望されている方が一関市以外に住みたいと思った理由について、「一関市より買い物や娯楽を楽しめるから」(27.9%)の割合が最も多く、「日常生活を送るのに便利だから」(20.6%)と続いています。

将来「仙台方面」に就職を希望されている方が一関市以外に住みたいと思った理由について、「一関市より買い物や娯楽を楽しめるから」(48.1%)の割合が最も多く、「日常生活を送るのに便利だから」(33.5%)と続いています。

将来「東京方面」に就職を希望されている方が一関市以外に住みたいと思った理由について、「一関市より買い物や娯楽を楽しめるから」(43.2%)の割合が最も多く、「日常生活を送るのに便利だから」(34.4%)と続いています。



※複数回答のため、合計は100%にならない

②中学生

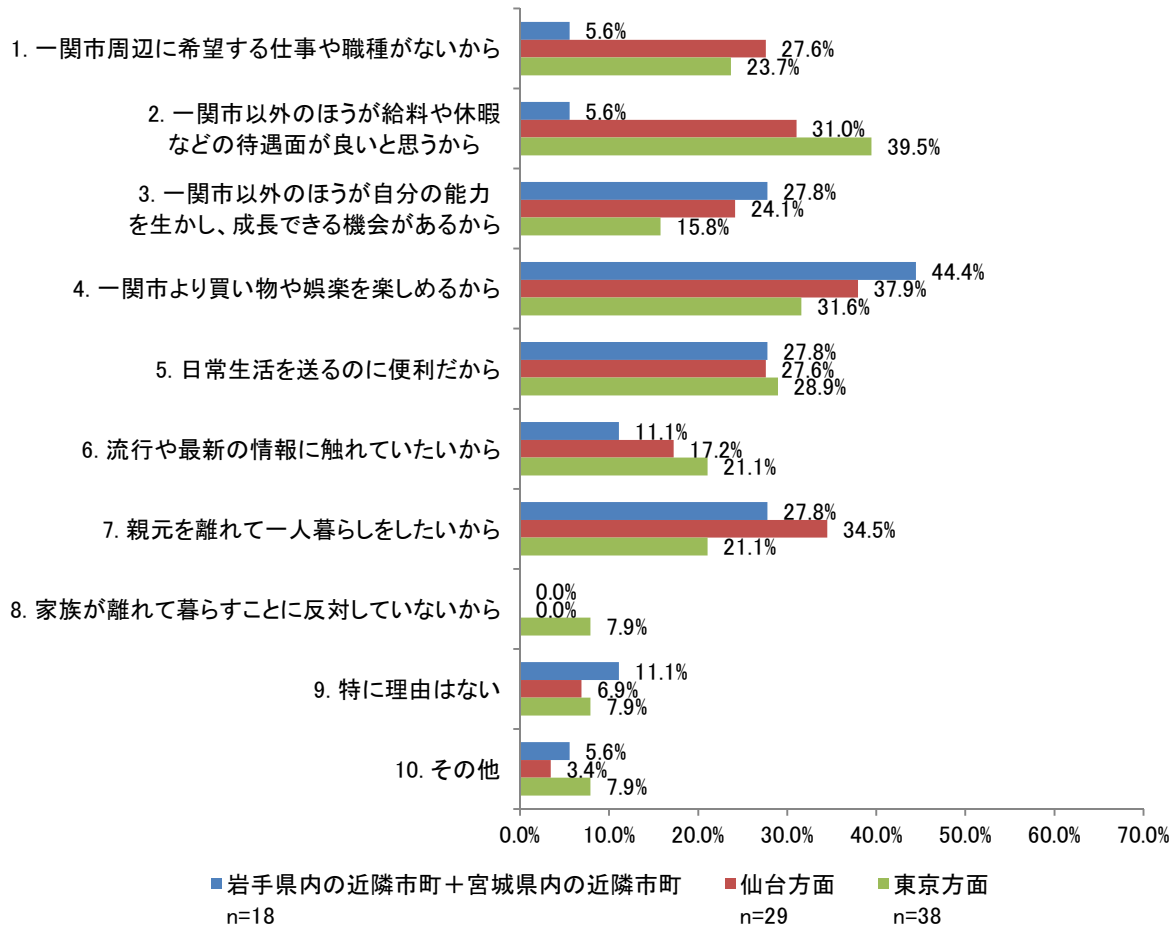
1) 男性

i) 将来就職を希望する地域別

将来「岩手県内の近隣市町+宮城県内の近隣市町」に就職を希望されている方が一関市以外に住みたいと思った理由について、「一関市より買い物や娯楽を楽しめるから」(44.4%)の割合が最も多く、「一関市以外のほうが自分の能力を生かし、成長できる機会があるから」「日常生活を送るのに便利だから」「親元を離れて一人暮らしをしたいから」(27.8%)と続いています。

将来「仙台方面」に就職を希望されている方が一関市以外に住みたいと思った理由について、「一関市より買い物や娯楽を楽しめるから」(37.9%)の割合が最も多く、「親元を離れて一人暮らしをしたいから」(34.5%)と続いています。

将来「東京方面」に就職を希望されている方が一関市以外に住みたいと思った理由について、「一関市以外のほうが給料や休暇などの待遇面が良いと思うから」(39.5%)の割合が最も多く、「一関市より買い物や娯楽を楽しめるから」(31.6%)と続いています。



※複数回答のため、合計は100%にならない

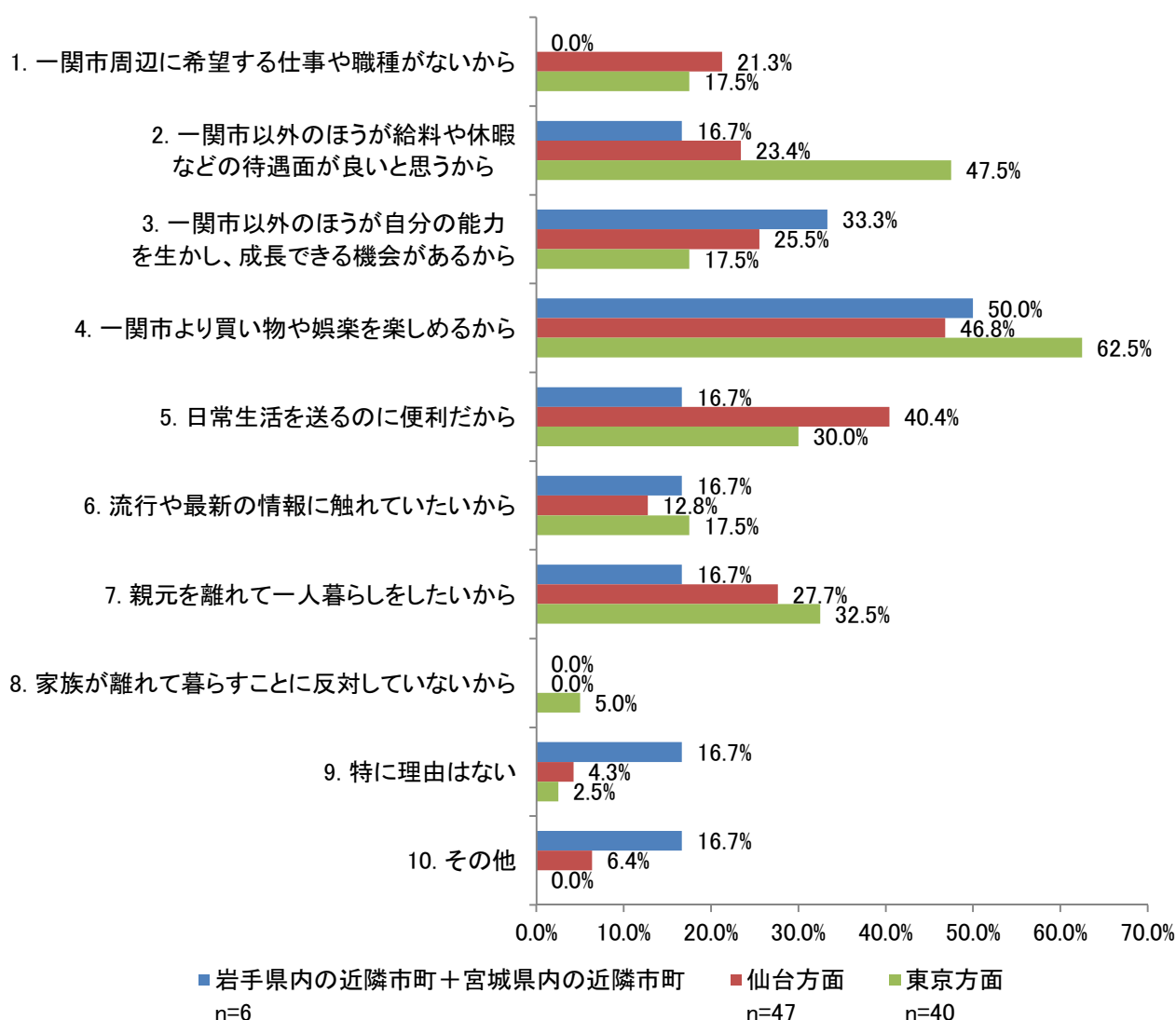
2) 女性

i) 将来就職を希望する地域別

将来「岩手県内の近隣市町+宮城県内の近隣市町」に就職を希望されている方が一関市以外に住みたいと思った理由について、「一関市より買い物や娯楽を楽しめるから」(50.0%)の割合が最も多く、「一関市以外の方が自分の能力を生かし、成長できる機会があるから」(33.3%)と続いています。

将来「仙台方面」に就職を希望されている方が一関市以外に住みたいと思った理由について、「一関市より買い物や娯楽を楽しめるから」(45.8%)の割合が最も多く、「日常生活を送るのに便利だから」(40.4%)と続いています。

将来「東京方面」に就職を希望されている方が一関市以外に住みたいと思った理由について、「一関市より買い物や娯楽を楽しめるから」(62.5%)の割合が最も多く、「一関市以外の方が自分の能力を生かし、成長できる機会があるから」(47.5%)と続いています。



※複数回答のため、合計は100%にならない

(3) 高校生

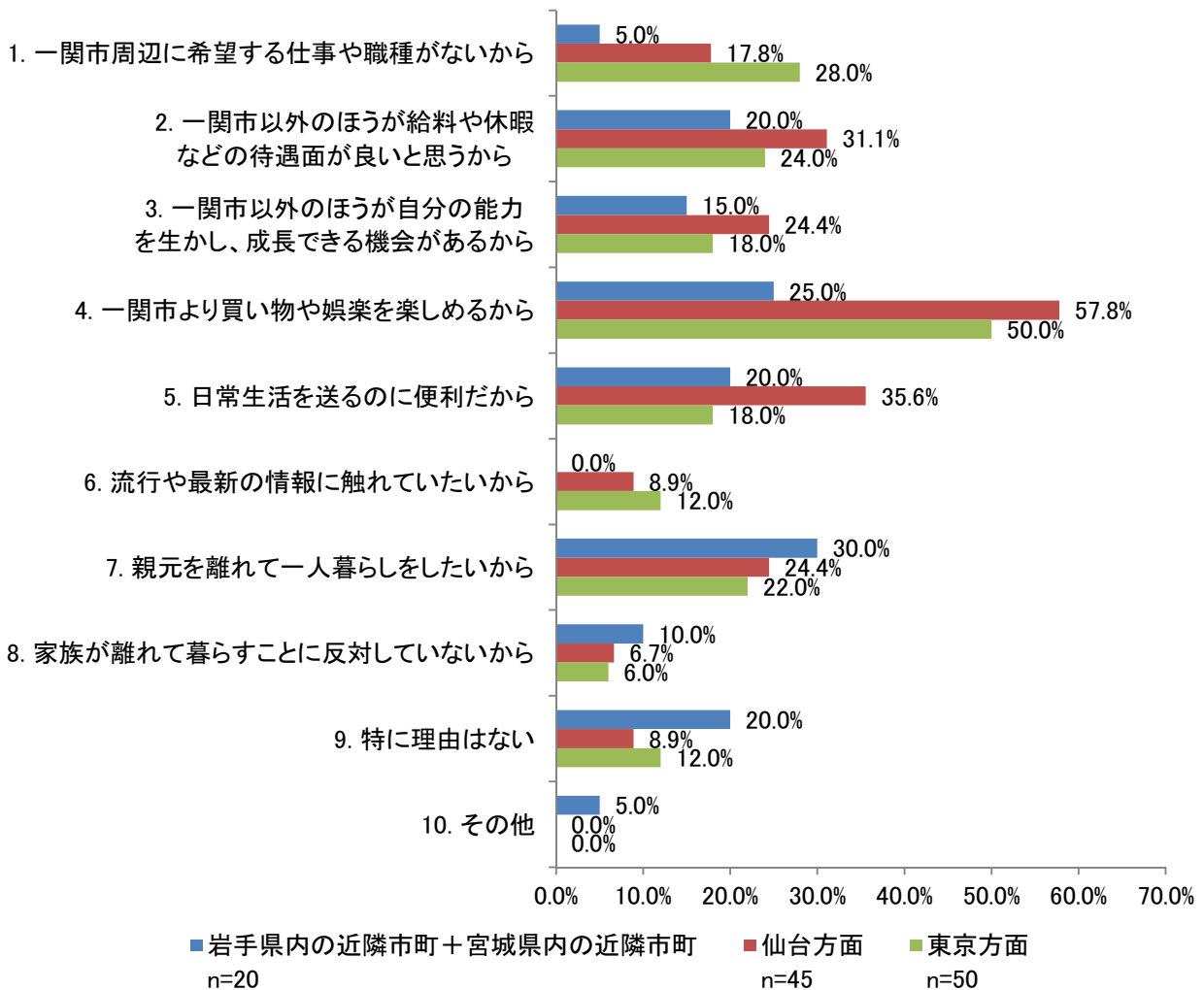
1) 男性

i) 将来就職を希望する地域別

将来「岩手県内の近隣市町+宮城県内の近隣市町」に就職を希望されている方が一関市以外に住みたいと思った理由について、「親元を離れて一人暮らしをしたいから」(30.0%)の割合が最も多く、「一関市より買い物や娯楽を楽しめるから」(47.5%)と続いています。

将来「仙台方面」に就職を希望されている方が一関市以外に住みたいと思った理由について、「一関市より買い物や娯楽を楽しめるから」(57.8%)の割合が最も多く、「日常生活を送るのに便利だから」(35.6%)と続いています。

将来「東京方面」に就職を希望されている方が一関市以外に住みたいと思った理由について、「一関市より買い物や娯楽を楽しめるから」(50.0%)の割合が最も多く、「一関市周辺に希望する仕事や職種がないから」(28.0%)と続いています。



※複数回答のため、合計は100%にならない

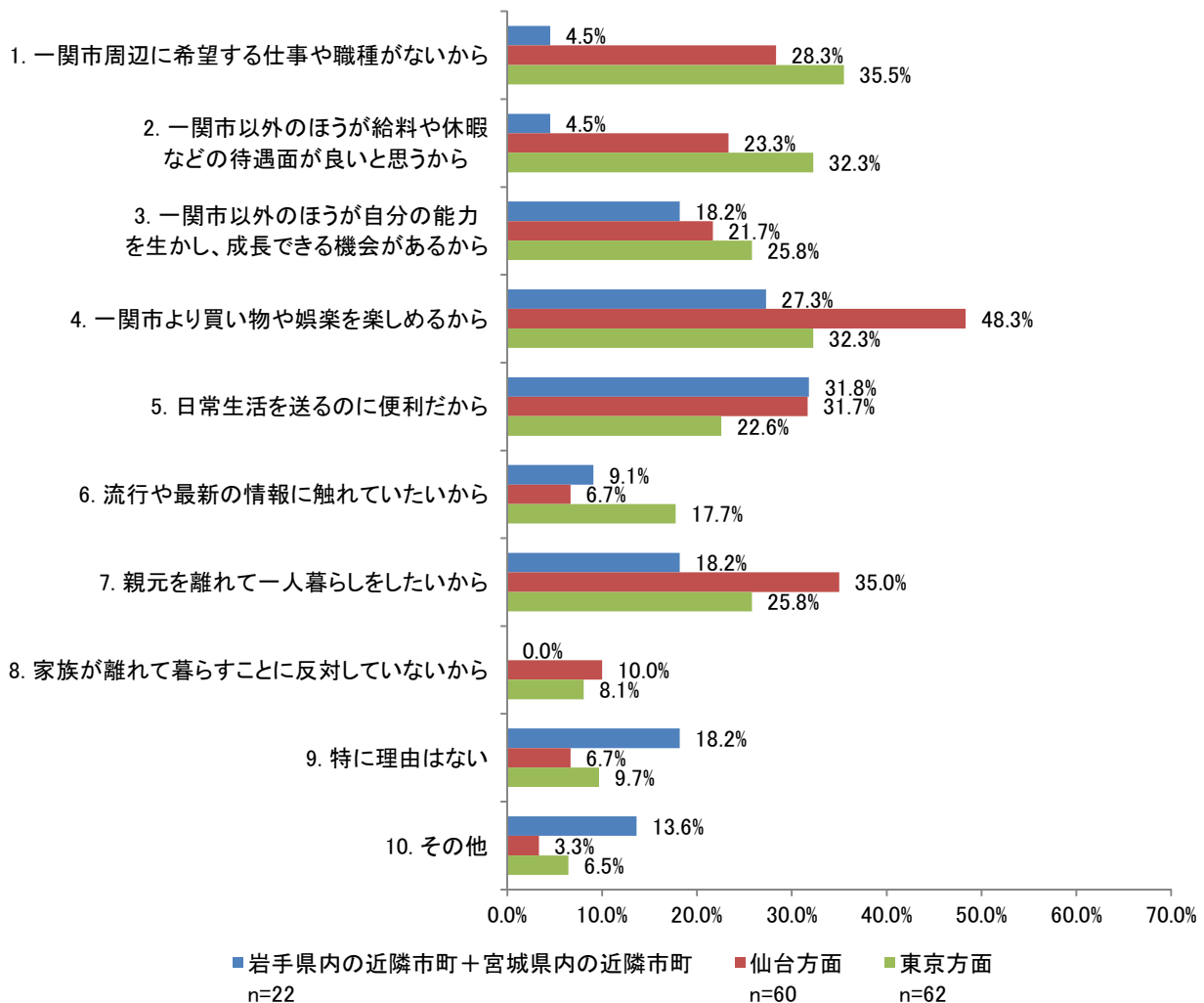
2) 女性

i) 将来就職を希望する地域別

将来岩手県内の近隣市町+宮城県内の近隣市町に就職を希望されている方が一関市以外に住みたいと思った理由について、「日常生活を送るのに便利だから」(31.8%)の割合が最も多く、「一関市より買い物や娯楽を楽しめるから」(27.3%)と続いています。

将来仙台方面に就職を希望されている方が一関市以外に住みたいと思った理由について、「一関市より買い物や娯楽を楽しめるから」(48.3%)の割合が最も多く、「親元を離れて一人暮らしをしたいから」(35.0%)と続いています。

将来仙台方面に就職を希望されている方が一関市以外に住みたいと思った理由について、「一関市周辺に希望する仕事や職種がないから」(35.5%)の割合が最も多く、「一関市以外のほうが給料や休暇などの待遇面が良いと思うから」「一関市より買い物や娯楽を楽しめるから」(32.3%)と続いています。



※複数回答のため、合計は100%にならない

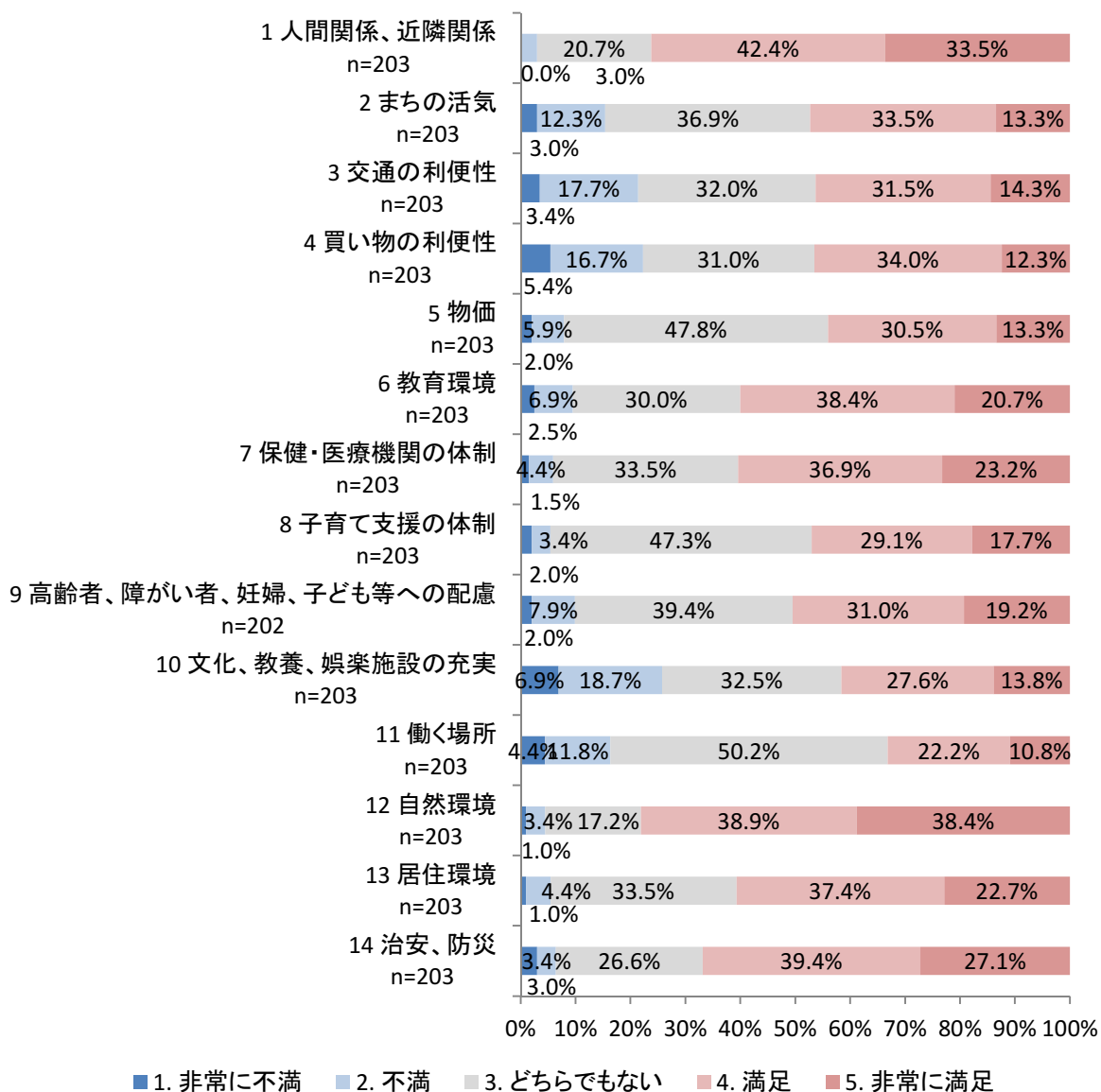
問 20 あなたは一関市の住みやすさについて、どのように感じていますか。項目ごとに1「非常に不満」～5「非常に満足」の5段階評価のうち、あてはまる番号を1つ選択してください。

一関市の住みやすさについてどのように感じているか、1～14の各項目の満足度について尋ねた結果を、中学生（男女別）、高校生（男女別）ごとに示しています。

①中学生

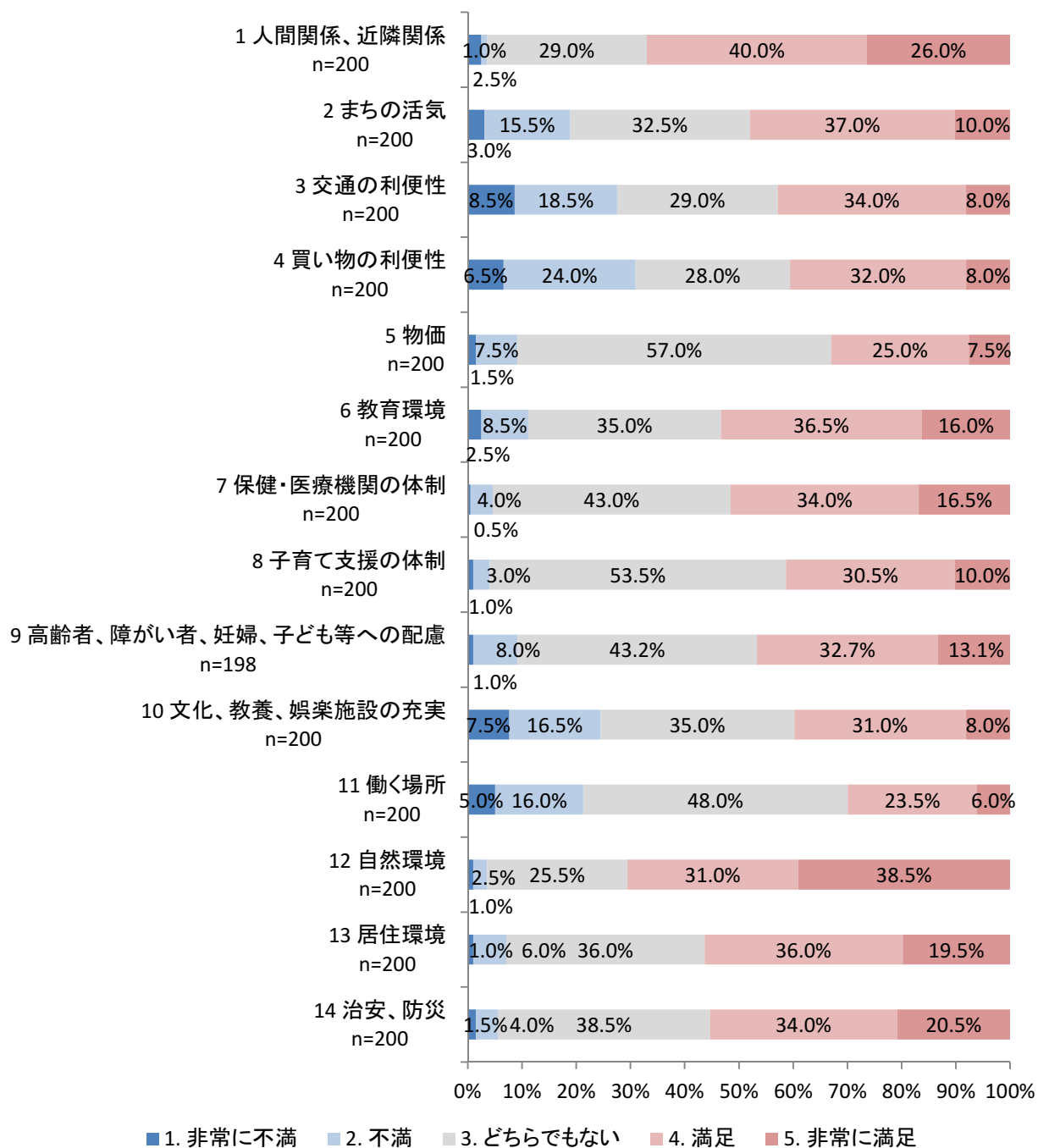
1) 男性

男性の結果を見ると、最も満足度が高い項目は「自然環境」（77.3%）となっています。一方、不満度が高い項目は「文化、教養、娯楽施設の充実」（25.6%）となっています。



2) 女性

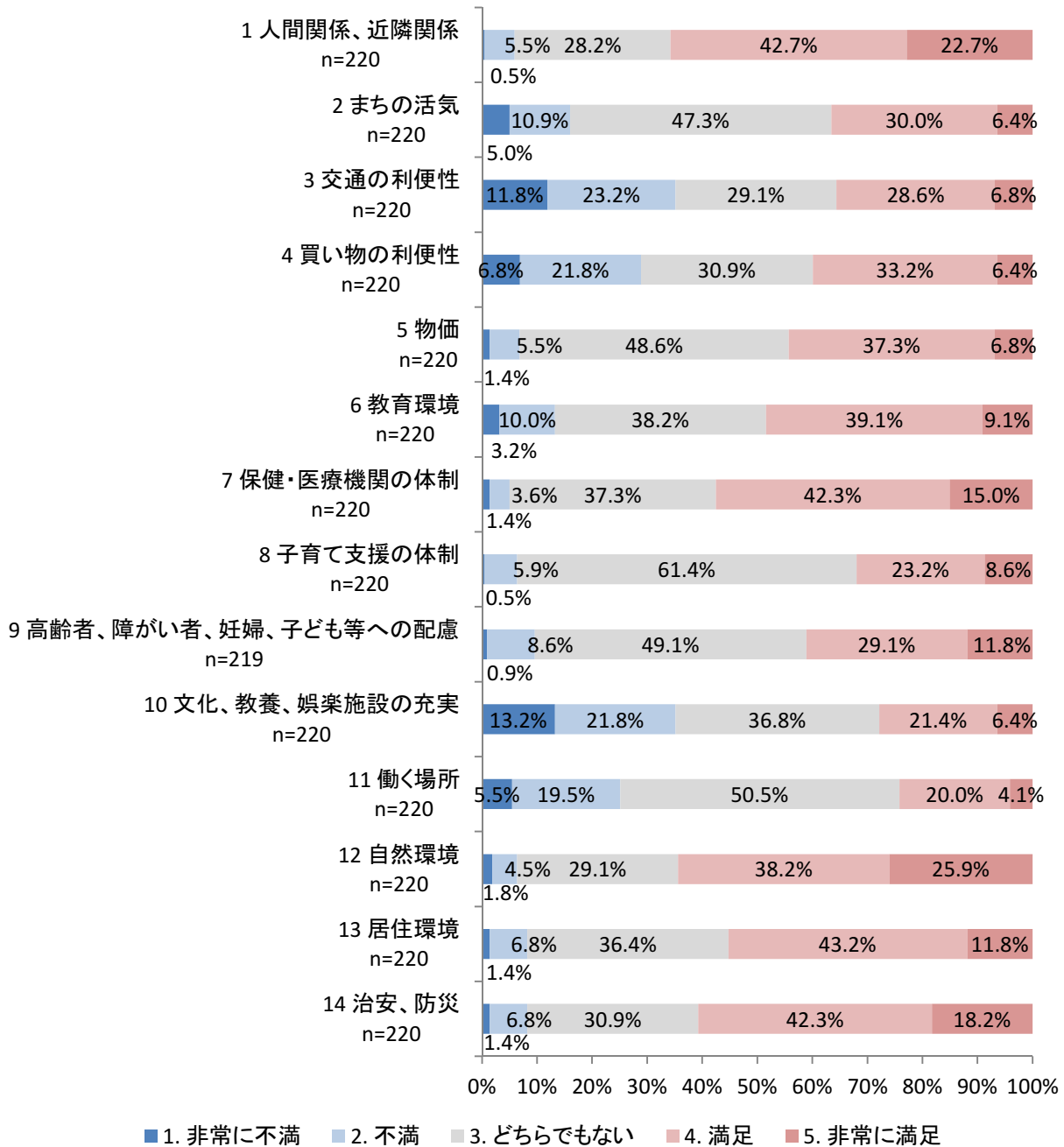
女性の結果を見ると、最も満足度が高い項目は「自然環境（69.5%）」となっています。一方、不満度が高い項目は「買い物の利便性」（30.5%）」となっています。



②高校生

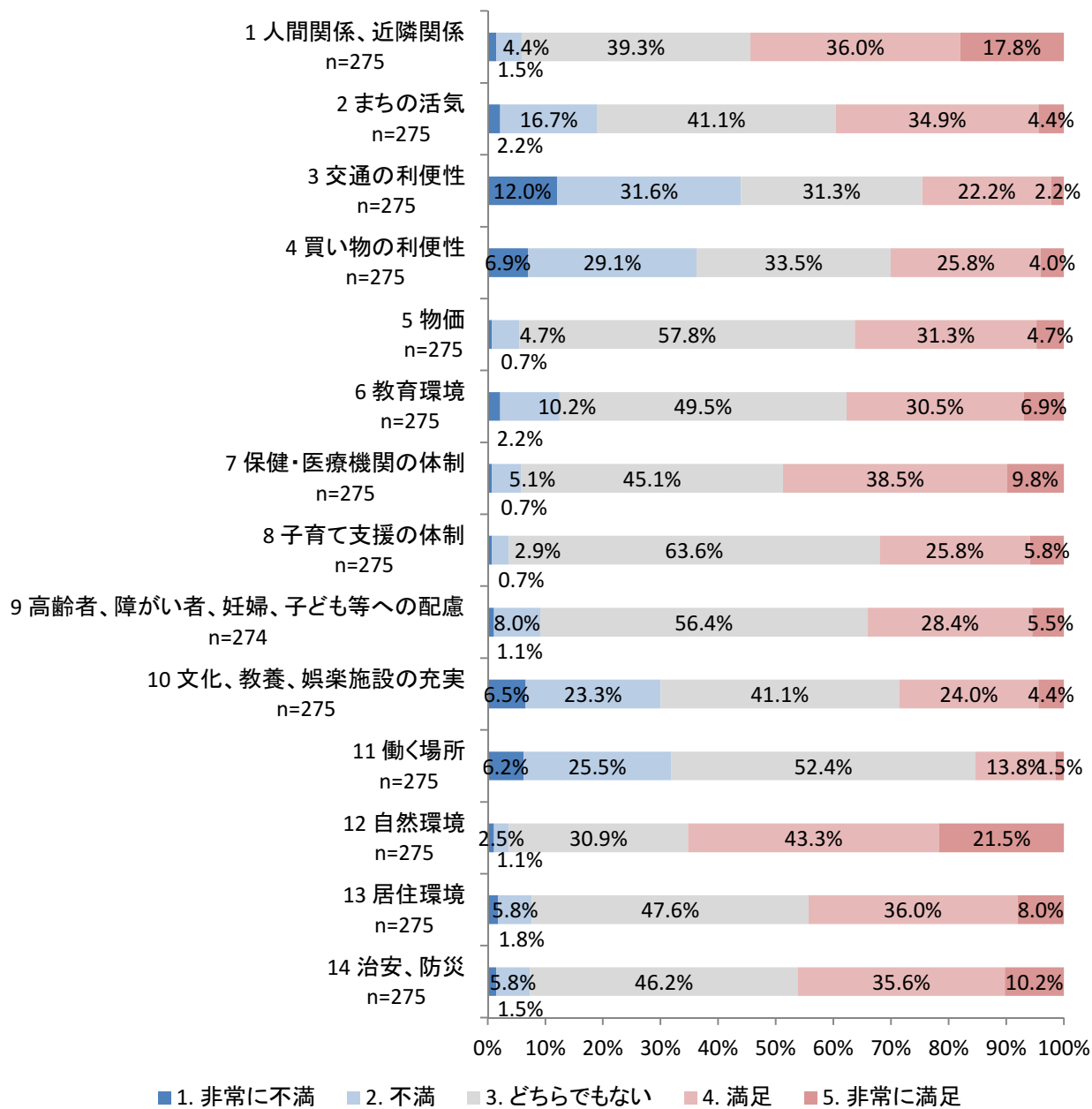
1) 男性

男性の結果を見ると、最も満足度が高い項目は「人間関係、近隣関係」(65.4%)となっています。一方、不満度が高い項目は「文化、教養、娯楽施設の充実」(25.6%)となっています。



2) 女性

女性の結果を見ると、最も満足度が高い項目は「自然環境」(64.8%)となっています。一方、不満度が高い項目は「交通の利便性」(43.6%)となっています。

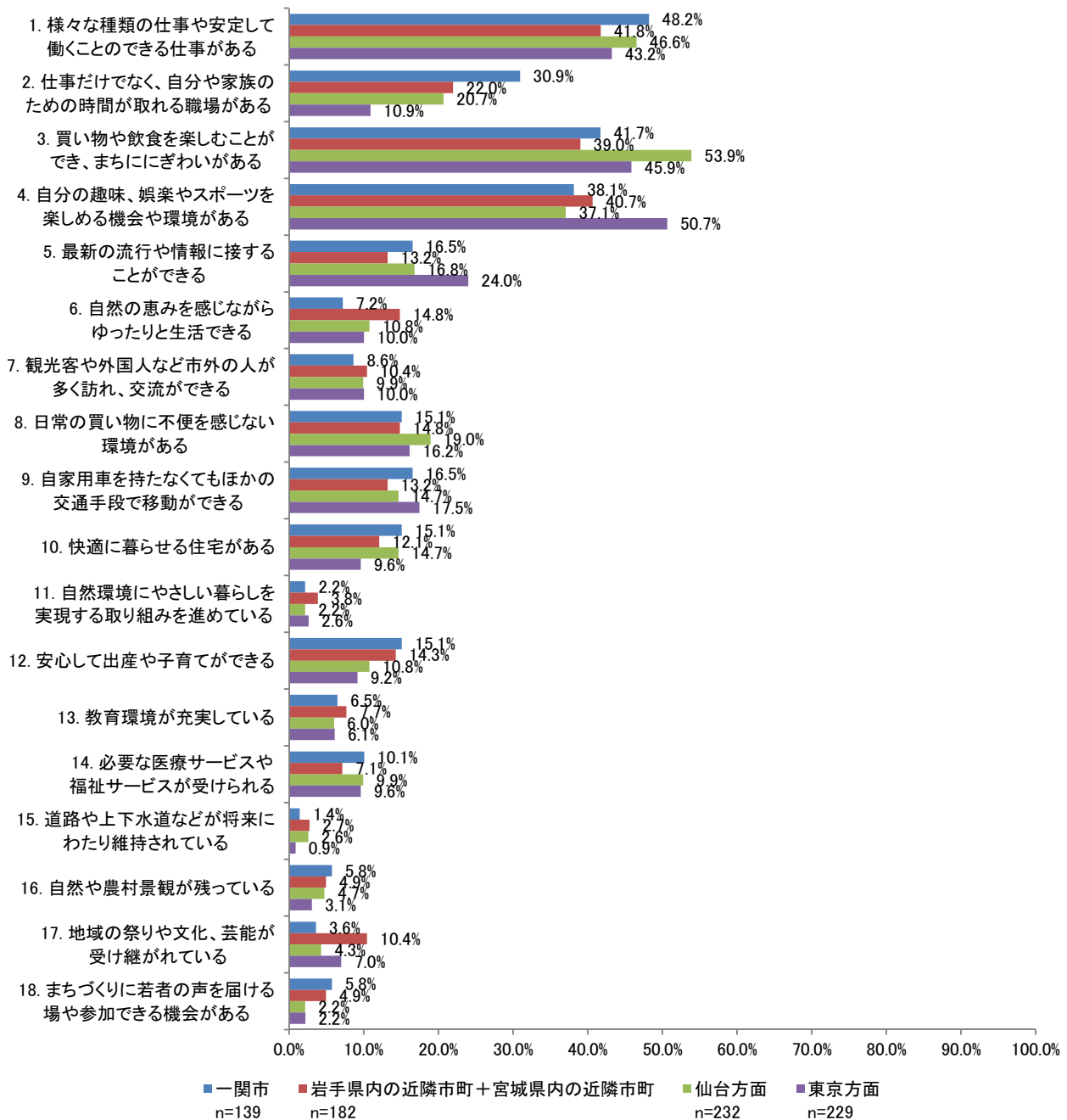


問 24 将来、どのようなまちになれば、一関市に住みたいと思う人が多くなると思いますか。(あてはまるもの3つまで選択)

一関市に住みたいと思う人を増やす方法について尋ねた結果を、問 11 の将来就職を希望する地域ごとに分け、全体、中学生（男女別）、高校生（男女別）ごとに示しています。

①全体

全体の結果を見ると、一関市での就職希望している方と岩手県内の近隣市町+宮城県内の近隣市町での就職を希望する方では共通して「様々な種類の仕事や安定して働くことのできる仕事がある」と回答した割合が最も多くなっている一方、仙台方面を希望している方は「買い物や飲食を楽しむことができ、まちににぎわいがある」、東京方面を希望している方は「自分の趣味、娯楽やスポーツを楽しめる機会や環境がある」と回答した割合が最も多い結果となっています。

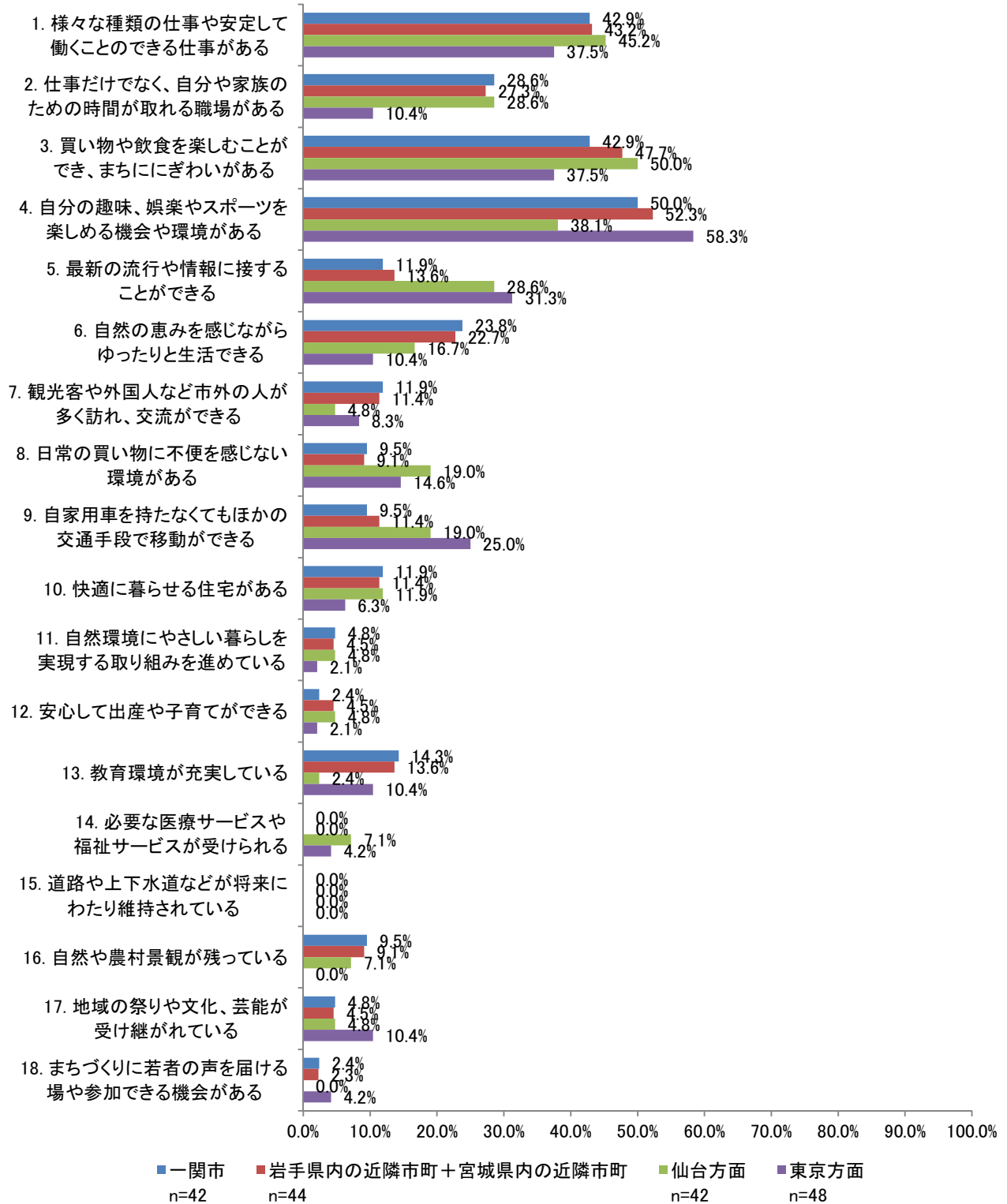


※複数回答のため、合計は100%にならない。

②中学生

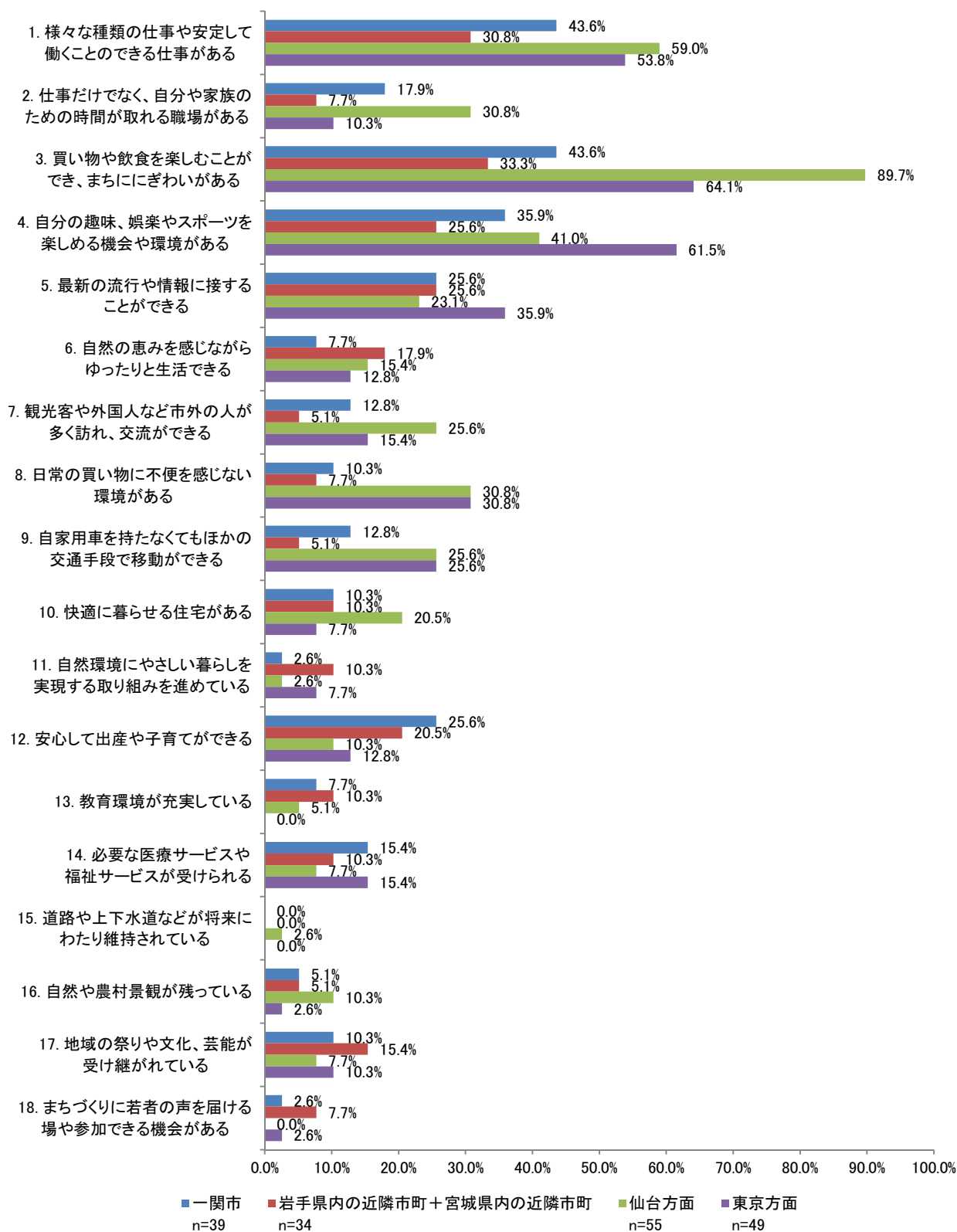
1) 男性

男性の結果を見ると、「一関市」、「岩手県内の近隣市町+宮城県内の近隣市町」、「東京方面」と共通して「自分の趣味、娯楽やスポーツを楽しめる機会や環境がある」と回答した割合が多い一方、仙台方面では「買い物や飲食を楽しむことができ、まちににぎわいがある」と回答された方が多い結果となっています。



2) 女性

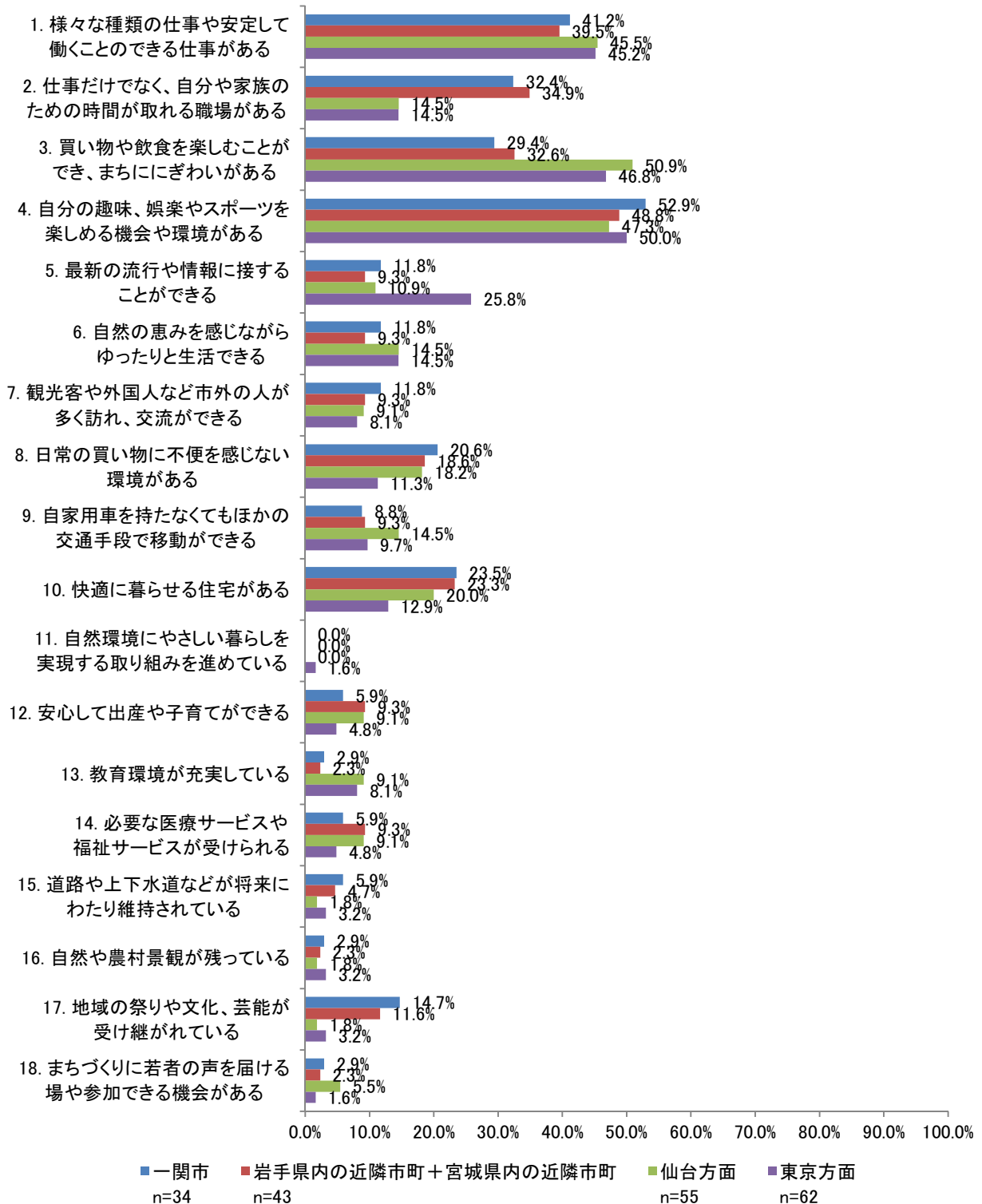
女性の結果を見ると、全ての就職希望地域で共通して「買い物や飲食を楽しむことができ、まちなにぎわいがある」と回答された方が最も多い結果となっています。



③高校生

1) 男性

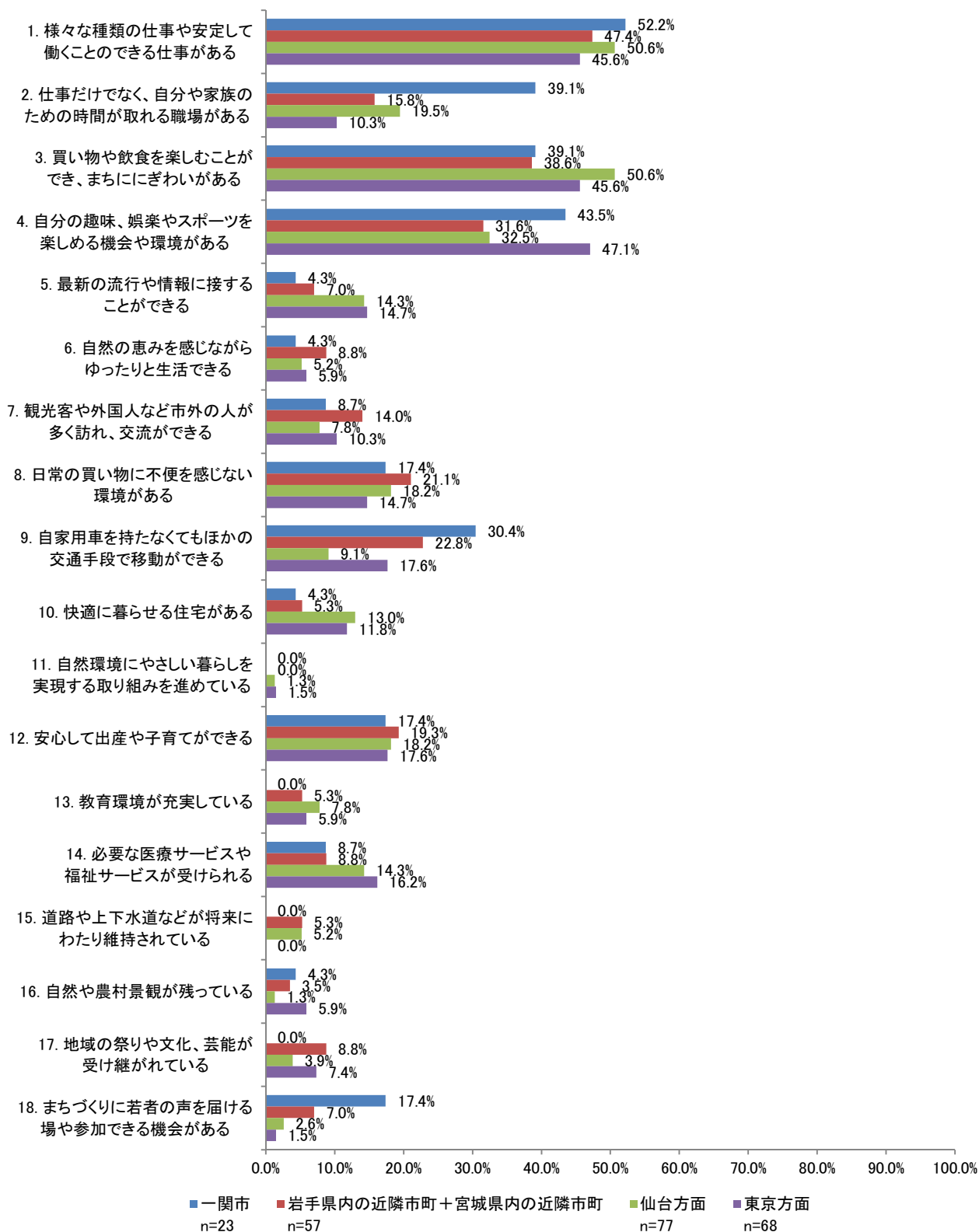
男性の結果を見ると、「一関市」、「岩手県内の近隣市町+宮城県内の近隣市町」、「東京方面」と共通して「自分の趣味、娯楽やスポーツを楽しめる機会や環境がある」と回答した割合が多い一方、仙台方面では「買い物や飲食を楽しむことができ、まちににぎわいがある」と回答された方が多い結果となっています。



※複数回答のため、合計は100%にならない

2) 女性

女性の結果を見ると、「一関市」、「岩手県内の近隣市町+宮城県内の近隣市町」、「仙台市」で共通して「様々な種類の仕事や安定して働くことのできる仕事がある」と回答された方が最も多い一方、東京方面では「自分の趣味、娯楽やスポーツを楽しむ機会や環境がある」と回答した割合が多い結果となっています。

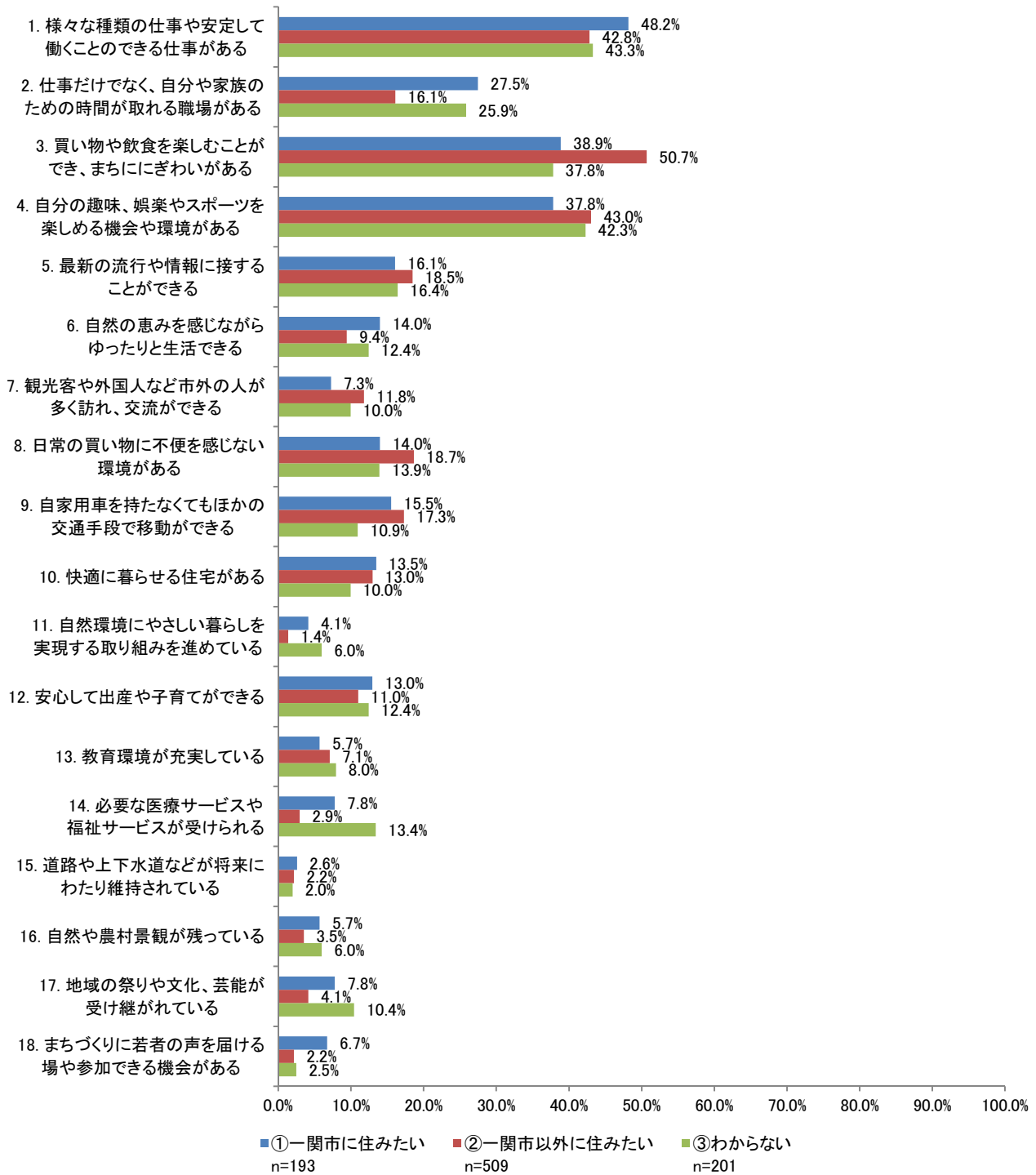


①全体

一関市に住みたいと思う人を増やす方法について尋ねた結果を、問13で回答された就職後に住みたい場所ごとに分け、全体、中学生（男女別）、高校生（男女別）ごとに示しています。

全体の結果を見ると、就職後、一関市に住みたいと回答されている方は「様々な種類の仕事や安定して働くことのできる仕事がある」と回答した割合が最も多くなっている一方、一関市以外に住みたいと回答されている方は「買い物や飲食を楽しむことができ、まちなにぎわいがある」と回答された方が多い結果となっています。

1) 一関市に住みたい

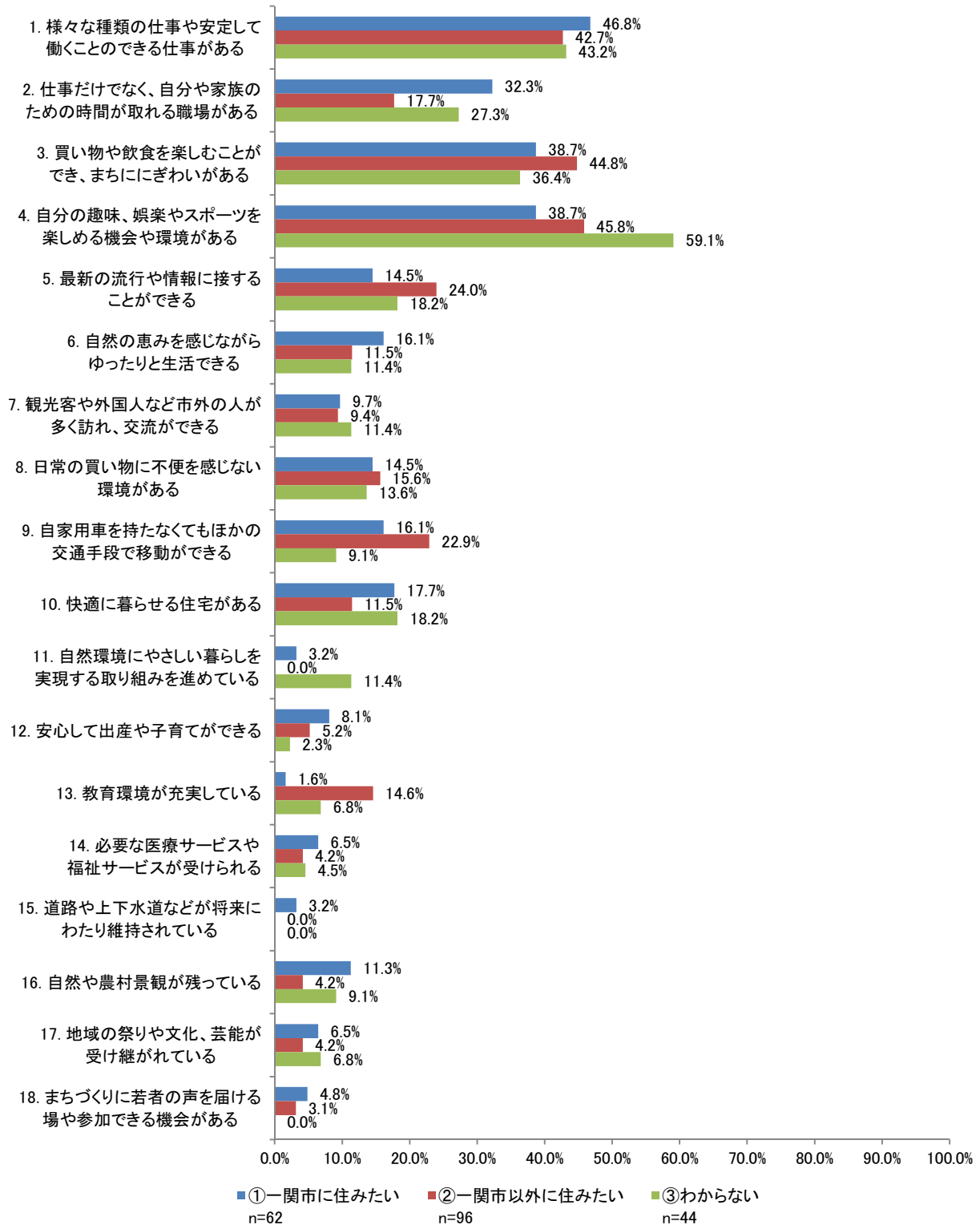


※複数回答のため、合計は100%にならない

②中学生

1) 男性

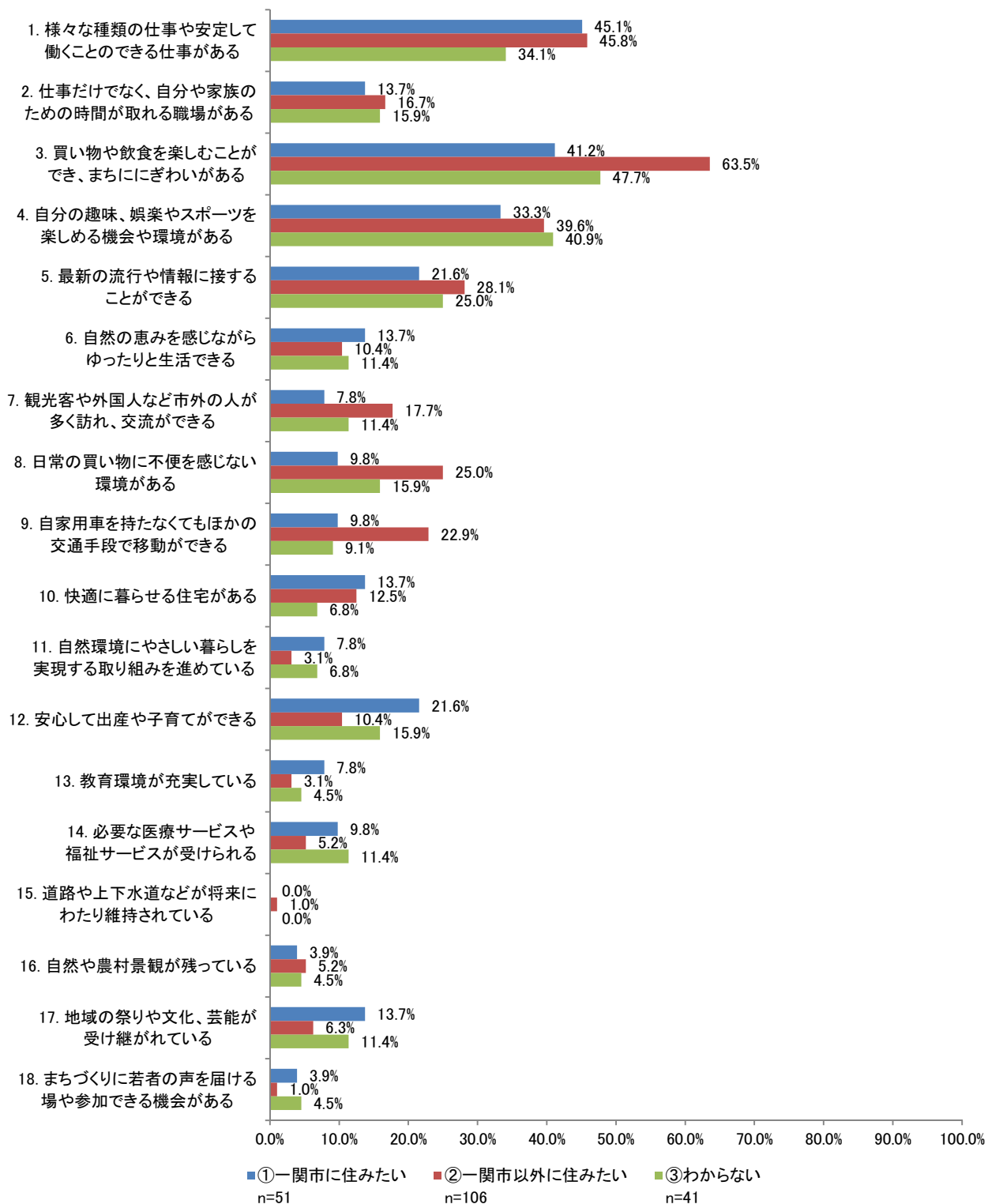
男性の結果を見ると、就職後、「一関市に住みたい」と回答されている方は「様々な種類の仕事や安定して働くことのできる仕事がある」と回答した割合が最も多くなっている一方、「一関市以外に住みたい」と回答されている方は「自分の趣味、娯楽やスポーツを楽しめる機会や環境がある」と回答された方が多い結果となっています。



※複数回答のため、合計は100%にならない

2) 女性

女性の結果を見ると、就職後、一関市に住みたいと回答されている方は「様々な種類の仕事や安定して働くことのできる仕事がある」と回答した割合が最も多くなっている一方、一関市以外に住みたいと回答されている方は「自分の趣味、娯楽やスポーツを楽しめる機会や環境がある」と回答された方が多い結果となっています。

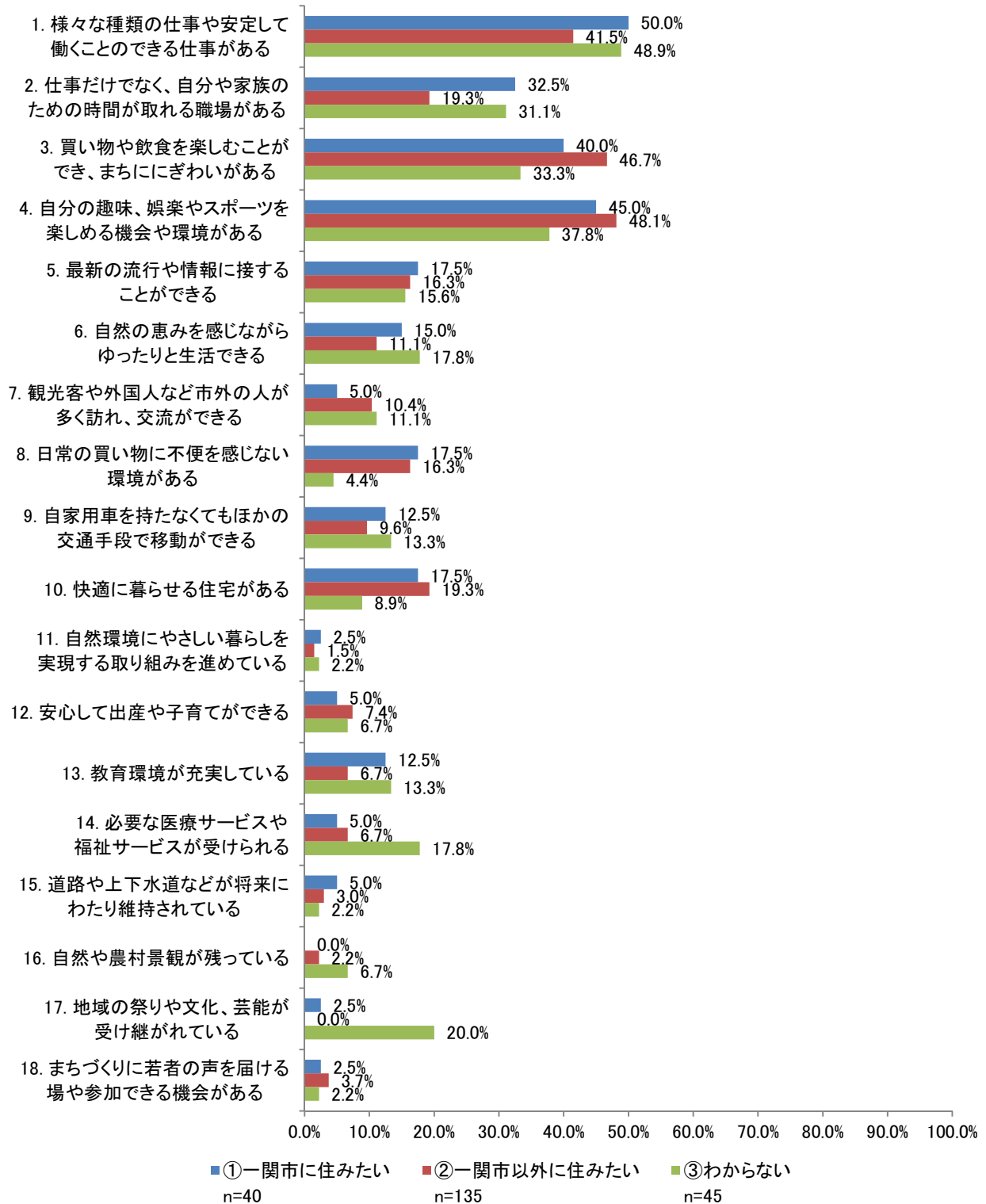


※複数回答のため、合計は100%にならない

③高校生

1) 男性

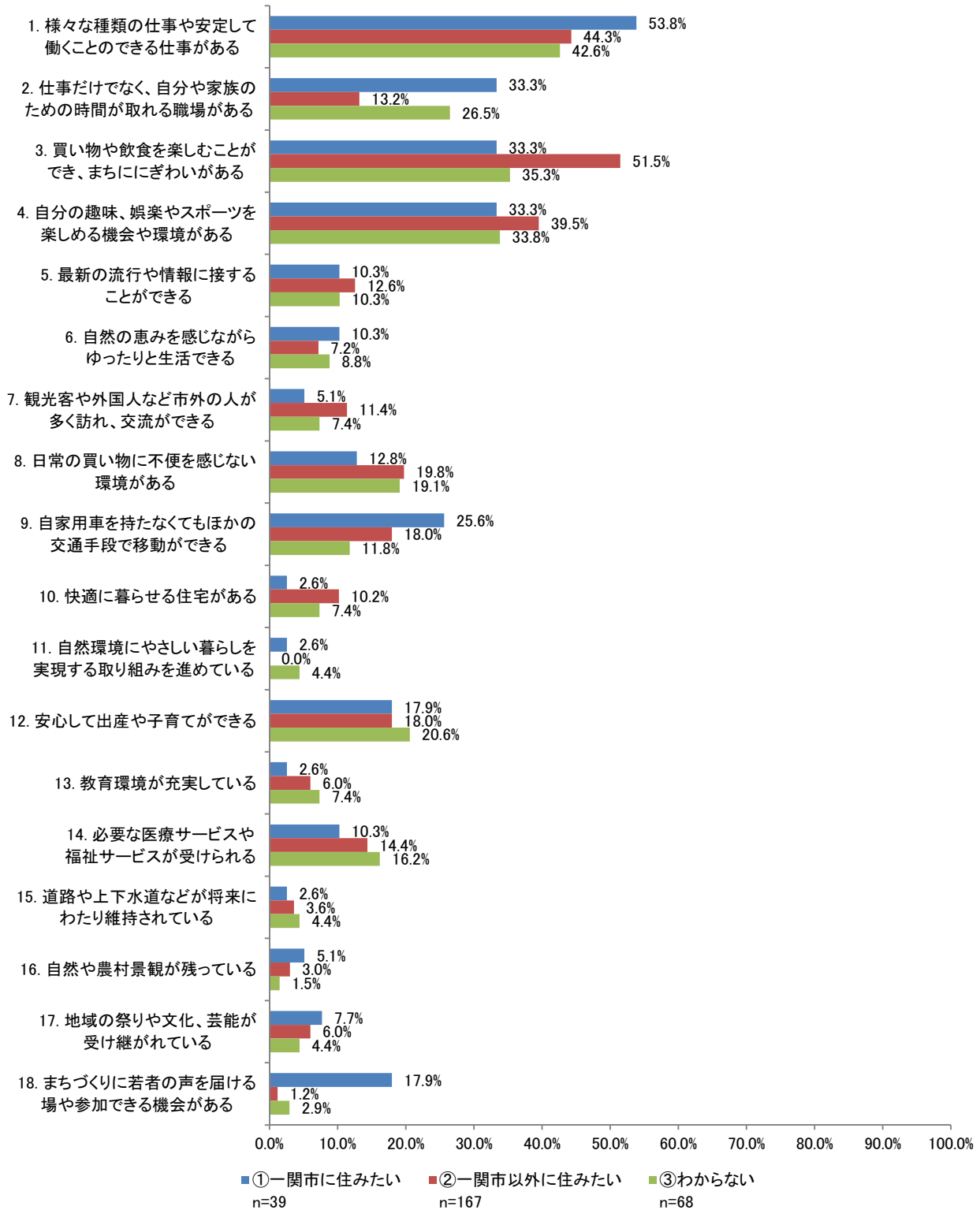
男性の結果を見ると、就職後、一関市に住みたいと回答されている方は「様々な種類の仕事や安定して働くことのできる仕事がある」と回答した割合が最も多くなっている一方、一関市以外に住みたいと回答されている方は「自分の趣味、娯楽やスポーツを楽しめる機会や環境がある」と回答された方が多い結果となっています。



※複数回答のため、合計は100%にならない

2) 女性

女性の結果を見ると、就職後、一関市に住みたいと回答されている方は「様々な種類の仕事や安定して働くことのできる仕事がある」と回答した割合が最も多くなっている一方、一関市以外に住みたいと回答されている方は「買い物や飲食を楽しむことができ、まちににぎわいがある」と回答された方が多い結果となっています。



※複数回答のため、合計は100%にならない